SICATENDO

SICAT ENDO バージョン 2.0

取扱説明書 | 日本語

取扱説明書の構成

この文書にはSICAT Endoについて二種類の取扱説明書が含まれています。

- SICAT EndoをSIDEXIS 4モジュールとして
- SICAT Endoスタンドアロン

それぞれの取扱説明書には特定の種類用の情報が全て含まれています。例えば、SICAT EndoをSIDEXIS 4モジュールとしてのみ使用している場合は取扱説明書の該当部分のみ読む必要があります。SIDEXIS 4 は、Dentsply Sironaのイメージングソフトウェアです。

例外はマークの説明と最終ページのメーカーおよびサポートへの連絡先と取扱説明書の項目番号のみです。全文書の最後でこれらの情報を一覧することができます。

SICATENDO

SICAT ENDO バージョン 2.0

取扱説明書 | 日本語 | SIDEXIS 4

目次 - SIDEXIS 4

1 意図された用途および適応症 ... 8

2 バージョン履歴 ... 9

3 システム要件 ... 10

4 安全に関する情報 ... 13

4.1 危険レベルの定義 ... 14

4.2 オペレーターの資格 ... 15

5 使用するアイコンおよび強調 ... 16

6 取扱説明書の概要 ... 17

7 SICAT Suiteの概要 ... 18

8 SICAT Suiteのインストール ... 20

9 オペレーティングシステムのアップデートのためのテスト手順を実行します ... 26

10 SICAT Suiteの更新、修復 ... 29

11 このバージョンの特徴 ... 31

12 SICAT Endoの標準ワークフロー ... 34

13 SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する ... 38

14 SIDEXIS 4のSICAT Endoスタディ ... 40

15 SICAT Suite をスタートする ... 42

16 SICAT Suiteのユーザーインターフェース ... 44

17 SICATのアプリケーションを相互に切り替える ... 45

18 取扱説明書を開く ... 46

19 ライセンス ... 47

19.1 「ライセンス」のウィンドウを開く ... 51

19.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする ... 52

19.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする ... 54

19.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する ... 56

19.5 ネットワークライセンスを有効にする ... 58

19.6 バウチャーコードを使用する ... 60

20 SICAT Endoのユーザーインターフェース ... 61

20.1 ワークフローのツールバー ... 63

20.2 オブジェクトバー ... 66

20.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 ... 68
20.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 ... 70
20.5 SICAT Endoオブジェクト ... 72

21 ワークスペース ... 76
21.1 パノラマワークスペースの概要 ... 77
21.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要 ... 79
21.3 ワークスペースを切り替える ... 80
21.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット ... 81
21.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する ... 82

22 ビュー ... 83
22.1 ビューの調整 ... 84
22.2 アクティブなビューの切り替え ... 86
22.3 ビューの最大化および復元 ... 88
22.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット ... 89
22.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動 ... 91
22.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール ... 92
22.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 ... 93
22.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 ... 94
22.9 ビューの傾斜 ... 97
22.10ビューをリセットする ... 98
22.11画像のスクリーンショットを作成する ... 99

23 3Dビューの調整 ... 100
23.1 3Dビューの目線を変更する ... 101
23.2 3Dビューの表示タイプを切り替える ... 103
23.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する ... 104
23.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え ... 106
23.5 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする ... 107

24 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する ... 108
24.1 ボリュームの配置を調整する ... 111
24.2 パノラマ エリアを調整する ... 116

25 光学印象 ... 120
25.1 光学印象をインポートする ... 122
25.1.1 Hubから光学印象をダウンロードする ... 123
25.1.2 ファイルから光学印象をインポートする ... 127
25.1.3 SIDEXIS 4から光学印象を転送する ... 130
25.1.4 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する ... 132

25.2 光学印象の記録と確認 ... 134

26 口腔内撮影画像 ... 138

26.1 互換性のある口腔内撮影用センサー ... 140

26.2 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます ... 141

27 登録ウィザード ... 145

27.1 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う ... 146

27.2 口腔内撮影画像を登録する ... 148

27.3 横方向および軸方向のプリアライメントを調整する ... 151

27.4 エリアをマスキングする ... 154

28 EndoLineウィザード ... 156

28.1 EndoLineウィザードの中のビュー ... 157

28.1.1 EndoView ... 162

28.1.2 EndoViewを回転する ... 163

28.2 治療計画のための歯を選択する ... 165

28.3 歯の領域をプリアラインメントする ... 166

28.4 EndoLinesの設定 ... 168

28.5 色とテキストを調整する ... 171

28.6 確認箇所を追加、移動および削除する ... 172

28.7 3Dビューを回転する ... 175

28.8 光学印象を表示する ... 176

28.9 マウスボタンを使用する ... 177

28.10 ドリル穴を計画する ... 178

29 距離/角度測定 ... 184

29.1 距離測定を追加する ... 185

29.2 角度測定を追加する ... 186

29.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する ... 188

30 患者教化 ... 190

30.1 画像とスクリーンショットの作成 ... 191

30.2 レポートを準備する ... 194

30.3 レポートを作成する ... 198

31 データエクスポート ... 200

32 注文プロセス ... 201

32.1 ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる ... 202

32.2 カートを開く ... 206

32.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する ... 207

32.4 インターネット接続を使用した注文の終了 ... 208
32.5 SICATポータルでの注文手順 ... 209
32.6 SICAT WebConnector ... 210
32.7 インターネット接続を使用しない注文の終了 ... 212
33 設定 ... 216
33.1 一般設定の使用 ... 217
33.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション ... 219
33.3 歯科医院情報の使用 ... 221
33.4 Hub接続状態を表示する ... 222
33.5 可視化設定の変更 ... 223
34 サポート ... 225
34.1 サポート態勢のページを開く ... 226
34.2 連絡先情報およびサポートツール ... 227
34.3 インフォメーション ... 228
35 データを書き込み禁止で開く ... 229
36 SICAT Suiteを閉じる ... 230
37 ショートカットキー ... 231
38 SICAT Suiteのアンインストール ... 232
39 安全に関する注意事項 ... 235
40 精度 ... 243
用語集 ... 244
索引 ... 246

1 意図された用途および適応症

SICAT Endo 口腔・顎顔面領域の画像情報をビジュアル化するためのソフトウェアです。画像情報は、医療スキャナ(CT/DVTスキャナなど)によるものです。また、SICAT Endoは、治療の選択肢と歯内治療のためのアクセスルートの計画、評価および比較において歯科医をサポートします。歯科医によって作成された計画データは、SICAT Endoからエクスポートして、治療の実施において使用することができます。

適応症

SICAT Endo 次の目的ためのソフトウェアです。

- 口腔・顎顔面領域診断のサポート
- さまざまな治療の選択肢を比較する際のサポート
- 歯内治療計画におけるサポート
- 歯内穿孔テンプレートを用いた治療計画におけるサポート

2 バージョン履歴

バージョン2.0

- Hubは、光学印象をインポートおよび記録するための追加オプションとして利用できます。
- Sidexis 4にインポートされたSTLファイルは、光学印象のインポートと記録に使用できます。
- Hubからロードした場合、もしくはSIXDファイルからインポートした場合は、光学印象を色付けできます。
- アプリケーションごとに、ボリューム調整の修正とパノラマ曲線の調整を別々に設定できます。
- パノラマビューでは、検査ウィンドウを最大化することができます。
- パノラマワークスペースの横方向と縦方向のビューは傾斜させることができます。
- SICATアプリケーションは、ワークステーションライセンスまたはネットワークライセンスのどちらでもオプションで使用できます。
- SICAT Suiteは、Sidexis 4またはスタンドアロンと共に使用できます。

バージョン1.4

- 初版発行

3 システム要件

⚠
注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサー	クワッドコア：2.3 GHz
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること。
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	20 GB、その他、データセット用の補助メモリ容量が必要
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	Ethernetで、100 Mbpsまたは1000 Mbpsを推奨
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (64 ビット版)、 更新ファイルKB2670838を適用済みであること Windows 8.1（64ビット版、デスクトップ） Windows 10（64ビット版、デスクトップ） これらのオペレーティングシステムは、マイクロソフト社がサポートを継続する期間内でサポートされます。

ウェブブラウザ	Microsoft Edge Mozilla Firefox Google Chrome JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
SIDEXIS 4	バージョン4.3.1以降(SiPlanAPI V5)
Hub	バージョン2.X、バージョン2.1以降

＊SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限ります。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくとると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション [▶ページ 219 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

前提ソフトウェア

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います。

- Microsoft .NET Framework 4.6.2
- CodeMeterライセンス管理ソフト6.30d
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポートはファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
HTTP	送信	80
HTTPS	送信	443
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152～65534

SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 201 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

4 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- *危険レベルの定義 [▶ページ 14 - SIDEXIS 4]*
- *オペレーターの資格 [▶ページ 15 - SIDEXIS 4]*
- *安全に関する注意事項 [▶ページ 235 - SIDEXIS 4]*

4.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。

⚠ **注意**	**この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。**

注記	**重要であるが、安全に関連していると見なされない情報を示しています。**

4.2 オペレーターの資格

⚠ **注意**

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

ソフトウェアの使用には、以下の条件が揃っている必要があります。

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。

5 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。

この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。

   ▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。

2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。

3. **オプションまたは条件付きステップ：**オプションまたは条件付きステップでは、ステップの目標または条件の前にコロンが付きます。

▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。

- 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

患者情報

表示されている例の患者名は架空のものです。したがって、実在の人物との類似点はまったく偶然の一致です。特に、例の患者名と表示された患者データとの間に相関関係はありません。

6 取扱説明書の概要

SICAT Endo は、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 20 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

インストール後、SICAT Suiteは二つの方法で使用できます。バージョンによって、操作手順の異なるものがいくらかあります。そのため、この取扱説明書では、バージョンごとで以下のように独立させています。

- SIDEXIS 4のモジュールを追加
- スタンドアロン版

SICAT Suiteをインストールするときは、いずれか1バージョンを選択する操作は不要です。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのアンインストール [▶ページ 232 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

7 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは以下のアプリケーションを含みます。

- SICAT Implant - SICAT Implantの用途については、SICAT Implantの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Function - SICAT Functionの用途については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの用途については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo - SICAT Endoの用途については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効な場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。
- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはスタートしません。
- SICAT Suiteをインストールするときに、一つのモードに決定する必要はありません。

8 SICAT SUITEのインストール

⚠ 注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ 注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。

⚠ 注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

⚠ 注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

お手元のコンピュータでは、Windowsの **オートスタート** 機能がオフに設定されていることがあります。この場合、光媒体をWindowsファイルエクスプローラーで開き、ファイル名にSICAT Suiteのバージョンが含まれる **SICATSuiteSetup.exe**ファイルを手動でスタートすることができます。

SIDEXIS 4および後にSICAT Suiteをインストールする際に、インストール中にSICAT SuiteをSIDEXIS 4モジュールで記録することができます。これにより、SICAT Suiteを統合してSIDEXIS 4に使用できます。

SICAT Suiteを最初にインストールしてからSIDEXIS 4を次にインストールする場合、インストール中にSICAT SuiteをSIDEXIS 4モジュールで記録することはできません。その場合は、SICAT Suiteを後ほど手動でSIDEXIS 4モジュールで記録できます。これに関するその他の情報は*SICAT Suiteを SIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SICAT Suiteをインストールするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 10 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ SICAT SuiteはSICATのホームページからダウンロードできます。

1. SICAT Suiteインストールメディアをコンピューターの光学ドライブに挿入します。
   ▶ **オートスタート**のウィンドウが開きます。

2. SICAT Suiteをダウンロード版として購入した場合は、SICATのホームページからISOファイルをダウンロードして、インストールに使用してください。

3. **オートスタート**のウィンドウで、**SICATSuiteSetup.exeを実行する**のオプションを選択します。このとき、ファイル名には、SICAT Suiteのバージョン番号が含まれています。
   ▶ ソフトウェアがコンピューター上で使用できない場合、前提ソフトウェアをインストールします。
   ▶ SICAT Suiteのインストールプログラムが起動し、**はじめに**のウィンドウが開きます。

4. SICAT Suiteのインストールプログラムで使用する言語は、お好みのものを、**はじめに**のウィンドウの右上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。

► **使用許諾契約書**のウィンドウが開きます。

5. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、**使用許諾契約書に同意します。**のチェックボックスにチェックマークを入れたら、**次へ**をクリックします。

▶ **オプション**のウィンドウが開きます。

6. SICAT Suiteのインストールプログラムにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

7. SICAT Suiteインストールプログラムに「SICAT Suite」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、**OK**をクリックしてください。

   ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、そのフォルダへのパスを**ソフトウェアをどこにインストールしますか？**のボックス内に貼り付けます。

8. お手元のコンピュータにSIDEXIS 4がインストールしてある場合、**SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスは、入力が可能です。SICAT Suiteは、インストール中もしくは後ほどSIDEXIS 4モジュールとして手動で記録できます。

   ▶ **SIDEXIS 搭載の SICAT Suite を使用したい**のチェックボックスにチェックマークを入れた場合、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスは、グレーアウト表示で入力ができません。

9. 入力が可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

10. **インストールする**のボタンをクリックします。

▶ **進捗状況**のウィンドウが開きます。

▶ SICAT Suiteと残りの前提ソフトウェアをインストールします。

▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

11. **終了する**のボタンをクリックします。

    ▶ SICAT Suiteインストールプログラムが閉じます。

    ▶ SICAT Implantデータベース・インストールプログラムが自動的に起動します。SICAT Implantデータベースをインストールしたくない場合は、**中止する**のボタンをクリックしてください。

9 オペレーティングシステムのアップデートのためのテスト手順を実行します

⚠ **注意**

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Endoが正常に動作しているか確認します。以下の点検手順を実行してください。点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Endoの使用を中止し、SICATサポートまでお問い合わせください。

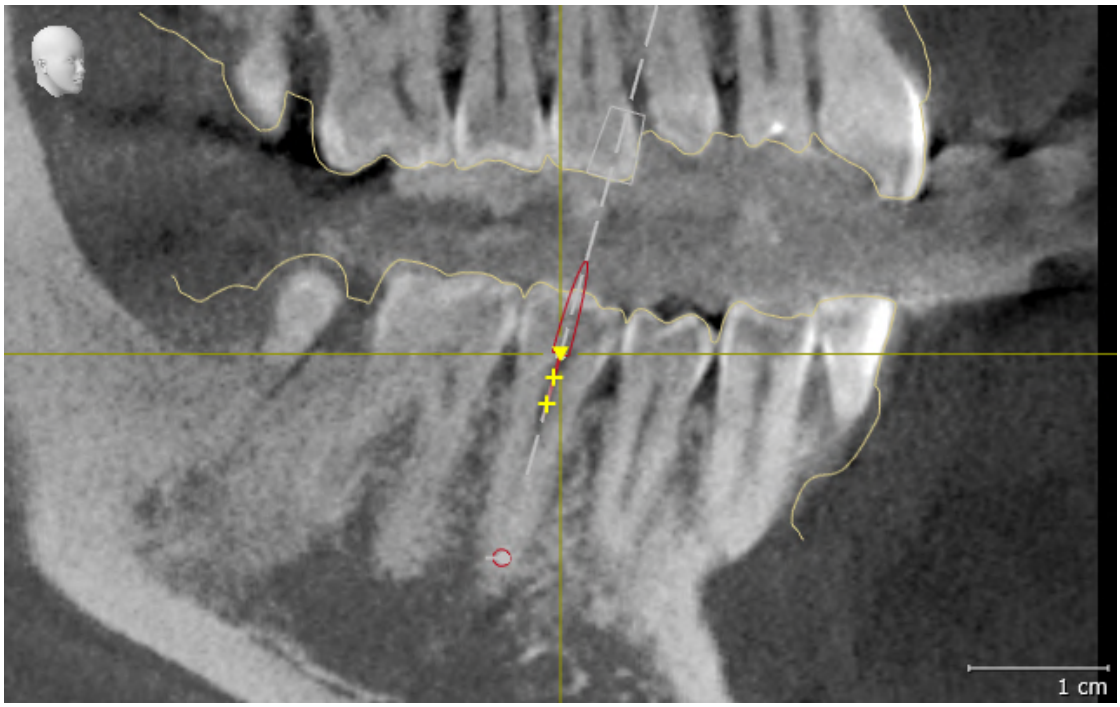
準備

1. SIDEXIS 4を開いている場合は、プログラムを閉じてください。
2. **Windows**ボタンを押し、**SICAT Suite**と入力して、**SICAT Suite**アイコンをクリックすることによって、SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンでスタートします。
3. 誰も意図せぬ変更をしていないことを確認するために、患者「Patient Axx」を削除します。
4. ファイル「SICATSuite_ReferenceDataset_2.0.zip」から基準データセットをインポートします。SICAT Suiteのインストールメディア状にデータセットがあります。
5. 基準データセット「Patient Axx」をSICAT Endoで開きます。

ENDOLINE

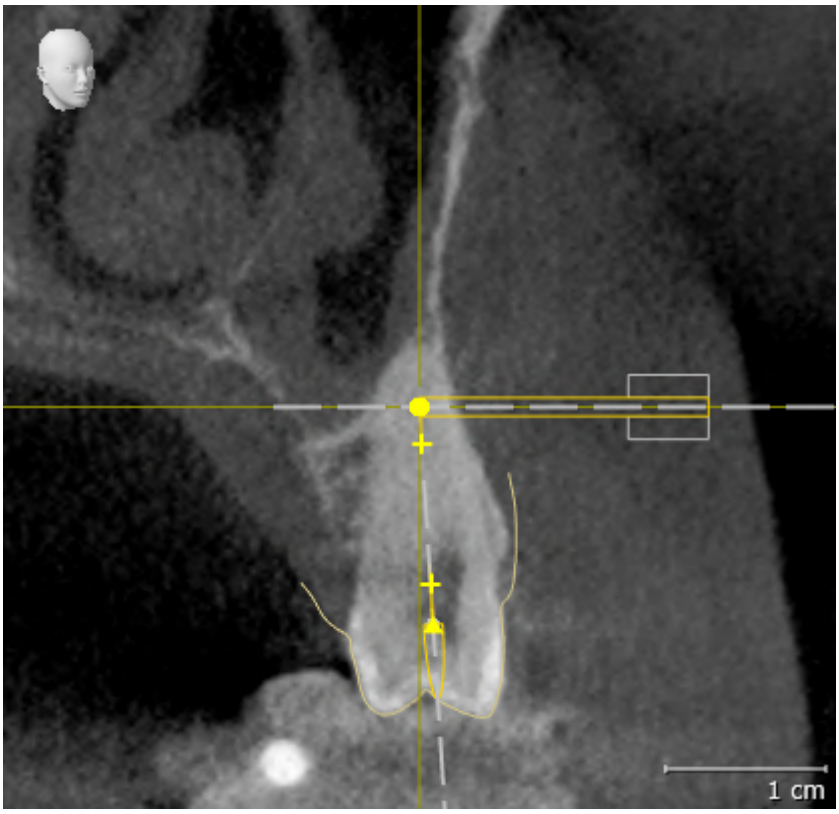
1. **FDI**歯型図が有効であることを確認してください。これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 217 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
2. **パノラマ**ワークスペースが有効であることを確認してください。
3. ビューを標準値に戻します。

4. **オブジェクトブラウザ**にグループ「**歯 45**」を開きます。
5. **オブジェクトブラウザ**で要素**「15.24 mm歯番号45」**を選択し、それに焦点を合わせます。
6. 以下のスクリーンショットで**縦**ビューを比較してください。



7. **オブジェクトブラウザ**にグループ「**歯** 25」を開きます。
8. **オブジェクトブラウザ**で要素「13.63 mm歯番号25」を選択し、それに焦点を合わせます。

9. 以下のスクリーンショットで**横断**ビューを比較してください。



10 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

⚠ **注意**	**不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。** ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

SICAT Suiteを更新するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**更新する**のボタンをクリックしてください。更新にあたって、インストールプログラムは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteをアップデートする前に、次の点にご注意ください。

SIDEXIS 4は、V4.3.1より前のバージョンがインストールされています

SICAT Suiteバージョン2.0は、V4.3.1より前のSIDEXIS 4バージョンとは互換性がありません。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 10 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. SIDEXIS 4をV4.3.1以降のバージョンにアップデートしてください。
2. SICAT Suiteをアップデートしてください。

SICAT Suiteがアップデート前にSIDEXIS 4モジュールで記録された場合、記録は保持されます。SICAT Suiteがアップグレード前にSIDEXIS 4モジュールで記録されて**いなかった**場合は、SICAT Suiteを手動でSIDEXIS 4モジュールで記録でき、SIDEXIS 4に統合されたSICAT Suiteを使用することができます。これに関する情報は*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SIDEXIS XGがインストールされています

SICAT Suiteバージョン2.0はSIDEXIS XGと互換性がありません。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 10 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. SIDEXIS XGをSIDEXIS 4V4.3.1以上にアップデートしてください。
2. SICAT Suiteをアップデートしてください。

SICAT Suiteがアップデート前にSIDEXIS XGプラグインで記録されている場合、SICAT SuiteはSIDEXIS 4モジュールで記録されます。SICAT Suiteがアップグレード前にSIDEXIS XGプラグインで記録されて**いなかった**場合は、SICAT Suiteを手動でSIDEXIS 4モジュールで記録できます。これに関する情報は*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

アップデート後に3D X線撮影画像を開く際に、SICAT Suiteでは、その3D X線撮影画像に関するスタディがSIDEXIS XG内に存在するかどうかをチェックし、存在すれば、そのスタディをSIDEXIS XGからSIDEXIS 4へ適用します。

SICAT SUITEの修復

SICAT Suiteを修復するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**修理する**のボタンをクリックしてください。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteでは、更新と修復の両者で、SICAT Suiteのインストールプログラムを使用します。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 20 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

11 このバージョンの特徴

SICAT Endo単独、または他のソフトウェアにリンクされた形で使用するかによって、特定の領域に違いがあります。

SIDEXIS 4 のモジュールとしてマニュアル操作により登録する

SICAT Suiteは、インストール中に自動で登録を行うことができますが、SIDEXIS 4のモジュールとしてマニュアル操作により登録や削除を行うことが可能です。これに関する情報は*SICAT Suite をSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

プログラムの起動

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合、SICAT Suiteの起動は、SIDEXIS 4の内部で**治療計画立案、治療** の段階で行われます。SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suiteを起動する手順は、*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 42 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

患者データ、立体画像のデータ

SIDEXISに結合したバージョンのSICAT Endoでは、SIDEXISの患者データとボリュームデータを利用します。したがって、データのバックアップは、SIDEXIS向けで設定されている手順に沿って行われます。

患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに **%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG**と **%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG** を入力してください。

設定

SICAT Suiteの設定内容は、SIDEXIS 4の設定内容の中で、カテゴリとして保存されています。

SIDEXISに結合したバージョンでは、SICAT Suiteで表示されるパラメータが、いくらかの設定内容のもののみに限定されますが、その理由は、SICAT Suiteで適用されるのがSIDEXISの設定内容であるためです。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

SIDEXIS 4からのデータの転送

SICAT EndoはSIDEXIS 4からボリュームの配置とパノラマ エリアを、最初にボリュームをSICAT Endoで開くときに転送します。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Endoはボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- SICAT Endoがサポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。SIDEXIS 4の各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Endoがサポートするパノラマ エリアは、幅が10 mm以上のものに限ります。
- SICAT Endoがサポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限ります。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Endoはボリュームの配置とパノラマ エリア、または、パノラマ エリア単独のいずれかについては、転送しません。

さらに、SICAT Endoで3D X線撮影画像を初めて開くと、SICAT Endoでは、**3D**ビューの焦点と視線方向として、SIDEXIS 4のものが適用されます。

データエクスポート

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的で用意されている、SIDEXIS 4の各種機能を利用して行われます。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

SIDEXIS 4の出力ページへスクリーンショットを追加する

画像や作業画面の各スクリーンショットは、SIDEXIS 4の出力ページに追加することができます。追加したら、2D出力ページに用意されている、SIDEXIS 4の各種機能が利用できるようになります。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

カート

カートは、SICAT Suiteで用意されていますが、SIDEXIS 4では**出力**のフェーズで利用できます。

スタディで、書込権限のあるものとないものを開く

SICAT Endoスタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピュータがネットワークに接続する環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によっては、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この結果の1つは、SIDEXIS 4がデータセットを開くときに、データセットがすでに使用中かどうかを確認することです。この場合、SICAT Suiteのデータセットはビューアモードで読み取り専用モードで開き、SICAT Endoスタディの変更を保存できません。

SICAT Endoスタディで変更を行って、変更内容を保存できるようにするためには、以下の条件を満たしておくことが必要です。

- SICAT Endoのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了しておくこと。

以下の表には、ライセンスのアクティベーション状況に応じた、機能の利用可否を示します。

機能	フルバージョンライセンスがアクティベート済み	ビューアーライセンスがアクティベート済み	ライセンスはアクティベーションが未完了
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
変更を行う	有	無	無
変更内容を保存せず、データを確認する	無	有	無
ヘルプ	有	有	有

以下の場合はビューアライセンスがなくてもSICAT Endo のスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Endoのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上のデータをSIDEXISにインポートします。SICAT Endo このコンピューター上にインストールされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部に SICAT Endoのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Endoの後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Endoのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできないときがあります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

詳細な情報は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 229 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

12 SICAT ENDOの標準ワークフロー

⚠ 注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

⚠ 注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

⚠ 注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。

⚠ **注意**

ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。

SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール

SICAT Suiteをインストールする手順は、*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 20 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールの場合に、SICAT Suiteを手動で起動する手順は、*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

フルバージョンで使用可能にする

- SICAT Endoのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 47 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

SICAT Endoのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビュアーモードで個別に開いてください。ビュアーモードに関する内容は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 229 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

設定

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これに関する情報は*設定 [▶ページ 216 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

データセット

SICAT Endo 3つの異なるファイルタイプを組み合わせます。

- 3D X線撮影画像。例として、Sirona　GALILEOSによるものがあります。
- Sirona XIOS XGなどの口腔内撮影画像
- デジタル光学印象。例として、Sirona CERECによるものがあります。

データセットを収集する

1. 必要に応じて、患者の口腔内撮影画像を作成してください。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

2. 患者の3D X線撮影画像を作成します。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

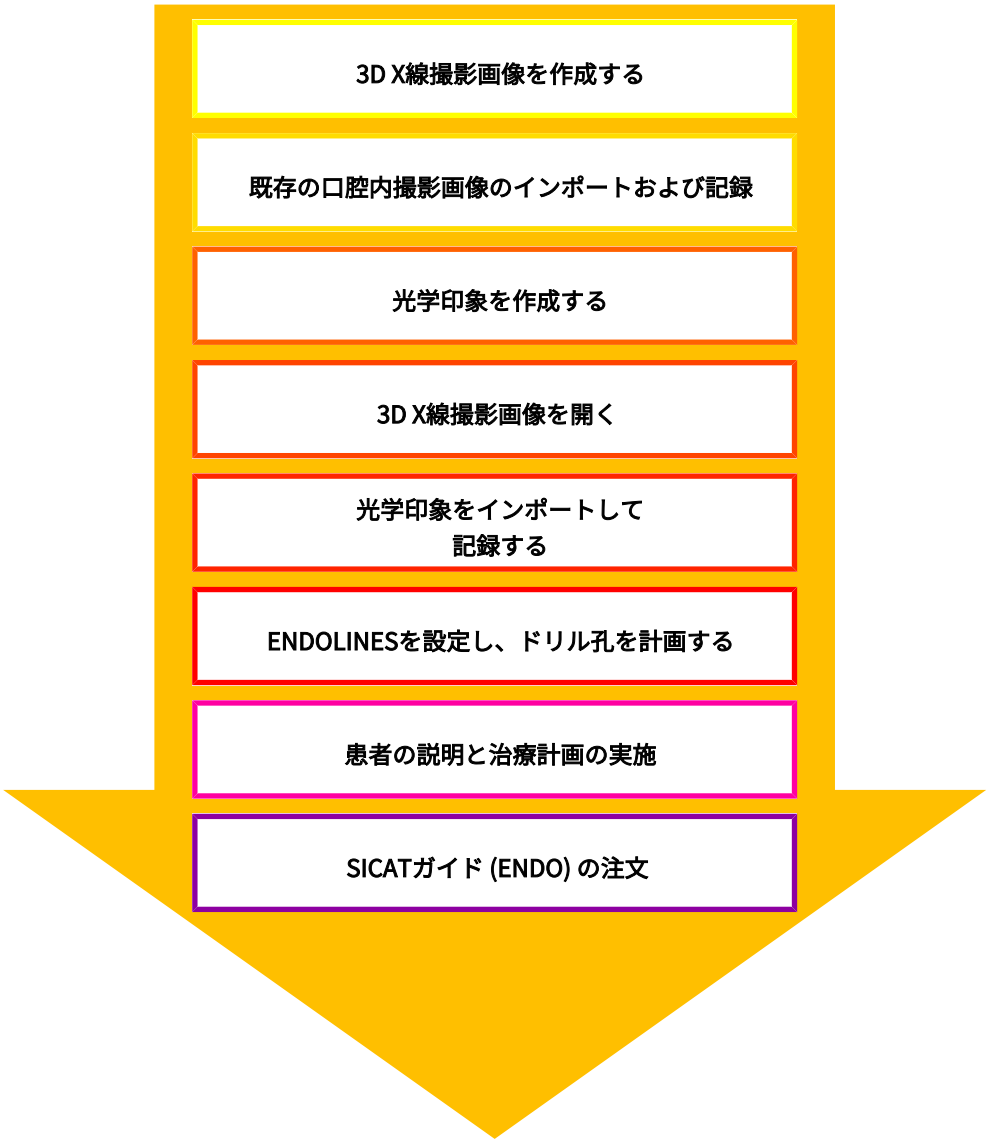
3. 上顎骨または下顎骨のデジタル光学印象を作成します。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

データセットを開く

1. タイムラインに沿って並ぶ中から、3D X線撮影画像か、または、SICAT Endoのスタディを選択します。

2. SICAT Endoを起動します。これに関する情報は*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 42 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

典型的なデジタル歯内治療ワークフロー



SICAT ENDO作業手順

1. 必要に応じて、ボリュームの配置とパノラマ エリアを調整します。これに関する情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

2. SICAT Endoで、口腔内撮影画像をインポートして記録します。これに関する情報は*口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 141 - SIDEXIS 4]*および*口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 148 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3. 3D X線撮影画像のデータとともに、光学印象をインポートして記録します。これに関する情報は*光学印象 [▶ページ 120 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

4. EndoLinesを配置し、ドリル孔を計画します。これに関する情報は*歯の領域をプリアラインメントする [▶ページ 166 - SIDEXIS 4]*、*EndoLinesの設定 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*および*ドリル穴を計画する [▶ページ 178 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

5. **口腔内撮影画像**ワークスペースで、Endo計画オブジェクトを評価します。これに関する情報は*口腔内撮影画像ワークスペースの概要 [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

6. 患者教化を実行し、それに基づいて患者のハンドアウトを作成してください。これに関する情報は患者教化を参照してください。

7. SICAT GUIDE (ENDO) ドリルテンプレートを注文します。これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 201 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

8. 例えば、セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。これに関する情報は*データエクスポート [▶ページ 200 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- お手元の作業を終了したり中断したりするときは、SIDEXIS 4からSICAT Suiteを閉じて、その作業内容を保存します。これに関する情報は*SICAT Suiteを閉じる [▶ページ 230 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。これに関する情報は*取扱説明書を開く [▶ページ 46 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。これに関する情報は*サポート [▶ページ 225 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

13 SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する

SIDEXIS 4によるSICAT Suiteの使用に関して、一般的な内容は、このバージョンでの特徴の節をご覧ください。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4へインストールすると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして、自動で登録を行います。このインストールに関する内容は、*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 20 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

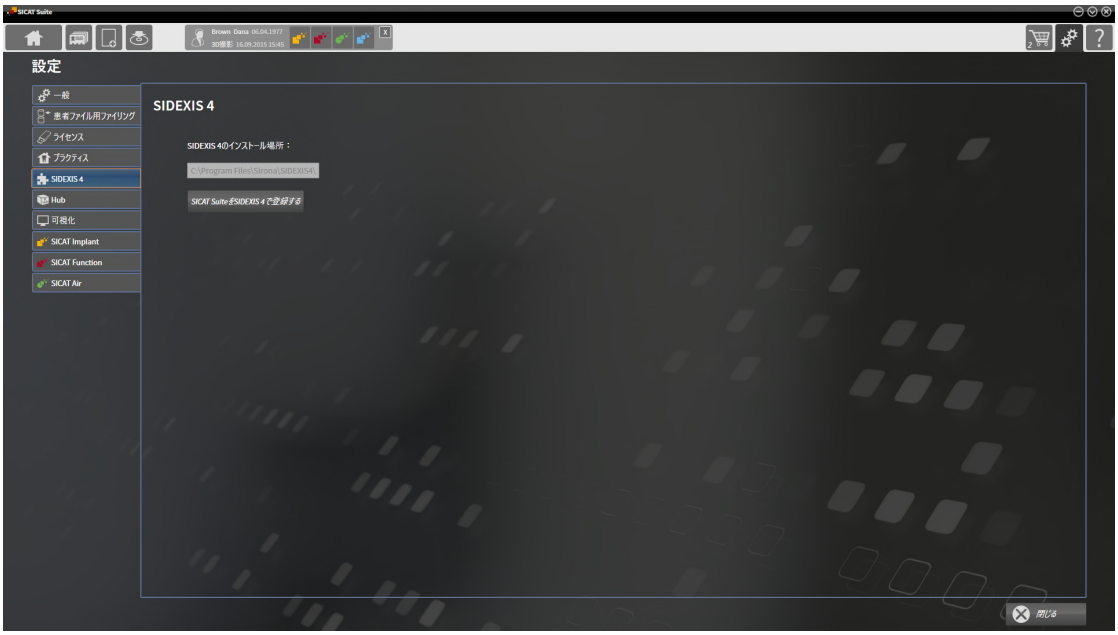
「SIDEXIS 4」のウィンドウを開く

1. SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動します。これに関する情報は*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 42 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

2. **設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

3. **SIDEXIS 4**のタブをクリックします。

▶ **SIDEXIS 4** のウィンドウが開きます。



SICAT SUITEをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する

☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 20 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。

☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。

☑ **SIDEXIS 4**ウインドウはすでに開いています：

1. **SICAT SuiteをSIDEXIS 4で登録する**のボタンをクリックします。
2. SIDEXIS 4を起動します。

▶ SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして登録を完了しておきます。SIDEXIS 4への登録が支障なく完了したら、**治療計画立案、治療** のフェーズが見えるようになります。

SIDEXIS 4のモジュールとして登録したSICAT SUITEを削除する

☑ SICAT Suiteが、SIDEXIS 4のモジュールとして、すでに登録されていることが必要です。

☑ SIDEXIS 4は、開かないでおきます。

☑ SICAT Suiteのスタンドアロン版を起動させておきます。

☑ **SIDEXIS 4**ウインドウはすでに開いています：

1. **SICAT SuiteをSIDEXIS 4から削除する**のボタンをクリックします。
2. SIDEXIS 4を起動します。

▶ 以上で、SICAT Suiteは、SIDEXIS 4のモジュールとして使用することは、できなくなります。

14 SIDEXIS 4のSICAT ENDOスタディ

⚠ 注意	**表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。** SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ 注意	**環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。 2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

⚠ 注意	**DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意	**不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。** 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ 注意	**不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させる場合、患者データの管理は、SIDEXIS 4で行ってください。

以下の条件が満たされていれば、SIDEXIS 4は、 SICAT Endoスタディに関するプレビュー画像を表示します。

- SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして使用しています。
- 選択された患者には、SICAT Endoスタディが作成済みです。

1	ドリル穴	4	口腔内撮影画像
2	EndoLines	5	治療計画
3	光学印象	6	注文

プレビュービューでは、以下の情報をお知らせします。

- 利用可能な登録済み口腔内撮影画像
- 利用可能な光学印象
- 利用可能な根管治療計画
- 利用可能なステータスと日付が含む注文
- 利用可能なレポート

アイコンが明るく表示されていれば、それに該当するアイテムは、スタディの中に含まれています。

15 SICAT SUITE をスタートする

⚠ 注意	**患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。** 3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

⚠ 注意	**不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意	**不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。** 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

SIDEXIS 4のモジュールとして記録したSICAT Suiteを起動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 20 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ SICAT SuiteがSIDEXIS 4のモジュールとして、すでに記録されています。これに関する情報は*SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして登録する、削除する [▶ページ 38 - SIDEXIS 4]*を参照してください。SIDEXIS 4へSICAT Suiteをインストールすると、記録は自動で行うことが可能です。

☑ SIDEXIS 4で3D X線撮影画像またはスタディを既に選択しています。

☑ オプションで3D X線撮影画像またはスタディに加えて、光学印象または口腔内撮影画像も選択しました。

1. 3D X線撮影画像とオプションの光学印象または口腔内撮影画像を選択した場合は、**表示**アイコンをクリックして、その後**SICAT Suite**アイコンをクリックしてください。

2. スタディとオプションの光学印象または口腔内撮影画像を選択した場合は、**SICAT Suite**アイコンをクリックしてください。

▶ SIDEXIS 4は、**治療計画立案、治療**フェーズに切り替わります。

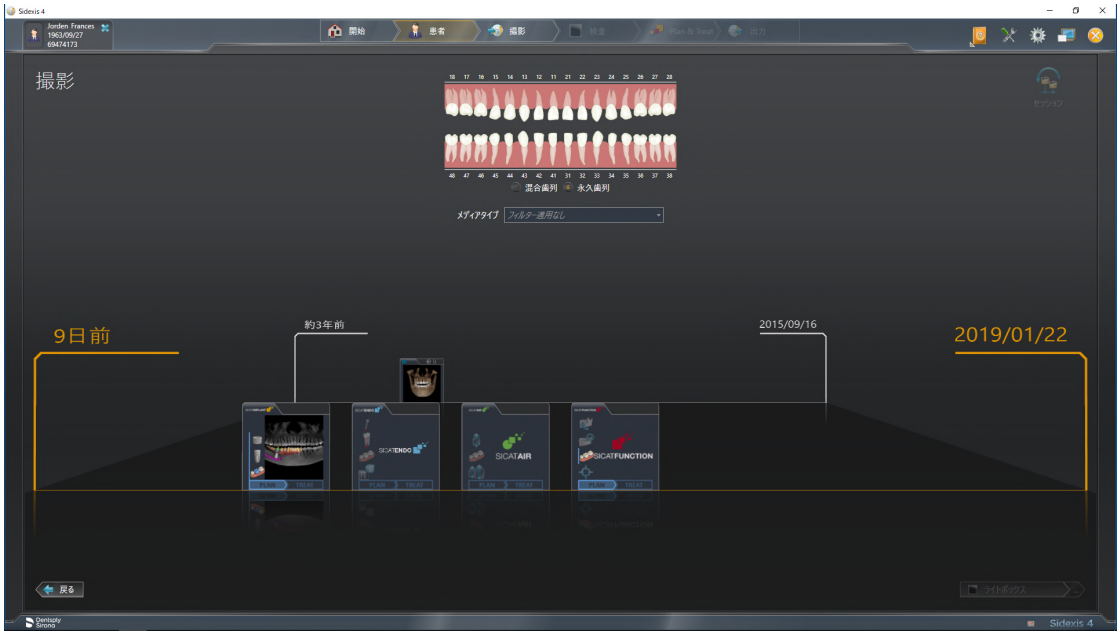
▶ SICAT Suiteは、対応するスタディとともに3D X線撮影画像をSICAT Endoで開きます。

▶ あなたが視覚的印象や口腔内撮影画像と一緒に3D X線撮影画像またはスタディを選択した場合、SICAT Endoは**口腔内撮影画像の管理・登録中**アシスタント機能、および**光学印象をインポートし記録する**を順に開きます。これに関するその他の情報は*口腔内撮影画像 [▶ページ 138 - SIDEXIS 4]*および*光学印象 [▶ページ 120 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

> 3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。

3D X線撮影画像を開いた後は、SICATの別アプリケーションへ切り替えることができます。これに関する情報は*SICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ページ 45 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

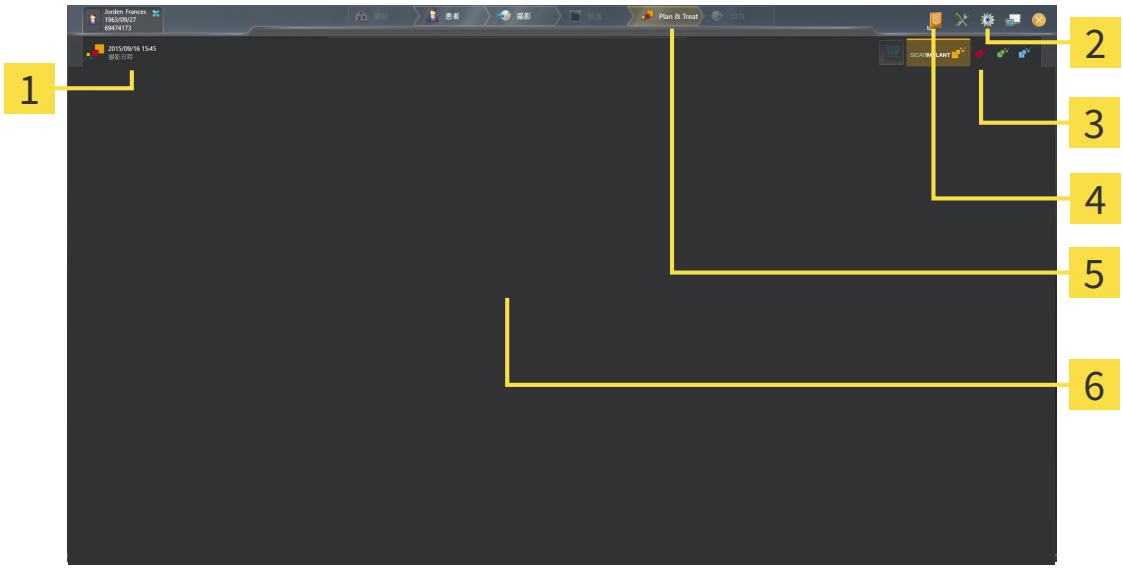
アプリケーション固有のスタディで保存済みのものがあるときは、このスタディを**撮影図**のウィンドウから直接選択して、そのスタディが関係する、SICATのアプリケーションで開くことができます。すでにショッピングカートに入れた商品で、この3D治療計画スタディをベースとするものがあるときは、ショッピングカートが開きます。



SIDEXIS 4でも同様に、**最後の撮影図**のエリアにある、**患者の詳細**のウィンドウでスタディを表示します。これに関する情報は、*SIDEXIS 4のSICAT Endoスタディ [▶ページ 40 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

16 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 現時点で開いているスタディ

2 **設定**

3 アプリケーション切替用のボタン、ボタン**カート**

4 **ヘルプ**

5 SIDEXIS 4のフェーズバー

6 **アプリケーション領域**

- 現時点で開いているスタディ ― 現時点で開いているスタディに関する内容とSICAT Suiteを閉じるボタンを表示します。
- **設定** - これに関する情報は*設定 [▶ページ 216 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- アプリケーション切替用のボタン、**カート**のボタン ― これらのボタンに関する内容は、*SICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ページ 45 - SIDEXIS 4]*、*注文プロセス [▶ページ 201 - SIDEXIS 4]*の各節をご覧ください。
- **ヘルプ** - これに関する情報は*取扱説明書を開く [▶ページ 46 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

17 SICATのアプリケーションを相互に切り替える

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。

- SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されているボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

18 取扱説明書を開く

SIDEXIS 4では、**ヘルプ**のメニューから、PDFファイルの形式で、SICATのアプリケーションの取扱説明書を呼び出すことができます。SICATのアプリケーションの取扱説明書を開くときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **ヘルプ**のアイコンをクリックします。

   ▶ 利用が可能な取扱説明書のリストが開きます。

2. お好みの使用説明書をクリックします。

▶ 選択した使用説明書が開きます。

SICATアプリケーションが開いている場合、対応するヘルプを開くには同様にF1ボタンを押します。

19 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスが有効化済みのSICATアプリケーションのみ表示します。

SICAT SuiteのSIDEXIS 4と接続されたバージョンではSICAT Endo治療計画も有効なSICAT Endoライセンスなしで表示することができます。

ネットワークライセンスを使用するには、まずローカルクリニックネットワークにライセンスサーバーをセットアップし、SICAT Suiteをライセンスサーバーに接続する必要があります。

クリニックネットワークでのライセンスサーバーの設定情報については、製造元WIBU-SYSTEMS AGのCodeMeterライセンス管理ソフトウェアの使用説明書、および必要なファイルと共にSICAT Suiteインストールメディアの *License Server Installation*, のディレクトリに収録されている*SICAT Suite バージョン2.0ライセンスサーバーインストール*を参照してください。

以下の種類のライセンスがあります。

- ビューアライセンスがあればアプリケーションをビューアモードで無期限使用することができます。
- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに無期限でアクセスすることができます。

これらのライセンスは、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスの両方として取得できます。

- ワークステーションライセンスを使うと、定義済みのコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。
- ネットワークライセンスを使えば、ローカルクリニックネットワーク内の複数のコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。

ライセンスを取得する

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

ライセンスの有効化と無効化

以下は、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスに適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されているものだけです。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのアプリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。

以下はワークステーションライセンスにのみ適用されます。

- ワークステーションライセンスのアクティベーションキーを1台のコンピュータで有効にすると、含まれているライセンスはそのコンピュータに割り当てられ、別のコンピュータでのアクティベーションには使用できなくなります。アクティベーションキーには、SICATのアプリケーションまたは機能に対する複数のライセンスが含まれる場合があります。
- ワークステーションライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能ごとに無効化することができます。ワークステーショライセンスを返却すると、そのライセンスは同一または別のコンピューターで再度アクティベーションすることができます。

以下はネットワークライセンスにのみ適用されます。

- ネットワークライセンスを使用すると、SICAT Suiteを使用している間、付属のSICATアプリケーションまたは付属の機能の各ネットワークライセンスをコンピュータ上のユーザーが利用できます。ネットワークライセンスは現在他のユーザーによる使用のためにロックされています。
- ネットワークライセンスを使用している場合、SICAT Suiteを終了すると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- ネットワークライセンスからワークステーションライセンスに切り替えると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- SICAT Suiteを正しく終了せずにクリニックネットワーク内のライセンスサーバーへの接続が失われた場合、ネットワークライセンスは一定期間後に他のユーザーが使用するために自動的に解放されます。
- SIDEXIS 4でSICAT Suiteをネットワークライセンスで使用する場合は、SICAT Suiteの設定で、クリニックネットワークでライセンスサーバーへの接続を確立するための時間制限を設けるかどうかを指定できます。

次に続くアクション

バウチャーコードをアクティベーションキーと交換する方法は*バウチャーコードを使用する [▶ ページ 60 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンス**のウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示します。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ ページ 51 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ワークステーションライセンスは次の2通りの方法で有効にすることができます。

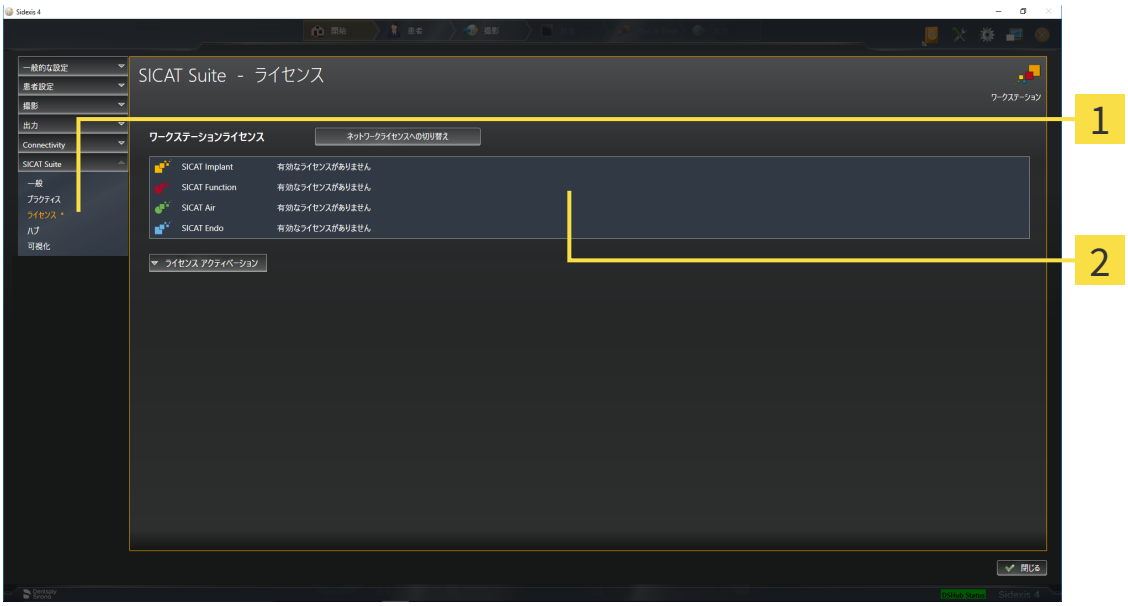
- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報は*インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ ページ 52 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報は*ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ ページ 54 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

各アプリケーションまたは機能のワークステーションライセンスを個別に無効にすることができます。ワークステーションライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたワークステーションライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報は*ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ ページ 56 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ネットワークライセンスを有効にする方法は、*ネットワークライセンスを有効にする [▶ページ 58 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。

19.1 「ライセンス」のウィンドウを開く

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **ライセンス**のボタンをクリックします。
   ▶ **ライセンス**のウィンドウが開きます。



1 **ライセンス**のタブ

2 **ライセンス**のウィンドウ

以下の操作を続行します：

- *インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 52 - SIDEXIS 4]*
- *ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 54 - SIDEXIS 4]*
- *ネットワークライセンスを有効にする [▶ページ 58 - SIDEXIS 4]*
- *ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 56 - SIDEXIS 4]*

19.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

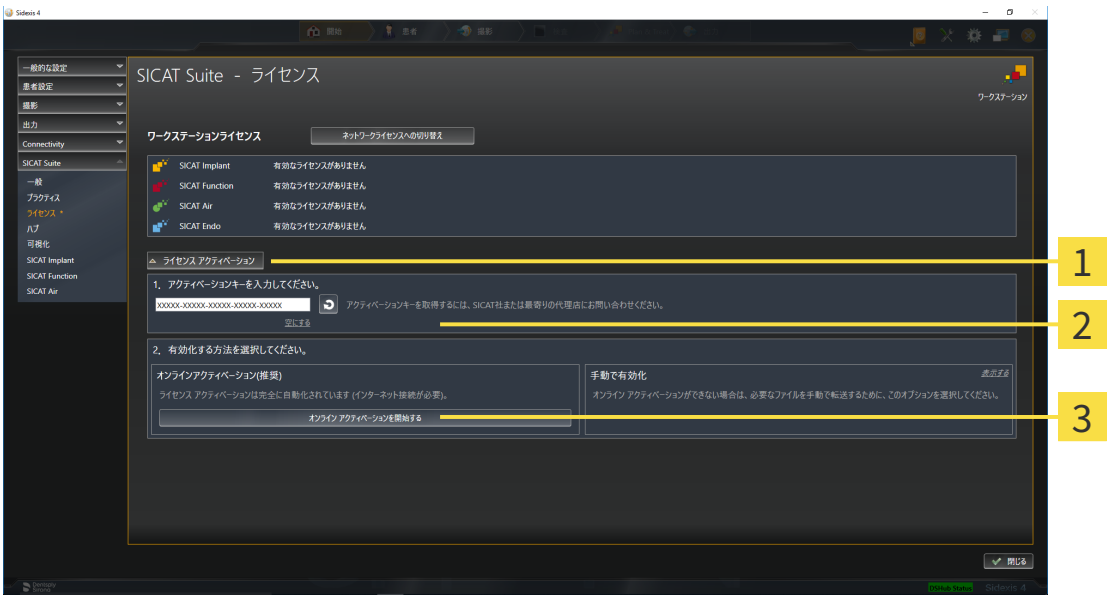
☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 51 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ライセンス アクティベーション**のボタンをクリックします。

   ▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。



1 **ライセンス アクティベーション**のボタン

2 エリア

3 **オンライン アクティベーションを開始する**のボタン

2. 欄にアクティベーションキーを入力します。

3. **オンライン アクティベーションを開始する**のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォール**のウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。

▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**。

注記

再起動が必要

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、エリアにあるボタン**顧客のアクティベーションキーを使用する**をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、ボタン**空にする**をクリックしてください。

19.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする

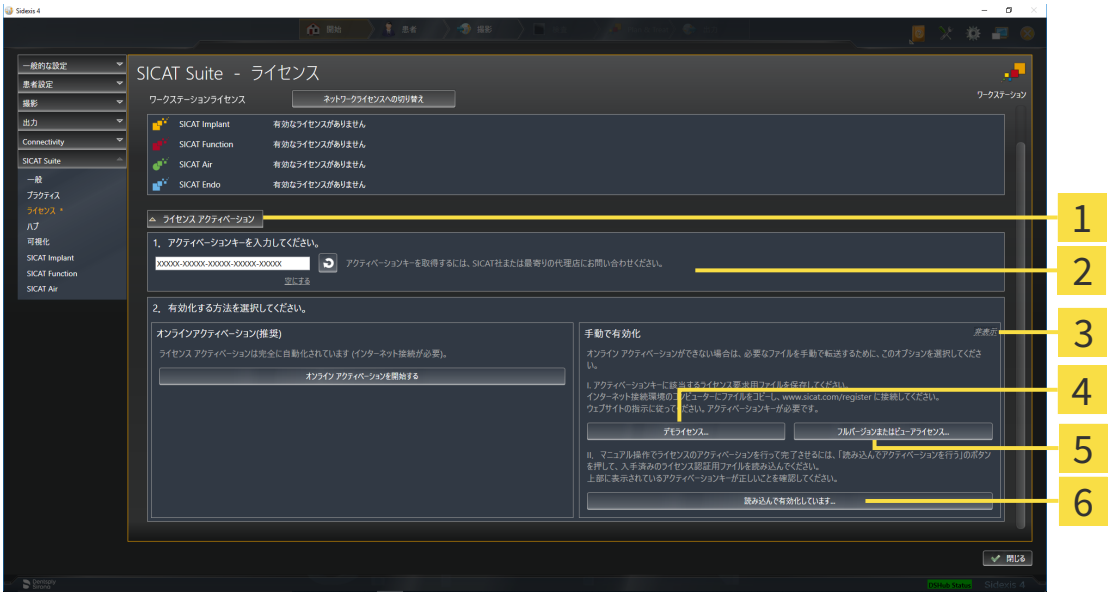
注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

ライセンスを手動、またはアクションなインターネット接続なしで有効にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 51 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **ライセンス**ウィンドウの**ライセンス アクティベーション**をクリックします。
   ▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。
2. **手動アクティブ化**エリアの**表示する**をクリックします。
   ▶ **手動アクティブ化**エリアが開きます。



1	**ライセンス アクティベーション**	4	**デモライセンス**のボタン
2	エリア	5	**フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタン
3	**表示する**	6	**読み込んで有効化しています**のボタン

3. フルバージョンライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタンをクリックします。

4. デモライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**デモライセンス**のボタンをクリックします。

   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。

   ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。

6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。

7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページhttp://www.sicat.com/registerを開きます。

8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。

   ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。

   ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピュータへダウンロードしてください。

9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。

10. アクティベーションキーが正確に欄に入力されていることをチェックします。

11. **ライセンス**のウィンドウで、**読み込んで有効化しています**のボタンをクリックします。

    ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。

▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**。

注記	**再起動が必要** ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

19.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する

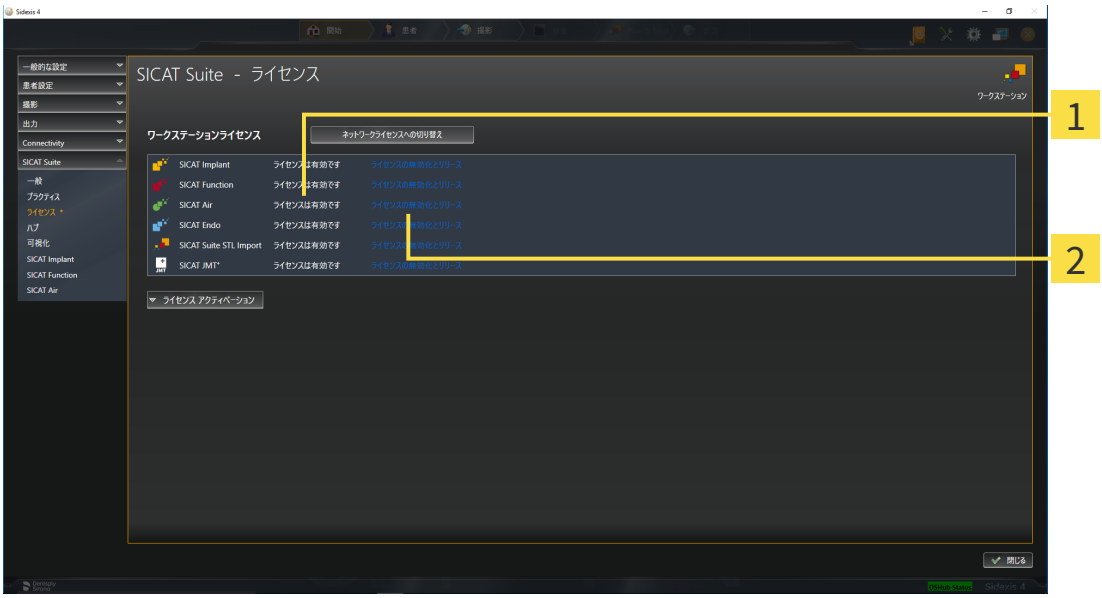
注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

フルバージョンライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスはすでに有効になっています。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 51 - SIDEXIS 4]*を参照してください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 **ライセンスの無効化とリリース**のボタン

- **ライセンス**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスの無効化とリリース**のボタンをクリックします。

▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**。

▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

注記

再起動が必要

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

インターネット接続のないコンピューターでライセンスを無効化したい場合はSICATサポートまでお問い合わせください。

19.5 ネットワークライセンスを有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも1つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なネットワークライセンスが欠けています。

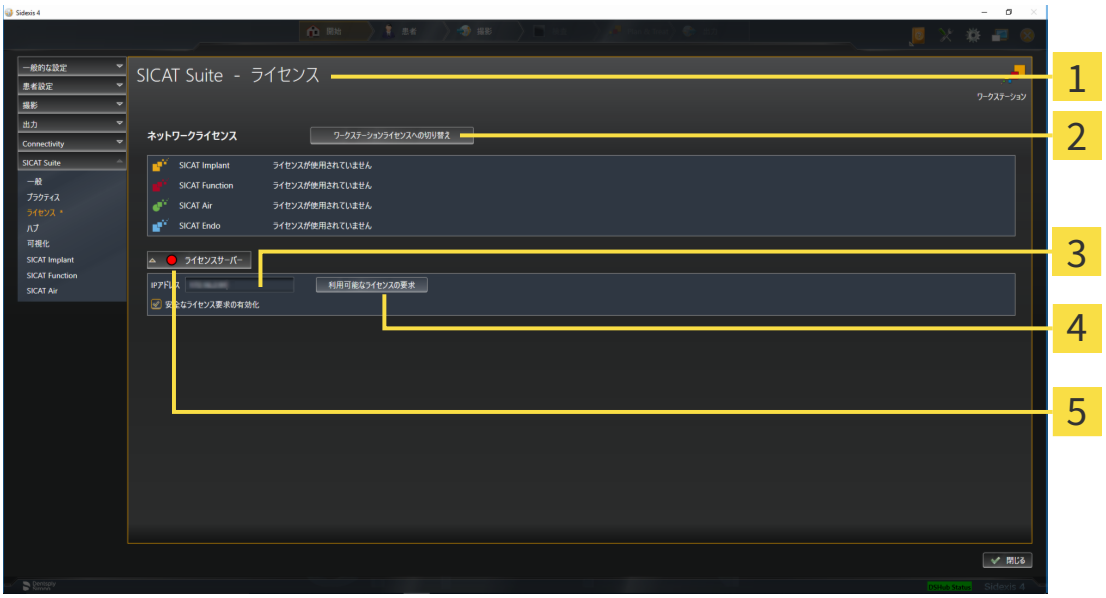
☑ ライセンスサーバーを設定しました。

☑ SICAT Suiteを実行しているコンピューターは、ライセンスサーバーが存在するネットワークへのアクティブなネットワーク接続を行っています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 51 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ネットワークライセンスへの切り替え**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Endo はネットワークライセンスに関する情報を表示し、**ライセンスサーバー**エリアが開きます。



1 **ライセンス**のウィンドウ	4 **利用可能なライセンスの要求**のボタン
2 **ワークステーションライセンスへの切り替え**のボタン	5 状態表示
3 **IPアドレス**エリア	

2. **IPアドレス**エリアに、クリニックネットワーク内のライセンスサーバーのIPアドレスを入力します。

3. **利用可能なライセンスの要求**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteはライセンスサーバーに接続します。

▶ アプリケーション用または個々の機能用に取得されたライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで使用されます。

▶ ステータス表示が赤から緑に変わります。

▶ **ライセンスサーバー**エリアが閉じます。

ネットワークライセンスが期限なしで確実にライセンスサーバーから取得できるようにするために、**安全なライセンス要求を有効にする**のチェックボックスがデフォルトで有効になっています。

注記

再起動が必要

ライセンス変更後、SICATアプリケーションのSIDEXISと接続されたバージョンが再起動を要する場合、SICAT Suiteが対応するメッセージウィンドウを表示します。

19.6 バウチャーコードを使用する

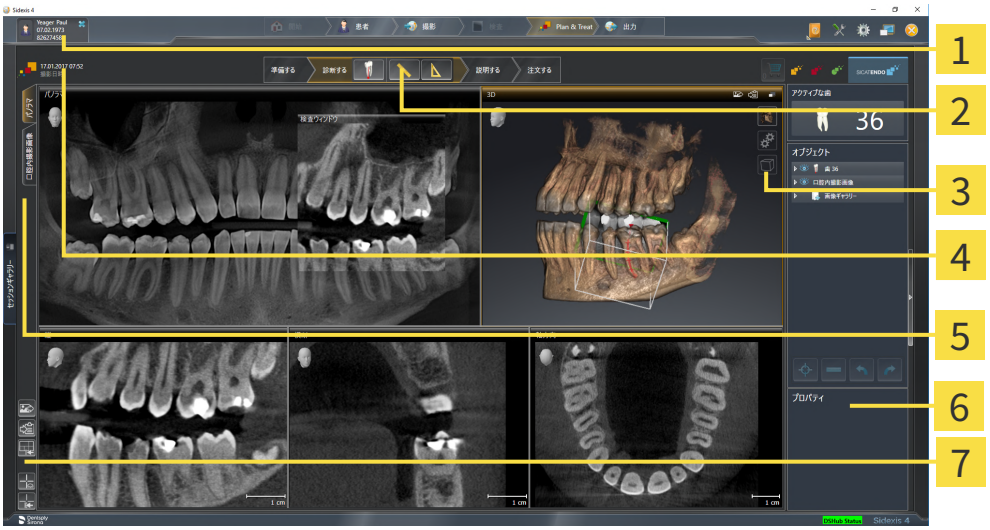
1. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページhttp://www.sicat.comを開きます。
2. SICATポータルへのリンクをクリックします。
   ▶ SICATポータルが開きます。
3. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
4. アカウントマネジャーに、ご自分のライセンスを管理するためのアイテムがありますので、それをクリックします。
5. ご自分のバウチャーコードを入力し、コードを確認します。
   ▶ SICATポータルがライセンスキーを生成し、ライセンスキーをお客様のアクティベーションキーに追加します。
6. SICAT Suiteまたはライセンスサーバーを起動して、ライセンスを有効にします。

これに関する情報は*インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 52 - SIDEXIS 4]*と *ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 54 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

クリニックネットワークでのライセンスサーバーの設定情報については、製造元WIBU-SYSTEMS AGのCodeMeterライセンス管理ソフトウェアの使用説明書、および必要なファイルと共にSICAT Suiteインストールメディアの *License Server Installation*, のディレクトリに収録されている*SICAT Suite バージョン2.0ライセンスサーバーインストール*を参照してください。

20 SICAT ENDOのユーザーインターフェース

SICAT Endoのユーザーインターフェースは、以下のアイテムで構成されています。



1 タブ **アクティブな患者ファイル**

2 **ワークフローのツールバー**

3 **画像のツールバー**

4 開いている3D X線撮影画像に関する情報

5 ワークスペースの切替用ボタン

6 **オブジェクトバー**

7 **ワークスペースのツールバー**

- **有効な患者ファイル** のタブには、開いている患者ファイルの属性を表示します。
- **ワークフローのツールバー**は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。
- **ワークスペースエリア**は、 **ワークフローのツールバー**の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Endoで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は、*ワークスペース [▶ページ 76 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。これに関する情報は、 *ビューの調整 [▶ページ 84 - SIDEXIS 4]*および *3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの(オブジェクト)を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報は、*オブジェクトバー [▶ページ 66 - SIDEXIS 4]*および*SICAT Endoオブジェクト [▶ページ 72 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は、 *十字線およびフレームの移動*、*非表示*、*表示 [▶ページ 93 - SIDEXIS 4]*、*ビューをリセットする [▶ページ 98 - SIDEXIS 4]*, *アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 81 - SIDEXIS 4]*および *ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ページ 82 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

20.1 ワークフローのツールバー

SICAT Endoでは、**ワークフローのツールバー**は4つのワークフローステップで構成されています：

1. **準備**
2. **診断する**
3. **説明する**
4. **注文する**

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1．ワークフローステップ「準備」

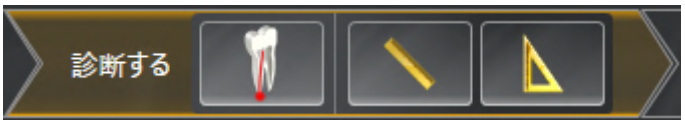
ワークフロー・ステップ「**準備**」では、以下のツールが使用できます。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します** - これに関する情報は、 *ボリュームの配置を調整する [▶ページ 111 - SIDEXIS 4]*および*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

- **口腔内撮影画像の管理・登録中** -これに関する情報は、 *口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 141 - SIDEXIS 4]*、*口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ページ 146 - SIDEXIS 4]*および*口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 148 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

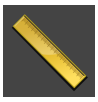
- **光学印象をインポートし記録する** - これに関する情報は、*光学印象 [▶ページ 120 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

2．ワークフローステップ「診断」



ワークフロー・ステップ「**診断する**」では、以下のツールが使用できます。

- **EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画する** -これに関する情報は、 *歯の領域をプリアラインメントする [▶ページ 166 - SIDEXIS 4]*、*EndoLinesの設定 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*および *ドリル穴を計画する [▶ページ 178 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。



- **距離測定を追加する(D)** - これに関する情報は、*距離測定を追加する [▶ページ 185 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

- **角度測定を追加する(A)** - これに関する情報は、*角度測定を追加する [▶ページ 186 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

3．ワークフローステップ「患者への説明」

ワークフロー・ステップ「**説明する**」では、以下のツールが使用できます。

- **矢印を描く** - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成 [▶ページ 191 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

- **円を描く** - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成 [▶ページ 191 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

- **レポートを作成する** - これに関する情報は、ハンドアウトの準備をご参照ください。

4．ワークフロー・ステップ「注文する」

ワークフロー・ステップ「**注文する**」では、以下のツールが使用できます。

- **SICAT ENDOGUIDEを注文します** - これに関する情報は、*ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ページ 202 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

20.2 オブジェクトバー

1 **オブジェクトブラウザ**

2 **オブジェクトバーを非表示にする**のボタンまたは**オブジェクトバーを表示する**のボタン

3 **オブジェクトツールバー**

4 **プロパティ**エリア

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- **オブジェクトブラウザ**には、診断や治療計画の対象 (オブジェクト) として、現時点のスタディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。
- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトへの合焦、オブジェクトやオブジェクトグループの削除、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作の取り消し、再度実行などができます。これに関する情報は*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 70 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **プロパティ**エリアには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

オブジェクトバーの視点を**オブジェクトバー**の右側の2つのボタンで変更することができます。
オブジェクトバーを非表示にするおよび**オブジェクトバーを表示する**

SICAT Endoで作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Endoオブジェクト [▶ページ 72 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

20.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。

1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを閉じる**のアイコンをクリックします。

   ▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。

2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを開く**のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。

▶ SICAT Endo は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。

▶ SICAT Endo は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。

▶ SICAT Endo は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。

オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。

1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**表示**のアイコンか、または**一部表示**のアイコンをクリックします。

► SICAT Endoはオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。

► SICAT Endoでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**非表示**アイコンが表示されます。

2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**非表示**アイコンをクリックします。

► SICAT Endoはオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。

► SICAT Endoでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**表示**アイコンが表示されます。

20.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

☑ オブジェクトに焦点を合わせることができます。

- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoは、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。

▶ SICAT Endoには、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。

オブジェクトへの合焦は、**オブジェクトブラウザ**からか、または、ビューで、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、**3D**画像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

- **アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoはオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **前回のオブジェクト アクションを元に戻す（Ctrl+Z）**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。

2. **オブジェクト/グループ アクションを再実行する（Ctrl+Y）**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoは、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。

SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

20.5 SICAT ENDOオブジェクト

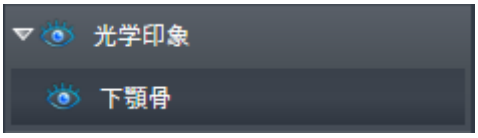
SICAT Endoでは、**オブジェクトブラウザ**が、アプリケーション固有のオブジェクトグループとオブジェクトを次のようにグループに分類します。

- **口腔内撮影画像**
-
- **Endo計画オブジェクト**
  - **EndoLine**
  - **ドリル穴**
- **画像ギャラリー**
  - **画像**
  - **スクリーンショット**

口腔内撮影画像オブジェクトグループ

口腔内撮影画像のインポートおよび登録を完了させた後、SICAT Endoは、**オブジェクトブラウザ**に、**口腔内撮影画像**オブジェクトグループを表示します。**口腔内撮影画像**オブジェクトグループには、常に少なくとも1つの口腔内撮影画像が含まれています。SICAT Endo 各口腔内撮影画像の撮影日と撮影時刻を表示します。

光学印象オブジェクトグループ



少なくとも1つの光学印象をインポート・登録した後、SICAT Endoは、**光学印象**オブジェクトグループを**オブジェクトブラウザ**に表示します。**光学印象**オブジェクトグループには、次のオブジェクトが含まれている可能性があります。

- **上顎骨**
- **下顎骨**

1つのオブジェクトに焦点を当てると、SICAT Endoは、選択されたオブジェクトのすべての2Dビューに焦点を合わせます。

上顎骨のオブジェクトや**下顎骨**のオブジェクトを削除すると、SICAT Endoは、既存の光学印象をすべてスタディから削除します。

ENDO計画オブジェクトグループ

EndoLineとドリル穴の計画が完了した後、SICAT Endoは**Endo計画対象グループ**を **オブジェクトブラウザ**に表示します。**Endo計画オブジェクト**は、常に歯と結びづけられており、EndoLineとドリル穴の形としてのEndoLineウィザードの結果です。**Endo計画オブジェクトグループ**には、EndoLineオブジェクトおよびサブオブジェクトとしてのドリル穴が含まれています。ドリル穴は、常にEndolineと結びつけられています。ドイル穴のおかげで、歯内治療計画を立てることができます。

オブジェクトの1つまたはサブオブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Endoでは、いずれの2Dビューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

ギャラリーオブジェクトグループ

次の内容は、**画像ギャラリー**オブジェクトグループに適用されます。

- マウスポインタを**画像ギャラリー**オブジェクトグループの上に合わせると、SICAT Endoが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Endoは**レポート作成**ウインドウを開きます。

- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、**画像ギャラリー**オブジェクトグループを削除することができます。SICAT Endo すべての関連する**画像**オブジェクトおよび**スクリーンショット**オブジェクトを削除します。

画像オブジェクト

次は、**画像**オブジェクトに適用されます：

- **画像**-オブジェクトは、**画像ギャラリー**オブジェクトグループの下部にあります。
- SICAT Endo 各2Dビュー用ワークスペースで1つの層のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像**オブジェクトを作成します。
- SICAT Endo 3Dビューのワークスペースで特定の目線と特定のズーム比のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像**オブジェクトを作成します。
- **画像**オブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
  - オブジェクトの作成時点
  - オブジェクトのプレビュー
- 機能**前回のオブジェクト アクションを元に戻す（Ctrl+Z）**と**オブジェクト/グループ アクションを再実行する（Ctrl+Y）**は、個々の注釈に使用することができます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用すれば、**画像**オブジェクトおよび含まれるすべての注釈を一度に削除できます。SICAT Endo **画像**オブジェクトを、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- **画像**オブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Endoは、含まれる最後の注釈が作成された時点に該当するビューを復元します。

スクリーンショットオブジェクト

次は、**スクリーンショット**オブジェクトに適用されます：

- **スクリーンショット**-オブジェクトは、**画像ギャラリー**オブジェクトグループの下部にあります。
- SICAT Endo **スクリーンショット**オブジェクトをスクリーンショットごとに作成します。
- **スクリーンショット**オブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
  - オブジェクトの作成時点
  - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、**スクリーンショット**オブジェクトを削除することができます。SICAT Endo **スクリーンショット**オブジェクトを、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- **スクリーンショット**オブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Endoはオブジェクトを作成した時点に該当するビューを復元します。
- 表示および非表示機能は使用できません。

21 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

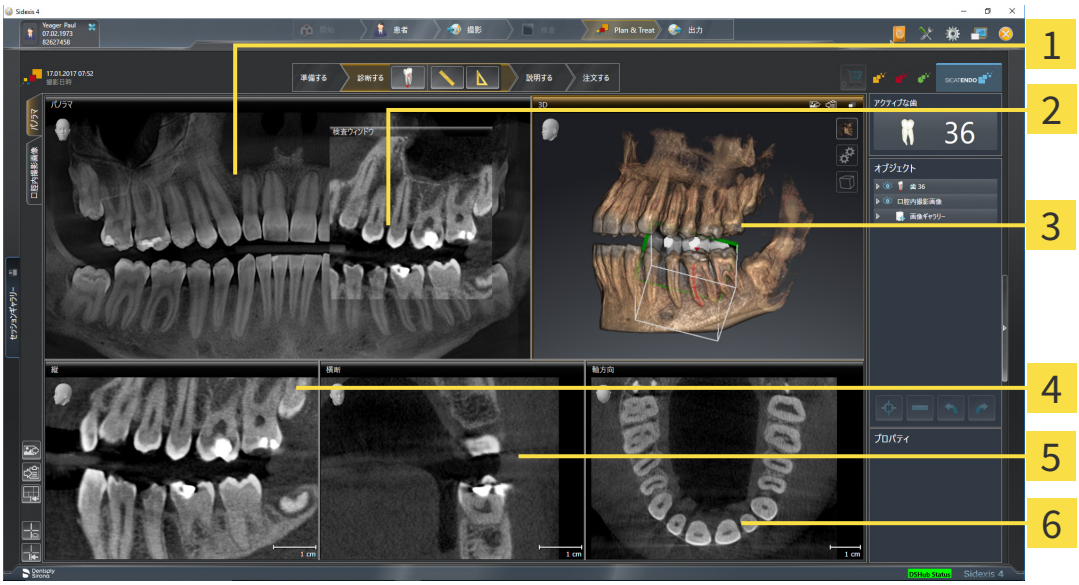
SICAT Endoには、異なる2種類のワークスペースが用意されています。

- **パノラマ**-ワークステーション- これに関する情報は、*パノラマワークスペースの概要 [▶ページ 77 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。
- **口腔内画像**ワークスペース - これに関する情報は、*口腔内撮影画像ワークスペースの概要 [▶ページ 79 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- *ワークスペースを切り替える [▶ページ 80 - SIDEXIS 4]*。
- *アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 81 - SIDEXIS 4]*。
- *ビューの調整 [▶ページ 84 - SIDEXIS 4]*。
- **3D**ビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。これに関する情報は*ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ページ 82 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

21.1 パノラマワークスペースの概要



1 **パノラマ**-ビュー

2 **検査ウィンドウ**

3 **3D**-ビュー

4 **縦**-ビュー

5 **横断**-ビュー

6 **軸方向**-ビュー

パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフ（OPG）に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、*パノラマエリアを調整する [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、**パノラマ**ビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、**パノラマ**ビューに、3次元の画像が追加されることになります。**検査ウィンドウ**を移動、非表示、表示および最大化できます。これに関する情報は*検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 94 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

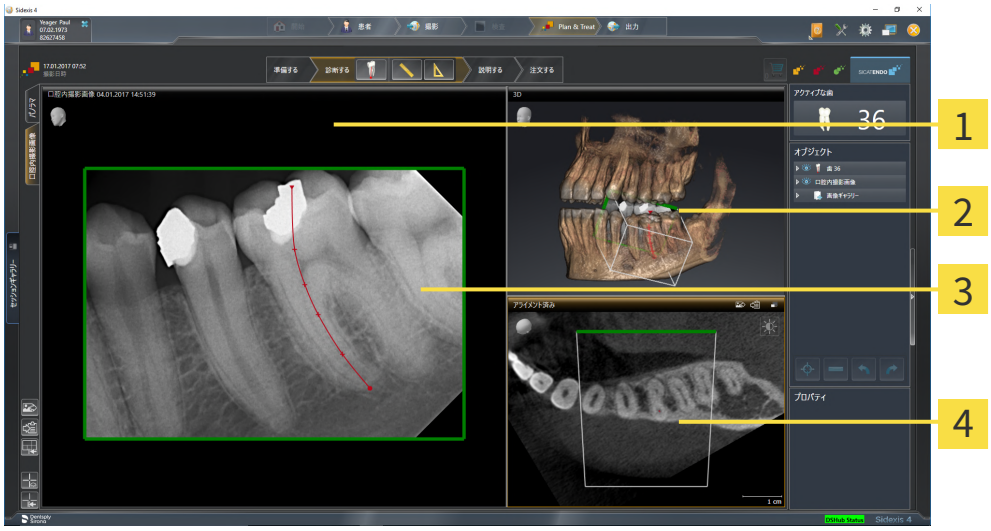
横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [▶ページ 223 - SIDEXIS 4]* の節をご覧ください。

ビューの機能に関しては、*ビューの調整 [▶ページ 84 - SIDEXIS 4]*および*3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

21.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要



1 **口腔内撮影画像**-ビュー

2 **3D**-ビュー

3 検査ウィンドウ

4 **アラインメント済み**-ビュー

口腔内撮影画像-ビュー

口腔内撮影画像ビューは、オブジェクトブラウザで選択された口腔内撮影画像を示します。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウ は、 **口腔内撮影画像**ビューに埋め込まれています。レイヤーを口腔内撮影画像対して平行にすることによって、**口腔内撮影画像**ビューに、3Dの画像が追加されることになります。**検査ウィンドウ**は非表示にしたり、表示して登録の確認や根管の評価のために使用することができます。

3D-ビュー

3Dビューには、開いているスタディの3Dビューを表示します。

アラインメント済み-ビュー

デフォルトでは、 **アラインメント済み**ビューは、口腔内撮影画像の断面を表示しますが、これは、**口腔内撮影画像**ビューにおける十字線の位置によって定義されます。

21.3 ワークスペースを切り替える

ワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。

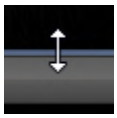
▶ 選択したワークスペースが開きます。

21.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
   ▶ マウスポインターの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
   ▶ 境界線の位置が変わります。
   ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- **ワークスペースのツールバー** で、 **アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

21.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する

ワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 80 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをSIDEXIS 4出力に追加する**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo では、ワークスペースのスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 80 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl＋V」を使用します。

22 ビュー

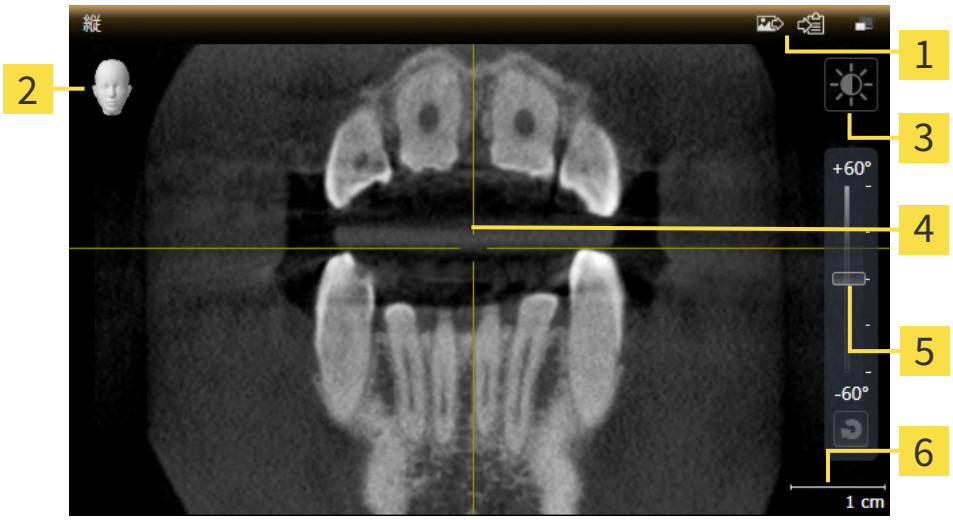
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は以下の節をご覧ください。 *ワークスペース [▶ページ 76 - SIDEXIS 4]*.

ビューを調整することができます。これに関する情報は*ビューの調整 [▶ページ 84 - SIDEXIS 4]* と *3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

22.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、いくらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、*アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 86 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素：



1	タイトルバー	4	十字線
2	オリエンテーションヘッド	5	傾きを調整するためのスライダー
3	画像のツールバー	6	尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Endoは全てのレイヤービューを互いに同期させます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*
- *ビューの最大化および復元 [▶ページ 88 - SIDEXIS 4]*
- *2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 89 - SIDEXIS 4]*
- *ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ページ 91 - SIDEXIS 4]*
- *レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ページ 92 - SIDEXIS 4]*
- *十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 93 - SIDEXIS 4]*
- *検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 94 - SIDEXIS 4]*
- *ビューの傾斜 [▶ページ 97 - SIDEXIS 4]*
- *ビューをリセットする [▶ページ 98 - SIDEXIS 4]*

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

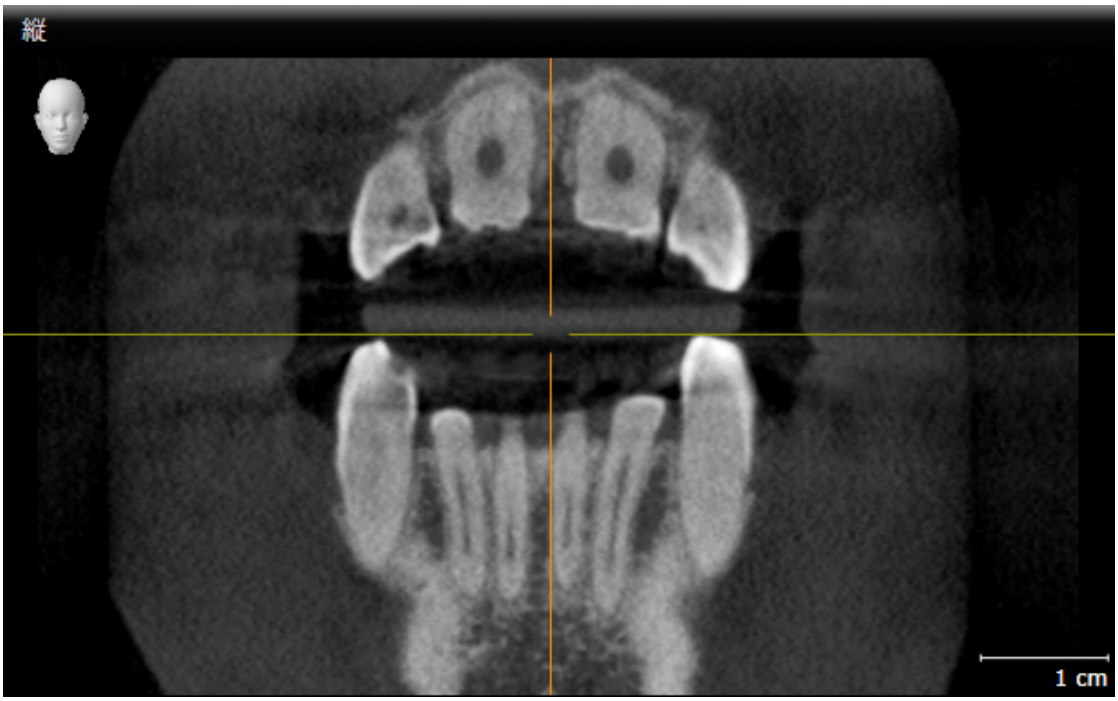
アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は*画像のスクリーンショットを作成する [▶ページ 99 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

22.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

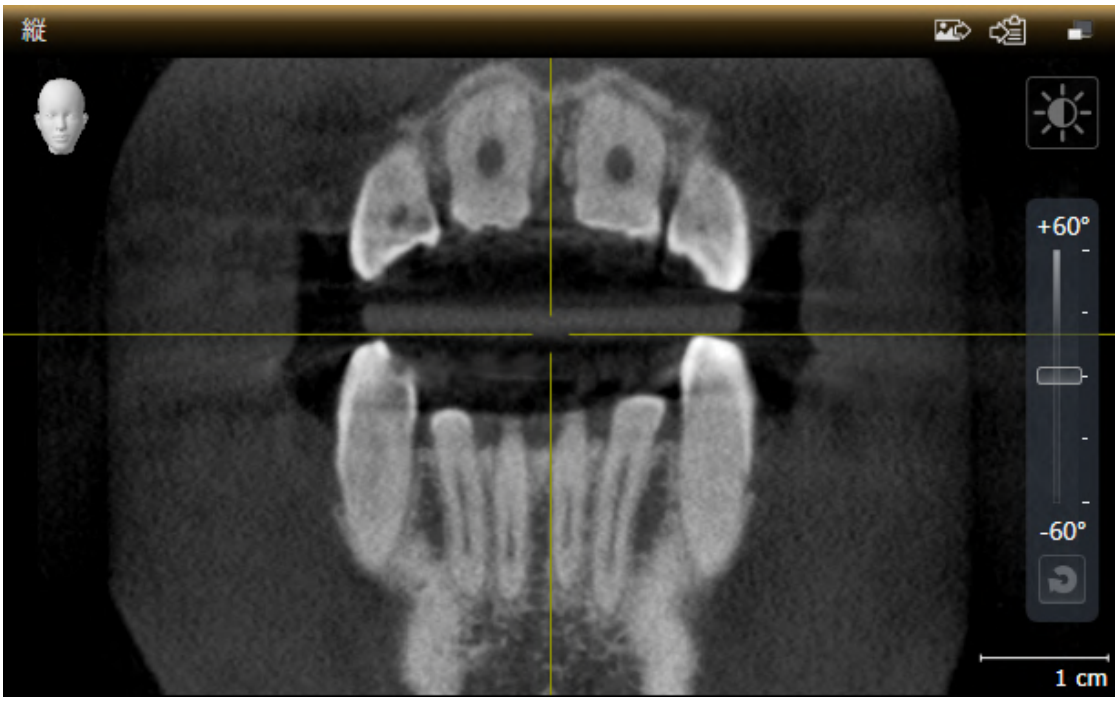
ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。



2. 希望のビューをクリックします。

► SICAT Endoがビューを有効にします。



アクティブなビューは、タイトルバーがオレンジ色になりますので、それとわかります。

22.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*。

☑ 希望のビューは最大化していません。

1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endo がビューを最大化します。

2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endo では、ビューが元のサイズに戻ります。

ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

22.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. 2Dビューの**画像のツールバー**に**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。

2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。

3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

   ▶ SICAT Endo では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Endo は2Dビューの現在の輝度を保持します。

5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。

6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

   ▶ SICAT Endo では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Endo は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

► **輝度およびコントラストの調整** の透明なウィンドウが閉じます。

2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。

全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

22.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズーミングするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
   ▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。

▶ ビューがズームアウトします。

上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
   ▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。

▶ SICAT Endo では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

22.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
   ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
   ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
   ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

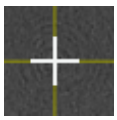
22.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
   ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスを動かします。
   ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
   ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo では、十字線が移動後の位置を維持します。

> 十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. **ワークスペースのツールバー** で、**十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
   ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューででフレームが隠れます。

2. **十字線とフレームを表示する**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
   ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューでフレームが表示されます。

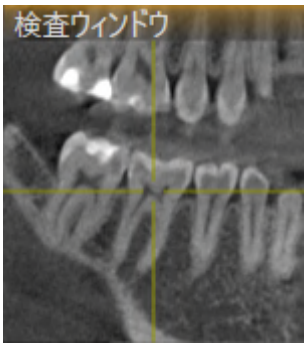
22.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークスペース**パノラマ**またはワークスペース**口腔内撮影画像**は、すでに開いています。この切替に関する内容は、*アクティブなワークスペースの切り替え [▶ページ 80 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さずに表示しておきます。



1. **パノラマ**ビュー、もしくは**口腔内撮影画像**ビューで、**検査ウィンドウ**のタイトルバーにマウスポインタを重ねます。
   ▶ マウスポインタは手のマークになります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスを動かします。
   ▶ **検査ウィンドウ**は、マウスポインタの動きに追随します。
   ▶ SICAT Endoは別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が移動後の位置を維持します。

ペインワークスペースの検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する

シンボル**検査ウィンドウを設定する**は、同時にステータス表示とスイッチです。

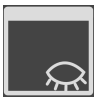
検査ウィンドウを非表示、表示、最大化するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 80 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さず表示しておきます。

1. **画像のツールバー**の**パノラマ**ビューで**検査ウィンドウを設定する**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ SICAT Endoは検査ウィンドウを設定するためのアイコンを表示します。



2. **検査ウィンドウを非表示にする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が非表示になります。

3. **検査ウィンドウを標準サイズで表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が表示されます。

4. **検査ウィンドウの最大化**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoは、検査ウィンドウを最大化します。

口腔内撮影画像ワークスペースで検査ウィンドウを非表示、および表示にする

シンボル**検査ウィンドウを設定する**は、同時にステータス表示とスイッチです。

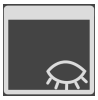
検査ウィンドウを非表示、および表示するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **口腔内撮影画像**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 80 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さず表示しておきます。

1. **画像のツールバー**の**口腔内撮影画像**ビューで、**検査ウィンドウを非表示にする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が非表示になります。

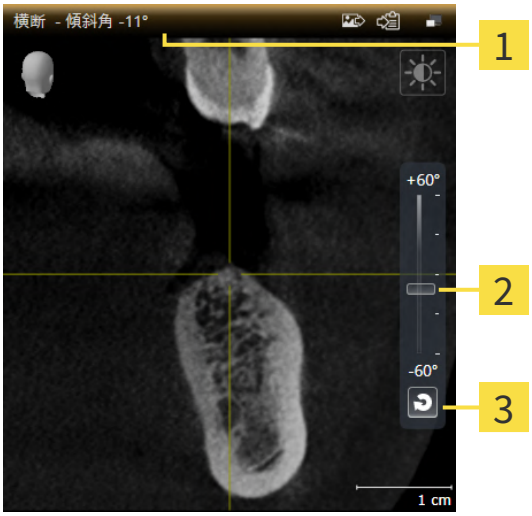


2. **画像のツールバー**の**口腔内撮影画像**ビューで、**検査ウィンドウを標準サイズで表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が表示されます。

22.9 ビューの傾斜

パノラマワークスペースで**縦**ビュー、および**横断**を傾けることができます。これにより、特定の解剖学的構造 (歯など) または計画オブジェクトを表示するために、両方のビューで配置を最適化することができます。



1 現在設定されている傾斜

2 傾きを調整するためのスライダー

3 **傾斜をリセットする**のボタン

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 80 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **縦**ビュー、もしくは**横断**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- 傾斜を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する傾斜まで上下に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**アップ**と**ダウン**することにより、傾斜を変更することもできます。

▶ SICAT Endoアクティブビューを傾斜させ、現在設定されている傾斜をアクティブビューのタイトルバーに表示します。

▶ SICAT Endoは**縦**もしくは**横断**ビュー内の十字線を更新します。

▶ SICAT Endoは**3D**ビュー内の対応するフレームを傾けます。

傾斜をリセットするのボタンをクリックすることにより、傾斜を0°に戻すことができます。

22.10 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- **ワークスペースのツールバー**で、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。

► SICAT Endoでは、すべてのビューで、ズーミング、トリミング部分の移動、スクロール、十字線の移動、**検査ウィンドウ**の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。

► SICAT Endoでは、**3D**ビューで視線方向がデフォルト値に復元されます。

► SICAT Endoはビューの傾きを0°にリセットします。

22.11 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- SIDEXIS 4の出力ページに追加する
- Windowsのクリップボードにコピーする

ビューのスクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加します

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをSIDEXIS 4の出力ページに追加する**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoでは、ビューのスクリーンショットがSIDEXIS 4の出力ページに追加されます。

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl＋C）**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl＋V」を使用します。

23 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、*3Dビューで視線方向を変更する [▶ページ 101 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

3Dビューの構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- *3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 103 - SIDEXIS 4]*
- *3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する [▶ページ 104 - SIDEXIS 4]*
- *3Dビューを回転させる [▶ページ 175 - SIDEXIS 4]*
- *光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ページ 107 - SIDEXIS 4]*

23.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向を変更するには2つの方法があります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向をインタラクティブ方式により変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを**3D**ビューに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
   ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **3D**ビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
   ▶ **目線**の透明なウィンドウが開きます。

   ▶ **目線**の透明なウィンドウ中央部でオリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

► **3D**ビューの視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。

3. マウスポインタを、**目線**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

► **目線**の透明なウィンドウが閉じます。

3Dビューの視線方向を変更するために、**3D**ビューを回転させることもできます。これに関する情報は*3Dビューを回転する [▶ページ 175 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

23.2 3Dビューの表示タイプを切り替える

> いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**で、 **表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。

2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endo は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える** の透明なウィンドウが閉じます。

23.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する

> **アクティブな表示モードを設定する**のアイコンを表示する表示タイプは、構成設定が可能なものに限られています。**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウで表示される設定内容は、 選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 103 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**の**アクティブな表示モードを設定する**アイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが開きます。

2. 希望のスライダーを動かします。

   ▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

3. 表示があれば、**詳細設定**の横にある矢印アイコンをクリックします。

   ▶ **詳細設定**エリアが開きます。

4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。

   ▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューに対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。

5. 希望のスライダーを動かします。

   ▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

6. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

► **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが閉じます。

現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。

現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

23.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**の**切り抜きモードを切り替える**アイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。

2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoは任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

23.5 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする

光学印象は、カラーの光学印象を以前にインポートしており、カラー表示が有効になっている場合は、**3D**ビューで自動的にカラーで表示されます。

形状とジオメトリの正確な認識だけが重要な場合は、光学印象のカラー表示をモノクロ表示に切り替えることができます。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 86 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオフにする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoはカラー表示をモノクロ表示に切り替えます。

2. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオンにする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoはモノクロ表示をカラー表示に切り替えます。

24 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する

ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部を場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

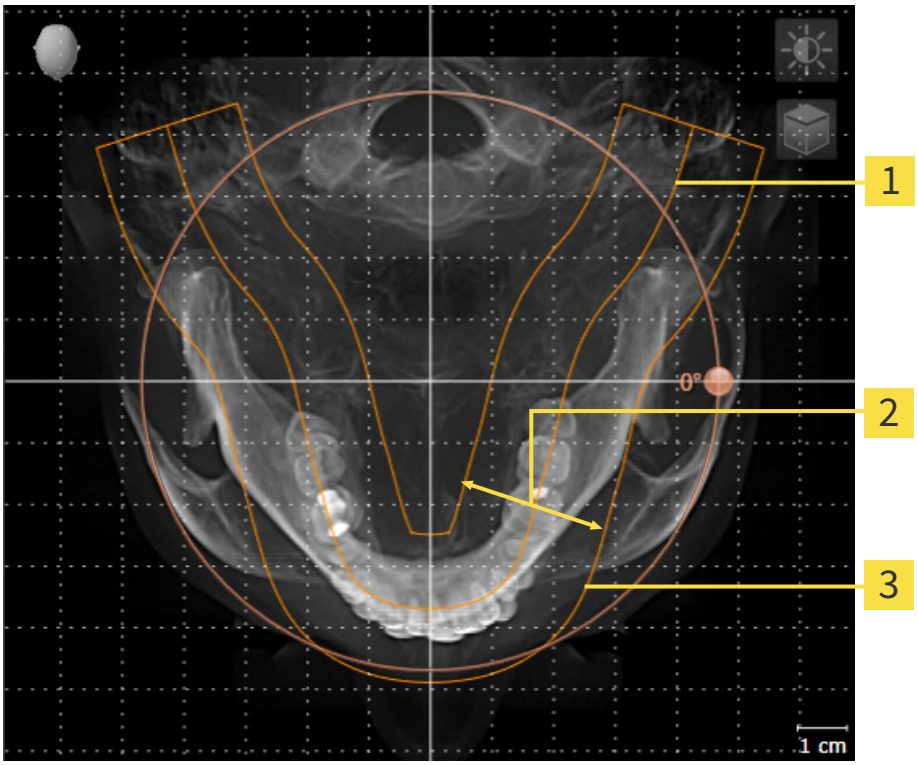
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- **パノラマ**ビューの最適化

音量調整をSICAT Endoに合わせると、SICAT Endoは現在開いている計画の設定を引き継ぎます。

ボリュームの配置を調整する手順は、*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 111 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

パノラマ エリア

SICAT Endoでは、ボリュームとパノラマ エリアをベースとして計算を行い、**パノラマ**ビューを出力します。**パノラマ**ビューを最適化するには、パノラマ エリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



1 パノラマ曲線

2 厚さ

3 パノラマ エリア

パノラマ エリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマ エリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマ エリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマ エリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマ エリアは、できるだけ薄くしてください。

パノラマ エリアをSICAT Endoに合わせると、SICAT Endoは現在開いている計画の設定を転送します。

パノラマ エリアを調整する手順は、*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

SIDEXIS 4からのデータの転送

SICAT EndoはSIDEXIS 4からボリュームの配置とパノラマ エリアを、最初にボリュームをSICAT Endoで開くときに転送します。この同期では、以下の制約があります。

- SICAT Endoはボリュームの配置で、回転が可能な角度は、最大30°までに限定されています。
- SICAT Endoがサポートするのは、SIDEXIS 4の標準パノラマ歯列弓のみです。SIDEXIS 4の各点をそれぞれで移動させることはできません。
- SICAT Endoがサポートするパノラマ エリアは、幅が10 mm以上のものに限ります。
- SICAT Endoがサポートするパノラマ歯列弓は、SIDEXIS 4で回転させていないものに限ります。

上記の制約のうち、1項目でもサポート範囲外に該当するものがあれば、SICAT Endoはボリュームの配置とパノラマ エリア、または、パノラマ エリア単独のいずれかについては、転送しません。

SICAT Endoでは、この場合に、その時点の3D X線撮影画像に関する情報の横に、お知らせアイコンを表示します。マウスポインタをお知らせアイコンの上に移動すると、次のお知らせが表示されます。

- 受け入れられない設定とデータ。
- 操作説明書には、SICAT Endoでの設定方法が記載されています。

24.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関する一般的な情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*に記載されています。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

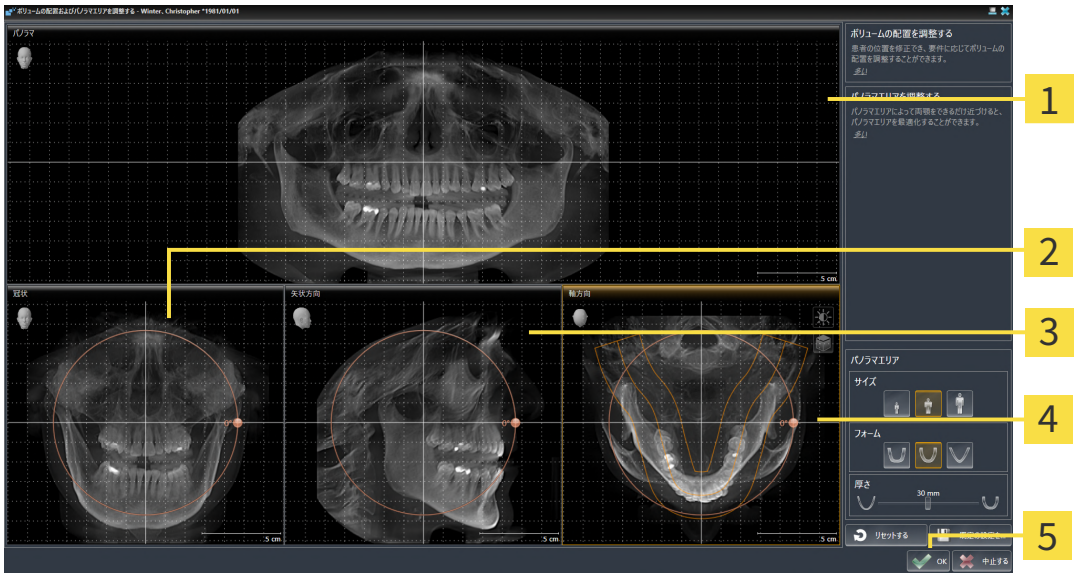
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウを開く
- **冠状**ビューでボリュームを回す
- **矢状方向**ビューでボリュームを回す
- **軸方向**ビューでボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します**のアイコンをクリックします。

▶ **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウが開きます。



1 **パノラマ**ビュー

2 **冠状**ビューと**回転**スライダー

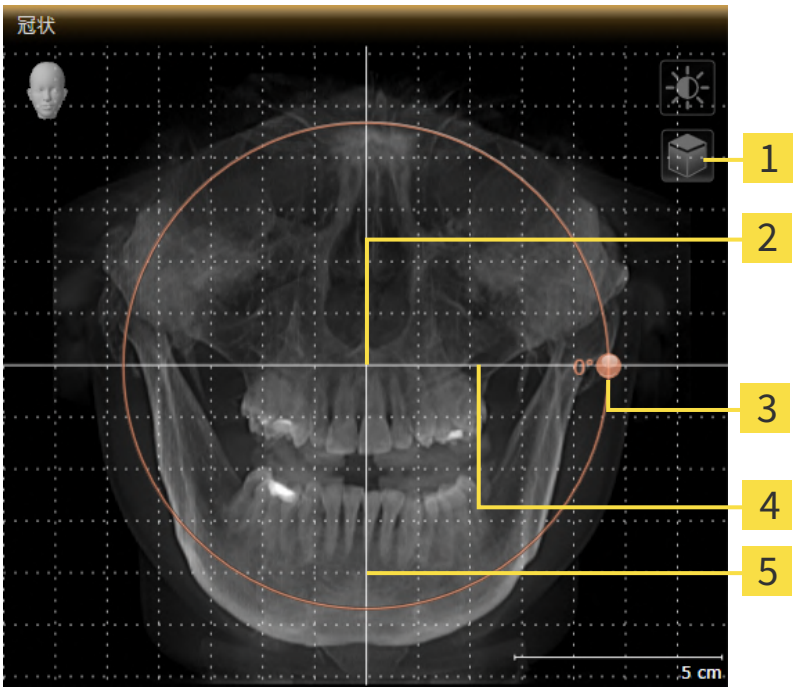
3 **矢状方向**ビューと**回転**スライダー

4 **軸方向**ビューと**回転**スライダー

5 **OK**のボタン

冠状ビューでボリュームを回す

1. **冠状**ビューを有効にします。

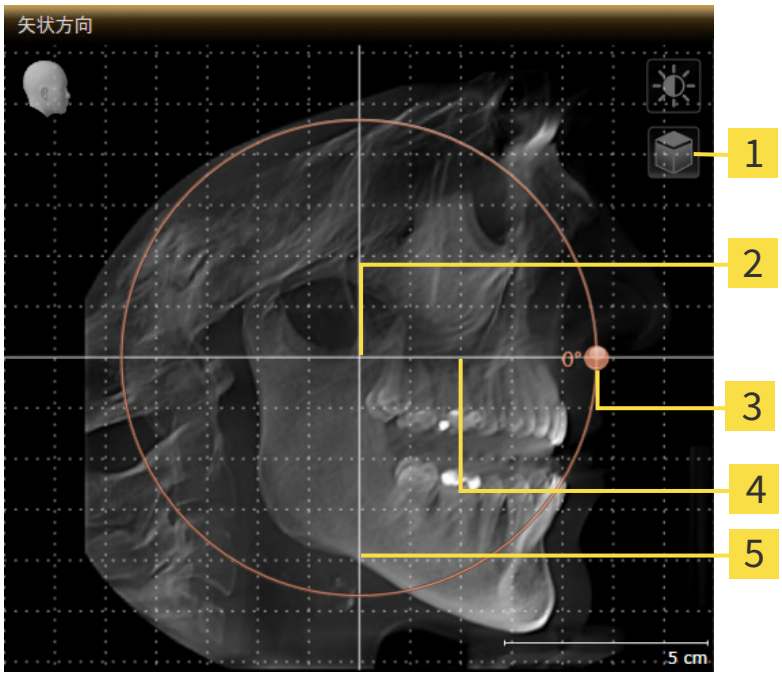


1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	水平基準線
2	回転中心	5	垂直基準線
3	**回転**スライダー		

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。
3. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。
   ▶ SICAT Endoでは、**冠状**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリュームを回す

1. **矢状方向**ビューを有効にします。

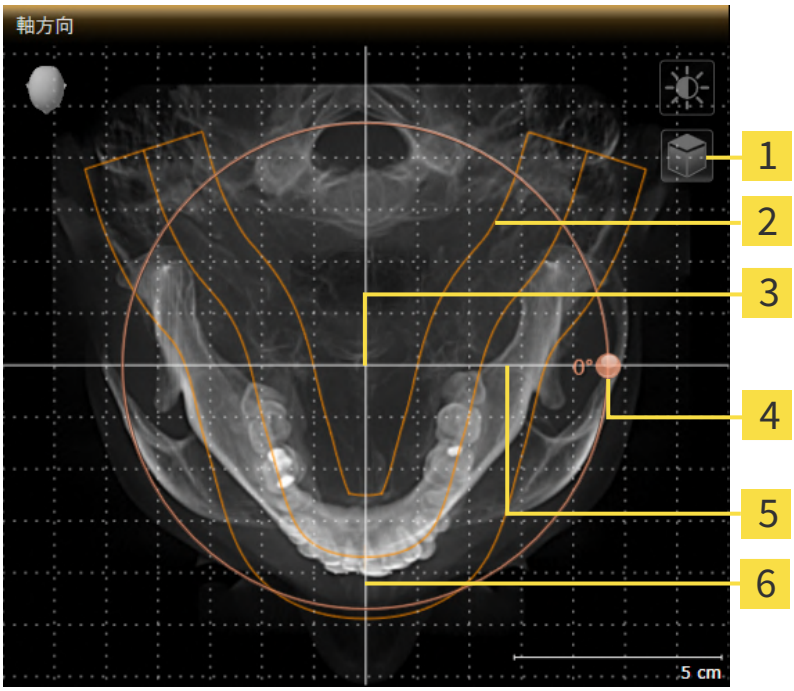


1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン
2	回転中心
3	**回転**スライダー
4	水平基準線
5	垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。
3. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。
   ▶ SICAT Endoでは、**矢状方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向**ビューを有効にします。



1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	**回転**スライダー
2	パノラマ エリア	5	水平基準線
3	回転中心	6	垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

3. その必要があれば、パノラマ エリアの移動は、**軸方向**ビューで行います。このときは、パノラマ エリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Endoでは、パノラマ エリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。

4. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

6. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。

   ▶ SICAT Endoでは、**軸方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

7. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマ エリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

8. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

   ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICAT Endoに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Endoで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。

9. それでもなお、ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。

▶ SICAT Endoは調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 89 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- ビューでズーミングすることができます。SICAT Endoは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマ エリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

24.2 パノラマ エリアを調整する

パノラマ エリアに関する一般的な情報は、*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

パノラマ エリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

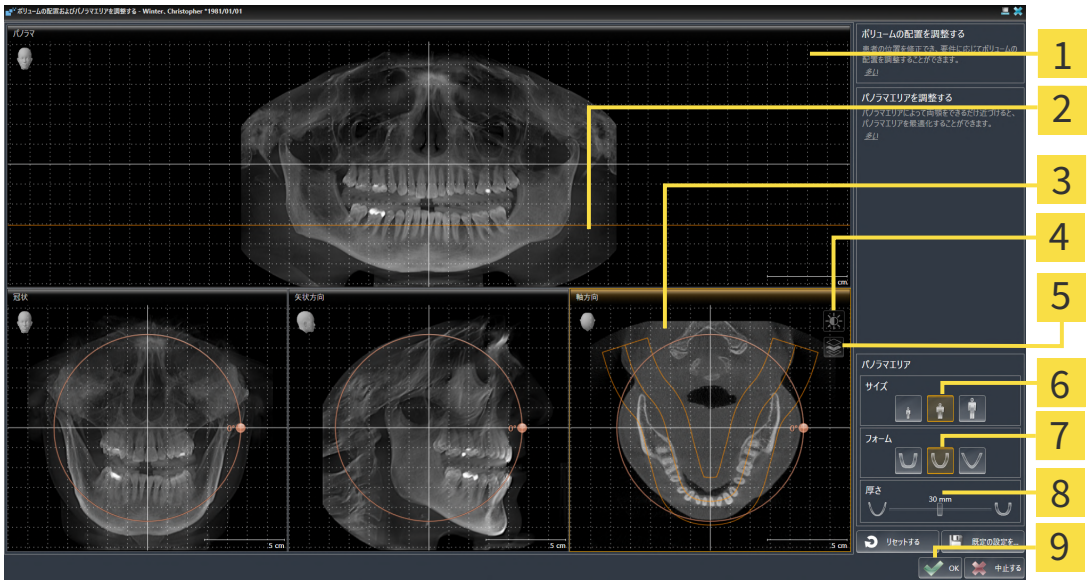
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウを開く
- **軸方向**ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマ エリアを移動する
- **軸方向**ビューでボリュームを回す
- **サイズ**、**フォーム**および**厚さ**のパノラマ エリアを調整する

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します**のアイコンをクリックします。

▶ **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウが開きます。



1 **パノラマ**ビュー

2 軸方向基準線

3 **軸方向**ビューと**回転**スライダー

4 **輝度およびコントラストの調整**アイコン

5 **投影モードをアクティブにする**アイコンまたは**レイヤーモードをアクティブにする**アイコン

6 **サイズ**のボタン

7 **フォーム**のボタン

8 **厚さ**スライダー

9 **OK**のボタン

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する

1. **軸方向**ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。投影モードが有効になっている場合は、**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックします。
2. **パノラマ**ビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、**軸方向**ビューの現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
   ▶ **軸方向**ビューのレイヤーは、**パノラマ**ビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ **軸方向**ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマ エリアを移動する

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタをパノラマ エリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
   ▶ SICAT Endo では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマ エリアの調整が行われます。
4. パノラマ エリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ パノラマ エリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタを**回転**調整つまみに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**調節つまみを移動させます。
   ▶ SICAT Endo では、**軸方向**ビューで、回転調整つまみに合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマ エリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマ エリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する

1. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

2. パノラマ エリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。

3. パノラマ エリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。

4. パノラマ エリアの**厚さ**を選択は、**厚さ**のスライダー位置を移動させて行います。パノラマ エリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。
5. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

► パノラマ エリアを調整すると、それがSICAT Endoに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Endoで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。

6. それでもなお、パノラマ エリアの調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。

► SICAT Endoでは、ボリュームの配置とパノラマ エリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、 **パノラマ**ビューは、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [► ページ 89 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- ビューでズーミングすることができます。SICAT Endoは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマ エリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

25 光学印象

光学印象は、Dentsply Sirona 3D X線機器で作成したX線データにのみインポートおよび記録することができます。

同じ患者について、SICAT Endoは3D X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を重ね合わせることが (記録することが) できます。表示の重ね合わせは、計画および実施のための追加情報を提供します。これにより、光学印象に基づいて治療を実施することができます。

光学印象を使用するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. 以下のインポートルートによる光学印象のインポート。
   - *Hubから光学印象をダウンロードする [▶ページ 123 - SIDEXIS 4]*
   - *ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 127 - SIDEXIS 4]*
   - *SIDEXIS 4から光学印象を転送する [▶ページ 130 - SIDEXIS 4]*
   - *SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する [▶ページ 132 - SIDEXIS 4]*
2. 3D X線データによる光学印象の記録 (重ね合わせ)。 *光学印象の記録と確認 [▶ページ 134 - SIDEXIS 4]*

SICATアプリケーションからの光学印象を再利用する場合、記録は必要ありません。

SICAT Endoは、次の光学印象用ファイル形式に対応しています。

- SIXD上顎または下顎の光学印象を含むデータセット (少なくとも顎弓の75%)。SIXDフォーマットをサポートするCERECシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- SSI上顎または下顎の光学印象を含むデータセット (少なくとも顎弓の75%)。SIXDフォーマットをサポート**していない**CERECシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- STL上顎、**または**下顎の光学印象を含むデータセット* (少なくとも顎弓の75%)。STLフォーマットをサポートする他のCAD/CAMシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。

*STLデータセットには、有効になっている**SICAT Suite STLインポート**ライセンスが必要です。さらに、インポートするための追加の手順に従う必要があります。これに関する情報は*STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ 129 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

次のアクションは光学印象に使用することができます。

- 光学印象を有効化、非表示、および表示する。*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68 - SIDEXIS 4]*
- 光学印象に焦点を合わせて削除する。*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 70 - SIDEXIS 4]*
- カラーの光学印象の表示を設定する。*光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ページ 107 - SIDEXIS 4]*

25.1 光学印象をインポートする

⚠ **注意**

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。

⚠ **注意**

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。

⚠ **注意**

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。

⚠ **注意**

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

25.1.1 HUBから光学印象をダウンロードする

光学印象をHubからSIXDフォーマットでダウンロードし、SICAT Endoにインポートできます。

☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報は*Hub接続状態を表示する [▶ページ 222 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 47 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

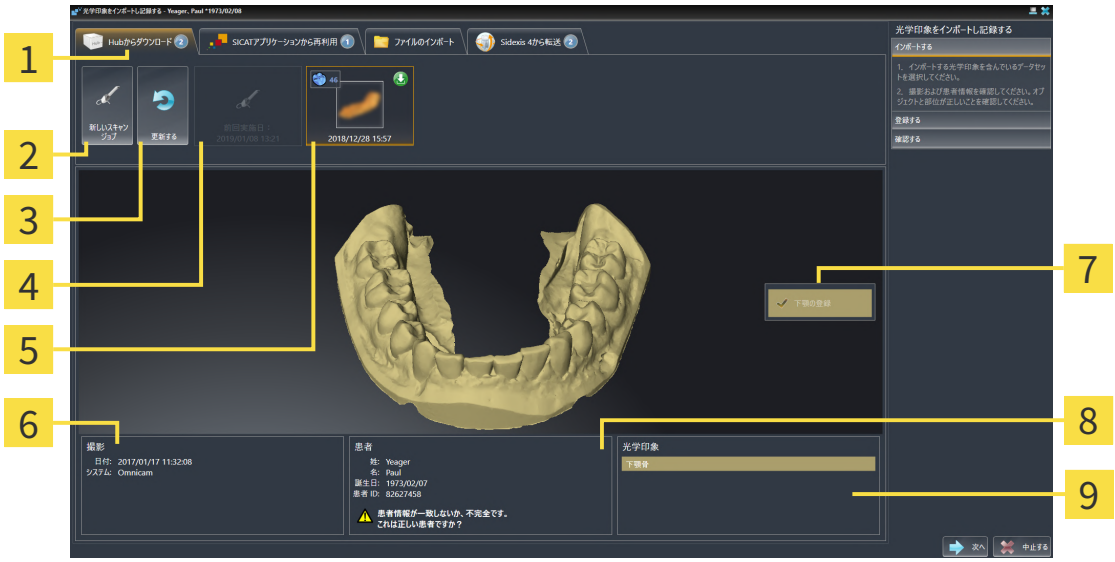
☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoは、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を**インポートする**ステップで開きます。

2. **Hubからダウンロード**のタブをクリックします。

   ▶ SICAT Endo保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。



1	**Hubからダウンロード**タブ	6	撮影図情報
2	**新しいスキャンジョブ**のボタン	7	記録の選択
3	**更新する**のボタン	8	患者情報
4	ステータス付きのスキャンジョブ。 は保留中 は、まだダウンロードされていません	9	**光学印象**エリア
5	ステータス付きの使用できる光学印象。 は、まだダウンロードされていません は、ダウンロード済みです		

3. 希望する光学印象をクリックしてください。
   ▶ SICAT Endoは、印象がまだダウンロードされていない場合は、光学印象をダウンロードします。印象がダウンロードされると、 SICAT Endoは印象を**3D**ビューで表示します。
   ▶ 上顎または下顎は、記録のために事前に選択されています。
4. 記録の選択を確認してください。
5. 撮影画像情報と患者情報が一致するか確認してください。
6. 正しい顎が**光学印象**エリアで表示されるか確認します。
7. **次へ**をクリックします。
   ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Endoが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。

8. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。
   ▶ **登録する**ステップが光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 134 - SIDEXIS 4]*セクションの手順に従ってください。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

- 希望する光学印象が表示されない場合は、**更新する**のボタンをクリックして概要を更新できます。また、Hubに光学印象を記録するジョブを送ることができます。これに関する情報は*光学印象のスキャンジョブを作成する [▶ページ 126 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- デフォルトでは、Hubへの接続は切断されています。接続状況に関する情報は、*Hub接続状態を表示する [▶ページ 222 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- Hubを使用するための適切なライセンスを有効にしていれば、Hubを使用できます。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 47 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

25.1.1.1 光学印象のスキャンジョブを作成する

Hubに光学印象をスキャンするジョブを送ることができます。

☑ SIDEXIS 4はHubに接続しました。これに関する情報は*Hub接続状態を表示する [▶ページ 222 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 47 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **Hubからダウンロード**のタブをクリックします。
   ▶ SICAT Endo保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。

3. **新しいスキャンジョブ**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは、**新しいスキャンジョブ**ウィンドウを表示します。スキャンジョブの情報を指定できます。

4. 医師を選択します。

5. **スキャン領域を決定します。**上顎および/または下顎のボックスを有効にします。

6. 必要に応じて、例えば、スキャンの指示といった追加情報を入力してください。

7. スキャンジョブをHubに送信するには、**スキャンジョブの作成**をクリックし、照会を**OK**で確定します。

▶ SICAT EndoはスキャンジョブをHubに送信し、保留中のスキャンジョブを**Hubからダウンロード**タブに アイコンで表示します。

▶ CERECでスキャンジョブを編集し、CERECで光学印象を記録できます。

25.1.2 ファイルから光学印象をインポートする

光学印象付きの1つ以上のファイルをインポートできます。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。
2. **ファイルのインポート**のタブをクリックします。

1	**ファイルのインポート**タブ	4	記録の選択
2	撮影図情報	5	患者情報
3	**検索する**のボタン	6	**光学印象**エリア

3. **検索する**のボタンをクリックします。
4. **ファイルを光学印象で開く**ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。
   ▶ SICAT Endoは、選択したファイルを開きます。
5. **STLファイルで顎の割り当てと向きを指定します。**上顎または下顎の光学印象付きのSTLファイルを選択すると、顎の割り当てと向きを調整できることにより、SICAT Endoがウィンドウを1つ開きます。*STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ 129 - SIDEXIS 4]*の手順に従ってください。続いて、次のステップに進んでください。
   ▶ 上顎または下顎は、記録のために事前に選択されています。
6. 記録の選択を確認してください。
7. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

8. 顎を**光学印象**エリアで確認します。

9. **次へ**をクリックします。

   ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Endoが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。

10. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。

    ▶ **登録する**ステップが光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 134 - SIDEXIS 4]*セクションの手順に従ってください。

	これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

25.1.2.1 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向きを必要に応じて調整する必要があります。

☑ **SICAT Suite STL Import**ライセンスは既に有効化済みです。

1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報は*ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 127 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

   ▶ ウィンドウ**STL Import-Assistent**が開きます。

1 顎の選択

2 向きの変更

3 内側と外側の交換

2. **顎**エリアで光学印象が**上顎骨**か**下顎骨**のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。

3. 大まかな事前配置のために、**方向**エリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックすることで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。

4. **パラメータ**エリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。

5. **OK**のボタンをクリックします。

6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Endoは、2つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。

   ▶ SICAT Endoは、インポートした光学印象を**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能に表示します。

7. 光学印象のインポートに進みます。これに関する情報は*ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 127 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

25.1.3 SIDEXIS 4から光学印象を転送する

SIDEXIS 4にインポートされていて、すでに使用されているSTL形式の光学印象をSIDEXIS 4からSICAT Endoに転送できます。

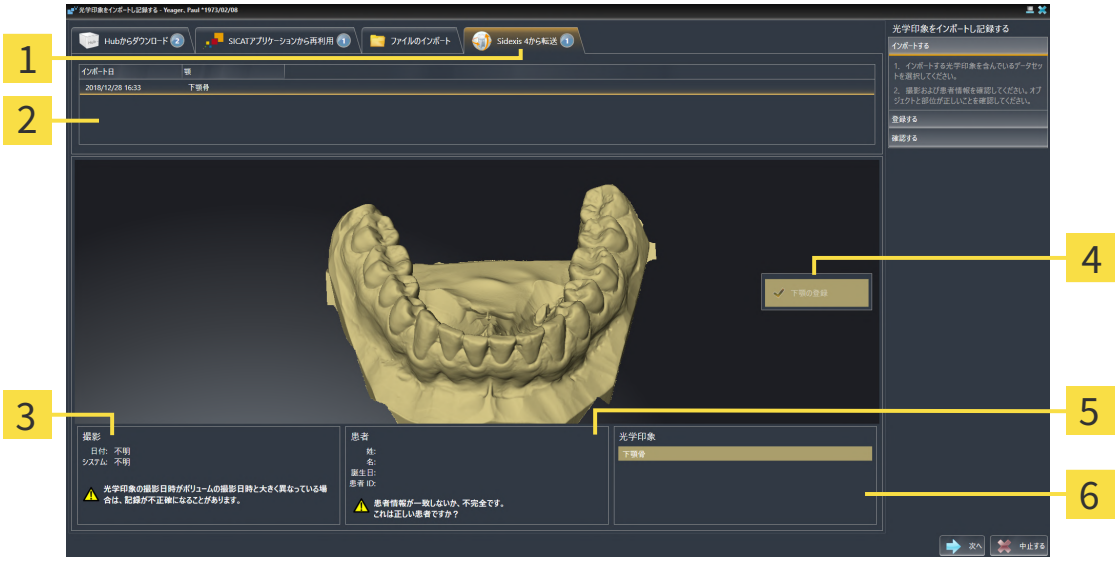
☑ 開いているスタディ用にSIDEXIS 4で、まだSICAT Endoで使用していない1つの顎の光学印象を使用します。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **Sidexis 4から転送**のタブをクリックします。タブは、少なくとも1つのSIDEXIS 4の光学印象がSICAT Endoの計画に適している場合にのみ表示されます。

3. 上のエリアにある転送したい複数の光学印象のラインをクリックします。
   ▶ SICAT Endoに選択した光学印象が表示されます。



1	**Sidexis 4から転送**タブ	4	記録の選択
2	光学印象の一覧	5	患者情報
3	撮影図情報	6	**光学印象**エリア

4. 記録の選択を確認してください。

5. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

6. 顎を**光学印象**エリアで確認します。

7. **次へ**をクリックします。

► **登録する**ステップが光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 134 - SIDEXIS 4]*セクションの手順に従ってください。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

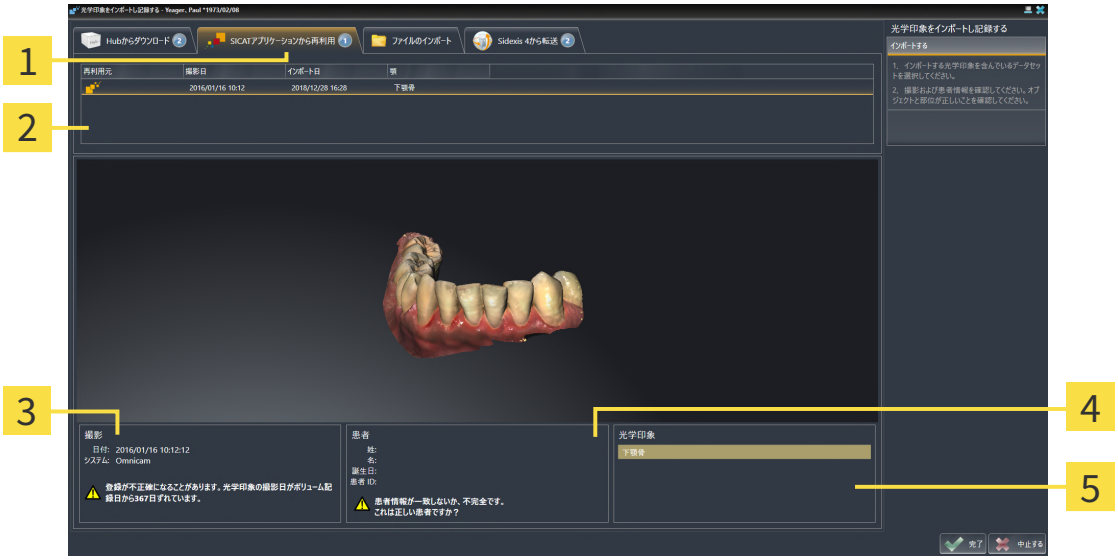
25.1.4 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する

SICATアプリケーションから光学印象を再利用することができます。

☑ 開いているスタディのために、SICAT Endoでまだ使用していない、適合する光学印象をSICATアプリケーションにすでにインポートしました。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。
2. **SICATアプリケーションから再利用**のタブをクリックします。
3. 上のエリアにある再利用したい光学印象のラインをクリックします。
   ▶ SICAT Endoに選択した光学印象が表示されます。



1 **SICATアプリケーションから再利用**タブ
2 再利用可能な光学印象の一覧
3 撮影図情報
4 患者情報
5 **光学印象**エリア

4. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。
5. 顎を**光学印象**エリアで確認します。
6. **完了**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Endoは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。

▶ SICAT Endoは選択した光学印象を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

▶ SICAT Endoは選択した光学印象を表示します。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

25.2 光学印象の記録と確認

⚠ **注意**

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

⚠ **注意**

過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ **注意**

互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

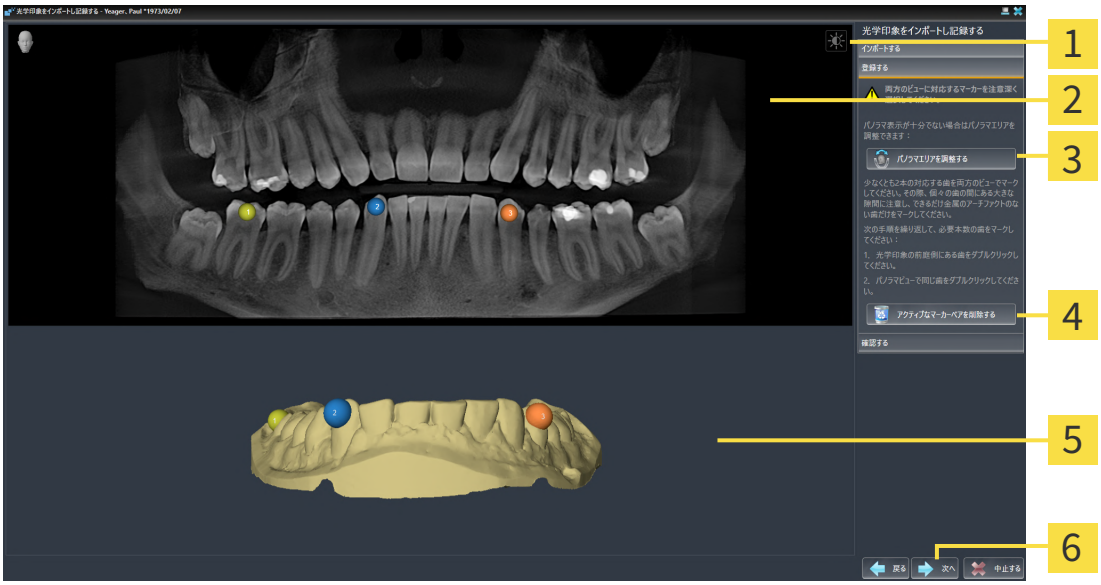
光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

カラー光学印象は**インポートする**ステップで、3Dプレビューに自動的にカラーで表示されます。**登録する**ステップ、および**確認する**ステップでは、カラーの光学印象はモノクロで表示され、形状とジオメトリをより正確に確認できます。

光学印象を記録および確認するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**登録する**ステップで開いています。



1 **輝度およびコントラストの調整**アイコン	4 **アクティブなマーカーペアを削除する**のボタン
2 **パノラマ**ビュー	5 **3D**ビューは、最初の光学印象を表示します
3 **パノラマ エリアを調整する**のボタン	6 **次へ**のボタン

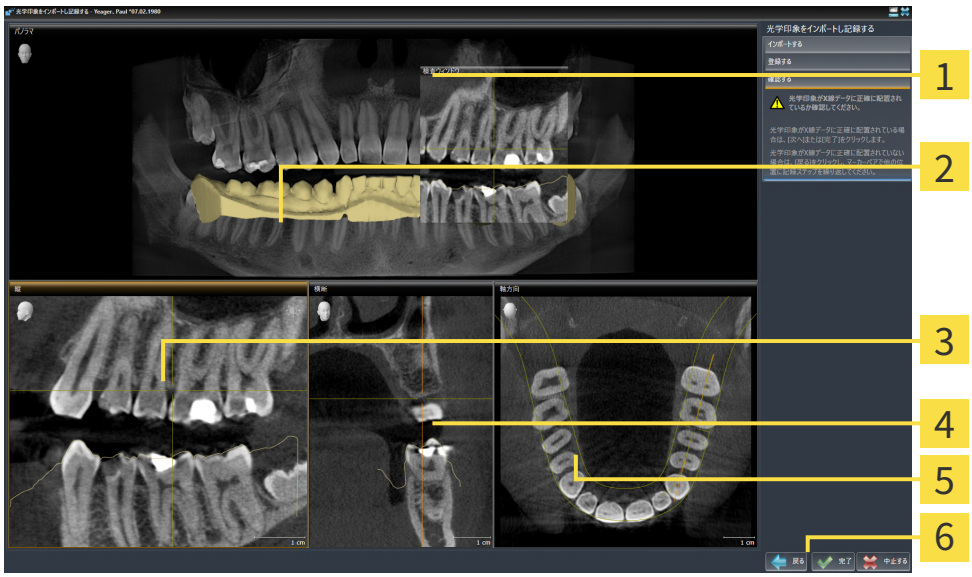
1. **パノラマ**ビューと**3D**ビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間にある大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が**2本**以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。

   ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。

2. **次へ**をクリックします。

   ▶ SICAT Endoは、X線データによる光学印象の記録を計算します。

▶ **確認する**のステップが開きます。



1 **パノラマ**ビュー	4 **横断**ビュー
2 **検査ウィンドウ**	5 **軸方向**ビュー
3 **縦**ビュー	6 **完了**のボタン

3. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dビューを確認してください。レイヤーを**各レイヤービュー**でスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。
4. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る**のボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで**登録する**の手順を繰り返します。
5. 光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Endoは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。

▶ SICAT Endoは選択した光学印象を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

▶ SICAT Endoに記録されている光学印象が表示されます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能で使用できます。

- **輝度およびコントラストの調整**アイコンをクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 89 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- パノラマ エリアは、**パノラマ エリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **登録する**で特定のマーカーペアを削除する場合、両方のビューでペアのマーカーをマウスクリックで選択し、**アクティブなマーカーペアを削除する**のボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

26 口腔内撮影画像

⚠ 注意	**医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違った診断と治療結果につながるおそれがあります。** 医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。
⚠ 注意	**口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。
⚠ 注意	**3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。
⚠ 注意	**患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合には、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 口腔内撮影画像の患者と3D X線画像画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。
⚠ 注意	**口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。** 必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。
⚠ 注意	**口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。
⚠ 注意	**口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。

⚠
注意

3D X線撮影画像に対して向きが間違った口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。

⚠
注意

歯の番号の割り当てが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

SICAT Endoを診断の準備および治療計画に口腔内撮影画像を使用することができます。口腔内撮影画像は、**X線撮影マネージャ**ウィンドウにおいてインポートおよび管理を行うことができます。

口腔内撮影画像を SICAT Endoで使用するには、次の操作が必要となります。

- 口腔内撮影画像を含むDICOMファイルのインポート
- 歯の番号の口腔内撮影画像への割り当て
- 口腔内撮影画像の登録

SICAT Endo 口腔内撮影画像の次のファイル形式をサポートします。

- シングルフレームファイルであるDICOMデータ

互換性のある撮影システムの一覧は、*互換性のある口腔内撮影用センサー [▶ページ 140 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

口腔内撮影には次の操作が利用できます。

- *口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 141 - SIDEXIS 4]*
- *口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ページ 146 - SIDEXIS 4]*
- *口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 148 - SIDEXIS 4]*

26.1 互換性のある口腔内撮影用センサー

SICAT Endo 以下の口腔内撮影用センサーをサポートしています。

- XIOS XG Supreme、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS XG Select、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS Plus、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- Schick 33、製造元:Sirona Dental Inc.、米国
- Schick Elite、製造元:Sirona Dental Inc.、米国

26.2 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます

口腔内撮影画像に関する一般的な情報は、*口腔内撮影画像 [▶ページ 138 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

以下の手順で、口腔内撮影画像をインポートし、1本または複数の歯を割り当てます。

☑ ワークフロー・ステップの**準備**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

☑ 口腔内撮影画像は、SICAT Endoにまだありません。口腔内撮影画像は1回のみインポートすることができます。

☑ 口腔内撮影画像は、シングルフレームフォーマットのDICOMファイルとして利用できます。

☑ 口腔内撮影画像は、互換性のある口腔内撮影装置を使用して作成されました。これに関する情報は、*互換性のある口腔内撮影用センサー [▶ページ 140 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

1. **口腔内撮影画像の管理・登録中**のアイコンをクリックしてください。

   ▶ **X線撮影マネージャ** のウィンドウが開きます。

2. **検索する**のボタンをクリックしてください。

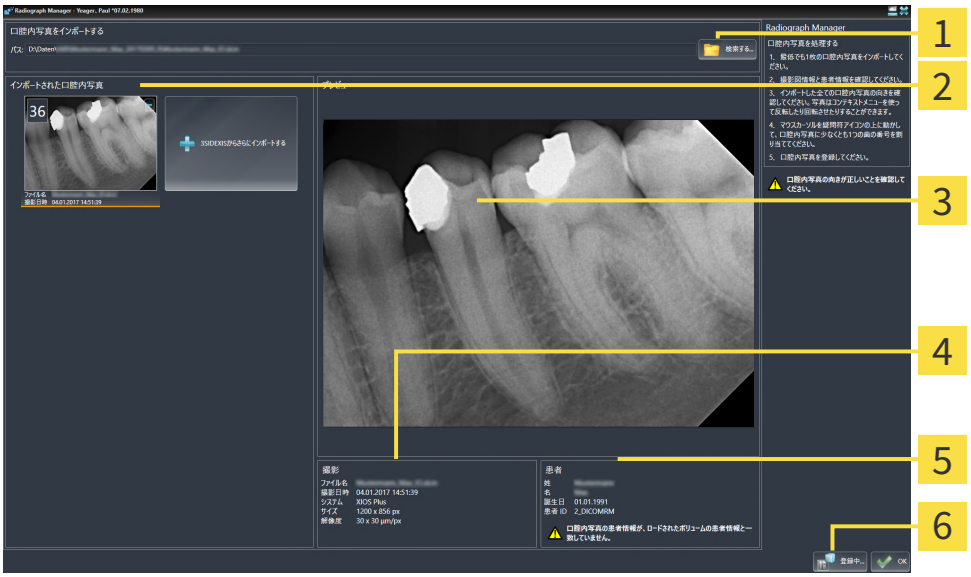
   ▶ **口腔内撮影画像を開く** のウィンドウが開きます。

3. **口腔内撮影画像を開く**ウィンドウの希望する口腔内撮影画像に移動し、ファイルを1つ以上選択してください。**Ctrl**キーを押しながら複数のファイルを続けて選択することで、複数のファイルを同時にインポートすることができます。

4. **開く**をクリックします。

   ▶ **口腔内撮影画像を開く**ウイドウが閉じます。

► SICAT Endo はインポートされた口腔内撮影画像を示します。



1	ボタン **検索する**	4	**患者情報**
2	エリア **インポートされた口腔内撮影画像**	5	**撮影図情報**
3	エリア **プレビュー**	6	ボタン **登録中**

5. インポートされた口腔内撮影画像を選択するには、画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをクリックしてください。

   ► SICAT Endo は**プレビュー**のエリアに選択された画像を表示します。

6. 患者に関する情報と、撮影画像に関する情報を確認してください。撮影画像と患者が一致しており、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の撮影日が90日以上離れていないことを確認してください。

7. 口腔内撮影画像が実際の歯の配置に対し正しい向きになっていることを確認してください。

8. インポートされた口腔内撮影画像が、実際の歯の配置に対し正しくアラインメントされていない場合は、撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**エリアを右クリックし、コンテキストメニューから**左右反転**、**垂直に反転させる**、**反時計回りに回転する**もしくは**時計回りに回転する**のうちいずれかの項目を選択してください。

   ► SICAT Endo は撮影画像を水平または垂直方向に反転します。

   ► SICAT Endo は撮影画像を左または右に90度のステップで回転します。

9. 撮影画像のクエスチョンマークにマウスポインタを重ねます。

► **歯の番号** のウィンドウが開きます。

10. 実際の歯の配置に対し正しい歯の番号に続けてクリックすることにより、撮影画像を最大4つの歯の番号に割り当ててください。

11. **歯の番号**ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの外側にマウスポインタを合わせてください。

► SICAT Endo は**歯の番号**ウインドウを閉じます。

► SICAT Endo は口腔内撮影画像に関連した歯の番号を表示します。

► SICAT Endo X線撮影マネージャを閉じるときに変更内容を保存します。

口腔内撮影画像をSIDEXIS 4にインポートするには、**インポートされた口腔内撮影画像**エリアで、 **さらにSIDEXISからインポートする**ボタンをクリックしてください。ボタン **さらにSIDEXISからインポートする**は、SIDEXIS 4からどれだけの口腔内撮影画像をインポートできるかを示します。

コンテキストメニュー上の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアでは、次の機能を呼び出すことができます。

- **左右反転**
- **垂直に反転させる**
- **反時計回りに回転する**
- **時計回りに回転する**
- **歯の番号**
- **登録中**
- **削除する**

インポートされた口腔内撮影画像を**インポートされた口腔内撮影画像**エリアから削除するには、次の方法があります。

- 撮影画像で**計画プロジェクトから口腔内撮影画像を削除する**のアイコンをクリックしてください。
- 撮影画像上でマウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューで**削除する**の項目を選択してください。
- **インポートされた口腔内撮影画像**エリア内で撮影画像をマーキングし、**Del**ボタンを押してください。

インポートされた口腔内撮影画像を登録するには、次のセクションの手順に従ってください。

- *登録ウィザード [▶ ページ 145 - SIDEXIS 4]*

27 登録ウィザード

登録ウィザードは、口腔内撮影画像の登録に必要な機能を提供します。

登録ウィザードを使用するには、口腔内撮影画像がすでにインポートされており、歯の番号が割り当てられている必要があります。これに関する情報は、*口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 141 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

登録ウィザードでの作業を開始する前に、登録したい口腔内撮影画像を選択する必要があります。

登録ウィザードでは、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にプリアラインメントできます。**3D投影**ビューでは、SICAT Endoが口腔内撮影画像を自動的に登録する前に、アラインメントの微調整を行えます。

登録ウィザードは、次のステップで構成されます。

- *口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ページ 146 - SIDEXIS 4]*
- *口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 148 - SIDEXIS 4]*

パノラマビューにおけるプリポジショニングだけでは不十分な場合は、ステップ**口腔内撮影画像を登録する**において、アライメントを**横断**ビューまたは**軸方向**ビューでも調整することができます。これに関する情報は、*横方向および軸方向のプリアライメントを調整する [▶ページ 151 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

口腔内撮影画像内に、登録の際に問題が発生する可能性があるエリアが含まれている場合には、ステップ**口腔内撮影画像を登録する**において、これらのエリアをマスクで着色することにより、登録の対象から除外することができます。これに関する情報は、*エリアをマスキングする [▶ページ 154 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

27.1 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う

登録ウィザードに関する一般的な情報は、*登録ウィザード [▶ページ 145 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

ステップ**口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う**においては、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にアラインメントして、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の間に可能な限り最適なオーバーレイを実現します。

☑ ワークフロー・ステップの**準備**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

☑ 少なくとも1つの口腔内撮影画像をインポートされ、少なくとも1つの歯の番号が割り当てられています。これに関する情報は、*口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 141 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

1. **口腔内撮影画像の管理・登録中**のアイコンをクリックしてください。

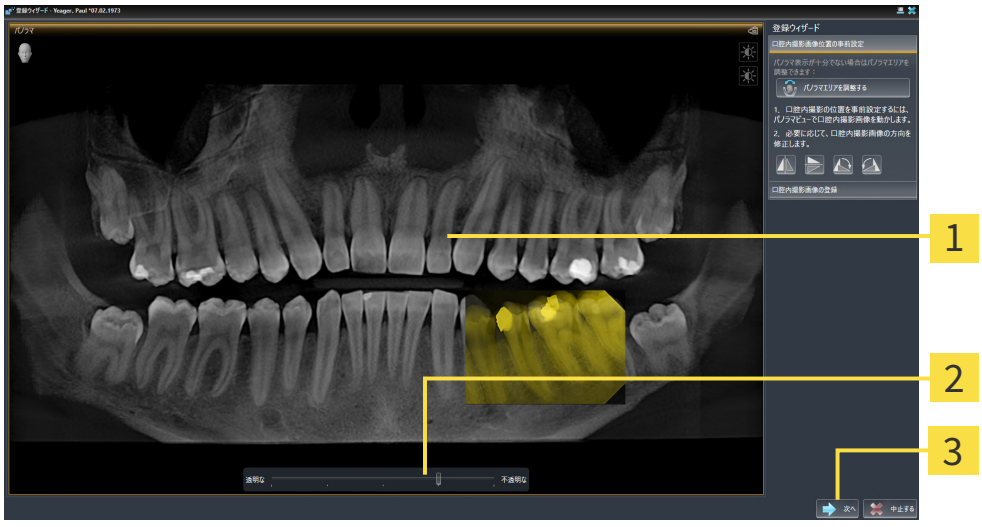
   ▶ **X線撮影マネージャ** のウィンドウが開きます。

2. 口腔内撮影画像を登録のために選択するには、撮影画像の上に左マウスボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo は撮影画像をマークします。

3. **登録中**のボタンをクリックしてください。

   ▶ **口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う**のステップが開きます。



1 ウインドウ **パノラマ**

2 **透明度**スライダー

3 ボタン **次へ**

   ▶ SICAT Endo **パノラマ**ウィンドウにおいて、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上に表示します。

4. 口腔内撮影画像を移動させるには、撮影画像にマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

6. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。

7. マウスの左ボタンを放してください。

   ► SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。

8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の向きを**口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う**エリアにおいて、**左右反転**ボタン、**垂直に反転させる**ボタン、**時計回りに回転する**ボタン、もしくは**反時計回りに回転する**ボタンで調整することができます。

9. 登録の次のステップに移動するには、**次へ**ボタンをクリックしてください。

► **口腔内撮影画像を登録する**のステップが開きます。

口腔内撮影画像の登録を開始するための他の方法としては、次の手順に従うことができます。

- 口腔内撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをダブルクリックしてください。
- 口腔内撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをマーキングし、**Enterキー**を押してください。
- **インポートされた口腔内撮影画像**のエリアで口腔内撮影画像をマウスの右ボタンでクリックし、コンテキストメニューから**登録中**の項目を選択してください。

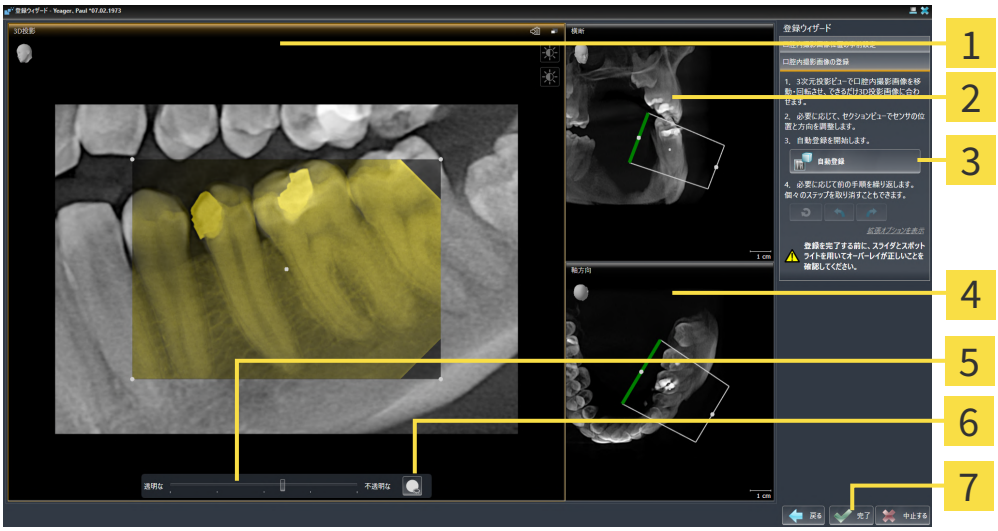
口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。

*口腔内撮影画像を登録する [►ページ 148 - SIDEXIS 4]*を継続してください。

27.2 口腔内撮影画像を登録する

登録ウィザードに関する一般的な情報は、*登録ウィザード [▶ページ 145 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

口腔内撮影画像を登録するステップにおいては、自動登録を実行する前に、口腔内撮影画像の初期位置の微調整を行うことができます。



1 **3D投影**-ビュー

2 **横断**-ビュー

3 ボタン **自動記録**

4 **軸方向**-ビュー

5 **透明度**スライダー

6 ボタン **スポットライト**

7 ボタン **完了**

口腔内撮影画像のオーバーレイを**3D投影**ビューで調整するには、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. **3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを口腔内撮影画像に合わせてください。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。
4. マウスの左ボタンを放してください。
   ▶ SICAT Endo は口腔内撮影画像の現在の回転位置を維持します。
   ▶ SICAT Endo **横断**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。
5. 口腔内撮影画像を回転させるには、**3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを撮影画像の角の確認箇所のいずれかに合わせてください。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
7. 口腔内撮影画像を希望する方向に回してください。
8. マウスの左ボタンを放してください。

► SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。

► SICAT Endo **横断**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

スポットライトをオンそしてオフにする

口腔内撮影画像と3D投影との正しいオーバーレイを確認するには、**3D投影**ビューにおいて、スポットライトを表示させることができます。

1. **スポットライト**ボタンをクリックしてください。
2. マウスポインタをの口腔内撮影画像に合わせてください。

   ► SICAT Endo はスポットライトを示します。
3. 口腔内撮影画像の確認したい箇所にマウスポインタを移動してください。
4. 確認したいすべての箇所でこの手順を繰り返してください。

5. スポットライトを非表示にするには、再度**スポットライト**ボタンをクリックしてください。

► SICAT Endo はスポットライトを非表示にします。

横方向または軸方向のアライメントを調整する

もし**3D投影**ビューにおける口腔内撮影画像のアラインメントだけでは不十分な場合は、さらに**横断**ビュー、または**軸方向**ビューにおいてアラインメントを行うことができます。これに関する情報は、*横方向および軸方向のプリアライメントを調整する [►ページ 151 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

口腔内撮影画像のエリアをマスクします

もし口腔内撮影画像の特定のエリアを自動登録から除外したい場合は、そのエリアを着色によりマスクをかけることができます。SICAT Endo 自動登録の際にこれらのマスク領域を考慮に入れません。これに関する情報は、*エリアをマスキングする [►ページ 154 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

自動登録を行う

- 自動登録を実行するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**自動記録**ボタンをクリックしてください。

► SICAT Endo 口腔内撮影画像の3D X線撮影画像との登録を行います。

► SICAT Endo は登録ウィザードを閉じます。

► SICAT Endo は登録の結果を**X線撮影マネージャ**ウィンドウに表示します。

登録を確認します

1. **3D投影**ビュー、 **横断**ビューおよび**軸方向**ビューを使用して登録結果を確認してください。
2. 結果に満足できない場合は、マウスで口腔内撮影画像をドラッグアンドドロップで移動することで、口腔内撮影画像の位置を調整することができます。
3. 登録を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

► **登録ウィザード**が閉じます。

► **X線撮影マネージャ** のウィンドウが開きます。

► SICAT Endo 口腔内撮影画像を登録済みとして、**インポートされた口腔内撮影画像**(**X線撮影マネージャ**内)エリアに表示します。

口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。

直前に行われた調整を取り消すには、**最後のステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。実施されたすべての調整をリセットするには、**すべてのステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。

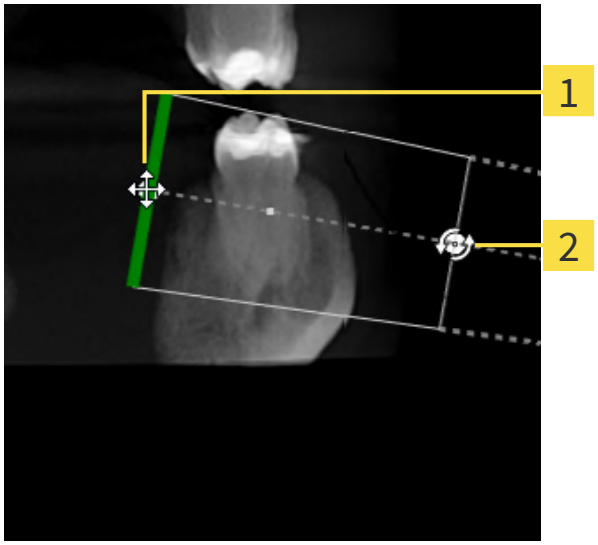
27.3 横方向および軸方向のプリアライメントを調整する

口腔内撮影画像の3D投影とのオーバーレイの調整に関する一般的な情報は、*口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 148 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

たとえ**3D投影**ビューにおいて口腔内撮影画像を実際の歯の配置に対して正しくアラインメントできる場合でも、特定の撮影画像においては、SICAT Endoは、口腔内撮影画像を3D放射線撮影画像と自動登録できない可能性があります。

この場合には、口腔内撮影画像の位置を**横断**ビューまたは**軸方向**ビューで調整してください。

アラインメントを横方向ビューで移動させる



1 確認箇所 1　　2 確認箇所 2

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 **1**に合わせてください。
   ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. アラインメントを希望する方向に移動させてください。
4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アラインメントを横方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 **2**に合わせてください。

   ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

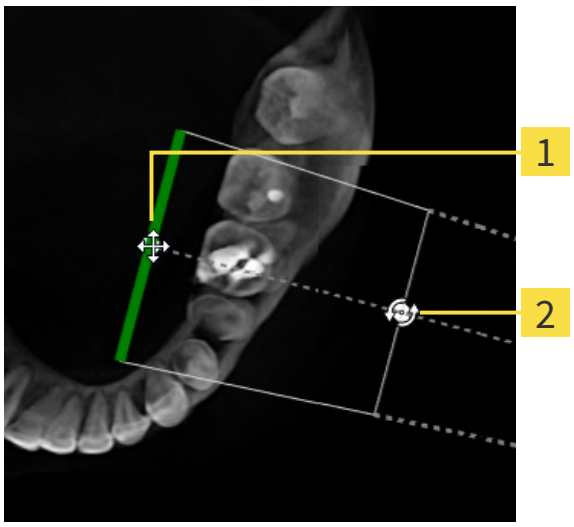
3. アラインメントを希望する方向に回転させてください。

4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アラインメントを軸方向ビューで移動させる



1 確認箇所 **1**

2 確認箇所 **2**

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 **1**に合わせてください。

   ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

3. アラインメントを希望する方向に移動させてください。

4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

アラインメントを軸方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**軸方向**ビューで確認箇所 **2**に合わせてください。

   ► マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

3. アラインメントを希望する方向に回転させてください。

4. マウスの左ボタンを放してください。

► SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。

► SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

27.4 エリアをマスキングする

口腔内撮影画像には、自動登録の際に問題を引き起こす可能性のあるエリアが含まれていることがあります。例えば、

- 金属物体
- 反対側の顎の歯
- 撮影画像の一部でない口腔内撮影画像の周辺部

自動登録の際の問題を回避するために、それらのエリアにマスクをかけることができます。SICAT Endo マスキングされたすべてのエリアを自動登録の際に除外します。

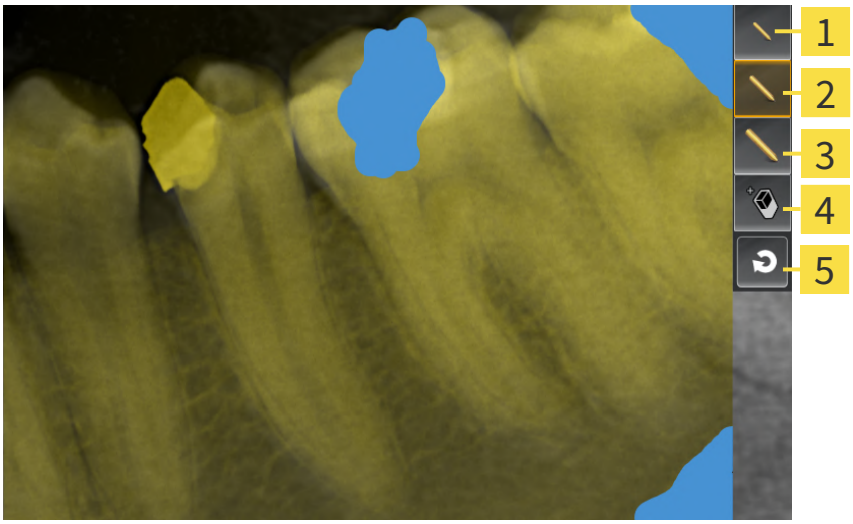
口腔内撮影画像の個々のエリアにマスキングをするには、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. **口腔内撮影画像を登録する**のエリアで、**詳細オプションを表示する**のボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo **マスクを編集する**ボタンを表示します。

2. **マスクを編集する**のボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像の右端にマスクツールバーを表示します。



1 ボタン **小サイズのブラシを使用する**

2 ボタン **中サイズのブラシを使用する**

3 ボタン **大サイズのブラシを使用する**

4 ボタン **消しゴムを使います**

5 ボタン **マスクをリセットする**

3. エリアを着色するには、**小サイズのブラシを使用する**ボタン、**中サイズのブラシを使用する**ボタン、または**大サイズのブラシを使用する**ボタンをクリックしてください。

   ▶ マウスポインタは円形に変わります。

4. 口腔内撮影画像の着色したいエリアにマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
6. 着色したいエリアにマウスポインタを移動してください。
7. マウスの左ボタンを放してください。
   ▶ SICAT Endo マーキングされたエリアを青で表示します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の他の領域にマスクをかけるために、この手順を繰り返します。
9. 青でマーキングされたエリアを削除するには、**消しゴムを使います**ボタンをクリックしてください。
   ▶ マウスポインタは消しゴムに変わります。
10. 削除したい、青でマーキングされたエリアをマウスの左ボタンでクリックしてください。
    ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像からマーキングされたエリアを削除します。
11. 行われたすべてのマーキングを削除するには、**マスクをリセットする**ボタンをクリックしてください。
    ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像から青でマーキングされたエリアを削除します。
12. 行われた変更を適用するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**編集を完了する**ボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューのマスキングされたエリアを表示します。

▶ SICAT Endo マスキングされたエリアを自動登録の際に除外します。

マスクを編集するボタンを再び非表示にするには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアの**詳細オプションを非表示にする**ボタンをクリックしてください。

28 ENDOLINEウィザード

EndoLineウィザードは、診断と治療計画のための機能を提供します。

EndoLineウィザードを使用する前に、次の作業をオプションとして実行できます。

- *口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 141 - SIDEXIS 4]*。
- *口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 148 - SIDEXIS 4]*
- *治療計画のための歯を選択する [▶ページ 165 - SIDEXIS 4]*

EndoLineウィザードでは、交差線を用いて治療を行いたいエリアを指定することができます。このエリアには、EndoLinesを根管に配置することができます。

EndoLinesは、治療する根管のマーキングおよび歯根尖部を見つけるために使用できる測定線です。EndoLinesは、ドリル穴の計画と配置のための基礎として役立ちます。

EndoLinesを表示するために、 SICAT Endoは様々なビューを使用します。これに関する情報は、*EndoLineウィザードの中のビュー [▶ページ 157 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

SICAT Endo 計画の際に作成されるすべてのオブジェクトを選択された歯に割り当てます。これらのオブジェクトは、EndoLineまたはドリル穴である場合があります。これらのオブジェクトは、**パノラマ**ワークスペースと**口腔内撮影画像**ワークスペースに表示し、 **オブジェクトブラウザ**で管理・加工することができます。

作成されたオブジェクトを表示するには、SICAT Endoにおいて、ワークスペースにおいて様々なビューおよびビューのコンパイルが利用できます。これに関する情報は、*ワークスペース [▶ページ 76 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

EndoLineウィザードは、次のステップで構成されます。

- *歯の領域をプリアラインメントする [▶ページ 166 - SIDEXIS 4]*
- *EndoLinesの設定 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*
- *ドリル穴を計画する [▶ページ 178 - SIDEXIS 4]*

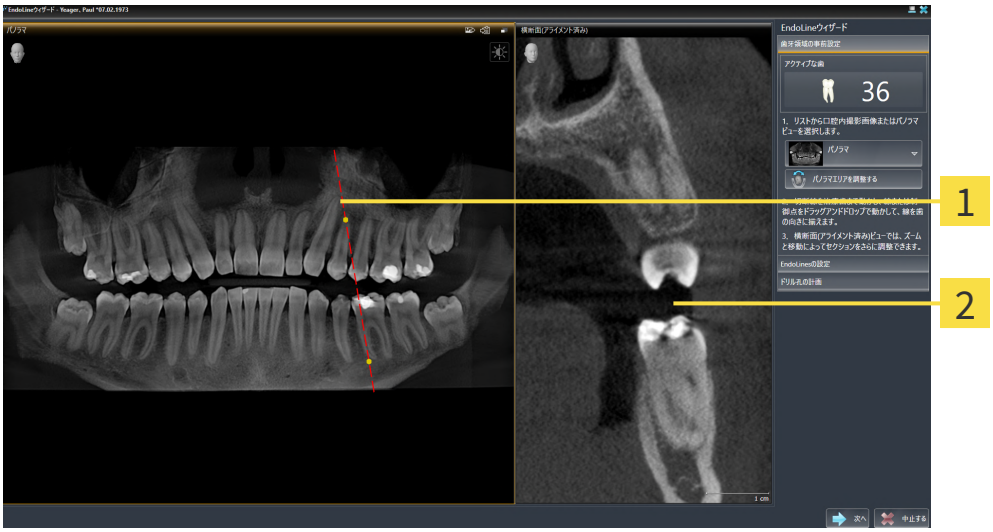
28.1 ENDOLINEウィザードの中のビュー

EndoLineウィザードには、ステップごとに様々なビューをご利用いただけます。

ビューの調整に関する一般的な情報については、*ビューの調整 [▶ページ 84 - SIDEXIS 4]*および*3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

「歯牙領域の事前設定」手順

歯の領域をプリアラインメントするの手順では以下のビューが利用可能です。



1 **パノラマ**ビュー、または**口腔内撮影画像**ビュー

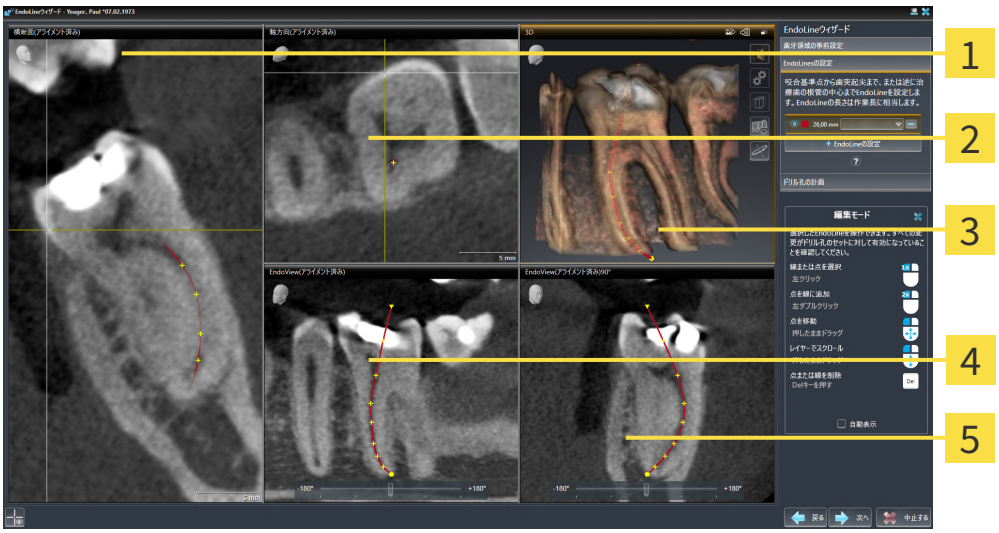
2 **横断 (アラインメント済み)**ビュー

パノラマビュー、または**口腔内撮影画像**ビューでは、治療する根管のビューをカットラインを使って事前設定することができます。**口腔内撮影画像**ビューは、アクティブな歯の少なくとも1つの口腔内撮影画像を記録した場合にのみ表示されます。アクティブな歯の選択については、*治療計画のための歯を選択する [▶ページ 165 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

横断 (アラインメント済み)ビューでは、**パノラマ**ビュー、または**口腔内撮影画像**ビューでマークされた歯が側面から、および設定したカットラインに合わせて表示されます。

「ENDOLINESの設定」手順

EndoLinesをセットするの手順では以下のビューが利用可能です。



1 **横断 (アラインメント済み)**ビュー

2 **軸方向(アラインメント済み)**ビュー

3 3Dビュー

4 **EndoView (アラインメント済み)**ビュー

5 **EndoView (アラインメント済み) 90°**ビュー

ビュー **横断 (アラインメント済み)**ビューは**EndoLinesをセットする**の手順で、**横断 (アラインメント済み)**ビューの**歯の領域をプリアラインメントする**の手順に対応します。**歯の領域をプリアラインメントする**の手順でマークされた歯の外側から内側へ斜めに表示し、設定したカットラインに合わせます。

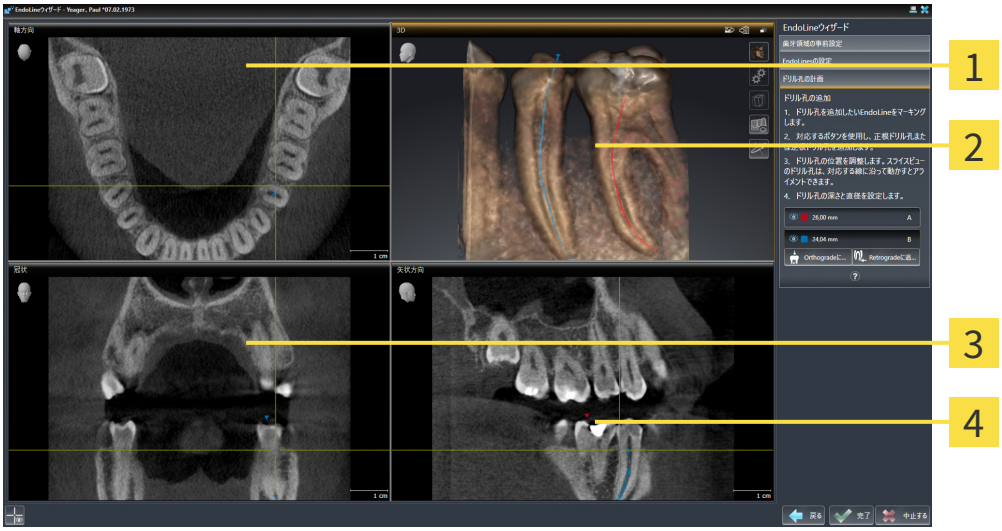
軸方向(アラインメント済み)ビューは、**歯の領域をプリアラインメントする** の手順でマークされた歯を表示し、上から設定したカットラインに合わせます。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。**3D**の調整に関する情報は、*3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

EndoView (アラインメント済み)は、EndoLineに配置されたビューで、選択されたEndoLineを2D面に投影して表示します。**EndoView (アラインメント済み) 90°**では**EndoView (アラインメント済み)**は90度回転しています。2つのビューは、すでにEndoLineが設定されている場合にのみ表示されます。EndoViewに関する情報は、*EndoView [▶ページ 162 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

「ドリル孔を計画する」の手順

ドリル穴を計画するの手順では以下のビューが利用可能です。



1 **軸方向**ビュー

2 **3D**ビュー

3 **冠状**ビュー

4 **矢状方向**ビュー

軸方向ビューは、上からのEndoLine表示します。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。**3D**の調整に関する情報は、*3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

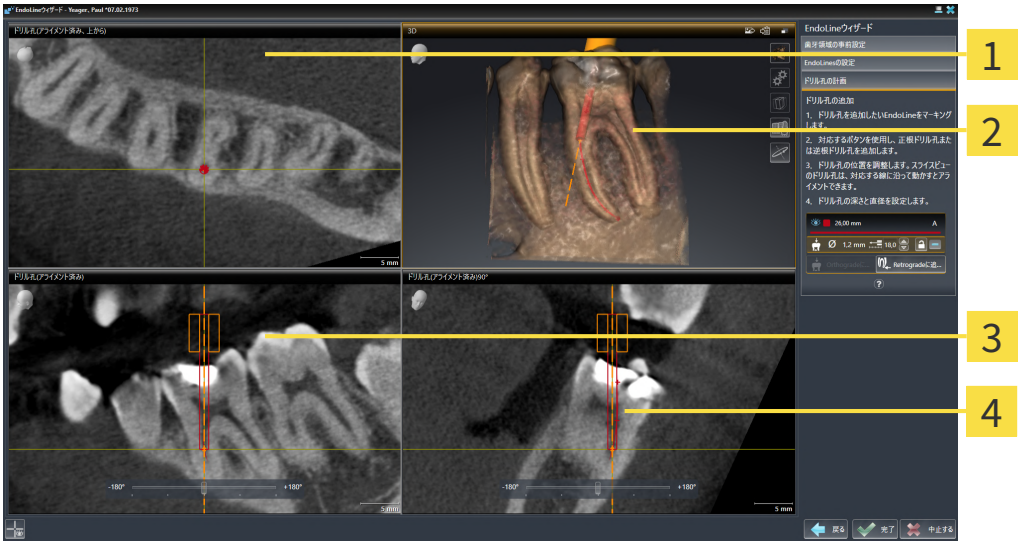
冠状ビューは、前方からのEndoLineを表示します。

矢状方向ビューは、右からのEndoLineを表示します。

まだドリル穴が計画されていない場合、SICAT Endoは、ステップ**ドリル穴を計画する**が開かれる際、EndoLineウィザードにおいて、 **軸方向**ビュー、**3D**ビュー、**冠状**ビューおよび**矢状方向**ビューを表示します。

根管ドリル孔を計画する際のビュー

根管ドリル孔を計画するときは、以下のビューが利用可能です。



1 **ドリル穴 (アラインメント済み、上から)**ビュー

2 **3D**ビュー

3 **ドリル穴 (アラインメント済み)**ビュー

4 **ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビュー

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineに配置されたドリル孔を上から見た図です。

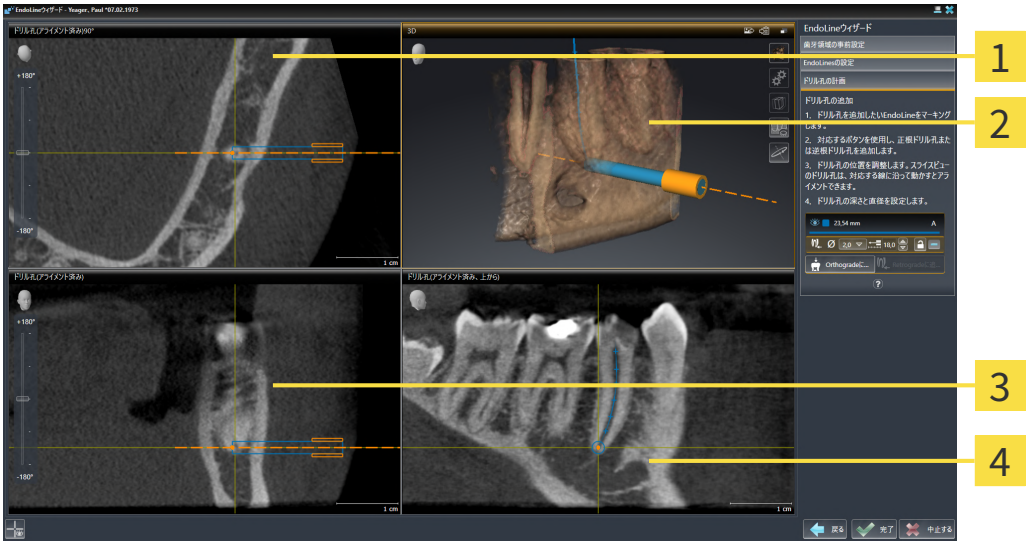
3Dビューは、3D X線撮影画像に記録されたドリル孔を表示します。**3D**の調整に関する情報は、*3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、正面からEndoLineに配置されたドリル孔を表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineに配置されたドリル孔を側面から表示します。

逆根管ドリル孔を計画する際のビュー

逆根管ドリル孔を計画するときは、以下のビューが利用可能です。



1 **ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビュー

2 **3D**ビュー

3 **ドリル穴 (アラインメント済み)**ビュー

4 **ドリル穴 (アラインメント済み、上から)**ビュー

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineに配置されたドリル孔を側面から表示します。

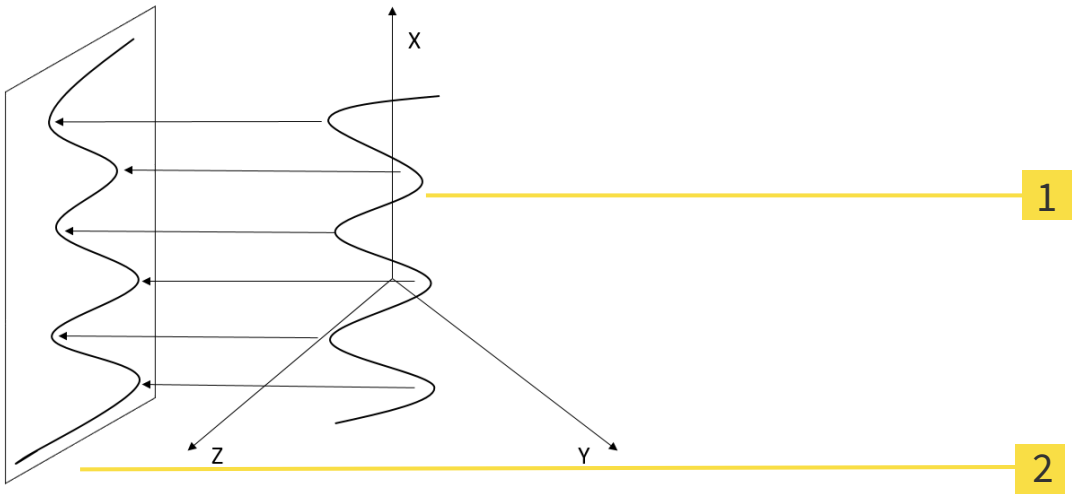
3Dビューは、3D X線撮影画像に記録されたドリル孔を表示します。**3D**の調整に関する情報は、*3Dビューの調整 [▶ページ 100 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、正面からEndoLineに配置されたドリル孔を表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineに配置されたドリル孔を上から見た図です。

28.1.1 ENDOVIEW

SICAT EndoのEndoViewは、ソフトウェアが3D撮影の湾曲したEndoLineを2D面に投影して表示することで、患者における歯の複雑な構造をビジュアル化します。この技術は、Curved Planar Reformation(曲面多断面再構成、CPR)と呼ばれています。これにより、湾曲した構造を展開して表示することが可能となります。



1 3D撮影画像 2 2D面

EndoLineを2D面に表示することで、実際の歯の構造を詳細に確認することができ、異常を容易に識別することができます。同時に、EndoViewは、診断の精度を向上し、患者固有の治療計画の作成を容易にします。

28.1.2 ENDOVIEWを回転する

EndoViewに関する一般的な情報は、*EndoView [▶ページ 162 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

EndoView (アラインメント済み)ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューでは、画像の一部を回転させるためにスライダを使用することができます。

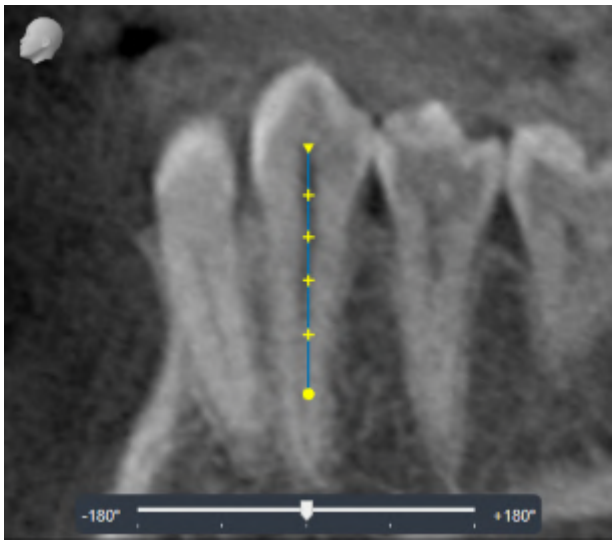
☑ **EndoLinesをセットする**手順はすでに開いています。これに関する情報は、*EndoLinesの設定 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

☑ 少なくとも1つのEndoLineが設定されています。

☑ EndoLineが選択されました。

1. 希望するビューをクリックして、**EndoView (アラインメント済み)**ビュー**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを有効にしてください。

   ▶ SICAT Endo はビューを有効にします。



2. マウスポインタをのスライダーに合わせてください。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
4. 希望する位置にスライダーを移動させます。
5. マウスのボタンを放してください。

▶ SICAT Endo は画像の一部を回転させます。

▶ SICAT Endo **EndoView (アラインメント済み)**ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを調整します。

それに代わる方法として、**EndoView (アラインメント済み)**または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の任意の箇所をクリックすることで画像の一部を回転させることができます。マウスの左ボタン押し続け、画像の一部を希望する方向へ回転させます。

スライダーの範囲は、-180度から+180度の範囲で、90度ステップに分割されています。スライダーを使用して、ビューの回転角度を調整することができます。

28.2 治療計画のための歯を選択する

EndoLinesおよびドリル穴を計画するためには、治療を行う歯を選択する必要があります。

☑ **口腔内撮影画像**ワークスペースまたは**パノラマ**ワークスペースを開きました。これに関する情報は、*ワークスペース [▶ページ 76 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

1. **オブジェクトバー**において**有効な歯**のエリアにマウスポインタを合わせてください。
   ▶ **歯の番号** のウィンドウが開きます。

2. 治療したい歯にマウスポインタを移動してください。
   ▶ SICAT Endo 歯の番号を強調表示します。
3. ハイライトされた歯を選択するには、マウスの左ボタンで歯をクリックしてください。
   ▶ SICAT Endo 歯を青でマーキングします。
   ▶ SICAT Endo **オブジェクトバー**の**有効な歯**において歯の番号を表示します。
4. **歯の番号**ウィンドウを閉じるには、マウスポインタを**有効な歯**のエリアの外へ移動させてください。

▶ SICAT Endo は**歯の番号**ウインドウを閉じます。

28.3 歯の領域をプリアラインメントする

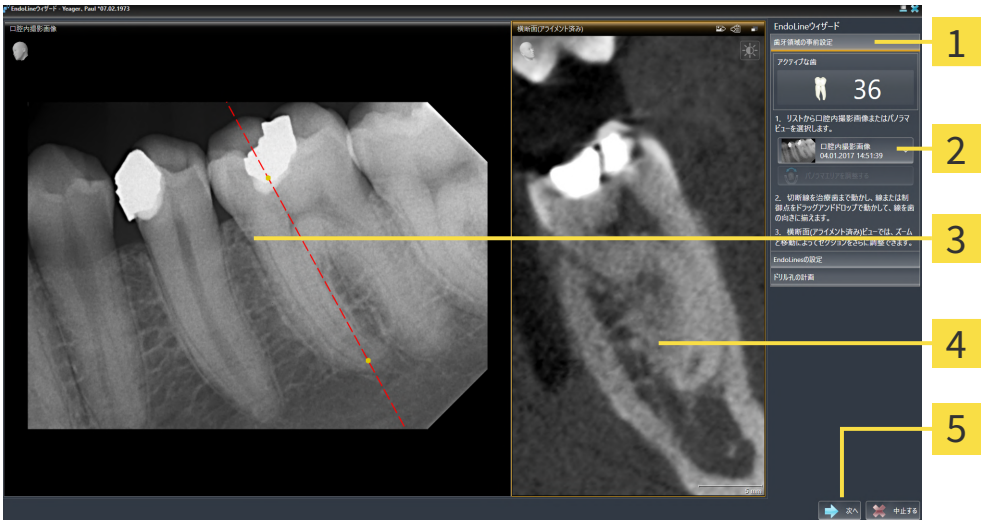
EndoLineアシスタント機能に関する一般的な情報は、*EndoLineウィザード [▶ページ 156 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

歯の領域をプリアラインメントするの手順で治療したい歯と根を見やすくするために、カットラインを使ってビューを調整します。

☑ **口腔内撮影画像**ワークスペースまたは**パノラマ**ワークスペースで**歯の番号**のスキーマで**オブジェクトバー**において治療したい歯を選択しました。これに関する情報は*治療計画のための歯を選択する [▶ページ 165 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**診断する**は、すでに開いています。これに関する情報は*ワークフローのツールバー [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **歯の領域をプリアラインメントする**のステップが開きます。



1	**歯の領域をプリアラインメントする**エリア	4	**横断 (アラインメント済み)**ビュー
2	**パノラマ**ビュー付きのリスト、および口腔内撮影画像	5	**次へ**のボタン
3	**パノラマ**ビュー、または**口腔内撮影画像**ビュー		

2. **歯の領域をプリアラインメントする**エリアでリストから口腔内撮影画像またはパノラマを選択します。
   ▶ SICAT Endoに2つの黄色のコントロールポイントがあるカットラインが**口腔内撮影画像**ビュー、または**パノラマ**ビューで表示されます。

3. カットラインを移動するには、マウスポインタをカットラインに合わせます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

5. カットラインを希望する位置に移動します。
6. マウスの左ボタンを放します。
   ▶ SICAT Endoは現在のカットライン位置を保持します。
   ▶ SICAT Endoは、 **横断 (アラインメント済み)**ビューを変更したカットラインの位置に応じて調整します。
7. カットラインを回転させるには、2つの黄色いコントロールポイントのうちの1つにマウスポインタを置きます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
9. カットラインを希望する方向に回転させます。
10. マウスの左ボタンを放します。
    ▶ SICAT Endoは現在のカットラインの回転を保持します。
    ▶ SICAT Endoは、 **横断 (アラインメント済み)**ビューを変更したカットラインの位置に応じて調整します。
11. **次へ**をクリックします。

▶ SICAT Endoにビューの調整が転送されます。

▶ **EndoLinesをセットする**のステップが開きます。

*EndoLinesの設定 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*で続行してください。

プリアラインメントのために、口腔内撮影画像と**パノラマ**ビューの間から選択するためには、選択された歯に少なくとも1つの口腔内撮影画像を登録されている必要があります。

パノラマ エリアは、**パノラマ エリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は、*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

28.4 ENDOLINESの設定

⚠ 注意	**測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。** 3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

気道比較に関する一般的な情報は、*EndoLineウィザード [▶ページ 156 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

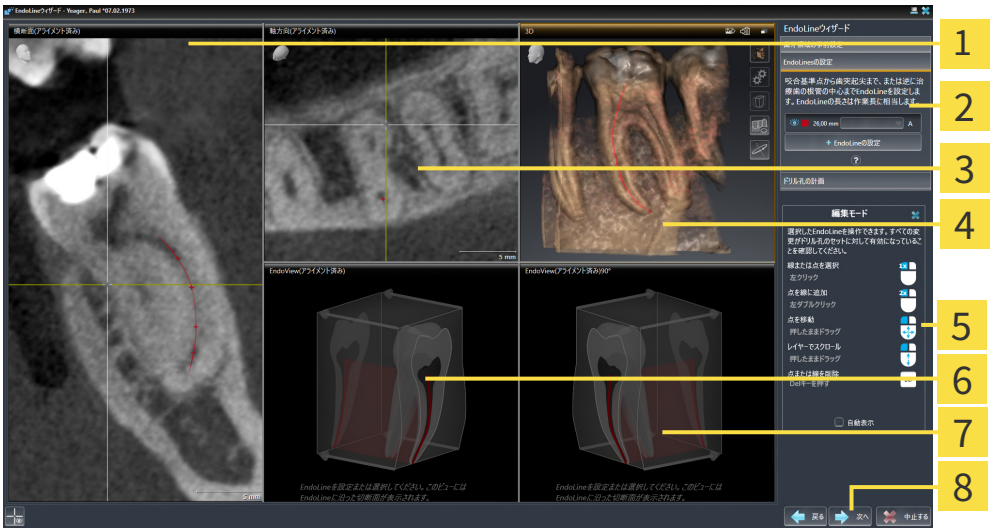
EndoLinesをセットするの手順において、配置されたビューでEndoLinesを使用して治療したい根管をマークすることができます。

SICAT EndoはEndoLineを挿入する際に、エントリポイントとエンドポイントを識別表示し、エントリポイントを三角形およびエンドポイントを円でマークします。

点の順序は、以前に選択した歯の番号と患者の顎の歯の位置によって異なります。上顎では、エントリーポイントはエンドポイントより下にあり、下顎ではエントリーポイントはエンドポイントより上にあります。

☑ **歯の領域をプリアラインメントする**の手順を完了しました。これに関する情報は*歯の領域をプリアラインメントする [▶ページ 166 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **EndoLinesをセットする**の手順はすでに開いています。



1	**横断 (アラインメント済み)**ビュー	5	インフォグラフィック
2	**EndoLinesをセットする**エリア	6	**EndoView (アラインメント済み)**
3	**軸方向(アラインメント済み)**ビュー	7	**EndoView (アラインメント済み) 90°**
4	**3D**ビュー	8	**次へ**のボタン

1. **EndoLinesをセットする**エリアで、**EndoLineをセットする**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは**横断 (アラインメント済み)**ビュー、および**軸方向(アラインメント済み)**ビューをハイライトで表示します。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

2. **横断 (アラインメント済み)**ビュー、または**軸方向(アラインメント済み)**ビューにマウスポインタを合わせます。

3. 頂点またはエントリポイントをマウスの左ボタンでクリックします。

   ▶ SICAT Endoはコントロールポイントを設定します。

4. 根管に沿った他の場所をマウスの左ボタンでクリックして、根の輪郭をマークするために、さらなるコントロールポイントを追加します。

5. 根管のマーキングを完了するには、頂点またはエントリーポイントをダブルクリックします。

   ▶ SICAT Endoはコントロールポイントを設定します。

   ▶ SICAT Endoはすべてのコントロールポイントとそのポイント間の接続をEndoLineの形式で表示します。

   ▶ SICAT Endoは**EndoView (アラインメント済み)**ビュー、および**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューをEndoLineに配置します。

6. 必要に応じて、他の根管をマークするには手順を繰り返してください。

7. **EndoView (アラインメント済み)**ビュー、または**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューで設定されたEndoLinesを確認してください。

8. **次へ**をクリックします。

▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。

*ドリル穴を計画する [▶ページ 178 - SIDEXIS 4]*で続行してください。

EndoLineの説明と位置の色とテキストを編集できます。これに関する情報は*色とテキストを調整する [▶ページ 171 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

コントロールポイントを移動、追加、削除することでEndoLineを編集できます。これに関する情報は*確認箇所を追加、移動および削除する [▶ページ 172 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3Dビューで回転モードを使用することができます。これに関する情報は*3Dビューを回転する [▶ページ 175 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

3Dビューでインポートおよび記録された光学印象を表示することができます。これに関する情報は*光学印象を表示する [▶ページ 176 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

横断 (アラインメント済み)ビュー、および**軸方向(アラインメント済み)**ビューで**十字線を表示**ボタン、および**十字線を表示しない**ボタンで十字線を表示、および非表示にできます。

EndoLineを挿入するときには、さまざまな機能のマウスボタンを使用できます。これに関する情報は*マウスボタンを使用する [▶ページ 177 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

EndoLineを選択するには、アラインメントされたビューにおいてマウスの左ボタンでラインをクリックするか、または**EndoLinesをセットする**のエリアでの選択を行います。

EndoLineを削除するには、**EndoLinesをセットする**エリアでEndoLineをマーキングし、選択されたEndoLineの行の端にある**EndoLineを削除する**ボタンをクリックしてください。

EndoView (アラインメント済み)または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の表示を調整するには、これらのビューのスライダーを使用してください スライダーを用いて、ビューを左または右に任意の角度で回転することができます。

28.5 色とテキストを調整する

色を調整する

EndoLineの色を変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの行にある**色を変更する**ボタンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Endo EndoLineの色を変更します。
2. 色が希望の色と一致しない場合は、SICAT Endoが希望の色になるまで、**色を変更する**ボタンを引き続きクリックしてください。

▶ SICAT Endo EndoLineの新しい色を表示します。

説明または位置情報のテキストを調整する

EndLineの説明または位置情報のテキストを変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの説明を入力するには、Endolineの行の**説明/位置**フィールドをクリックしてください。
   ▶ マウスポインタは、入力位置で点滅します。
2. 希望するEndoLineの説明を入力してください。
   ▶ SICAT Endo 説明を表示します。

3. EndoLineの位置情報テキストを選択するには、Endolineの行において**説明/位置**フィールドの矢印アイコンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Endo 位置情報の一覧を表示します。
4. リストの中で希望する位置情報をクリックしてください。
   ▶ SICAT Endo **説明/位置**フィールドに位置情報を表示します。
5. 変更を適用し、**説明/位置**フィールドを閉じるには、**説明/位置**フィールドの外側をマウスの左ボタンでクリックしてください。

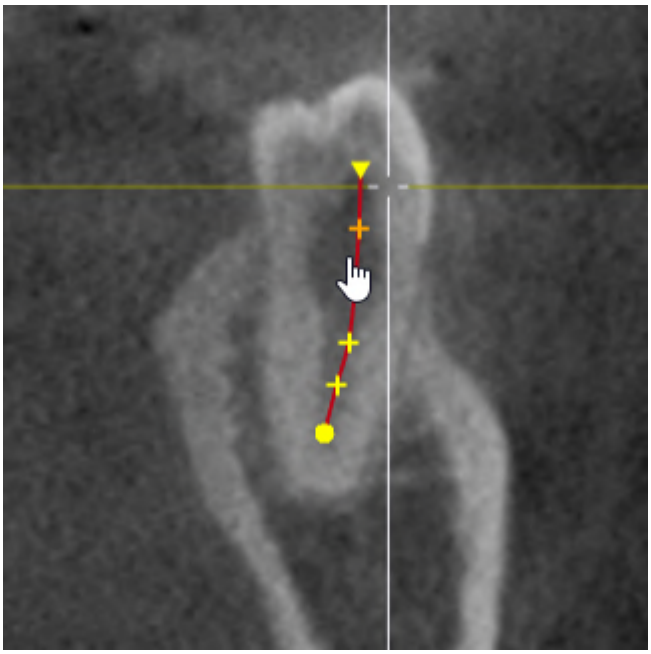
▶ SICAT Endo 新しい説明または位置情報を表示します。

28.6 確認箇所を追加、移動および削除する

ENDOLINEに確認箇所を追加する

EndoLineに確認箇所を追加するには、次の手順に従って行ってください。

1. 確認箇所を追加したいEndoLineの位置にマウスポインタを合わせてください。



► マウスポインタの形が切り替わります。

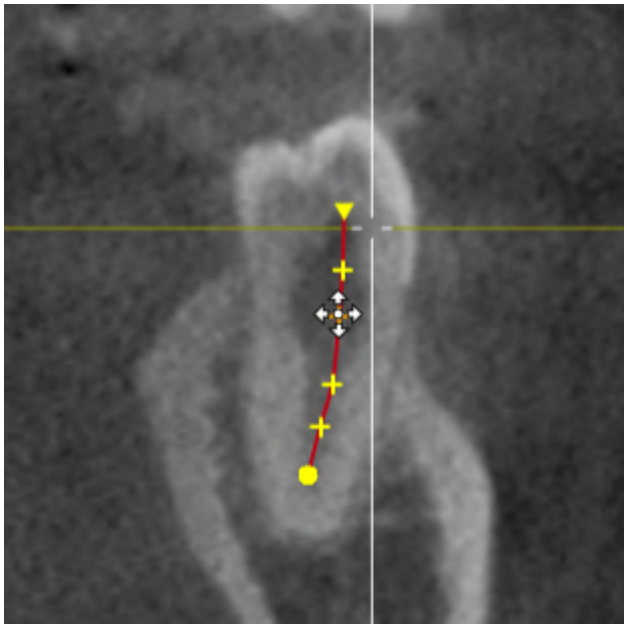
2. そこ位置をダブルクリックしてください。

► SICAT Endo 十字の形で確認箇所を追加します。

ENDOLINEを確認箇所を移動する

EndoLineの確認箇所を移動するには、次の手順に従って行ってください。

1. 移動したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。



► マウスポインタの形が切り替わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. マウスを動かします。
   ► 確認箇所はマウスポインタの動きを追従します。
   ► SICAT Endo 確認箇所の新し位置に応じてEndoLineを調整します。
4. マウスの左ボタンを放してください。

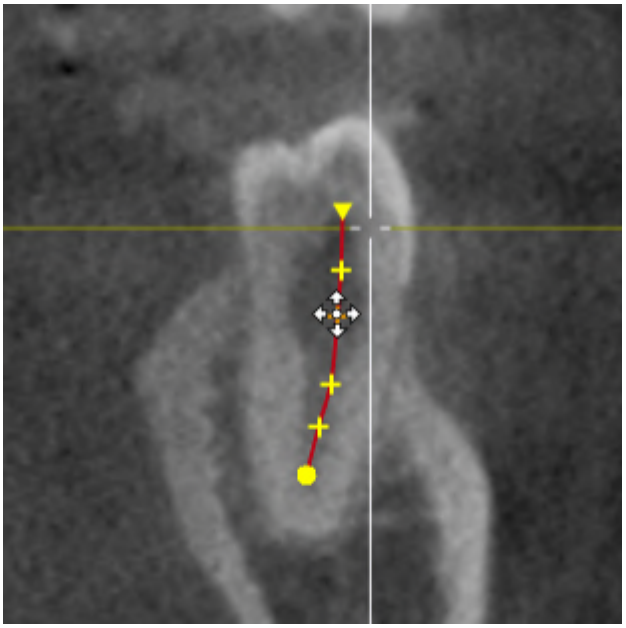
► SICAT Endo 確認箇所の現在位置を維持します。

► SICAT Endo EndoLineの新しい経路を表示します。

ENDOLINEから確認箇所を削除する

EndoLineから確認箇所を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. 削除したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。



► マウスポインタの形が切り替わります。

2. マウスの左ボタンで確認箇所をクリックしてください。

► SICAT Endo 確認箇所をマーキングします。

3. **Del**ボタンを押します。

► SICAT Endo 確認箇所を削除します。

► SICAT Endo EndoLineを必要に応じて調整します。

最後から2番目の確認箇所を削除すると、EndoLineが完全に削除されますのでご注意ください。

28.7 3Dビューを回転する

3Dビューを回転する機能によって、EndoLineウィザードにおいて3D X線撮影画像の回転モードをオンまたはオフにすることができます。回転モードがオンになっている場合は、SICAT Endoは、3D X線撮影画像を時計回りに回転します。

回転モードを使用するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでに有効になっています。これに関する情報は*ビュー [▶ページ 83 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. **3Dビューを回転する**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは選択したセクションの垂直軸を中心に3D X線撮影画像を回転させます。
2. 回転モードを終了するには、もう一度**3Dビューを回転する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Endoは3D X線撮影画像の回転を終了します。

3Dビューの任意の箇所をクリックして、回転モードを終了させることもできます。

28.8 光学印象を表示する

光学印象に関する一般的な情報は、*光学印象 [▶ページ 120 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

光学印象をすでにインポートして記録している場合は、EndoLineアシスタント機能のビューで光学印象をを表示および非表示にすることができます。

光学印象を表示または非表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望するビューはすでに有効になっています。これに関する情報は*ビュー [▶ページ 83 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ 1つ以上の光学印象がすでにインポートされ、記録されています。これに関する情報は*光学印象 [▶ページ 120 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. 光学印象を表示するには、**オブジェクトを表示する**のボタンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Endoは光学的印象を表示します。
   ▶ SICAT Endoは3D X線撮影画像の表示を更新します。

2. 光学印象を非表示にするには、**オブジェクトを非表示にする**のボタンをクリックしてください。

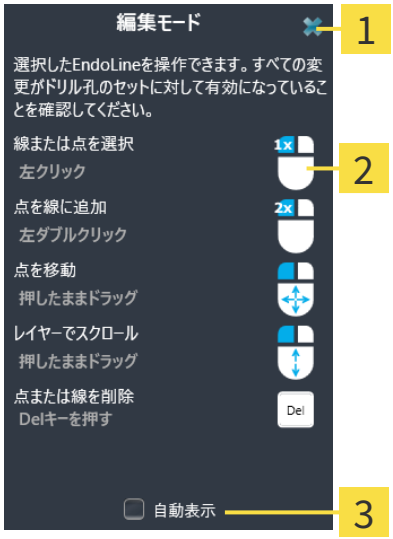
▶ SICAT Endoは光学的印象を非表示にします。

▶ SICAT Endoは3D X線撮影画像の表示を更新します。

光学印象をまだインポート・登録していない場合は、SICAT Endoは、**オブジェクトを表示する**ボタンを**3D**ビューに表示しません。

28.9 マウスボタンを使用する

SICAT EndoはEndoLineを設定するときにマウスボタンを使用する方法を説明する概要を表示します。



1 **閉じる**のボタン

2 図

2 **自動表示**のチェックボックス

マウスボタンに関連付けられているアクションは編集モードによって異なります。

SICAT Endoは以下の編集モードを区別します。

- 作成モード
- 編集モード

編集モードに応じて、さまざまなアクションが使用できます。使用できるアクションは概要に表示され、図で視覚化されます。

ヘルプを表示のボタンで概要を表示させることができます。

概要をドラッグアンドドロップで別の位置に移動することができます。

概要を閉じるには、**閉じる**のボタンをクリックしてください。

自動表示チェックボックスを有効にすると、EndoLineの設定または編集時に概要が自動的に表示されます。

28.10 ドリル穴を計画する

⚠ **注意**	**ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。** 計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

EndoLineウィザードに関する一般情報は、*EndoLineウィザード [▶ページ 156 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

ステップ**ドリル穴を計画する**では、オーソグレードおよびレトログレードドリル穴をEndoLineに追加・編集することができます。Pro EndoLineには、オーソグレードおよびレトログレードドリル穴をそれぞれ追加することができます。ドリル穴には、常にそれに対応するEndoLineと同じ色が付けられています。

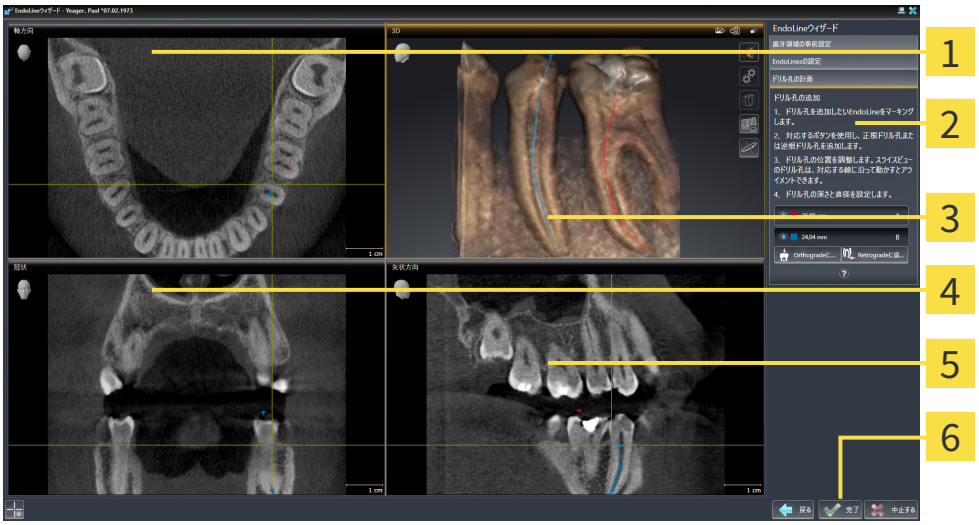
ステップ「ドリル穴を計画する」を開く

☑ ステップ**EndoLinesをセットする**が完了しました。これに関する情報は、*EndoLinesの設定 [▶ページ 168 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

☑ ステップ**EndoLinesをセットする**は開いています。

- ステップ **EndoLinesをセットする** で、**次へ**ボタンをクリックしてください。

▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。



1 **軸方向**-ビュー

2 エリア **ドリル穴を追加する**

3 **3D**-ビュー

4 **冠状**-ビュー

5 **矢状方向**-ビュー

6 ボタン **完了**

オーソグレードドリル穴を計画する

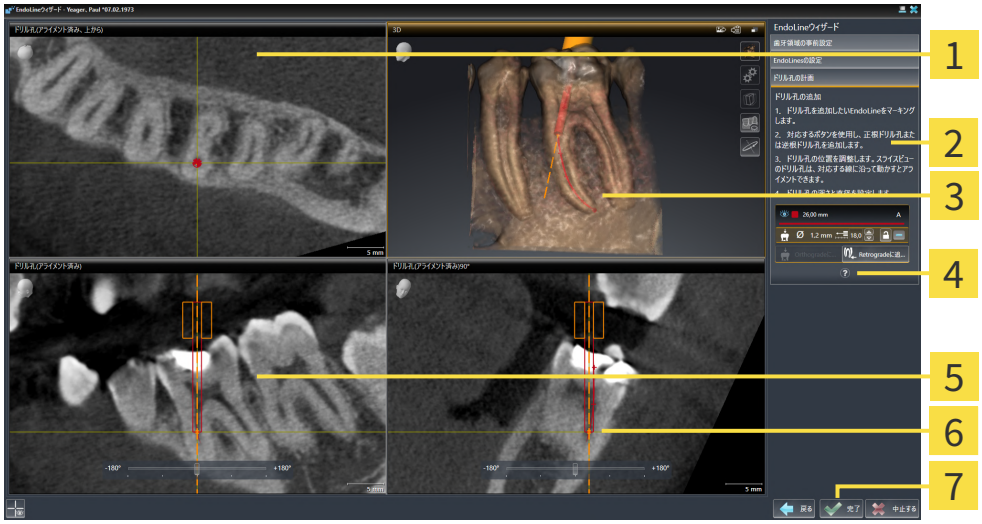
1. **ドリル穴を追加する**エリアにおいて、オーソグレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。

   ▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。

2. **オーソグレードを追加する**のボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにオーソグレードドリル穴を追加します。

   ▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



1 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み、上から)**	5 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み)**
2 エリア **ドリル穴を追加する**	6 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**
3 **3D**-ビュー	7 ボタン **完了**
4 インフォグラフィック	

3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。

6. マウスの左ボタンを放してください。

   ▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。

   ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。

7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLineに合わせてください。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLineとドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

    ▶ SICAT Endo EndoLineとドリル穴の現在の回転位置を維持します。

    ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。

11. 必要に応じて、フィールド**深さ [mm]**の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

    ▶ SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。

12. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

▶ EndoLineウィザードが閉じます。

▶ **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

▶ SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)、**ドリル穴 (アラインメント済み)**および**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューで**十字線を表示**のボタン、および**十字線を表示しない**のボタンで十字線を表示および非表示できます。

レトログレードドリル穴を計画する

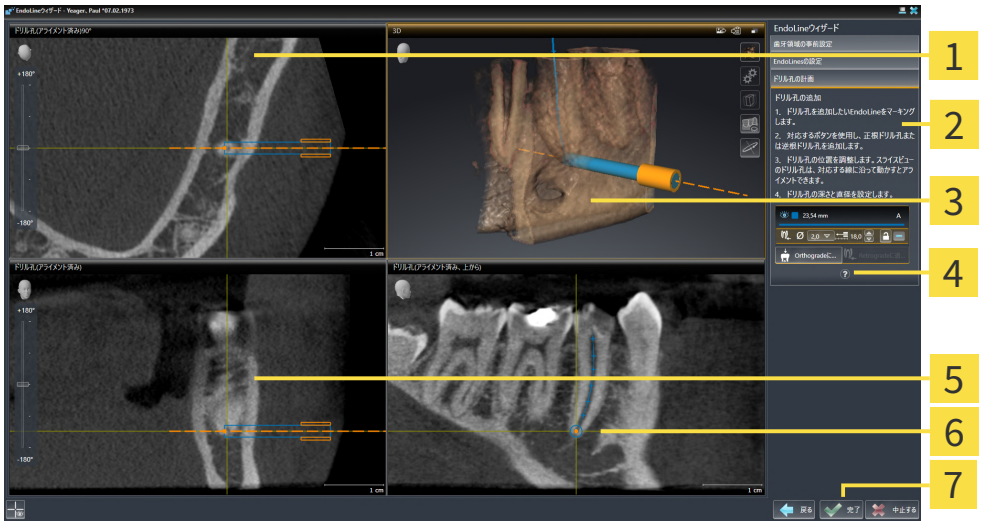
1. **ドリル穴を追加する**エリアにおいて、レトログレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。

   ▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。

2. **レトログレードを追加する**のボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにレトログレードドリル穴を追加します。

▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



1 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**

2 エリア **ドリル穴を追加する**

3 **3D**-ビュー

4 インフォグラフィック

5 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み)**

6 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み、上から)**

7 ボタン **完了**

3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。

6. マウスの左ボタンを放してください。

   ▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。

   ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。

7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLineに合わせてください。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLineとドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

► SICAT Endo EndoLineとドリル穴の現在の回転位置を維持します。

► SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。

11. 必要に応じて、フィールド**深さ [mm]**の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

► SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。

12. 必要に応じて、**直径 [mm]**フィールドの後ろの矢印アイコンをクリックし、レトログレードドリル穴の直径を調整することができます。

► SICAT Endo 利用可能な直径の一覧を表示します。

13. 希望する直径をクリックしてください。

► SICAT Endo ドリル穴の新しい直径を表示します。

14. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

► EndoLineウィザードが閉じます。

► **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

► SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)、**ドリル穴 (アラインメント済み)**および**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューで**十字線を表示**のボタン、および**十字線を表示しない**のボタンで十字線を表示および非表示できます。

ドリル穴をロックする

ドリル穴を変更から保護するために、この機能を使用してください。

ドリル穴をロックするには、次の手順に従って行ってください。

☑ ドリル穴はすでにマーキングされています。

- **オブジェクトをロックする**のアイコンをクリックしてください。

► SICAT Endo 加工のためにドリル穴をロックします。

► SICAT Endo 対応するEndoLineをロックします。

ドリル穴のロックを解除する

ドリル穴のロックを解除するには、次の手順に従って行ってください。

☑ ドリル穴はロックされています。

☑ ドリル穴はすでに有効になっています。

- **オブジェクトのロックを解除する**のアイコンをクリックしてください。

► SICAT Endo ドリル穴のロックを解除します。

► SICAT Endo 対応するEndoLineのロックを解除します。

ドリル穴を削除する

ドリル穴を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. **ドリル穴を追加する**エリアで、削除したいドリル穴を含むEndo計画オブジェクトをクリックしてください。

   ► SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。

2. Endo計画オブジェクトにおいて削除したいドリル穴をクリックしてください。

   ► SICAT Endo ドリル穴をマーキングします。

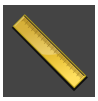
3. **ドリル穴を削除する**ボタンの行の端部をクリックしてください。

► SICAT Endo ドリル穴を削除します。

ドリル穴の編集がロックされている場合には、対応するEndoLineの編集もできません。EndoLineを編集するためには、対応するドリル穴のロックを解除する必要があります。

29 距離/角度測定

SICAT Endoには2種類の測定タイプがあります：



- 距離測定

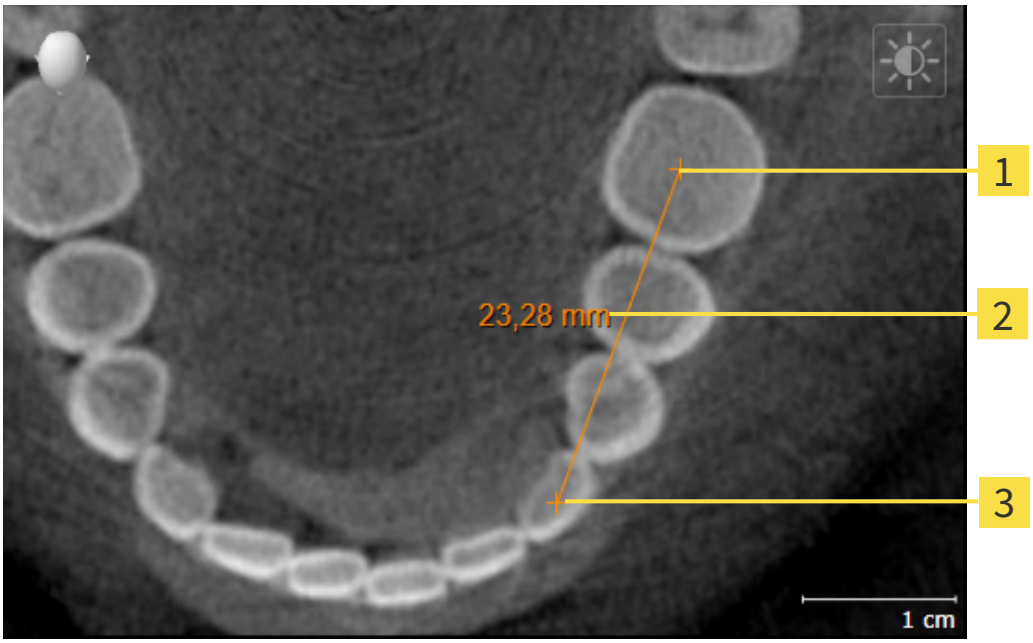
- 角度測定

測定を追加するツールは、**ワークフローのツールバー**の**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Endoはその測定を**測定**のグループ**オブジェクトブラウザ**にも追加します。

測定に使用できる操作：

- *距離測定を追加する [▶ページ 185 - SIDEXIS 4]*
- *角度測定を追加する [▶ページ 186 - SIDEXIS 4]*
- *測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する [▶ページ 188 - SIDEXIS 4]*
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68 - SIDEXIS 4]*をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 70 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

29.1 距離測定を追加する



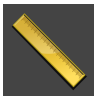
1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**診断する** は、展開させておきます。

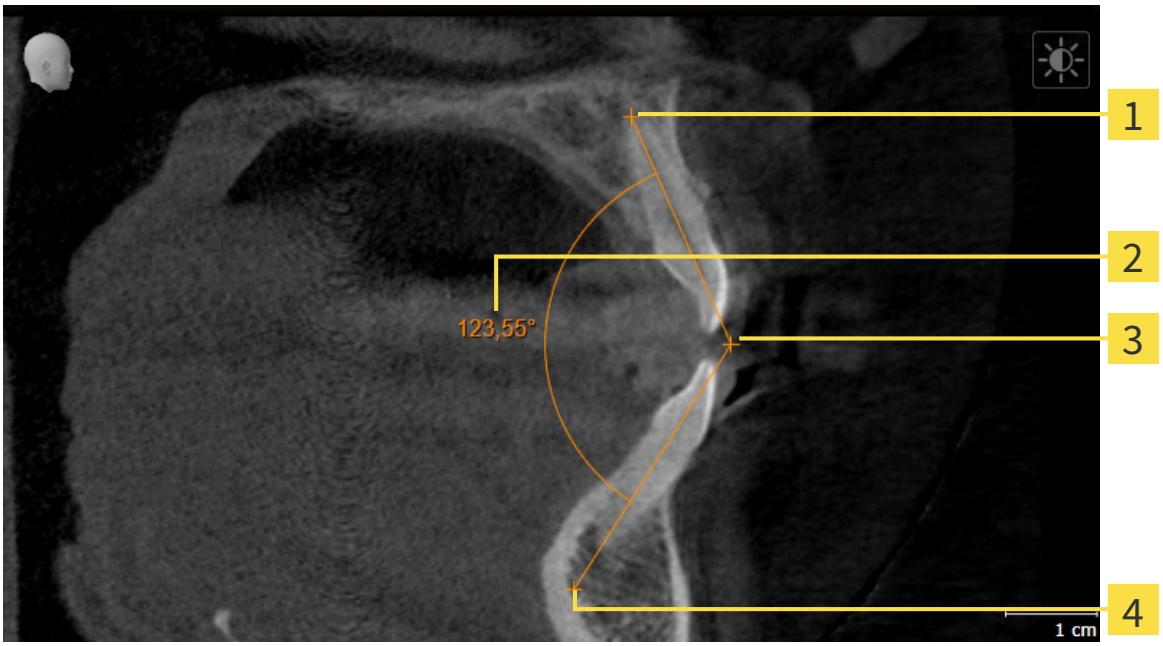


1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endo 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
   ▶ SICAT Endo は小さい十字で始点を表します。
   ▶ SICAT Endo は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
   ▶ SICAT Endo 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Endo は小さい十字で終点を表します。

測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

29.2 角度測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 頂点

4 終点

角度測定を追加するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークフロー ステップの**診断する**は、すでに開いています。

1. ワークフローステップ**診断する**で**角度測定を追加する(A)**アイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
   ▶ SICAT Endoは小さい十字で始点を表します。
   ▶ SICAT Endoは、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは小さい十字で頂点を表します。
   ▶ SICAT Endoは、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。
   ▶ SICAT Endoは角度測定の2本の辺の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

► SICAT Endoは小さい十字で終点を表します。

測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

29.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68 - SIDEXIS 4]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 70 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
   ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68 - SIDEXIS 4]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 70 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
   ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
   ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 68 - SIDEXIS 4]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 70 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
   ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
   ▶ SICAT Endo は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo は現在の測定値の位置を保持します。

1回の測定の値を移動すると、SICAT Endoはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

30 患者教化

⚠ **注意**	**診断目的のためのレポートの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェア ユーザーインターフェイスの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

患者対応の表示で患者に診断について教化し、治療の効果を明確にすることができます。患者教化は二つのステップで実行されます。

1. SICAT Endo内のあなたのクリニックで
2. レポートによる患者情報を通じて

レポートの内容は説明の間にディスプレイでまとめることができます。

ソースは描画オブジェクトからなる画像とスクリーンショットです。

患者はレポートで論じた結果をよく理解することができ、他の人員にも伝えることができます。

レポートの作成は次の手順で構成されています。

- *画像とスクリーンショットの作成 [▶ページ 191 - SIDEXIS 4]*
- *レポートを準備する [▶ページ 194 - SIDEXIS 4]*
- *レポートを作成する [▶ページ 198 - SIDEXIS 4]*

30.1 画像とスクリーンショットの作成

患者教化に関する一般的な情報は患者教化の節をご覧ください。

画像とスクリーンショットの管理に関する一般的な情報は*SICAT Endoオブジェクト [▶ページ 72 - SIDEXIS 4]*に記載されています。

描画ツールは2種類あります。

- **矢印を描く**
- **円を描く**

矢印を描く

矢印を描くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ すでにボリュームを要件に応じて調整済みです。これに関する情報は*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 111 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**説明する**は、すでに開いています。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 矢印の先端の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
4. マウスを動かします。
   ▶ SICAT Endoはビューに矢印を表示します。
   ▶ これ以後、矢印終点はマウスポインタの位置に一致します。
5. マウスポインタを希望する矢印終点位置に移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ SICAT Endoはビューに完成した矢印を表示します。
   ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
   ▶ 画像は**レポート作成**ウィンドウにあります。
6. **矢印を描く**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoは矢印の描画モードを終了します。

円を描く

円を描くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ すでにボリュームをフランクフルト水平などの要件に応じて調整済みです。これに関する情報は*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 111 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**説明する**は、すでに開いています。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ**説明する**で**円を描く**アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 円の中心の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
4. マウスを動かします。
   ▶ SICAT Endoはビューに円を表示します。
   ▶ これ以後、円の半径は中心とマウスポインタの位置間の距離に一致します。
5. マウスポインタを希望する半径に到達するまで移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ SICAT Endoはビューに完成した円を表示します。
   ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
   ▶ 画像は**レポート作成**ウィンドウにあります。
6. **円を描く**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoは円の描画モードを終了します。

描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**が有効な間は、複数の描画オブジェクトを続けて作成することができます。描画ツールの使用を中断するには、希望のビューの外位置をクリックまたは**ESC**ボタンを押します。

描画ツールの設定

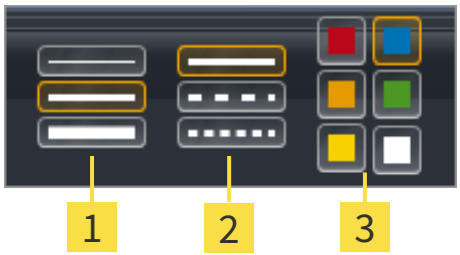
描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**を個別に設定することができます。設定の変更は、その後作成した描画オブジェクトにのみ該当します。

描画ツールを設定するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークフロー ステップの**説明する**は、すでに開いています。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンの隣、もしくは**円を描く**アイコン、それに属する**描画ツールの設定**アイコンをクリックします。

► **描画ツールの設定**の透明なウィンドウが開きます。



1 **線の太さ**のアイコン

2 **線の種類**のアイコン

3 **線の色**のアイコン

2. 描画ツールの**線の太さ**、**線の種類**および**線の色**を設定するには、希望するアイコンをクリックしてください。

3. **描画ツールの設定**の透明なウィンドウ外側の任意の点をクリックします。

► SICAT Endoは**描画ツールの設定**の透明なウィンドウを閉じます。

► SICAT Endoは設定をユーザープロファイルに保存します。

► SICAT Endoは、新規設定を今作成した描画オブジェクトに適用します。

スクリーンショットを「レポート作成」ウィンドウに追加します

それぞれのビューに**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl+C）**アイコンが含まれている場合、各ビューのスクリーンショットを各ワークスペースやウィンドウに作成することができます。

スクリーンショットをレポートに追加するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. ビューのスクリーンショットを作成するには希望するビューの**画像のツールバー**内で**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl+C）**アイコンをクリックしてください。

2. ワークスペース全体のスクリーンショットを作成するには**ワークスペースのツールバー**内で**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl+C）**アイコンをクリックしてください。

► SICAT Endoは**スクリーンショット**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成し、オブジェクトを有効にします。

► スクリーンショットは**レポート作成**ウィンドウにあります。

► SICAT Endoはスクリーンショットをクリップボードにコピーします。

*レポートを準備する [► ページ 194 - SIDEXIS 4]*で続行してください。

30.2 レポートを準備する

患者教化に関する一般的な情報は*患者教化 [▶ページ 190 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

レポートの準備するために使用できる操作は以下の通りです。

- **レポート作成**のウィンドウを開く
- レポート設定の変更
- 要素を準備する

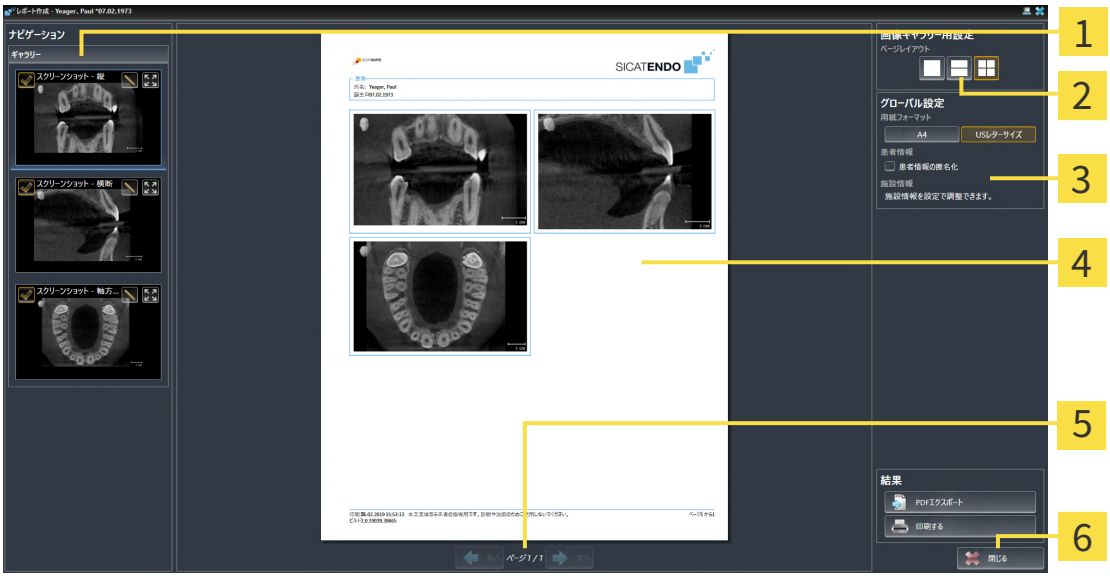
「レポート作成」のウィンドウを開く

☑ 少なくとも、**画像**オブジェクトまたは**スクリーンショット**オブジェクトを作成しました。

☑ ワークフロー ステップの**説明する**は、すでに開いています。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

- **レポートを作成する**のアイコンをクリックします。

▶ **レポート作成**のウィンドウが開きます。



1 **ギャラリー**エリア	4 プレビュー
2 画像配置用ボタン	5 ページナビゲーション
3 **グローバル設定**エリア	6 **閉じる**のボタン

レポート設定の変更

☑ **レポート作成**のウィンドウはすでに開いています。

1. **画像ギャラリー用設定**エリアで希望する画像配置用のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoが選択した設定に対応する画像を表示します。

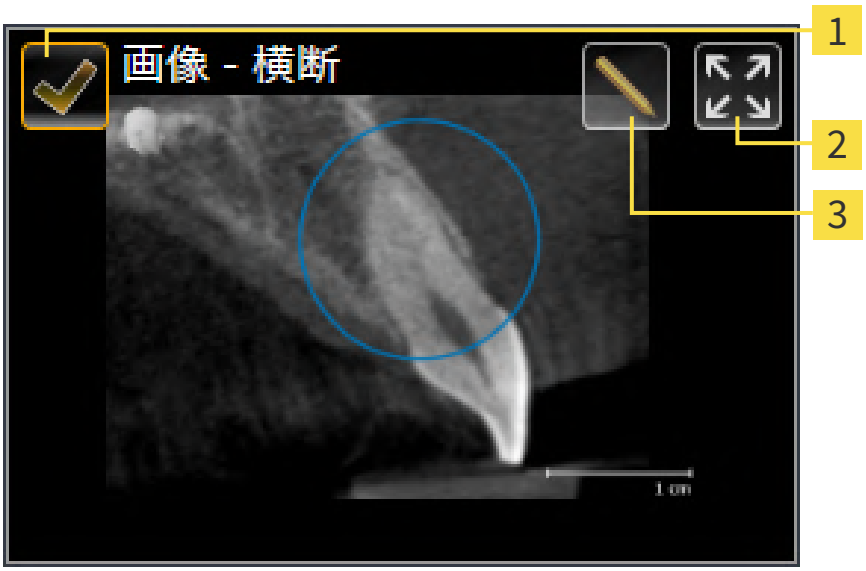
2. **グローバル設定**エリアで希望の用紙サイズのボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoが選択した設定に対応して用紙サイズを変更します。
3. **患者情報の匿名化**のチェックボックスを有効または無効にします。
   ▶ SICAT Endoが、選択した設定に応じて実際の患者情報または匿名化された患者情報をレポート上に表示します。

レポートのための要素を準備する

レポート作成ウインドウは**画像**オブジェクトからスクリーンショット、**スクリーンショット**オブジェクトからスクリーンショットを表示します。これに関する情報は*画像とスクリーンショットの作成 [▶ページ 191 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

レポート用の要素の準備は以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **レポート作成**のウィンドウはすでに開いています。



1 非表示および再表示用のチェックボックス

2 **それぞれのページに画像を表示**アイコン

3 **画像記述を編集する**アイコン

1. レポート内の要素を非表示にしたい場合は、要素のチェックボックスを無効にします。
   ▶ SICAT Endoがレポート内の要素を非表示にします。

2. SICAT Endoで画像を個別に片側に表示したい場合は**それぞれのページに画像を表示**アイコンをクリックしてください。

3. 要素に説明を追加したい場合は、要素の**画像記述を編集する**アイコンをクリックしてください。

▶ SICAT Endoは要素の拡大バージョンとテキスト入力欄を表示します。

4. テキスト入力欄にテキストを入力してください。

   ▶ 既存のテキストブロックテキストの一部を入力した場合、SICAT Endoはテキストブロックのリストを表示します。

5. 希望のテキストブロックをクリックします。

   ▶ SICAT Endoがテキストブロックをテキスト入力欄に追加します。

6. 希望したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、新しいテキストを入力してください。

7. **OK**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoがテキストをスクリーンショットの説明として保存します。

   ▶ 入力したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、SICAT Endoが説明を新しいテキストブロックとしてユーザープロファイルに保存します。

8. レポートの要素の順序を変更したい場合は、ドラッグ＆ドロップで調整してください。

マウスポインタをテキストブロック上に動かすと、SICAT Endoが**テキストブロックをリストから削除する**アイコンを表示します。**テキストブロックをリストから削除する**アイコンをクリックすると、SICAT Endoがテキストブロックをユーザープロファイルから削除します。

次のアイテムボタンと**直前のアイテム**ボタンをクリックすることにより、要素の拡大バージョンを示しているウインドウで要素間の切り替えができます。

オブジェクトブラウザで要素をレポートから完全に削除することができます。これに関する情報は*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 70 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

*レポートを作成する [▶ページ 198 - SIDEXIS 4]*で続行してください。

SICAT Endo は医療所ロゴおよび情報テキストを一般設定から引き継ぎます。この表示に関する内容は、*歯科医院情報の使用 [▶ページ 221 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

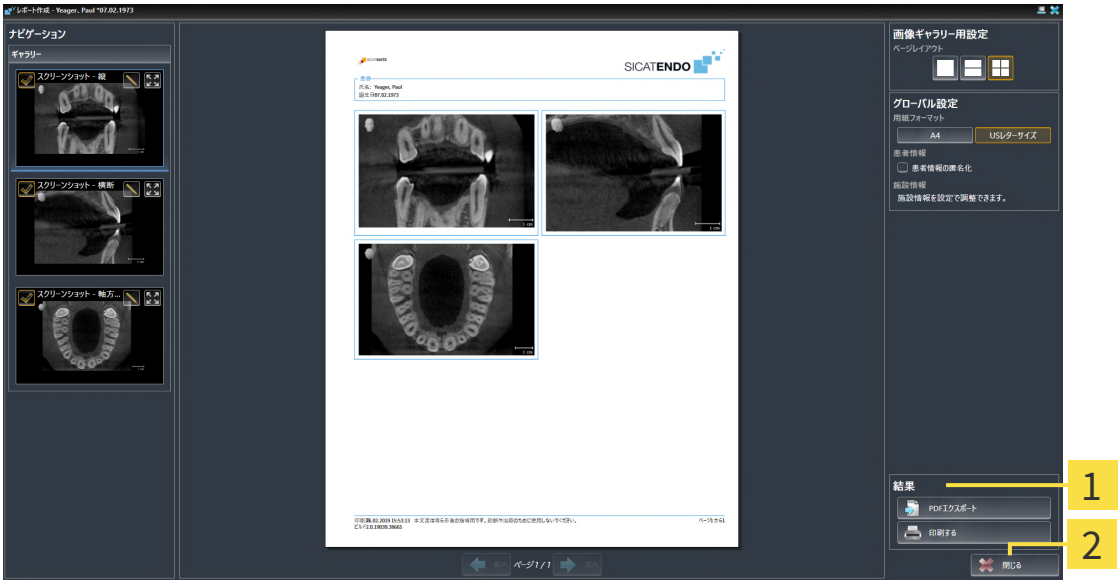
30.3 レポートを作成する

レポートを作成するために使用できる操作：

- レポートをPDFファイルで保存する
- レポートを印刷

レポートをPDFファイルで保存する

☑ **レポート作成**ウィンドウはすでに開いています。



1 **出力**コーナー

2 **閉じる**のボタン

1. **出力**のエリアで、**PDFエクスポート**のボタンをクリックします。
   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
2. レポートを保存するディレクトリを変更してください。
3. **ファイル名**欄に名前を入力し、**保存**をクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが閉じます。

▶ SICAT Endoはレポートを PDFファイルで保存します。

レポートを印刷

適切な品質のレポートには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 10 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ **レポート作成**のウィンドウはすでに開いています。

1. **印刷する**のボタンをクリックします。
   ▶ **印刷する**のウィンドウが開きます。
2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
3. **印刷する**をクリックします。

▶ SICAT Endoはプリンターにレポートを送信します。

31 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

SICAT SuiteをSIDEXIS 4のモジュールとして実行させると、データのエクスポートは、その目的で用意されている、SIDEXIS 4の機能を利用してください。このエクスポートに関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書を参照してください。

32 注文プロセス

希望の製品を注文するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- SICAT Endoで、サージカルガイドのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。これに関する情報は*ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ページ 202 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報は*カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 207 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報は*インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ページ 208 - SIDEXIS 4]*もしくは*インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ページ 212 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

同一の3D X線撮影画像に関係する注文であれば、複数の注文内容をカートに追加できます。

32.1 ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる

⚠ **注意**	**注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。** 注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。

⚠ **注意**	**注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。** 1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。 2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

注文プロセスに関する一般的な情報は、*注文プロセス [▶ページ 201 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

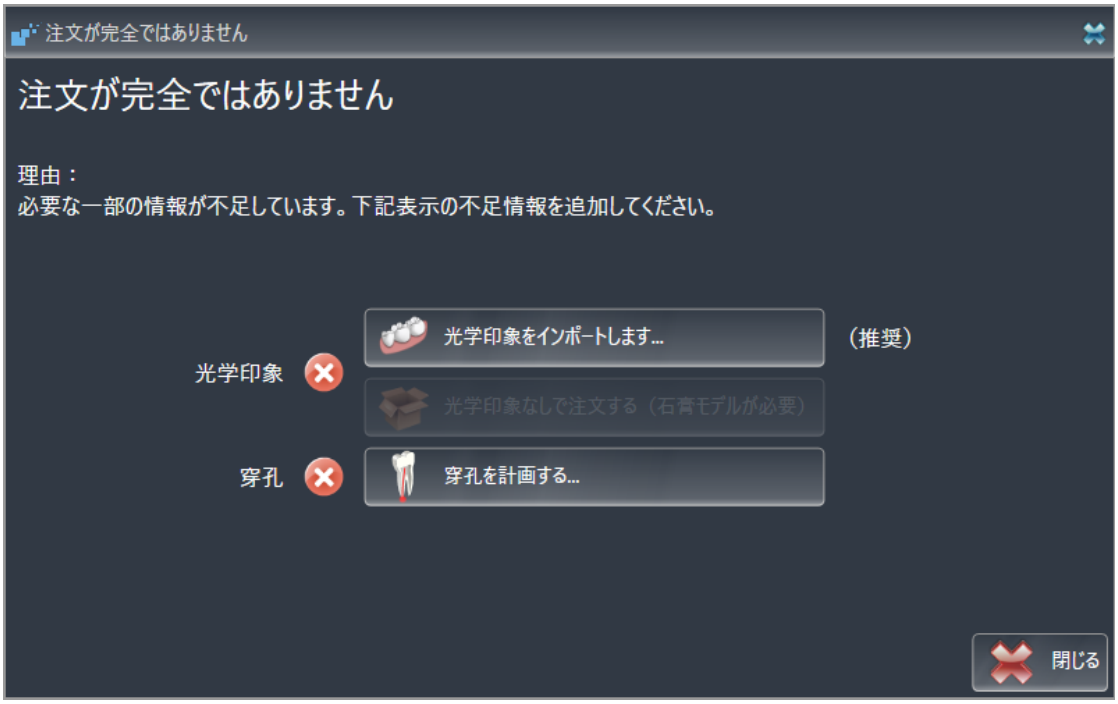
SICAT Endoで注文プロセスの最初のステップとして、**SICATアクセスガイド**ドリルテンプレートをショッピングカートに入れてください。**SICATアクセスガイド**をショッピングカートに入れるためには、特定の条件を満たす必要があります。すべての条件をまだ満たしてない場合は、SICAT Endoを参照してください。

充足されていない前提条件があるとき

☑ ワークフロー・ステップ**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

1. **SICAT ENDOGUIDEを注文します**のアイコンをクリックしてください。

   ▶ **注文が完全ではありません** のウィンドウが開きます。



2. 光学印象をまだ登録していない場合は、**光学印象をインポートします**ボタンをクリックし、3D X線撮影画像に合う適切な光学印象をインポートしてください。これに関する情報は、*光学印象 [▶ページ 120 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

3. ドリル穴をまだ計画していない場合は、**ドリル穴を計画する**ボタンをクリックし、ドリル穴を設定してください。これに関する情報は、*ドリル穴を計画する [▶ページ 178 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

場合によっては、光学印象をインポートする前にボリュームの配置およびパノラマ曲線を調整する必要があります。**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**ウィンドウを**光学印象をインポートし記録する**ウィンドウからステップ **登録する**で直接呼び出すことができます。直接呼び出すにはボタン**パノラマ エリアを調整する**をクリックします。これに関する情報は*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 116 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

光学印象の代わりにギブスをSICATに送信したい場合は、**注文が完全ではありませんウインドウの光学印象なしで注文する（石膏モデルが必要）**ボタンをクリックし、ドリルテンプレートを光学印象なしでショッピングカートに入れることができます。その後、ステップ**ドリルテンプレートを注文する**は情報**この注文には光学印象は含まれていません。該当する石膏モデルをSICATまでお送りください。**のを示します。

前提条件がすべて充足されているとき

☑ 少なくとも1つの光学印象をすでにインポート済みです。

☑ EndoLinesをすでに設定済みです。

☑ ドリル穴をすでに設定済みです。

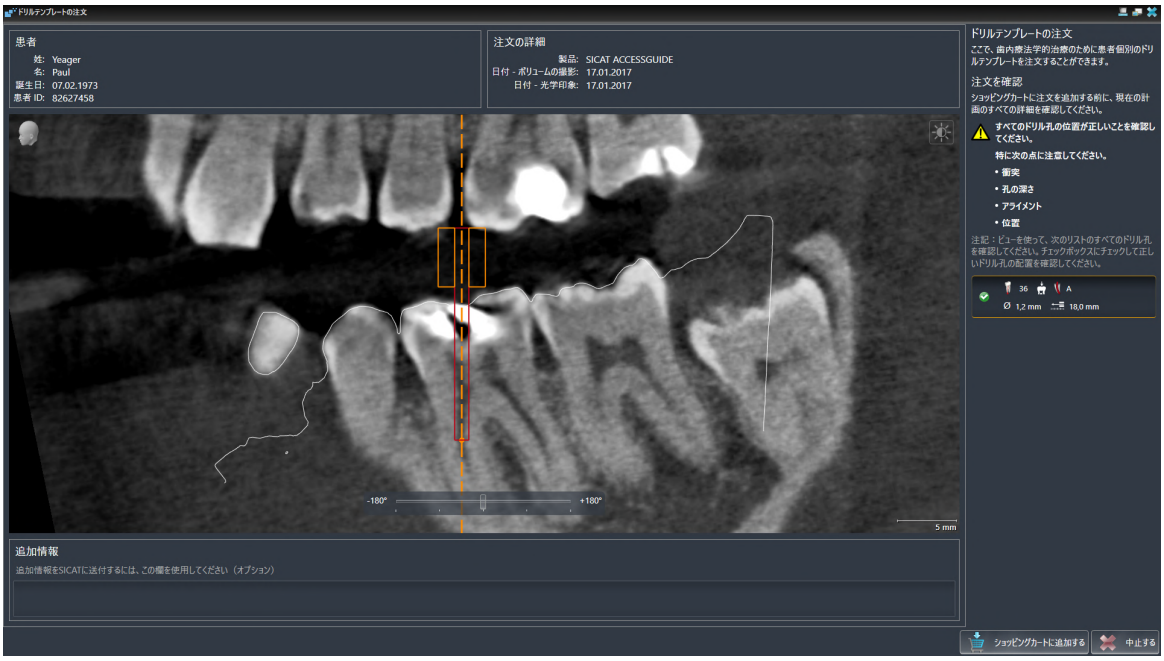
☑ ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 63 - SIDEXIS 4]*をご参照ください。

- **SICAT ENDOGUIDEを注文します**のアイコンをクリックしてください。

► **ドリルテンプレートを注文する** のウィンドウが開きます。

ウインドウで注文を確認してください ドリルテンプレートを注文する

☑ **ドリルテンプレートを注文する**ウインドウはすでに開いています：



1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者**エリアと**注文への詳細**エリアを確認してください。
2. すべてのドリル穴が正しく配置されていることを確認してください。
3. ドリル穴のテストを確認するには、**注文を確認する**エリアで対応するEndo計画オブジェクトをマーキングしてください。
   ▶ SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。
4. チェックマークを入れてください。
   ▶ SICAT Endo 緑色のチェックマークを表示します。
5. 注文に含まれているすべてのドリル穴で手順を繰り返してください。
6. 希望する場合、**追加情報**欄にSICATの追加情報を入力します。

7. **ショッピングカートに追加する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo **SICATアクセスガイド**のための希望する治療計画データをSICAT Suiteのショッピングカートに入れます。

▶ **ドリルテンプレートを注文する**ウイドウが閉じます。

▶ SICAT Endo SICAT Suiteのショッピングカートを開きます。

すべての計画されたドリル穴を点検し、各ドリル穴の点検を確認た場合、注文品をショッピングカートに入れることができます。

ドリル穴の点検においてエラーが見つかったにもかかわらず、既にチェックマークで点検を確認してしまった場合には、**中止する**ボタンをクリックし、その後、再び注文品点検のためのステップを実行してください。

注文がショッピングカート内にある間は、計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きすることはできません。これは、注文を終了するか削除した場合において初めて可能です。計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きまたは削除した場合は、同じドリルテンプレートを再度注文することはできません。

中止するをクリックすると、注文をキャンセルできます。

*カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 207 - SIDEXIS 4]*を継続してください。

32.2 カートを開く

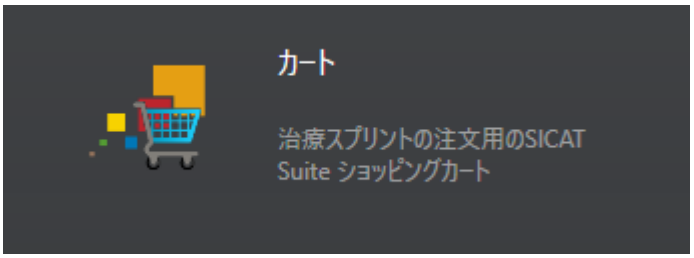
☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。

☑ **出力**のフェーズで、カートの表示を開いておきます。この操作に関する内容は、SIDEXIS 4の取扱説明書をご覧ください。

- ショッピングカートをまだ開いていない場合、**ナビゲーションバー**の**カート**のボタンをクリックします。

▶ **カート**のウィンドウが開きます。

上記に代えて、**出力**のフェーズで、**カート**のボタンをクリックしても結構です。

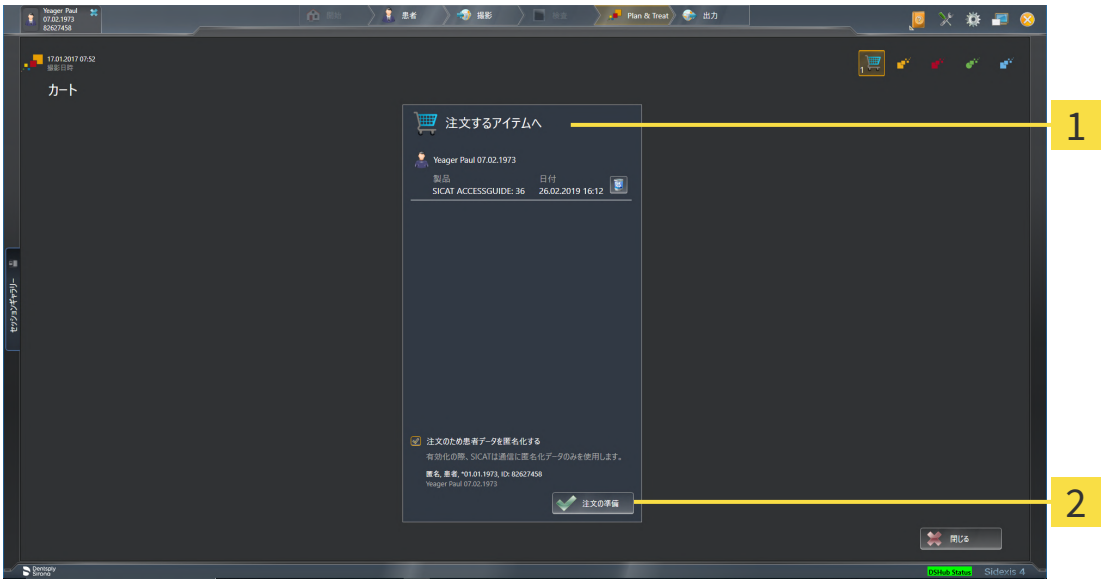


以下の操作で、処理を続けてください。

- *カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 207 - SIDEXIS 4]*

32.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

☑ **カート**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*カートを開く [▶ページ 206 - SIDEXIS 4]*を参照してください。



1 **注文するアイテムへ**のリスト

2 **注文の準備**のボタン

1. **カート**ウィンドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。
2. **注文のため患者データを匿名化する**のチェックボックスを有効または無効にします。
3. **注文の準備**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文状況を**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICATサーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- *インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ページ 208 - SIDEXIS 4]*
- *インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ページ 212 - SIDEXIS 4]*

32.4 インターネット接続を使用した注文の終了

Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならないときがあります。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**は有効になっています。これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 217 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。

   ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されます。

2. *SICATポータルでの注文手順 [▶ページ 209 - SIDEXIS 4]*の指示に従ってください。

▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。

▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

▶ ショッピングカートの注文状況が**アップロードする**に変わります。

また、**トリート**項目が強調されるよう、SIDEXIS 4のタイムラインでスタディのアイコンが変わります。

SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピューターで現在のSIDEXISサーバーを利用している場合は、他のコンピューターでアップロードされる注文にもこれは適応されます。注文内容のアップロードを開始したコンピュータであれば、そのコンピュータで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。

アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

32.5 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。

患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることができます。

32.6 SICAT WEBCONNECTOR

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 10 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

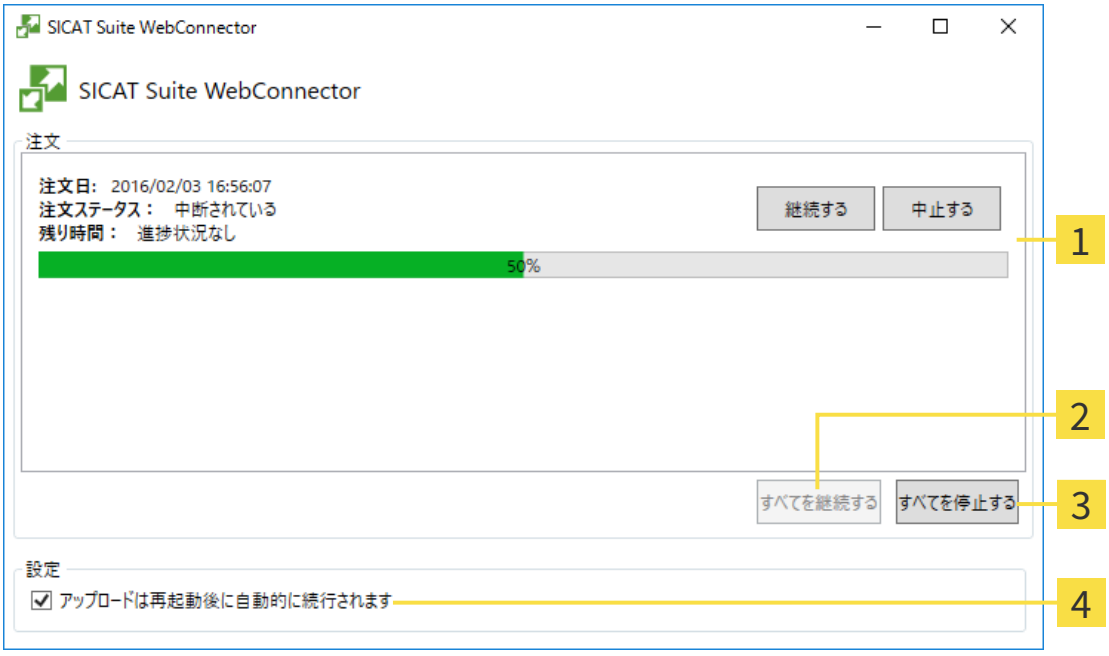
Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならないときがあります。

SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Endo 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectoを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われないことがありますが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く

- タスクバーの通知ウィンドウで、**SICAT Suite WebConnector**アイコンをクリックします。

▶ **SICAT Suite WebConnector** のウィンドウが開きます。



1 リスト **注文**

2 ボタン **すべて再開する**

3 ボタン **すべて停止する**

4 チェックボックス **再起動後にアップロードを自動で再開する**

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

☑ **SICAT Suite WebConnector**ウインドウはすでに開いています：

1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。

2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

☑ **SICAT Suite WebConnector**ウインドウはすでに開いています：

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。

▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

32.7 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、SICAT Suiteが**SICAT Suite - SICAT サーバーに接続できない**ウィンドウを開きます。ウィンドウは問題に対する以下の原因を表示します。

- **インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。**
- **SICATポータルにアクセスできません。**
- **「SICATWebConnector」サービスがインストールされていません。**
- **「SICATWebConnector」サービスが起動していません。**
- **未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。**

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

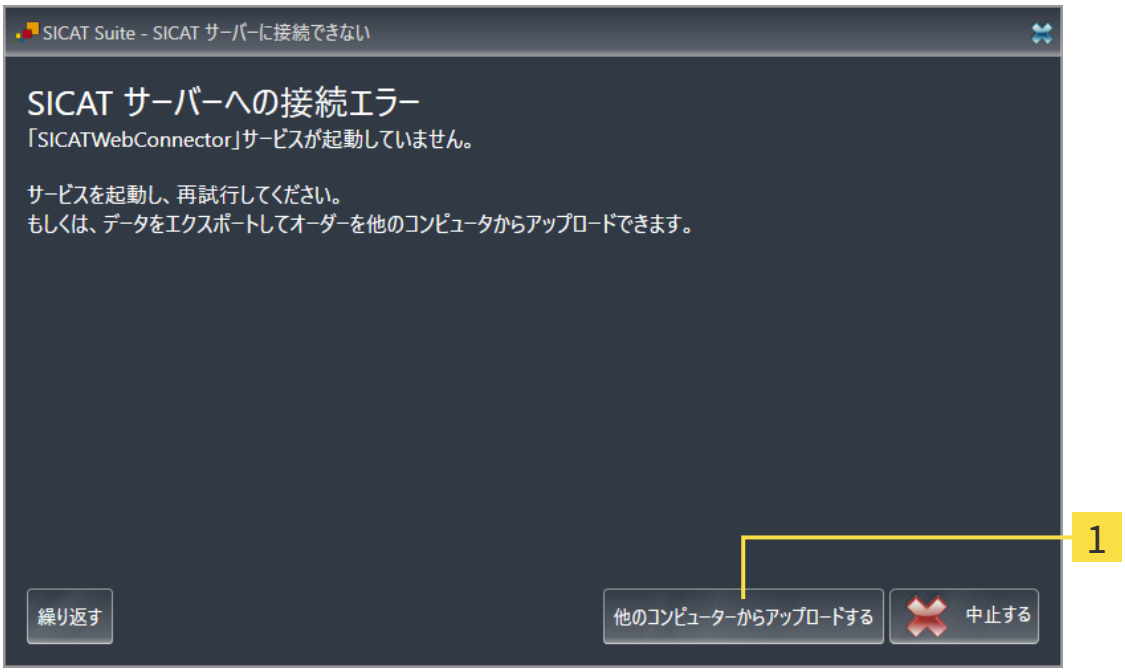
一般タブの設定で、チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**を無効にした場合は、**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウが直接開きます。

トラブルシューティングの代わりとして、またはインターネットへのアクセスを無効にしている場合は、インターネットに接続されている別のコンピュータのWebブラウザから注文をアップロードできます。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICATポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

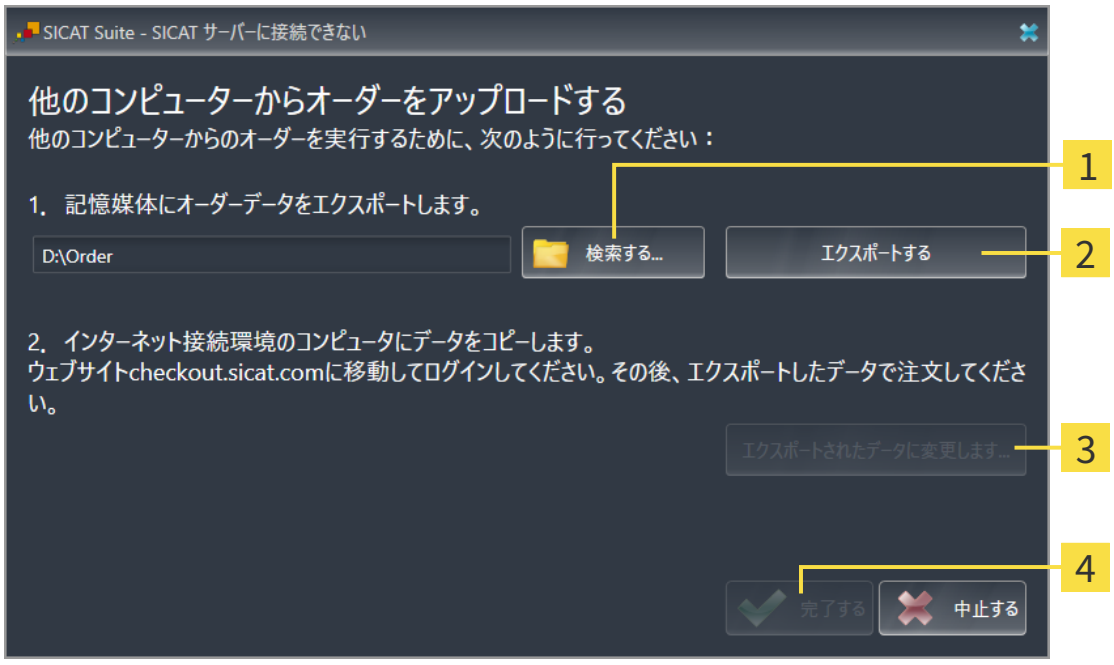
☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

☑ ウインドウに表示されるメッセージ：**SICAT サーバーへの接続エラー**



1 **他のコンピューターからアップロードする**のボタン

1. **他のコンピューターからアップロードする**のボタンをクリックします。
   ▶ **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**のウィンドウが開きます。



1 **検索する**のボタン

2 **エクスポートする**のボタン

3 **エクスポートされたデータに変更します**のボタン

4 **完了する**のボタン

2. **検索する**のボタンをクリックします。

▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

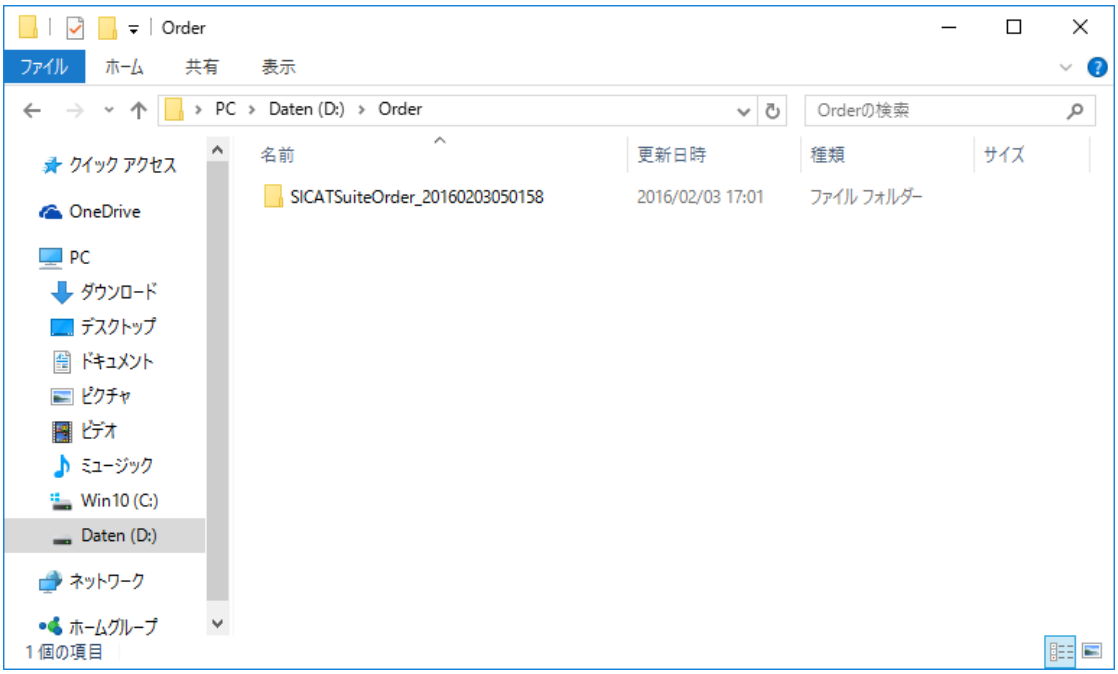
3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。

4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。

5. **エクスポートされたデータに変更します**のボタンをクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。

7. **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウの**完了する**をクリックします。

▶ SICAT Suiteは**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウを閉じます。

▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。

8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページhttp://www.sicat.deを開きます。

9. SICATポータルへのリンクをクリックします。

▶ SICATポータルが開きます。

10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。

11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。

12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。

    ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。

13. *SICATポータルでの注文手順 [▶ページ 209 - SIDEXIS 4]*の指示に従ってください。

14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。

15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が**SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。

▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

33 設定

SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXIS 4と結合して、SIDEXIS 4の設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用されたSICAT Endoの設定内容のデータは、で確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXIS 4の各種設定においてのみに限定されています。

設定ウインドウで一般設定を変更または閲覧することができます。**設定**のグループをクリックすると、メニューで左側に以下のボタンが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 217 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **ライセンス** - これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 47 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **プラクティス** - クリニックのロゴおよび情報テキストを表示または変更します (例えば、プリントアウトして使用するため)。これに関する情報は*歯科医院情報の使用 [▶ページ 221 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **Hub** - Hub接続設定はSIDEXIS 4に転送され、接続状態が表示されます。これに関する情報は*Hub接続状態を表示する [▶ページ 222 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **可視化** – ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は*可視化設定の変更 [▶ページ 223 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Endoが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに設定を保存します。

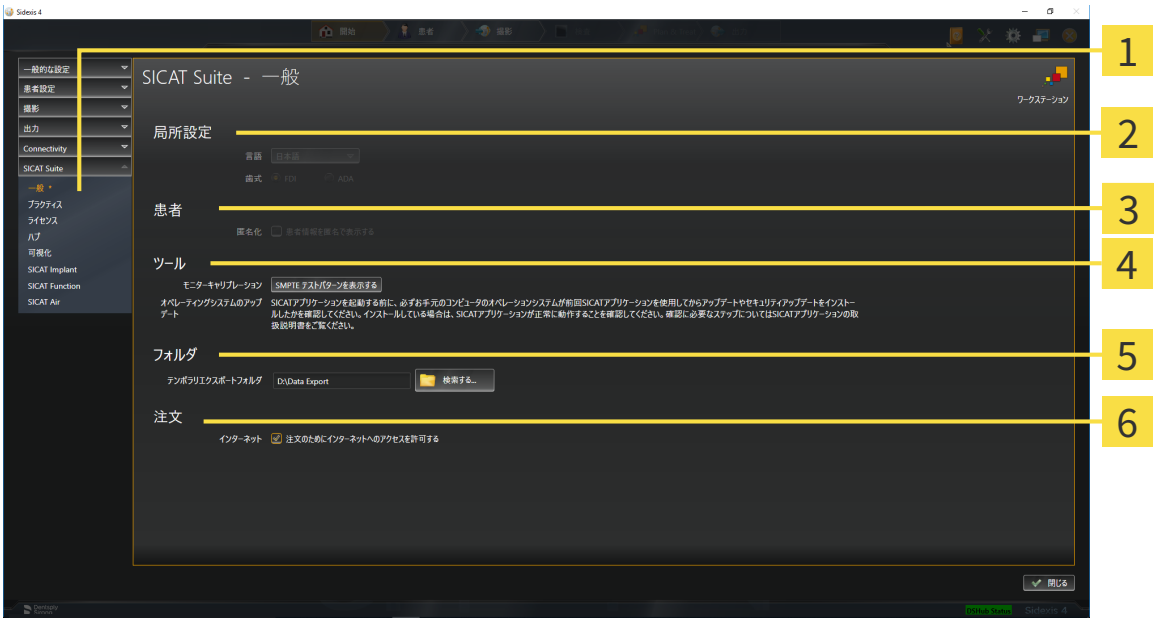
SICAT Suiteの設定は現在のワークステーションのアクティブなユーザーに適用されます。SICAT Suiteには設定で変更した事項がすぐに反映されます。SICAT Suiteでは、各種設定で別の種類へ切り替えても、変更後の設定内容を継続的に保存して、同様に維持します。

33.1 一般設定の使用

SICAT Suiteのバージョンのうち、SIDEXIS 4と結合して、SIDEXIS 4の設定内容の多くが適用されるものは、複数あります。こうして適用されたSICAT Endoの設定内容のデータは、で確認できますが、変更を加えることができるのは、SIDEXIS 4の各種設定においてのみに限定されています。

一般的な設定内容を開くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **一般**のボタンをクリックします。
   ▶ **一般** のウィンドウが開きます。



1 **一般**のタブ

2 **局所設定**エリア

3 **患者**エリア

4 **ツール**エリア

5 **ディレクトリ**エリア

6 **注文**エリア

SICAT Endoでは、SIDEXISの各種設定のうち、以下に挙げる内容が適用されますが、これらは、このページで確認できます。

- **局所設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を閲覧することができます。
- **局所設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を閲覧できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを閲覧できます。このチェックボックスにチェックマークがあれば、SICAT Endoでは、SIDEXISで匿名化した患者データを引き継ぎます。

変更が可能な設定内容は、以下のとおりです。

- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリ エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。
- **注文**エリアでは、**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。このボックスがチェックされていると、SICAT Suiteはインターネットに接続して注文します。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- **ツール**、**モニターキャリブレーション**で**SMPTE テストパターンを表示する**のボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報はSMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーションを参照してください。

SICAT Endoがサポートしていない言語を、SIDEXISで選択すると、SICAT Endoでは、ユーザーインターフェースのテキストを英語で表示します。

対応している歯型図はFDIとADAです。

33.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション

注意

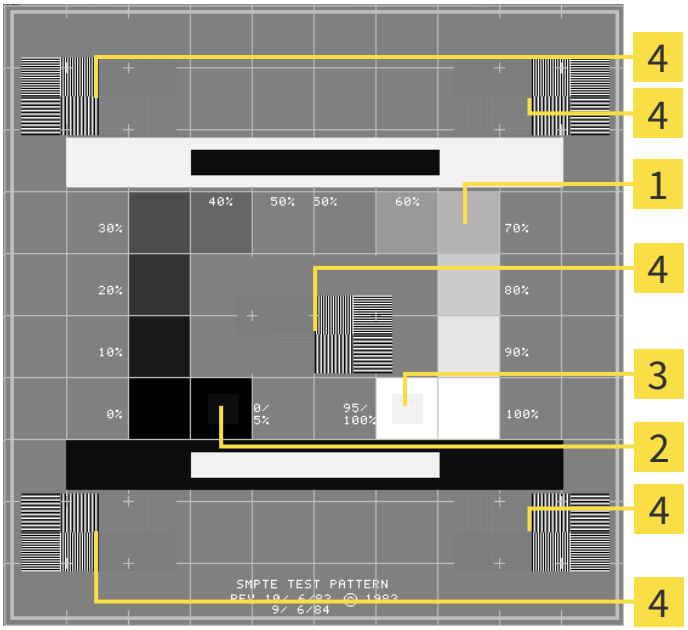
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

2 0%スクエア

3 100%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0% ～ 5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95% ～ 100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

☑ SMPTEテスト画像はすでに開いています。

- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- **ESC**ボタンを押します。

▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

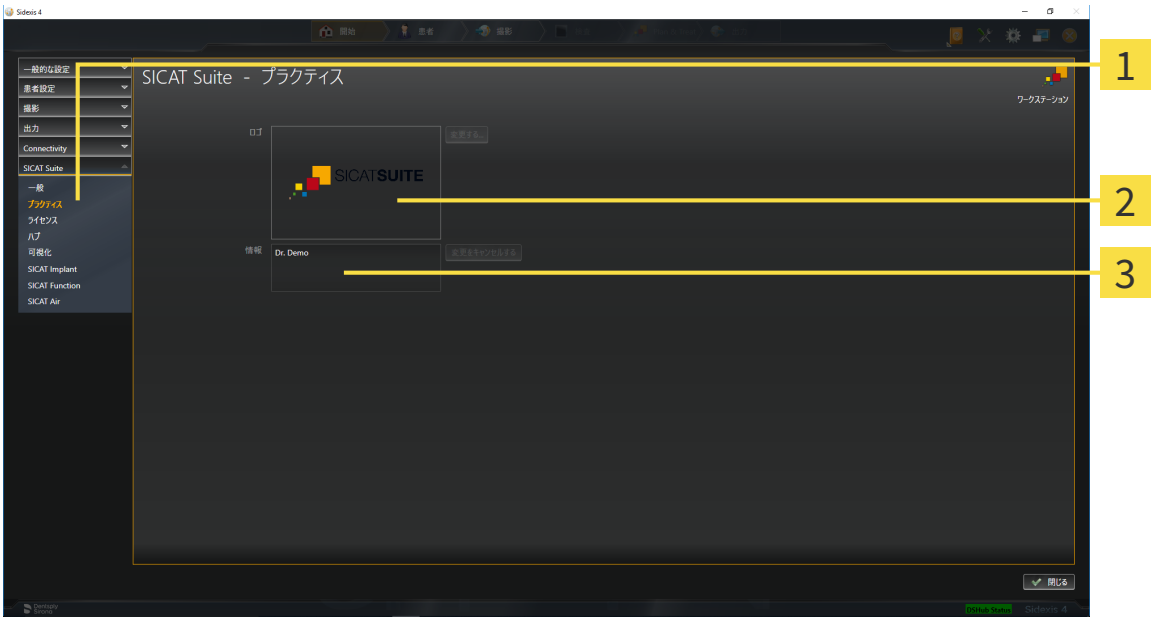
33.3 歯科医院情報の使用

SIDEXIS 4と結合しているSICAT Suiteのバージョンには PraxislogoとSIDEXIS 4の情報テキストが適用されています。そのため、SICAT Suiteの設定でこれらの設定の値しか閲覧できません。これらの設定内容は、SIDEXIS 4からご希望の変更を加えるようにしてください。

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **プラクティス**のボタンをクリックします。
   ▶ **プラクティス** のウィンドウが開きます。



1 **プラクティス**のタブ

2 **ロゴ**エリア

3 **情報**エリア

以下の設定を閲覧することができます。

- **ロゴ**エリアでは、施設ロゴを閲覧することができます。
- **情報**エリアでは、施設を識別するテキスト（名前、住所など）を閲覧することができます。

33.4 HUB接続状態を表示する

SICAT Suiteでは、Hubの接続状態を見ることができます。Hub使用の設定はSICAT SuiteにSIDEXIS 4から転送されます。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 47 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

1. SIDEXIS 4タイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **Hub**のボタンをクリックします。
   ▶ **Hub**のウィンドウが開きます。

▶ 右側に接続状況が表示されます。

33.5 可視化設定の変更

⚠ **注意**

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ **注意**

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. SIDEXIS 4のタイトルバーで、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。
2. **SICAT Suite**のグループをクリックします。
   ▶ **SICAT Suite**のグループが開きます。
3. **可視化**のボタンをクリックします。

▶ **可視化** のウィンドウが開きます。

1 タブ **可視化**

2 エリア **画質**

3 エリア **他のビューの更新**

4 エリア **線の太さ**

5 エリア **目線**

設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** – **軸方向**レイヤービューと**矢状方向**レイヤービューの目線を切り替えます。

34 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
- 連絡先情報
- SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内

以下の操作で、処理を続けてください。

- *サポート態勢のページを開く [▶ページ 226 - SIDEXIS 4]*

34.1 サポート態勢のページを開く

SICAT Suite の情報 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. **ヘルプ**のアイコンをクリックします。
2. **SICAT Suite の情報**項目をクリックします。

► **SICAT Suite の情報** のウィンドウが開きます。

SICAT Suite の情報ウインドウは次のタブで構成されています：

- **サポート** - これに関する情報は *サポート [► ページ 225 - SIDEXIS 4]*を参照してください。
- **インフォメーション** - これに関する情報はインフォメーションを参照してください。

34.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウインドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。

1 タブ **サポート**

2 エリア **連絡先情報**

3 エリア **インタラクティブなサポート**

4 エリア **サポートツール**

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Endoでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Endo では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。
- **SICAT Suite の情報**エリアでボタン**通知を表示する**をクリックするとSICAT Endoが通知ウィンドウを表示します。

34.3 インフォメーション

インフォメーションタブでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。

35 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

SIDEXIS 4モジュールとしてインストールしたSICAT Endoでは、データとして変更や保存はできませんが、確認が可能なものがありますが、いずれのデータがそれに該当するのかは、ライセンスのステータスに応じて異なります。

SICAT ENDOライセンスの種類	変更せずに参照することはできますか？
なし	無
ビューア	有
フルバージョン	無

以下の場合はビューアライセンスがなくてもSICAT Endo のスタディを参照することができます。

- SIDEXIS 4からSICAT Endoのスタディを外部にエクスポートし、他のコンピューター上のデータをSIDEXISにインポートします。SICAT Endo このコンピューター上にインストールされている必要があります。
- SIDEXIS 4から外部に SICAT Endoのスタディを含むWrap&Goパッケージを作成します。他のコンピューターにWrap&Goパッケージをインストールしてください。SICAT Endoの後にインストールしてください。

いずれの場合でも計画の変更も保存もできません。

SIDEXIS 4やSICAT Suiteを実行させるコンピュータがネットワークに接続する環境にあって、さらに、SIDEXIS 4とネットワークの構成設定によっては、複数のワークステーションに一括インストールできる場合、SIDEXIS 4は、その一括インストールに含まれる1台となることがあります。この結果の1つは、SIDEXIS 4がデータセットを開くときに、データセットがすでに使用中かどうかを確認することです。この場合、SICAT Suiteのデータセットはビューアモードで読み取り専用モードで開き、SICAT Endoスタディの変更を保存できません。

変更や保存が不可能な状態でデータを開くには、次の手順で行います。

- SICAT Suiteを3D X線撮影画像と一緒にSIDEXIS 4から起動します。これに関する情報は*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 42 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

▶ SICAT Suiteは3D X線撮影画像および計画プロジェクトを現在のSIDEXIS 4検査からビューアモードで開きます。

▶ これがSIDEXIS 4からの最初のデータ転送で、SIDEXIS 4の設定がSICAT Suiteの設定と互換性がある場合、SICAT EndoにSIDEXIS 4からボリューム方向とパノラマ曲線が転送されます。これに関する情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 108 - SIDEXIS 4]*を参照してください。

36 SICAT SUITEを閉じる

- 現時点で開いているスタディの左上隅にある**閉じる**ボタンをクリックします。

► SICAT Suiteが閉じます。

► SICAT Suiteでは、SICATの各種アプリケーションのうち、フルバージョンで実行させているものすべてで、変更後の治療計画プロジェクトがSIDEXIS 4に保存されます。

37 ショートカットキー

マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Endoは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書が開いている場合、**サポート**ウィンドウが開きます。

38 SICAT SUITEのアンインストール

SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報は*ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 56 - SIDEXIS 4]*に記載されています。

アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector [▶ページ 210 - SIDEXIS 4]*の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。

1. Windows**コントロールパネル**で**プログラムおよび機能**をクリックします。
   ▶ **プログラムおよび機能** のウィンドウが開きます。
2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**を選択します。
3. **アンインストール**のボタンをクリックします。

▶ アンインストールプログラムが起動し、**進捗状況**ウインドウが開きます。

▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウインドウが開きます。

4. **終了する**のボタンをクリックします。

► SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。

	SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-Suiteインストールプログラムを SICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。

	SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

39 安全に関する注意事項

3D X線撮影画像

⚠ **注意**

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ **注意**

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ **注意**

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像以外のデータを、測定に基づく治療計画のための情報源として使用すると、誤った診断および治療結果につながるおそれがあります。

測定機能を使用する場合には、診断と計画には3D X線撮影画像使用してください。

口腔内撮影画像

⚠ **注意**

口腔内撮影画像の登録に不適切な3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. アーチファクトをほんの少しまたは全く含まない3D X線撮影画像のみを使用してください。
2. 解像度が十分に高い3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ **注意**

患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合には、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像に対して向きが間違った口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。

⚠ **注意**

医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違った診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。

⚠ **注意**

口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。

⚠ **注意**

口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ **注意**

口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。

⚠ **注意**

口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。

表示条件

⚠ **注意**

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ **注意**

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理

⚠ **注意**

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

⚠ **注意**

オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。

⚠ **注意**

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

⚠ **注意**

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意

削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

オペレーターの資格

⚠ 注意

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性

⚠ 注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。

⚠ 注意

ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。

⚠ 注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール

⚠ 注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠ 注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。

⚠ 注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

⚠ 注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

⚠ **注意**

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

注文

⚠ **注意**

注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。

⚠ **注意**

注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。
2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

光学印象

⚠ **注意**

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。

⚠ **注意**

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。

⚠ 注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。

⚠ 注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

⚠ 注意

過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ 注意

互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

⚠ 注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

ネットワーク

⚠ 注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意	**SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。** ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意	**ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。** ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

歯式

⚠ 注意	**歯の番号の割り当てが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

ドリル深さ

⚠ 注意	**ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。** 計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

計画オブジェクト

⚠ 注意	**測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。** 3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

40 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 µm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 µm

用語集

ADA

American Dental Association（米国歯科医師会）

CPR

3D X線撮影画像からの2D画像再構成を行う Curved Planar Reformation (曲面多断面再構成)は、複雑な構造を簡略化して表示する際に使用されます。

EndoLine

EndoLineは、治療を行う根管のマーキング、そして根尖位置の特定に利用される多機能測定線です。

FDI

Fédération Dentaire Internationale（国際歯科連盟）

Hub

サーバーとして機能し、ローカルネットワーク上の異なるデバイス間でデータを交換できるようにする外付けストレージ。

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにスプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers（映画テレビ技術者協会）

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット（例えば、光学印象を含む）。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれもSICAT Suiteに付属するプログラムです。

スポットライト

口腔内撮影画像の登録における、円形の口腔内撮影画像の登録に口腔内撮影画像および3D投影のオーバーレイを検証するための円形に強調された画像の一部。

ドリル穴

ソフトウェアでビジュアルに表現され、編集することができる、EndoLineをの基礎として計画されたドリル経路。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

計画プロジェクト

計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

口腔内撮影画像

口腔内撮影画像は、個々の歯の2D X線撮影画像で、口の外側にあるX線源の歯の背後にある歯科用フィルムによって撮影され、詳細の高い正確性がその特徴です。

撮影結果

3D治療計画スタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

ビュー 83
　トリミング部分を移動させる 91
　EndoView 162
　十字線、フレーム 93
　輝度およびコントラスト 89
　最大化と復元 88
　スクリーンショットの作成 99
　スクロール 92
　ズーミング 91
　リセットする 98
アプリケーションを切り替える 45
ワークスペース
　調整する 81
　口腔内撮影画像 79
　パノラマ 78
　スクリーンショットの作成 82
　SIDEXIS 4の出力ページへスクリーンショットを追加する 82
　リセットする 81
ユーザーインターフェース
　SICAT Endo 61
　SICAT Suite 44
エリアをマスキングする 154
このバージョンの特徴 31
注文
　再起動後の自動アップロード 211
　ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる 202
　アップロードの中断および続行 211
　SICATポータル 209
用途 8
ドリル穴を計画する 178
ドリル穴
　ロックを解除する 178
　削除 178
　ロックする 178
データを書き込み禁止で開く 229
データエクスポート 200
アンインストール 232
設定
　可視化設定の変更 223
EndoLine
　色とテキストを調整する 171
　確認箇所を追加する 172
　確認箇所を削除する 172
　確認箇所を移動する 172
　編集する 168
EndoLineウィザード 156
　ドリル穴を計画する 178
　ドリル穴 156
　EndoLine 156
　EndoView 162
　歯を選択する 165
EndoLinesの設定 168
　マウスボタンを使う 168
EndoLineウィザード
　EndoLinesの設定 168
　ビュー 157
　歯牙領域の事前設定 166
EndoView 162
　回転 163
　調整する 168
Firewallの設定
　WebConnector 11
Hub
　Hub接続状態を表示する 222
インポートする
　口腔内撮影画像 141
適応症 8
インストール
　アンインストール 232
口腔内撮影画像を登録する 148
　エリアをマスキングする 154
　プリアライメントを調整する 151
口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う 146
口腔内撮影画像ワークスペース
　一般的なお知らせ 79
口腔内撮影画像 139
　インポートする 141
　互換性のある口腔内撮影用センサー 140
　歯を割り当てる 141
　歯の番号 141
口腔内撮影画像
　登録する 148
　登録ウィザード 145
　プリポジショニング 146

互換性のある口腔内撮影用センサー 140
測定
　距離測定を追加する 185
　測定点を移動する 188
　測定値を移動する 189
　概要 184
　移動 188
モジュールを登録する
　SIDEXIS 4 38
モニターキャリブレーション 219
オブジェクト
　SICAT Endoオブジェクト 72
登録ウィザード 145
　エリアをマスキングする 154
　口腔内撮影画像を登録する 148
　口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う 146
閉じる 230
スクリーンショット
　ビューで作成する 99
　ワークスペースを使って作成する 82
SICAT Endo
　ユーザーインターフェース 61
SICAT Endoスタディ
　SIDEXIS4で 40
SICATポータル 209
SICAT Suite
　ユーザーインターフェース 44
　閉じる 230
　インストールする 20
　開始する 42
　更新する 29
　修理する 30
SICAT Suiteの概要 18
SICAT WebConnector 210
安全に関する情報 13
　危険レベル 14
　オペレーターの資格 15
SIDEXIS 4
　モジュールを登録する 38
　フェーズバー 39
　ワークスペースのスクリーンショットを追加する 82
　タイムライン 43
　ビューのスクリーンショットを追加します 99
SIDEXIS4
　SICAT Endoスタディ 40
SMPTEテストパターン 219
STLインポート 129
サポート 225
　連絡先情報 227
　サポートウィンドウを開く 226
　ツール 227
切替
　アプリケーション 45
バージョン
　相違点 31
WebConnector
　Firewallの設定 11
ワークフローのツールバー 63
歯を選択する 165
横長ビュー
　傾斜 97
開始する
　SICAT Suite 42
患者教化 190
傾斜
　ビュー 97
検査ウィンドウ
　パノラマワークスペースで 77
　口腔内撮影画像ワークスペースで非表示、および表示する 96
　最大化する 95
　非表示/表示 95
言語 18
光学印象
　CERECのスキャンジョブをHubに送信する 126
　Hubからダウンロードする 123
　STLインポート 129
　インポートルート 120
　インポート形式 120
　カラー表示する 107
　ファイルからインポート 127
　概要 120
　記録と確認 134
　計画および実施の基礎として 120
　他のSICATアプリケーションから再使用する 132
更新
　SICAT Suite 29, 30
更新する
　SICAT Suite 29
最初のステップ 35
最大化する
　検査ウィンドウ 95
削除する

オブジェクト 70
歯牙領域の事前設定 166
取扱説明書
開く 46
記号、スタイル 16
取扱説明書の概要 17
修理する
SICAT Suite 30
縦長ビュー
傾斜 97
切替
光学印象のカラー表示 107
接合
Hub 222
接続設定
WebConnector 11
設定
クリニック情報を表示または変更する 221
一般的な設定内容を確認する、変更する 217
概要 216
測定
角度測定を追加する 186
注文
カートをチェックする 207
データを別のコンピュータから送信する 212
バックグランドでのデータ送信 208
ワークフローの概要 201
調整する
パノラマ エリア 116
ボリュームの配置 111
非表示
オブジェクト 69
検査ウィンドウ 95
口腔内撮影画像ワークスペースの検査ウィンドウ 96
表示
オブジェクト 69
検査ウィンドウ 95
口腔内撮影画像ワークスペースの検査ウィンドウ 96
変更
パノラマ エリア 116
ボリュームの配置 111
容量
配置する 111

数字

3D X線データ
配置する 111
3Dビュー
表示モードを切り替える 103
3Dビュー 100
光学印象のカラー表示を切り替える 107
構成設定を行う 104
視線方向を変更する 101
切り抜きモードを切り替える 106

い

インストール
SICAT Suite 20
システム要件 10
インストールする
SICAT Suite 20
システム要件 10

お

オブジェクト
オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する 70
オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示 69
オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする 68
オブジェクトグループの開閉 68
オブジェクトツールバー 70
オブジェクトバー 66
削除する 70
焦点を合わせる 70

か

カート
開く 206

さ

サポート
ヘルプを開く 46
製品情報 228

し

システムの必要条件 10

システム要件 10
ソフトウェア要件 11
ハードウェア要件 10
ショートカットキー 231

す

スクリーンショット
レポート用に作成 193

そ

ソフトウェアインストール
SICAT Suite 20

は

バウチャーコードを使用する 60
パノラマ エリア 109
SIDEXIS 4から転送 32, 110
調整する 116
ハンドアウト用の画像やスクリーンショット
円を描く 191
描画ツールの設定 192
矢印を描く 191

ひ

ビュー
EndoLineウィザード 157
画像のツールバー 84
傾斜 97
検査ウィンドウの移動 94
検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する 95
口腔内撮影画像ワークスペースの検査ウィンドウを非表示、および表示する 96
切替 86

ほ

ボリュームの配置 108
SIDEXIS 4から転送 32, 110
調整する 111

ら

ライセンス 47
バウチャーコードを使用する 60
ライセンスプールに返却する 56
自動アクティベート 52
手動でアクティブ化する 54
表示する 51

れ

レポート
スクリーンショットの作成 193
作成する 198
準備する 194
レポート用の画像やスクリーンショット
スクリーンショットの作成 193

わ

ワークスペース 76
切り替える 80
ワークフロー 35

SICATENDO

SICAT ENDO バージョン 2.0

取扱説明書 | 日本語 | Standalone

目次 - Standalone

1 意図された用途および適応症 7

2 バージョン履歴 8

3 システム要件 9

4 安全に関する情報 12

4.1 危険レベルの定義 13

4.2 オペレーターの資格 14

5 使用するアイコンおよび強調 15

6 取扱説明書の概要 16

7 SICAT Suiteの概要 17

8 SICAT Suiteのインストール 19

9 オペレーティングシステムのアップデートのためのテスト手順を実行します 25

10 SICAT Suiteの更新、修復 27

11 このバージョンの特徴 28

12 SICAT Endoの標準ワークフロー 31

13 SICAT Suite をスタートする 35

14 SICAT Suiteのユーザーインターフェース 36

14.1 「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 38

15 SICATのアプリケーションを相互に切り替える 40

16 取扱説明書を開く 41

17 ライセンス 42

17.1 「ライセンス」のウィンドウを開く 45

17.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする 46

17.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする 48

17.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する 50

17.5 ネットワークライセンスを有効にする 52

17.6 バウチャーコードを使用する 54

18 患者ファイリング 55

18.1 「患者ファイリング」ウインドウを開く 58

18.2 患者ファイリングを追加する 59

18.3 別の患者ファイリングをアクティブにする 61

18.4 患者ファイリングを除去する 63

19 データインポート 64
19.1 対応しているDICOMフォーマット 67
19.2 インポートするデータを選択する 68
19.3 インポートオプションの選択 70
19.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成 71
19.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる 72
20 患者ファイル 75
20.1 「患者ファイル概要」ウインドウを開く 76
20.2 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え 77
20.3 患者ファイルをアクティブにする 79
20.4 アクティブな患者ファイルを使用した作業 80
20.5 患者ファイルの特性を変更する 82
20.6 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く 83
20.7 SICAT SuiteでのSICAT Endoスタディ 85
20.8 アクティブな患者ファイルを閉じ、それに含まれる計画プロジェクトを保存する 88
20.9 患者ファイリングからの患者ファイルの削除 89
20.10 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 91
21 SICAT Endoのユーザーインターフェース 93
21.1 ワークフローのツールバー 95
21.2 オブジェクトバー 98
21.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 100
21.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 102
21.5 SICAT Endoオブジェクト 104
22 ワークスペース 108
22.1 パノラマワークスペースの概要 109
22.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要 111
22.3 ワークスペースを切り替える 112
22.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット 113
22.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する 114
23 ビュー 115
23.1 ビューの調整 116
23.2 アクティブなビューの切り替え 118
23.3 ビューの最大化および復元 119
23.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット 120
23.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動 122
23.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール 123

23.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示 ... 124
23.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 ... 125
23.9 ビューの傾斜 ... 128
23.10ビューをリセットする ... 129
23.11画像のスクリーンショットを作成する ... 130
24 3Dビューの調整 ... 131
24.1 3Dビューの目線を変更する ... 132
24.2 3Dビューの表示タイプを切り替える ... 134
24.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する ... 135
24.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え ... 137
24.5 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする ... 138
25 グレースケール値 ... 139
25.1 グレースケール値を調整する ... 141
26 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する ... 143
26.1 ボリュームの配置を調整する ... 145
26.2 パノラマ エリアを調整する ... 150
27 光学印象 ... 154
27.1 光学印象をインポートする ... 155
27.1.1 Hubから光学印象をダウンロードする ... 156
27.1.2 ファイルから光学印象をインポートする ... 160
27.1.3 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する ... 163
27.2 光学印象の記録と確認 ... 165
28 口腔内撮影画像 ... 169
28.1 互換性のある口腔内撮影用センサー ... 171
28.2 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます ... 172
29 登録ウィザード ... 176
29.1 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う ... 177
29.2 口腔内撮影画像を登録する ... 179
29.3 横方向および軸方向のプリアライメントを調整する ... 182
29.4 エリアをマスキングする ... 185
30 EndoLineウィザード ... 187
30.1 EndoLineウィザードの中のビュー ... 188
30.1.1 EndoView ... 193
30.1.2 EndoViewを回転する ... 194
30.2 治療計画のための歯を選択する ... 196

30.3 歯の領域をプリアラインメントする ... 197
30.4 EndoLinesの設定 ... 199
30.5 色とテキストを調整する ... 202
30.6 確認箇所を追加、移動および削除する ... 203
30.7 3Dビューを回転する ... 206
30.8 光学印象を表示する ... 207
30.9 マウスボタンを使用する ... 208
30.10 ドリル穴を計画する ... 209

31 距離/角度測定 ... 215
31.1 距離測定を追加する ... 216
31.2 角度測定を追加する ... 217
31.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する ... 219

32 患者教化 ... 221
32.1 画像とスクリーンショットの作成 ... 222
32.2 レポートを準備する ... 225
32.3 レポートを作成する ... 229

33 データエクスポート ... 231
33.1 「データの転送」ウィンドウを開く ... 232
33.2 データのエクスポート ... 233

34 注文プロセス ... 235
34.1 ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる ... 236
34.2 カートを開く ... 240
34.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する ... 241
34.4 インターネット接続を使用した注文の終了 ... 242
34.5 SICATポータルでの注文手順 ... 243
34.6 SICAT WebConnector ... 244
34.7 インターネット接続を使用しない注文の終了 ... 246

35 設定 ... 250
35.1 一般設定の使用 ... 251
35.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション ... 253
35.3 歯科医院情報の使用 ... 255
35.4 Hubの使用を有効または無効にする ... 256
35.5 可視化設定の変更 ... 258

36 サポート ... 260
36.1 サポート態勢のページを開く ... 261

36.2 連絡先情報およびサポートツール 262
36.3 インフォメーション 264
37 データを書き込み禁止で開く 265
38 SICAT Endoを閉じる 267
39 SICAT Suiteを閉じる 268
40 ショートカットキー 269
41 SICAT Suiteのアンインストール 270
42 安全に関する注意事項 273
43 精度 281
用語集 282
索引 284
記号の説明 288

1 意図された用途および適応症

SICAT Endo 口腔・顎顔面領域の画像情報をビジュアル化するためのソフトウェアです。画像情報は、医療スキャナ(CT/DVTスキャナなど)によるものです。また、SICAT Endoは、治療の選択肢と歯内治療のためのアクセスルートの計画、評価および比較において歯科医をサポートします。歯科医によって作成された計画データは、SICAT Endoからエクスポートして、治療の実施において使用することができます。

適応症

SICAT Endo 次の目的ためのソフトウェアです。

- 口腔・顎顔面領域診断のサポート
- さまざまな治療の選択肢を比較する際のサポート
- 歯内治療計画におけるサポート
- 歯内穿孔テンプレートを用いた治療計画におけるサポート

2 バージョン履歴

バージョン2.0

- Hubは、光学印象をインポートおよび記録するための追加オプションとして利用できます。
- Sidexis 4にインポートされたSTLファイルは、光学印象のインポートと記録に使用できます。
- Hubからロードした場合、もしくはSIXDファイルからインポートした場合は、光学印象を色付けできます。
- アプリケーションごとに、ボリューム調整の修正とパノラマ曲線の調整を別々に設定できます。
- パノラマビューでは、検査ウィンドウを最大化することができます。
- パノラマワークスペースの横方向と縦方向のビューは傾斜させることができます。
- SICATアプリケーションは、ワークステーションライセンスまたはネットワークライセンスのどちらでもオプションで使用できます。
- SICAT Suiteは、Sidexis 4またはスタンドアロンと共に使用できます。

バージョン1.4

- 初版発行

3 システム要件

⚠
注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

プロセッサー	クワッドコア：2.3 GHz
メインメモリ	8 GB
グラフィックカード	専用* DirectX 11以上 ビデオメモリ：2 GB 現行のドライバで、ウィンドウズ・ディスプレイ・ドライバ・メモリWDDM1.0以降のバージョンを使用できること。
ディスプレイ	画面解像度：画素密度が100%～125%のとき、1920×1080ドット以上** 画面解像度：画素密度が100%～200%のとき、3840×2160ドット以下**
ハードディスクの空き容量	20 GB、その他、データセット用の補助メモリ容量が必要
記憶媒体	インストールファイルが保存された外部記憶媒体へのアクセス
入力装置	キーボード、マウス
ネットワーク	Ethernetで、100 Mbpsまたは1000 Mbpsを推奨
患者教化用プリンター	300 dpi以上 紙形式はDIN A4またはUSレターサイズ
オペレーティングシステム	Windows 7 SP1 (64 ビット版)、 更新ファイルKB2670838を適用済みであること Windows 8.1（64ビット版、デスクトップ） Windows 10（64ビット版、デスクトップ） これらのオペレーティングシステムは、マイクロソフト社がサポートを継続する期間内でサポートされます。

ウェブブラウザ	Microsoft Edge Mozilla Firefox Google Chrome JavaScriptが有効になっていること。 標準のブラウザに設定しておいてください。
PDFビューア	例えば、Adobe Reader DC以降のバージョン
SIDEXIS 4	バージョン4.3.1以降(SiPlanAPI V5)
Hub	バージョン2.X、バージョン2.1以降

＊SICAT Suiteでご使用いただけるグラフィックカードは、パフォーマンスレベルがNVIDIA GeForce 960 GTXと同等か、または、それを上回る専用のものに限ります。統合グラフィックカードには対応していません。

**画面を低解像度にして画素密度を大きくとると、それが原因で、ユーザーインターフェースのある一部で、ソフトウェアの表示が不完全になることがあります。

ディスプレイは、SMPTEテスト画像が正確に表示されるように調整する必要があります。この調整に関する内容は、*SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション [▶ページ 253 - Standalone]*をご覧ください。

前提ソフトウェア

SICAT Suiteは、以下のソフトウェア・コンポーネントを必要としますが、これらコンポーネントが未インストールのときは、SICAT Suiteがインストールを行います。

- Microsoft .NET Framework 4.6.2
- CodeMeterライセンス管理ソフト6.30d
- SQL Server Compact Edition 4.0
- SICAT WebConnector

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。このポートはファイアウォール内でも有効にされている必要があります。

プロトコル	接続方向	ポート
HTTP	送信	80
HTTPS	送信	443
FTPS管理	送信	21
FTPSデータ転送	送信	49152～65534

SICAT WebConnectorがなくても注文を実行することができます。これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 235 - Standalone]*を参照してください。

4 安全に関する情報

安全関連の章節を以下に挙げますが、お読みいただくことが大切です。

- *危険レベルの定義 [▶ページ 13 - Standalone]*
- *オペレーターの資格 [▶ページ 14 - Standalone]*
- *安全に関する注意事項 [▶ページ 273 - Standalone]*

4.1 危険レベルの定義

この取扱説明書では、オペレータ要員の皆様や患者様が負傷しないようにすること、および、物的損害を予防することの両者を目的として、安全にかかわる識別表示として以下のものを使用しています。

⚠ **注意**	**この表示は、回避しなかった場合に、比較的、軽度の負傷を招く原因になりうる、危険な状況であることを示します。**

注記	**重要であるが、安全に関連していると見なされない情報を示しています。**

4.2 オペレーターの資格

⚠ **注意**	**資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

ソフトウェアの使用には、以下の条件が揃っている必要があります。

- 本取扱説明書を読んでいること。
- ソフトウェアの基本構造および機能に習熟していること。

5 使用するアイコンおよび強調

アイコン

この取扱説明書では、以下の記号を使用しています。

この注意アイコンは、例えば代替手順のような追加情報を示しています。

強調

SICAT Suiteに表示される要素のテキストおよび記号は、**太字**で強調されています。これに含まれるユーザーインターフェースのオブジェクト：

- 範囲の記号
- ボタンの記号
- アイコンの記号
- 画面に表示される注意およびメッセージのテキスト

取扱説明

取扱説明は番号付きリストで記載されています。

☑ 前提条件にはこのアイコンが付けられています。

1. 手順には番号が付けられています。

   ▶ 中間結果はこのアイコンが付けられ、挿入されています。

2. 中間結果の後、それ以降の手順が続きます。

3. **オプションまたは条件付きステップ：**オプションまたは条件付きステップでは、ステップの目標または条件の前にコロンが付きます。

▶ 最終条件にはこのアイコンが付けられています。

- 一つの手順のみで構成される指示にはこのアイコンが付けられています。

患者情報

表示されている例の患者名は架空のものです。したがって、実在の人物との類似点はまったく偶然の一致です。特に、例の患者名と表示された患者データとの間に相関関係はありません。

6 取扱説明書の概要

SICAT Endo は、他の各種アプリケーションとともに、SICAT Suiteの一部を構成します。SICAT Suiteは、SICATの各種アプリケーションを実行させる環境を提供します。したがって、各種アプリケーションのインストールは、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 19 - Standalone]*を参照してください。

インストール後、SICAT Suiteは二つの方法で使用できます。バージョンによって、操作手順の異なるものがいくらかあります。そのため、この取扱説明書では、バージョンごとで以下のように独立させています。

- SIDEXIS 4のモジュールを追加
- スタンドアロン版

SICAT Suiteをインストールするときは、いずれか1バージョンを選択する操作は不要です。

各種アプリケーションのアンインストールも同様に、SICAT Suiteにより行います。これに関する情報は*SICAT Suiteのアンインストール [▶ページ 270 - Standalone]*を参照してください。

7 SICAT SUITEの概要

SICAT Suiteは以下のアプリケーションを含みます。

- SICAT Implant - SICAT Implantの用途については、SICAT Implantの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Function - SICAT Functionの用途については、SICAT Functionの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Air - SICAT Airの用途については、SICAT Airの取扱説明書をご参照ください。
- SICAT Endo - SICAT Endoの用途については、SICAT Endoの取扱説明書をご参照ください。

言語

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは以下の言語に対応しています。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- スペイン語
- イタリア語
- オランダ語
- ポルトガル語
- ロシア語

ライセンス認証

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

フルバージョンおよびビューアモード

SICAT Suiteは2種類のモードでスタートすることができます。

- 最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効な場合、SICAT Suiteがビューアモードで起動します。
- 少なくとも一つのSICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを有効にしている場合、SICAT Suiteはフルバージョンで起動します。

原則として以下のルールを適用しています。

- 有効なフルバージョンライセンスのあるアプリケーションはフルバージョンでスタートします。
- 有効なビューアライセンスのあるアプリケーションはビューアモードでスタートします。
- 有効なライセンスのないアプリケーションはスタートしません。
- SICAT Suiteをインストールするときに、一つのモードに決定する必要はありません。

8 SICAT SUITEのインストール

注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。

注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

お手元のコンピュータでは、Windowsの **オートスタート** 機能がオフに設定されていることがあります。この場合、光媒体をWindowsファイルエクスプローラーで開き、ファイル名にSICAT Suiteのバージョンが含まれる **SICATSuiteSetup.exe**ファイルを手動でスタートすることができます。

SICAT Suiteをインストールするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ お手元のコンピュータでは、システムの要件が満たされているようにしておいてください。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 9 - Standalone]*を参照してください。

☑ SICAT SuiteはSICATのホームページからダウンロードできます。

1. SICAT Suiteインストールメディアをコンピューターの光学ドライブに挿入します。

   ▶ **オートスタート**のウィンドウが開きます。

2. SICAT Suiteをダウンロード版として購入した場合は、SICATのホームページからISOファイルをダウンロードして、インストールに使用してください。

3. **オートスタート**のウィンドウで、**SICATSuiteSetup.exeを実行する**のオプションを選択します。このとき、ファイル名には、SICAT Suiteのバージョン番号が含まれています。

   ▶ ソフトウェアがコンピューター上で使用できない場合、前提ソフトウェアをインストールします。

▶ SICAT Suiteのインストールプログラムが起動し、**はじめに**のウィンドウが開きます。

4. SICAT Suiteのインストールプログラムで使用する言語は、お好みのものを、**はじめに**のウィンドウの右上隅から選択したら、**次へ**をクリックします。

► **使用許諾契約書**のウィンドウが開きます。

5. エンドユーザー使用許諾契約書をもれなく通読し、**使用許諾契約書に同意します。**のチェックボックスにチェックマークを入れたら、**次へ**をクリックします。

▶ **オプション**のウィンドウが開きます。

6. SICAT Suiteのインストールプログラムにより、SICAT Suiteをインストールする先のフォルダが、ハードディスク上にありますが、このフォルダを変更するときは、**検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ **フォルダを選択する**のウィンドウが開きます。

7. SICAT Suiteインストールプログラムに「SICAT Suite」ディレクトリを作成させたいフォルダを参照し、**OK**をクリックしてください。

   ▶ フォルダを選択すると、SICAT Suiteのインストールプログラムが、そのフォルダへのパスを**ソフトウェアをどこにインストールしますか？**のボックス内に貼り付けます。

8. 入力が可能な場合は、**デスクトップにショートカットを作成します**のチェックボックスにチェックマークを入れるか外すかのいずれかを行います。

9. **インストールする**のボタンをクリックします。

▶ **進捗状況**のウィンドウが開きます。

▶ SICAT Suiteと残りの前提ソフトウェアをインストールします。

▶ インストールが完了すると、**確認**のウィンドウが開きます。

10. **終了する**のボタンをクリックします。

    ▶ SICAT Suiteインストールプログラムが閉じます。

    ▶ SICAT Implantデータベース・インストールプログラムが自動的に起動します。SICAT Implantデータベースをインストールしたくない場合は、**中止する**のボタンをクリックしてください。

9 オペレーティングシステムのアップデートのためのテスト手順を実行します

⚠ **注意**

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

お使いのコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムがインストールされている場合、SICAT Endoが正常に動作しているか確認します。以下の点検手順を実行してください。点検中に異常を発見した場合は影響を受けるコンピュータ上のSICAT Endoの使用を中止し、SICATサポートまでお問い合わせください。

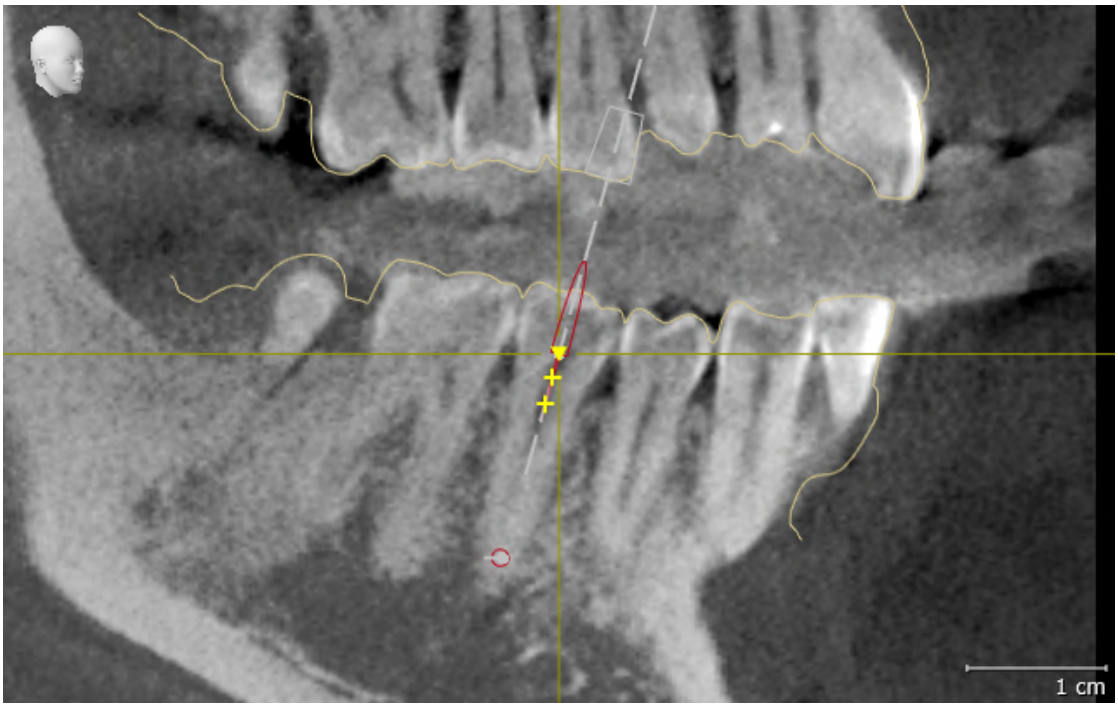
準備

1. **Windows**ボタンを押し、**SICAT Suite**と入力して、**SICAT Suite**アイコンをクリックすることによって、SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンでスタートします。
2. 誰も意図せぬ変更をしていないことを確認するために、患者「Patient Axx」を削除します。
3. ファイル「SICATSuite_ReferenceDataset_2.0.zip」から基準データセットをインポートします。SICAT Suiteのインストールメディア状にデータセットがあります。
4. 基準データセット「Patient Axx」をSICAT Endoで開きます。

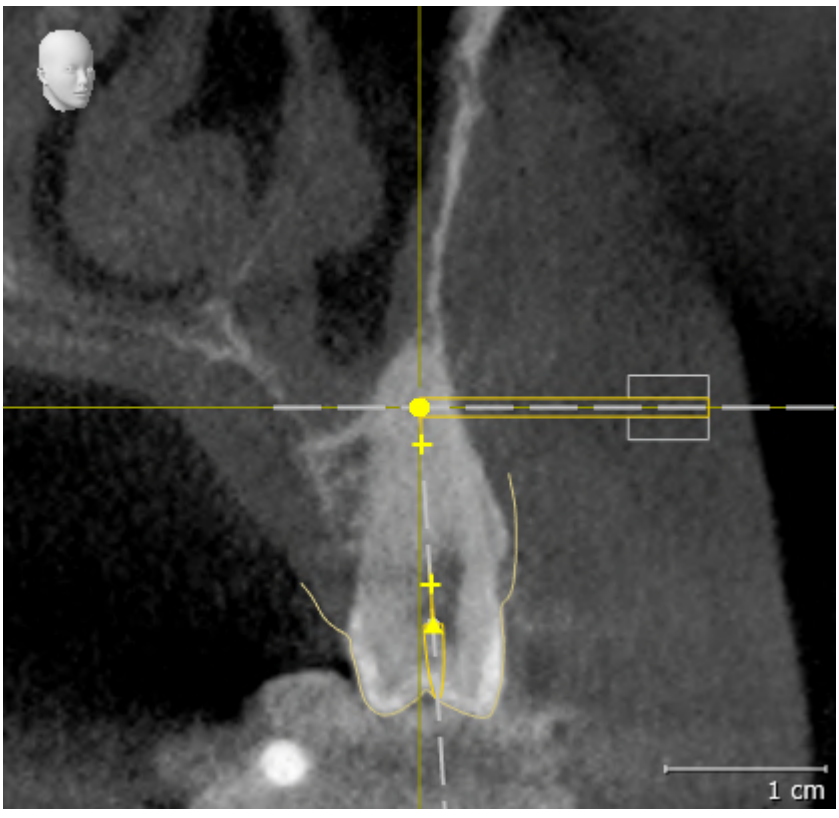
ENDOLINE

1. **FDI**歯型図が有効であることを確認してください。これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 251 - Standalone]*を参照してください。
2. **パノラマ**ワークスペースが有効であることを確認してください。
3. ビューを標準値に戻します。
4. **オブジェクトブラウザ**にグループ「**歯 45**」を開きます。

5. **オブジェクトブラウザ**で要素**「15.24 mm歯番号45」**を選択し、それに焦点を合わせます。
6. 以下のスクリーンショットで**縦**ビューを比較してください。



7. **オブジェクトブラウザ**にグループ「**歯** 25」を開きます。
8. **オブジェクトブラウザ**で要素「13.63 mm歯番号25」を選択し、それに焦点を合わせます。
9. 以下のスクリーンショットで**横断**ビューを比較してください。



10 SICAT SUITEの更新、修復

SICAT SUITEの更新

⚠ **注意**

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

SICAT Suiteを更新するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**更新する**のボタンをクリックしてください。更新にあたって、インストールプログラムは、最初にSICAT Suiteの旧バージョンをアンインストールします。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！ 更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

SICAT SUITEの修復

SICAT Suiteを修復するときは、SICAT Suiteのインストールプログラムを起動して、**修理する**のボタンをクリックしてください。データと設定内容は、いずれももれなく保持されます。

SICAT Suiteでは、更新と修復の両者で、SICAT Suiteのインストールプログラムを使用します。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ ページ 19 - Standalone]*を参照してください。

11 このバージョンの特徴

SICAT Endo単独、または他のソフトウェアにリンクされた形で使用するかによって、特定の領域に違いがあります。

患者データ、立体画像のデータ

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンには、ボリュームデータおよび患者の固有の中央管理が含まれます。SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンの患者ファイルのコンセプトは、標準的な患者ファイルに例えることができます。

- 患者ファイルは、書類整理庫に例えることのできる患者ファイリングに保存されます。
- 患者ファイルをアクティブにすることは、患者ファイルを書類保管庫から取り出してテーブルに置くことに例えることができます。
- 患者ファイルからの患者データをSICATアプリケーションで開くことは、患者ファイルから書類を取り出すことに例えることができます。
- 3D X線撮影画像を患者ファイルに追加することは、標準的な患者ファイルの2D X線撮影画像を追加することに例えることができます。
- 3D X線撮影画像は、複数のプロジェクトの基礎となり得ます。プロジェクトは患者ファイルの一部でもあります。
- 付属のプロジェクトを含む3D X線撮影画像はスタディと呼ばれます。

患者ファイルフォルダーの管理に関する内容は、*患者ファイリング [▶ページ 55 - Standalone]* の節をご覧ください。患者ファイルの管理に関する内容は、*患者ファイル [▶ページ 75 - Standalone]*の節をご覧ください。

患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに **%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG**と **%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG** を入力してください。

設定

スタンドアロン版では、SICAT Suite自体が設定内容のすべてを管理します。これに関する情報は*設定 [▶ページ 250 - Standalone]*を参照してください。

ライセンス

スタンドアロン版と、別のソフトウェアに結合した、SICAT Suiteのバージョンは、いずれも共通のライセンスで使用できます。SICAT Suiteをインストールするときに、一つのバージョンに決定する必要はありません。

スタディの書込権限のあるものとないものを開く

SICAT Endoの3D治療計画スタディに対して変更を行い、その変更内容を保存するときは、以下の各条件を満たしておいてください。

- SICAT Endoのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了しておく必要があります。
- 患者ファイリングを開いておくこと。

ライセンスのアクティベーションが完了していなければ、 SICAT Endoの3D治療計画スタディでは、変更と変更内容の保存がいずれもできません。SICAT Endoビューアライセンスがすでに有効にされている場合、3D X線撮影とSICAT Endoスタディを閲覧することができます。

以下の表には、SICATアプリケーション用ライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、開いている患者ファイルフォルダーがあるときに、利用できる機能が示されます。

機能	アプリケーションのフルバージョンライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いています	アプリケーションのビューアライセンスのアクティベーションを完了していますが、患者ファイルフォルダーが開いていません	アプリケーションでライセンスのアクティベーションが未完了で、患者ファイルフォルダーが開いていません
サポート領域	有	有	有
一般設定	有	有	有
データエクスポート	有	無	無
患者ファイリングの管理	有	無	無
患者ファイルの管理	有	無	無
データインポート	有	無	無
ヘルプ	有	有	有

以下の表には、SICAT Endoについてライセンスのアクティベーションを完了し、開いている患者ファイルフォルダーがあるときに、利用できる機能を示します。

機能	SICAT ENDO-フルバージョン・ライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いている	SICAT ENDO-ビューア・ライセンスのアクティベーションを完了し、かつ、患者ファイルフォルダーが開いている	SICAT ENDOアプリケーションでライセンスのアクティベーションが未完了であるが、患者ファイルフォルダーが開いてある
SICAT Endoのスタディに変更を加える	有	無	無
データをビューアモードで開く	無	有	無

アプリケーションのライセンスに対して、アクティベーションが完了していても、条件によっては、SICAT Endoのスタディで変更を行ったり、変更内容を保存したりが、いずれもできないときがあります。その原因として、例えば注文プロセス実行中の場合が考えられます。

スタンドアロンバージョンでは、ライセンスステータスは**SICAT Suiteホーム**ウインドウで使用できる機能にも影響します。これに関する情報は*「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 [▶ページ 38 - Standalone]*を参照してください。

詳細な情報は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 265 - Standalone]*をご参照ください。

12 SICAT ENDOの標準ワークフロー

⚠ 注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

SICAT Suiteを使った作業を始める前に、本取扱説明書および、特にすべての安全上の注意事項をよくお読みください。後で情報を調べる時のため、本取扱説明書は手元に置いてください。

インストール

SICAT Suiteをインストールする手順は、*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 19 - Standalone]*をご覧ください。

フルバージョンで使用可能にする

1. SICAT Endoのライセンスが取得済みのときは、ライセンスのアクティベーションを行って、フルバージョンで使用できるようにします。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 42 - Standalone]*を参照してください。

2. データを保存できるため、少なくとも一つの患者ファイリングを登録し、これをアクティブにします。これに関する情報は*患者ファイリング [▶ページ 55 - Standalone]*を参照してください。

SICAT Endoのライセンスを取得していない場合は、3D X線撮影画像をビュアーモードで個別に開いてください。ビュアーモードに関する内容は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 265 - Standalone]*の節をご覧ください。

SICAT Suiteが作動しているコンピューターが一つのネットワーク環境にあり、ネットワーク構成がこれを可能にする場合、患者ファイリングおよび含まれている患者ファイルをネットワークファイルシステムに保存することができます。通常、ネットワークファイルシステムはそのためにNFSプロトコルまたはSMBプロトコルに対応している必要があります。この表示に関する内容は、*患者ファイリング [▶ページ 55 - Standalone]*の節をご覧ください。

開始

SICAT Suiteの起動手順は、*SICAT Suite をスタートする [▶ページ 35 - Standalone]*の節をご覧ください。

設定

各種設定について、お好みの内容に変更するときは、**設定**のコーナーから行ってください。これに関する情報は*設定 [▶ページ 250 - Standalone]*を参照してください。

データセット

SICAT Endo 3つの異なるファイルタイプを組み合わせます。

- 3D X線撮影画像。例として、Sirona　GALILEOSによるものがあります。
- Sirona XIOS XGなどの口腔内撮影画像
- デジタル光学印象。例として、Sirona CERECによるものがあります。

データセットを収集する

1. 必要に応じて、患者の口腔内撮影画像を作成してください。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
2. 患者の3D X線撮影画像を作成します。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
3. 上顎骨または下顎骨のデジタル光学印象を作成します。この手順に関する内容は、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

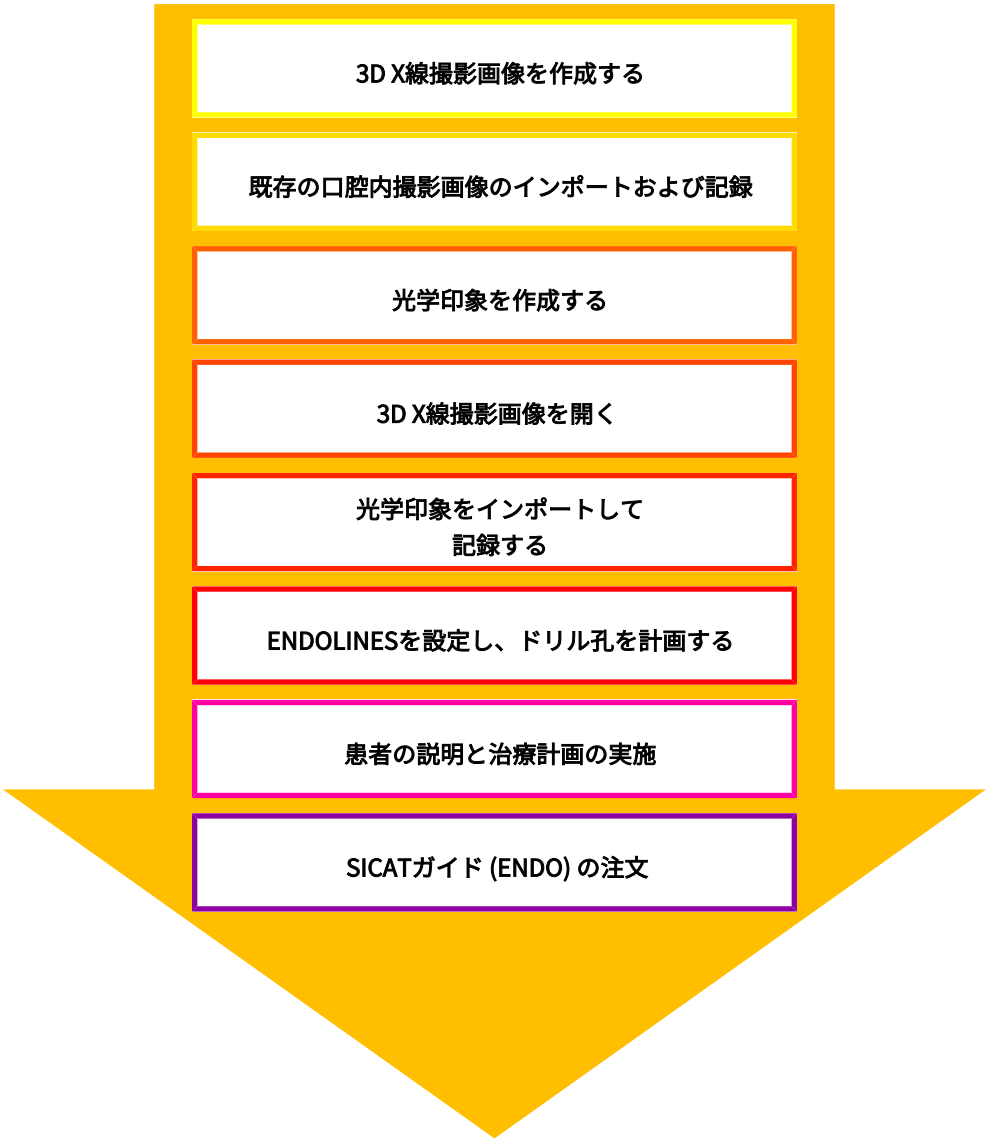
データセットを開く

1. 3D X線撮影画像を患者ファイリングにインポートします。これに関する情報は*データインポート [▶ページ 64 - Standalone]*を参照してください。

2. 患者ファイルを検索し、インポートしたデータを管理する手順は、*患者ファイル [▶ページ 75 - Standalone]*の節に記載の手順に従ってください。

3. 患者ファイルのデータで作業するには、SICAT Endoで、患者ファイルを開きます。これに関する情報は*患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ページ 83 - Standalone]*を参照してください。

典型的なデジタル歯内治療ワークフロー



SICAT ENDO作業手順

1. 必要に応じて、ボリュームの配置とパノラマ エリアを調整します。これに関する情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 143 - Standalone]*を参照してください。

2. SICAT Endoで、口腔内撮影画像をインポートして記録します。これに関する情報は*口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 172 - Standalone]*および*口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 179 - Standalone]*を参照してください。

3. 3D X線撮影画像のデータとともに、光学印象をインポートして記録します。これに関する情報は*光学印象 [▶ページ 154 - Standalone]*を参照してください。

4. EndoLinesを配置し、ドリル孔を計画します。これに関する情報は*歯の領域をプリアラインメントする [▶ページ 197 - Standalone]*、*EndoLinesの設定 [▶ページ 199 - Standalone]*および*ドリル穴を計画する [▶ページ 209 - Standalone]*を参照してください。

5. **口腔内撮影画像**ワークスペースで、Endo計画オブジェクトを評価します。これに関する情報は*口腔内撮影画像ワークスペースの概要 [▶ページ 111 - Standalone]*を参照してください。

6. 患者教化を実行し、それに基づいて患者のハンドアウトを作成してください。これに関する情報は患者教化を参照してください。

7. SICAT GUIDE (ENDO) ドリルテンプレートを注文します。これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 235 - Standalone]*を参照してください。

8. 例えば、セカンドオピニオンを求める場合、データをエクスポートします。これに関する情報は*データエクスポート [▶ページ 231 - Standalone]*を参照してください。

データセットを使用する作業を終了する、中断する

- 作業を終了または中断する時は、アクティブな患者ファイルを閉じて、これを保存してください。これに関する情報は*SICAT Suiteを閉じる [▶ページ 268 - Standalone]*を参照してください。

取扱説明書、サポート

取扱説明書は、**SICAT Suite ヘルプ**のウィンドウからご覧ください。これに関する情報は*取扱説明書を開く [▶ページ 41 - Standalone]*を参照してください。

それ以降のサポートは、**サポート**のページをご覧ください。これに関する情報は*サポート [▶ページ 260 - Standalone]*を参照してください。

13 SICAT SUITE をスタートする

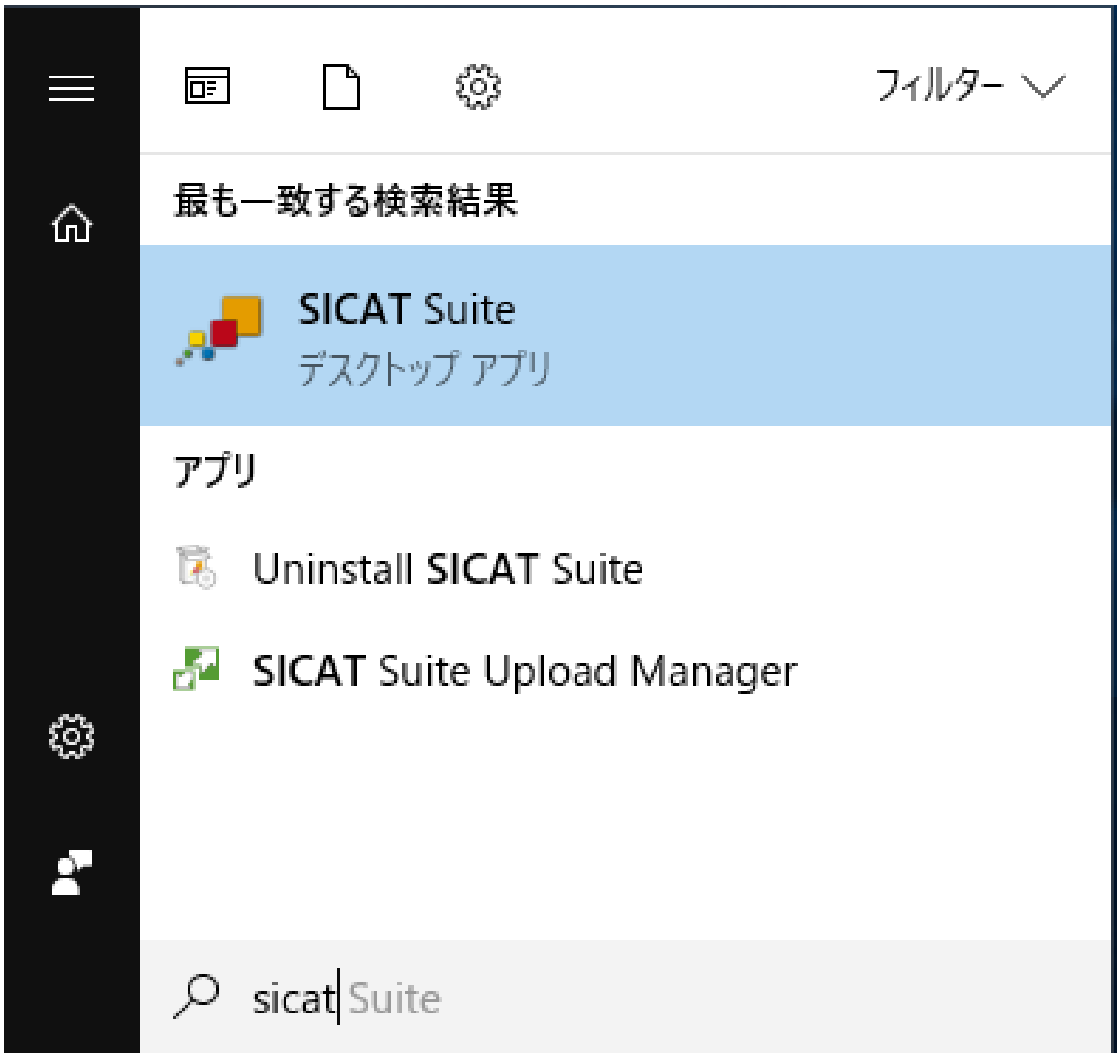
SICAT Suiteを起動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Suiteを正常にインストールします。これに関する情報は*SICAT Suiteのインストール [▶ページ 19 - Standalone]*を参照してください。

- インストール時にデスクトップアイコンを作成した場合、Windowsのデスクトップにある**SICAT Suite**アイコンをクリックします。

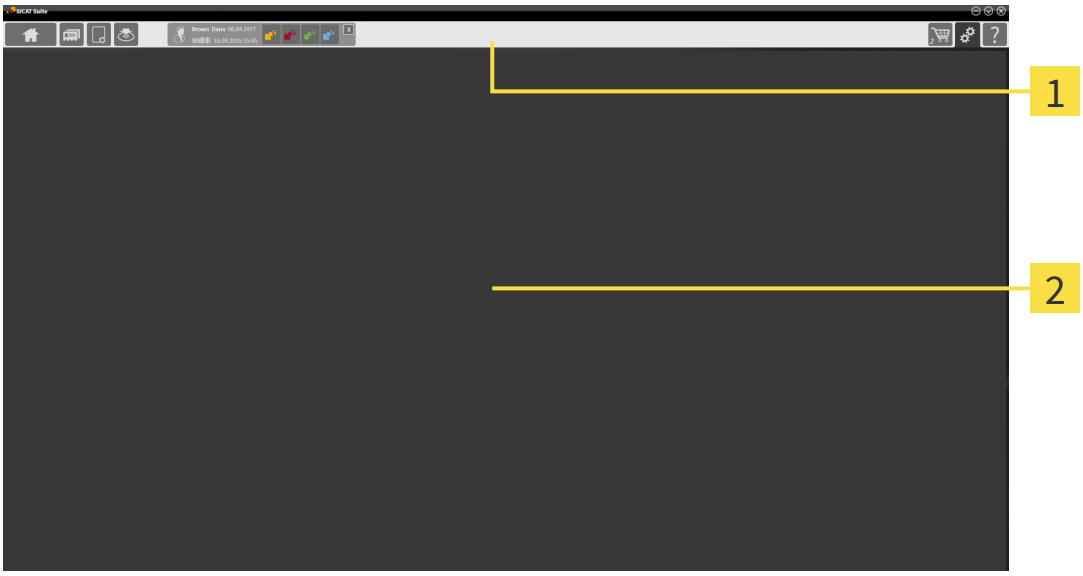
▶ SICAT Suiteがスタートし、**SICAT Suiteホーム**ウィンドウが開きます。これに関する情報は*「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 [▶ページ 38 - Standalone]*を参照してください。

Windowsボタンを押し、**SICAT Suite**と入力して、**SICAT Suite**アイコンをクリックすることによってSICAT Suiteをスタートすることもできます。



14 SICAT SUITEのユーザーインターフェース

SICAT Suiteのユーザーインターフェースは、以下のアイテムから構成されています。



1 **ナビゲーションバー**

2 **アプリケーション領域**

- SICAT Suite 上端のナビゲーションバーは、各種ウインドウとアプリケーション間で切り替えるためのタブが表示されます。
- **アプリケーション領域**は、SICAT Suiteの上記以外の部分にあって、SICATのアプリケーションのうち、開いているもののユーザーインターフェースを表示します。

ナビゲーションバーは3つのエリアで構成されています。左側のエリアと右側のエリアは常に表示されています。SICAT Suiteでは、一つの患者ファイルがアクティブになっている場合のみ、そのエリアが中央に表示されます。

左側のエリアには次のタブがあります。

- **SICAT Suiteホーム** - これに関する情報は*「SICAT Suiteホーム」ウインドウの概要 [▶ページ 38 - Standalone]*を参照してください。

- **患者ファイル** - これに関する情報は*患者ファイル [▶ページ 75 - Standalone]*を参照してください。

- **新規データを追加する** - これに関する情報は*データインポート [▶ページ 64 - Standalone]*を参照してください。

- **データを共有する** - これに関する情報は*データエクスポート [▶ページ 231 - Standalone]*を参照してください。

中央のエリアには次のタブがあります。

- **有効な患者ファイル** - これに関する情報は*アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 80 - Standalone]*を参照してください。

- **アプリケーション** - これに関する情報は*SICATのアプリケーションを相互に切り替える [▶ページ 40 - Standalone]*を参照してください。

右側のエリアには次のタブがあります。

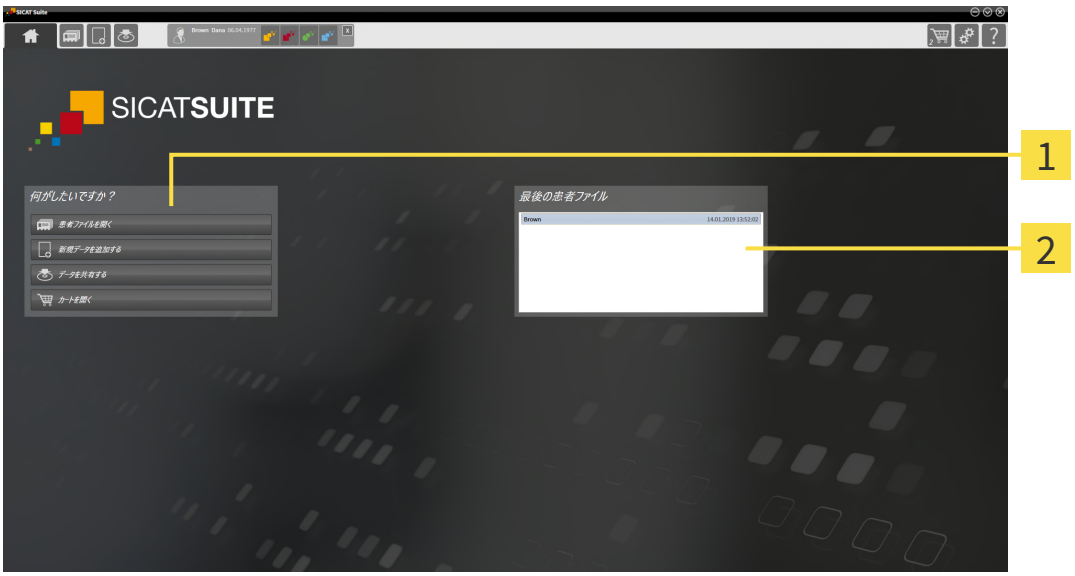
- **カート** - これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 235 - Standalone]*を参照してください。

- **設定** - これに関する情報は*設定 [▶ページ 250 - Standalone]*を参照してください。

- **サポート** - これに関する情報は*サポート [▶ページ 260 - Standalone]*を参照してください。

14.1 「SICAT SUITEホーム」ウインドウの概要

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンをスタートすると、**SICAT Suiteホーム**ウインドウが表示されます。



1 エリア **何がしたいですか？**

2 エリア **最後の患者ファイル**

SICAT Suiteホームアイコンをクリックすると、いつでもこのウインドウに戻ることができます。**SICAT Suiteホーム**ウインドウの内容は、以下のパラメーターによって異なります。

- アクティベーションの状態とライセンスの種類
- 患者ファイルフォルダの状態

アクティベート済みのライセンスがない場合、**SICAT Suiteホーム**メッセージとボタンだけの **ライセンスを有効にする**ウィンドウが表示されます。

最低一つのSICATアプリケーションのビューアライセンスが有効で、SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスがない場合はSICAT Suiteがビューアモードで起動します。このモードでは、患者ファイリングへの接続、患者ファイリングの作成ができず、患者データをインポート、編集、保存する機能が使用できません。そのため、**SICAT Suiteホーム**ボタンと**新規データを見る**ボタンしか**ライセンスを有効にする**ウインドウに表示されません。

フルバージョンライセンスはアクティブになっているが、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっていない場合、患者ファイリングを作成することはできますが、患者データをインポート、編集、保存する機能は使用できません。そのため、**SICAT Suiteホーム**ボタンと**新規データを見る**ボタンしか**患者ファイリングを設定する**ウインドウに表示されません。

フルバージョンライセンスがアクティブで、SICAT Suiteで患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合、**SICAT Suiteホーム** ウインドウの**何がしたいですか？**エリアに次のボタンが表示されます。

- **開く** - これに関する情報は*患者ファイル [▶ページ 75 - Standalone]*を参照してください。

- **新規データを追加する** - これに関する情報は*データインポート [▶ページ 64 - Standalone]*を参照してください。

- **データを共有する** - これに関する情報は*データエクスポート [▶ページ 231 - Standalone]*を参照してください。

- **カート** - これに関する情報は*注文プロセス [▶ページ 235 - Standalone]*を参照してください。

- さらに、**最後の患者ファイル**エリアに、直近に開いた患者ファイルのリストが表示されます。これらの患者ファイルは、ダブルクリックすると開くことができます。

患者情報を匿名で表示するがアクティブになっている場合、**SICAT Suiteホーム**ウインドウに**最後の患者ファイル**エリアが表示されます。

15 SICATのアプリケーションを相互に切り替える

SICATアプリケーションを相互に切り替えるには、次のように行います。

- **ナビゲーションバー**から、SICATのアプリケーションで、切替をご希望のものが表示されている方のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Suiteは、選択したアプリケーションに切り替わります。

16 取扱説明書を開く

サポートウィンドウを経由することで、SICATアプリケーションの取扱説明書をPDFファイル形式で参照可能です。

サポートウィンドウは、 **ナビゲーションバー**の**サポート**アイコンをクリックする、またはF1 ボタンをクリックすることによって開くことができます。

サポートウィンドウは、以下に示す外観です。

1 **取扱説明書**のタブ

2 **取扱説明書**のウィンドウ

希望するヘルプは、**取扱説明書を表示する**のボタンをクリックして開くことができます。

17 ライセンス

SICAT Suiteはライセンスが有効化済みのSICATアプリケーションのみ表示します。

SICAT Suiteで機能 **新規データを追加する** または **新規データを見る** が有効なライセンスに基づき使用できる場合、以前エクスポートしたデータセットを有効なSICAT Endoライセンスなしで表示することができます。

ネットワークライセンスを使用するには、まずローカルクリニックネットワークにライセンスサーバーをセットアップし、SICAT Suiteをライセンスサーバーに接続する必要があります。

クリニックネットワークでのライセンスサーバーの設定情報については、製造元WIBU-SYSTEMS AGのCodeMeterライセンス管理ソフトウェアの使用説明書、および必要なファイルと共にSICAT Suiteインストールメディアの *License Server Installation*, のディレクトリに収録されている*SICAT Suite バージョン2.0ライセンスサーバーインストール*を参照してください。

以下の種類のライセンスがあります。

- ビューアライセンスがあればアプリケーションをビューアモードで無期限使用することができます。
- デモライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに期間限定でアクセスすることができます。
- フルバージョンライセンスでは一つまたは複数のSICATアプリケーションのフルバージョンに無期限でアクセスすることができます。

これらのライセンスは、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスの両方として取得できます。

- ワークステーションライセンスを使うと、定義済みのコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。
- ネットワークライセンスを使えば、ローカルクリニックネットワーク内の複数のコンピュータでSICATアプリケーションを使用できます。

ライセンスを取得する

SICATアプリケーションまたは各機能のライセンスを取得するには以下の手順が必要となります。

- その場で販売担当者にご連絡ください。
- バウチャーコードを受け取ることができます。
- SICATポータルでバウチャーコードからライセンスキーが生成されます (SICATホームページからアクセス可能)。
- SICATがお客様のアクティベーションキーにライセンスキーを追加します。
- アクティベーションキーでSICATアプリケーションまたはSICAT Suiteの各機能を有効化します。SICAT Suiteのワークステーションのライセンス、およびローカルクリニックネットワークのライセンスサーバーのネットワークライセンスに対して有効になります。

ライセンスの有効化と無効化

以下は、ワークステーションライセンスとネットワークライセンスに適用されます。

- お客様が受け取るSICATアプリケーションのライセンスキーはお使いの国で許可されているものだけです。
- フルバージョンライセンスを有効化すると、自動的にお使いの国で許可されている全てのアプリケーション用のビューアライセンスを受け取ります。
- SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスを返却した場合、お使いの国で許可されている限り、自動的にビューアライセンスを受け取ります。

以下はワークステーションライセンスにのみ適用されます。

- ワークステーションライセンスのアクティベーションキーを1台のコンピュータで有効にすると、含まれているライセンスはそのコンピュータに割り当てられ、別のコンピュータでのアクティベーションには使用できなくなります。アクティベーションキーには、SICATのアプリケーションまたは機能に対する複数のライセンスが含まれる場合があります。
- ワークステーションライセンスは、各SICATアプリケーションまたは各機能ごとに無効化することができます。ワークステーショライセンスを返却すると、そのライセンスは同一または別のコンピューターで再度アクティベーションすることができます。

以下はネットワークライセンスにのみ適用されます。

- ネットワークライセンスを使用すると、SICAT Suiteを使用している間、付属のSICATアプリケーションまたは付属の機能の各ネットワークライセンスをコンピュータ上のユーザーが利用できます。ネットワークライセンスは現在他のユーザーによる使用のためにロックされています。
- ネットワークライセンスを使用している場合、SICAT Suiteを終了すると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- ネットワークライセンスからワークステーションライセンスに切り替えると、ネットワークライセンスはクリニックネットワークのライセンスサーバーに自動的に返されます。
- SICAT Suiteを正しく終了せずにクリニックネットワーク内のライセンスサーバーへの接続が失われた場合、ネットワークライセンスは一定期間後に他のユーザーが使用するために自動的に解放されます。

次に続くアクション

バウチャーコードをアクティベーションキーと交換する方法は*バウチャーコードを使用する [▶ページ 54 - Standalone]*をご覧ください。

お手元のコンピューターでアクティベーションが完了しているライセンスについては、**ライセンス**のウィンドウで概要をご覧ください。デモライセンス使用時はSICAT Suiteは有効期限を表示します。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 45 - Standalone]*を参照してください。

ワークステーションライセンスは次の2通りの方法で有効にすることができます。

- SICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されている場合、ライセンスのアクティベーションは自動で行うことができます。これに関する情報は*インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 46 - Standalone]*を参照してください。
- 希望に応じて、またはSICAT Suiteが作動しているコンピューターがインターネットに接続されていない場合、ライセンス要求ファイルを使用することにより、ライセンスのアクティベーションを手動で行うことができます。ライセンス要求ファイルをSICATのインターネットページにアップロードする必要があります。これで、ライセンスアクティベーションファイルを取得でき、これをSICAT Suiteで有効にしてください。これに関する情報は*ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 48 - Standalone]*を参照してください。

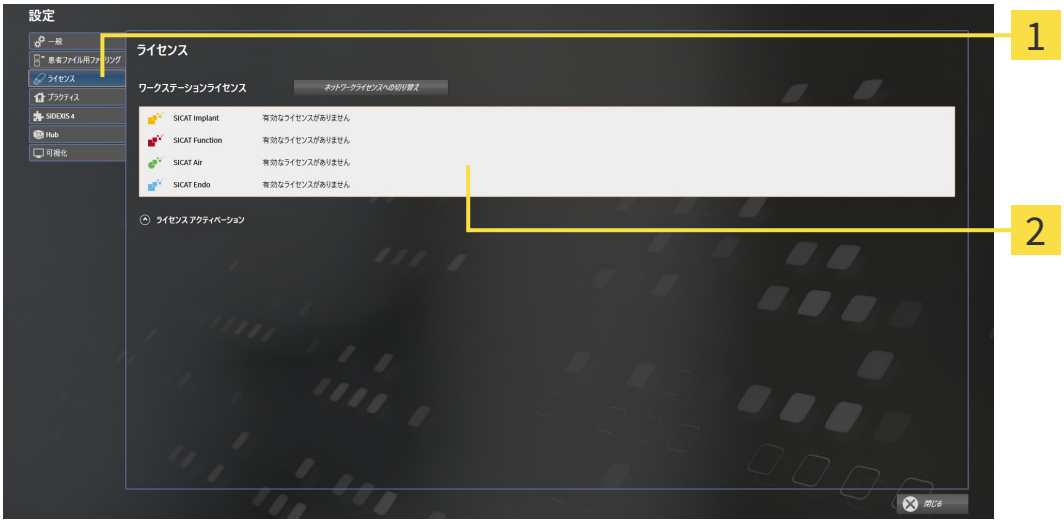
各アプリケーションまたは機能のワークステーションライセンスを個別に無効にすることができます。ワークステーションライセンスを無効にした後、同じ、または別のアクティベーションキーを入力することができます。返却されたワークステーションライセンスは、同一または別のコンピューターでのアクティベーションに使用することができます。これに関する情報は*ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 50 - Standalone]*を参照してください。

ネットワークライセンスを有効にする方法は、*ネットワークライセンスを有効にする [▶ページ 52 - Standalone]*をご覧ください。

17.1 「ライセンス」のウィンドウを開く

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **ライセンス**のタブをクリックします。
   ▶ **ライセンス**のウィンドウが開きます。



1 **ライセンス**のタブ

2 **ライセンス**のウィンドウ

以下の操作を続行します：

- *インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 46 - Standalone]*
- *ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 48 - Standalone]*
- *ネットワークライセンスを有効にする [▶ページ 52 - Standalone]*
- *ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 50 - Standalone]*

17.2 インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記	**カートが空になっている必要があります** ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

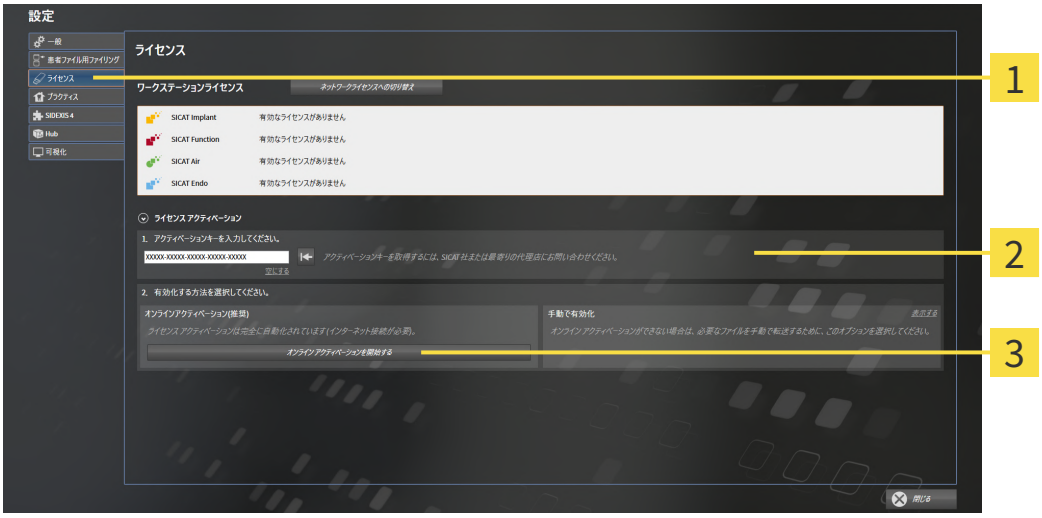
アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 45 - Standalone]*を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ライセンス アクティベーション**のボタンをクリックします。
   ▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。



1 **ライセンス アクティベーション**のボタン

2 エリア

3 **オンライン アクティベーションを開始する**のボタン

2. 欄にアクティベーションキーを入力します。

3. **オンライン アクティベーションを開始する**のボタンをクリックします。

4. **Windows ファイヤーウォール**のウィンドウが開いたら、SICAT Suiteをインターネットへ接続します。

▶ 取得されてインストールされているアプリケーションまたは個々の機能のためのライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで有効になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**。

SICATアプリケーションのライセンスのアクティベーションをあらためて行うときは、エリアにあるボタン**顧客のアクティベーションキーを使用する**をクリックすると、アクティベーションキーが使用できるようになります。現時点のライセンスキーが入力されているボックスを空欄にするときは、ボタン**空にする**をクリックしてください。

17.3 ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記	**カートが空になっている必要があります** ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

ライセンスを手動、またはアクションなインターネット接続なしで有効にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも一つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なワークステーションライセンスが欠けています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 45 - Standalone]*を参照してください。

1. **ライセンス**ウィンドウの**ライセンス アクティベーション**をクリックします。
   ▶ **ライセンス アクティベーション**エリアが開きます。
2. **手動アクティブ化**エリアの**表示する**をクリックします。
   ▶ **手動アクティブ化**エリアが開きます。

1 **ライセンス アクティベーション**	4 **デモライセンス**のボタン
2 エリア	5 **フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタン
3 **表示する**	6 **読み込んで有効化しています**のボタン

3. フルバージョンライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**フルバージョンまたはビューアライセンス**のボタンをクリックします。

4. デモライセンスのアクティベーションをご希望の場合は、**デモライセンス**のボタンをクリックします。

   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

5. ライセンス要求用のファイルを保存する目的で、お好みのフォルダを選択したら、**OK**をクリックします。

   ▶ ファイル拡張子を**WibuCmRaC**として、ライセンス要求用のファイルが作成され、選択しておいたフォルダに保存されます。

6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターにライセンス要求ファイルをコピーします。

7. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページhttp://www.sicat.com/registerを開きます。

8. インターネットのアクティベーションページに表示される指示に従ってください。

   ▶ インストールしたアプリケーションや個別の機能のために取得してあるライセンスが、お持ちのライセンスプールからピックアップされます。

   ▶ SICATのライセンスサーバーは、ファイル拡張子を**WibuCmRaU**として、ライセンスのアクティベーション用ファイルを作成しますので、このファイルをお手元のコンピュータへダウンロードしてください。

9. ダウンロードしたライセンスアクティベーションファイルをSICAT Suiteが作動しているコンピューターにコピーします。

10. アクティベーションキーが正確に欄に入力されていることをチェックします。

11. **ライセンス**のウィンドウで、**読み込んで有効化しています**のボタンをクリックします。

    ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

12. ライセンスのアクティベーション用ファイルを探して見つかったら、そのファイルをハイライト表示にして、**OK**をクリックします。

▶ ライセンスアクティベーションファイルのライセンスは、SICAT Suiteでは現在のコンピューターにインストールされます。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常に有効化されました。**。

17.4 ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

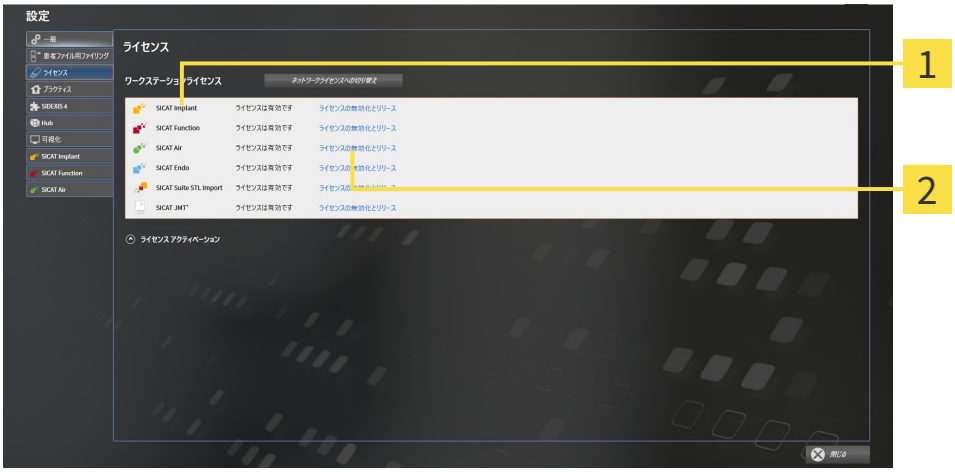
注記	**カートが空になっている必要があります** ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

フルバージョンライセンスのアクティベーションを解除して、そのライセンスをライセンスプールに返却するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ SICATアプリケーションのフルバージョンライセンスはすでに有効になっています。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 45 - Standalone]*を参照してください。



1 SICATアプリケーションおよび個々の機能のライセンスステータス

2 **ライセンスの無効化とリリース**のボタン

- **ライセンス**のウィンドウから、SICATのアプリケーションで返却をご希望のものか、または、個別の機能の列にある**ライセンスの無効化とリリース**のボタンをクリックします。

▶ 選択したライセンスはライセンスプールに返却され、再びアクティベーションのために使用できる状態になります。

▶ 通知ウィンドウが開き、次のメッセージが表示されます。**ライセンスは正常にライセンスプールに返却されました。**。

▶ ライセンスがない場合、アプリケーションはビューアモードでしか使用できません。全てのSICATアプリケーションのライセンスがライセンスプールに返却されると、SICAT Suiteは完全にビューアモードになります。

インターネット接続のないコンピューターでライセンスを無効化したい場合はSICATサポートまでお問い合わせください。

17.5 ネットワークライセンスを有効にする

注記	**患者ファイルが閉じている必要があります** ライセンスで変更を加えるときは、開いている患者ファイルを事前に閉じてください。

注記	**カートが空になっている必要があります** ライセンスの変更を可能にする前にカートを空にしておく必要があります。

アクティベーションの手順を開始するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 少なくとも1つのSICATアプリケーションまたは個々の機能に有効なネットワークライセンスが欠けています。

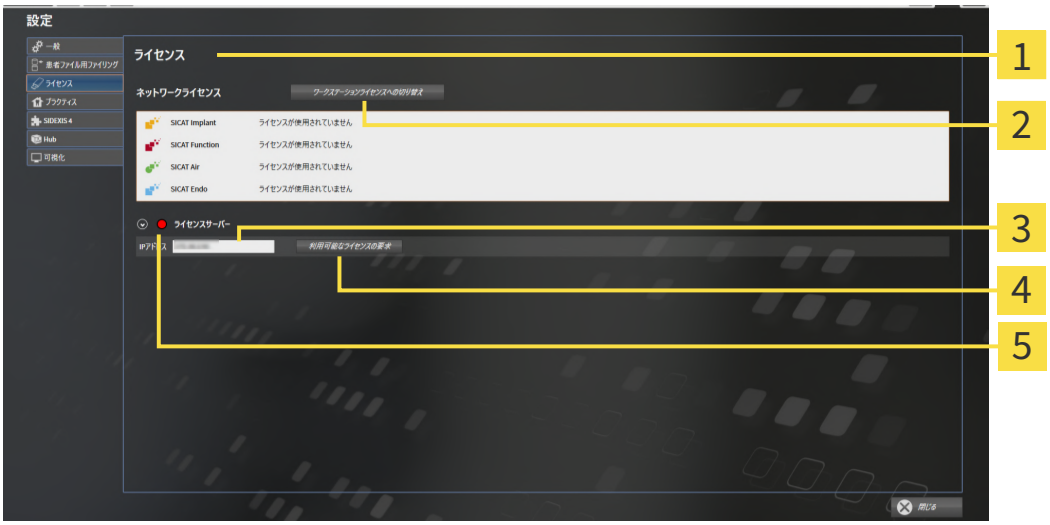
☑ ライセンスサーバーを設定しました。

☑ SICAT Suiteを実行しているコンピューターは、ライセンスサーバーが存在するネットワークへのアクティブなネットワーク接続を行っています。

☑ **ライセンス**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「ライセンス」のウィンドウを開く [▶ページ 45 - Standalone]*を参照してください。

1. **ライセンス**のウィンドウで、**ネットワークライセンスへの切り替え**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Endo はネットワークライセンスに関する情報を表示し、**ライセンスサーバー**エリアが開きます。



1 **ライセンス**のウィンドウ

2 **ワークステーションライセンスへの切り替え**のボタン

3 **IPアドレス**エリア

4 **利用可能なライセンスの要求**のボタン

5 状態表示

2. **IPアドレス**エリアに、クリニックネットワーク内のライセンスサーバーのIPアドレスを入力します。

3. **利用可能なライセンスの要求**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteはライセンスサーバーに接続します。

▶ アプリケーション用または個々の機能用に取得されたライセンスは、ライセンスプールから取り除かれ、使用中のコンピューター上のSICAT Suiteで使用されます。

▶ ステータス表示が赤から緑に変わります。

▶ **ライセンスサーバー**エリアが閉じます。

17.6 バウチャーコードを使用する

1. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページhttp://www.sicat.comを開きます。
2. SICATポータルへのリンクをクリックします。
   ▶ SICATポータルが開きます。
3. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
4. アカウントマネジャーに、ご自分のライセンスを管理するためのアイテムがありますので、それをクリックします。
5. ご自分のバウチャーコードを入力し、コードを確認します。
   ▶ SICATポータルがライセンスキーを生成し、ライセンスキーをお客様のアクティベーションキーに追加します。
6. SICAT Suiteまたはライセンスサーバーを起動して、ライセンスを有効にします。

これに関する情報は*インターネット接続を使用してワークステーションライセンスを有効にする [▶ページ 46 - Standalone]*と *ワークステーションライセンスを手動またはインターネットに接続せずに有効にする [▶ページ 48 - Standalone]*を参照してください。

クリニックネットワークでのライセンスサーバーの設定情報については、製造元WIBU-SYSTEMS AGのCodeMeterライセンス管理ソフトウェアの使用説明書、および必要なファイルと共にSICAT Suiteインストールメディアの *License Server Installation*, のディレクトリに収録されている*SICAT Suite バージョン2.0ライセンスサーバーインストール*を参照してください。

18 患者ファイリング

ヒューズ

⚠ **注意**

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

患者ファイルフォルダーにある患者データにつきましては、ご自分自身の責任でバックアップファイルを作成してください。。患者ファイルフォルダーの保存場所は、**患者ファイル用ファイリング**の各種設定で確認できます。患者ファイルフォルダーを**患者ファイル用ファイリング**のリストから削除してあるときは、 適切なデータ保存媒体にその患者ファイルフォルダーが保存してあっても、SICAT Suiteでは、該当する患者ファイルフォルダーを表示しません。

患者データに加えて、SICATの各種アプリケーションのユーザー設定内容についても、バックアップ保存を行っておくのがよいでしょう。ユーザー設定内容は、各ユーザー別に2つのディレクトリに分割して保存されています。これら2つのディレクトリを開くときは、Windowsのエクスプローラで、アドレスバーに **%appdata%\SICAT GmbH & Co. KG**と **%localappdata%\SICAT GmbH & Co. KG** を入力してください。

データのセキュリティ

⚠ **注意**

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ **注意**

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠
注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

一般的なお知らせ

患者ファイリングの管理機能は、SICAT Suiteでアプリケーションのライセンスがアクティブになっている場合のみ使用することできます。

SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！ 更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

SICAT Suiteは患者データを次のように管理します。

- 一人の患者の全3D撮影画像と付属する全ての計画プロジェクトが患者ファイルに整理されています。
- 患者ファイルが患者ファイリングに保存されます。
- 患者ファイリングはローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダに保存されます。

SICAT Suiteをフルバージョンで作動させるには、少なくとも一つの患者ファイリングが必要です。複数の患者ファイリングを管理することができます。ただし、ある時点で同時にアクティブにできる患者ファイリングは、常に一つだけです。ローカルファイルシステムでもネットワークファイルシステムでも、患者ファイリングに同時にアクセスできるSICAT Suiteは一つだけです。使用中の患者ファイリングの患者ファイルのみ編集および保存することができます。

ネットワークファイルシステム上の患者ファイリングには、特定の最小帯域幅のネットワーク接続が必要です。システムの要件に関する内容は、*システム要件 [▶ページ 9 - Standalone]*の節をご覧ください。

患者ファイリングを管理するために使用できる操作：

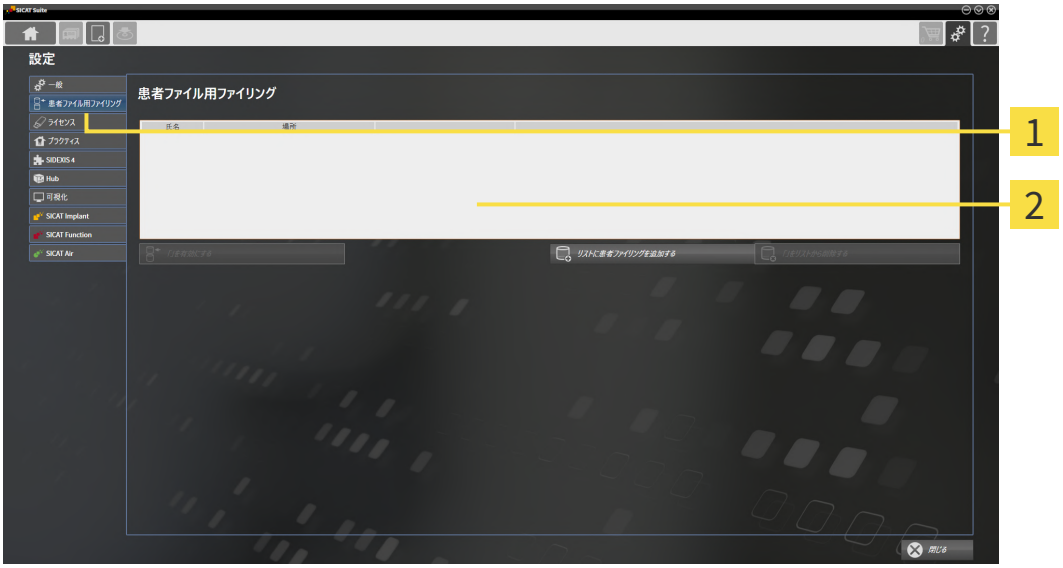
- *「患者ファイリング」ウインドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*
- *患者ファイリングを追加する [▶ページ 59 - Standalone]*
- *別の患者ファイリングをアクティブにする [▶ページ 61 - Standalone]*
- *患者ファイリングを除去する [▶ページ 63 - Standalone]*

18.1 「患者ファイリング」ウインドウを開く

患者ファイル用ファイリング ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. **ナビゲーションバー** で、 **設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **患者ファイル用ファイリング**タブをクリックします。
   ▶ **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウが開きます。



1 タブ **患者ファイル用ファイリング**

2 ウインドウ **患者ファイル用ファイリング**

以下の操作を続行します：

- *患者ファイリングを追加する [▶ページ 59 - Standalone]*
- *別の患者ファイリングをアクティブにする [▶ページ 61 - Standalone]*
- *患者ファイリングを除去する [▶ページ 63 - Standalone]*

18.2 患者ファイリングを追加する

⚠ **注意**

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

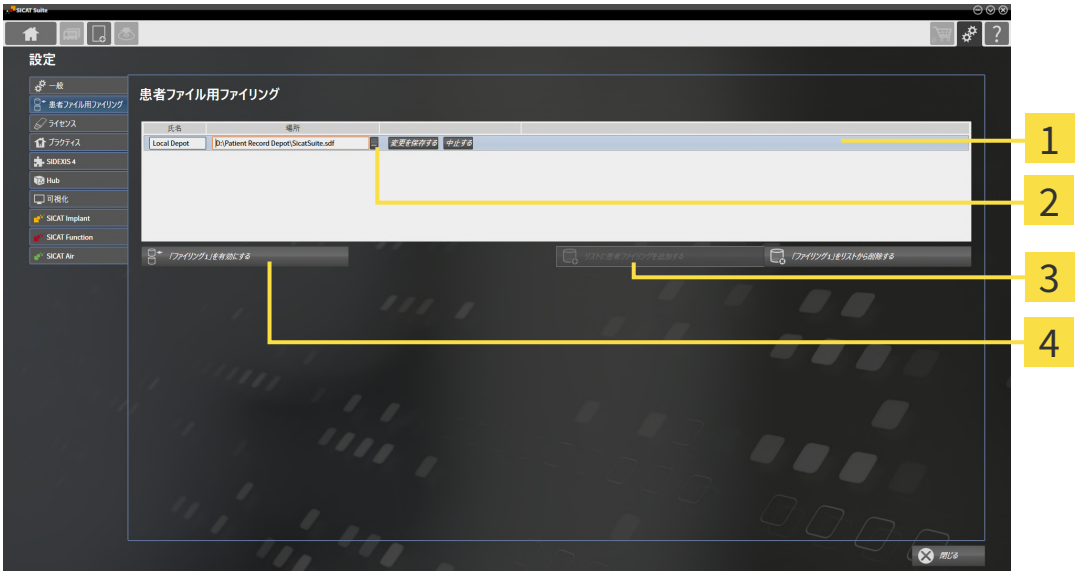
定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

SICAT Suiteは、患者ファイリングをファイルシステムに保存します。患者ファイリングは、各フォルダに一つしか保存できません。そのため、新しい患者ファイリングを保存するフォルダは空でなくてはなりません。

以下の条件に該当する場合、SICAT Suiteは既存の患者ファイリングを追加します。選択したフォルダには、すでに一つの患者ファイリングが入っていますが、患者ファイリングのリストには記載されていません。

新しい患者ファイリングを作成、または既存の患者ファイリングを追加するには、次の手順で行います。

☑ **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイリング」ウインドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*の節をご覧ください。



1 新しい患者ファイリングの行

2 ボタン **検索する**

3 ボタン **リストに患者ファイリングを追加する**

4 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウで、**リストに患者ファイリングを追加する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイル用ファイリング**のリストに新しい患者ファイリングのために新しい行を追加します。

2. 新しい患者ファイリングの行にある**検索する**ボタンをクリックします。

► **検索する** のウィンドウが開きます。

3. **検索する**ウインドウで任意のフォルダを選択し、**OK**をクリックします。

   ► **検索する**ウインドウは閉じ、SICAT Suiteは任意のフォルダへのパスを新しい患者ファイリングの行に追加します。

4. 新しい患者ファイリングの行にある**氏名**欄をクリックし、新しい患者ファイリングに対して覚えやすい名前を入力します。

5. 新しい患者ファイリングがなおも選択されている場合は、**変更を保存する**をクリックします。

   ► 患者ファイルがアクティブになっている場合、確認メッセージが表示されます。

6. 確認メッセージにある**患者ファイリングを変更する(患者ファイルが閉じます)**ボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは新しい患者ファイリングをアクティブにします。これに付属する行の書式は太字に変わります。

► SICAT Suiteは、それまでアクティブになっていた患者ファイリングを無効にします。これに付属する行の書式は標準に変わります。

中止するをクリックして、患者ファイリングの追加を中断することができます。

作成した患者ファイリングは、各フォルダ内に一つのSDFファイルであることから識別することができます。

18.3 別の患者ファイリングをアクティブにする

アクティブな患者ファイリングの変更は、次のようなケースに役立つことがあります。

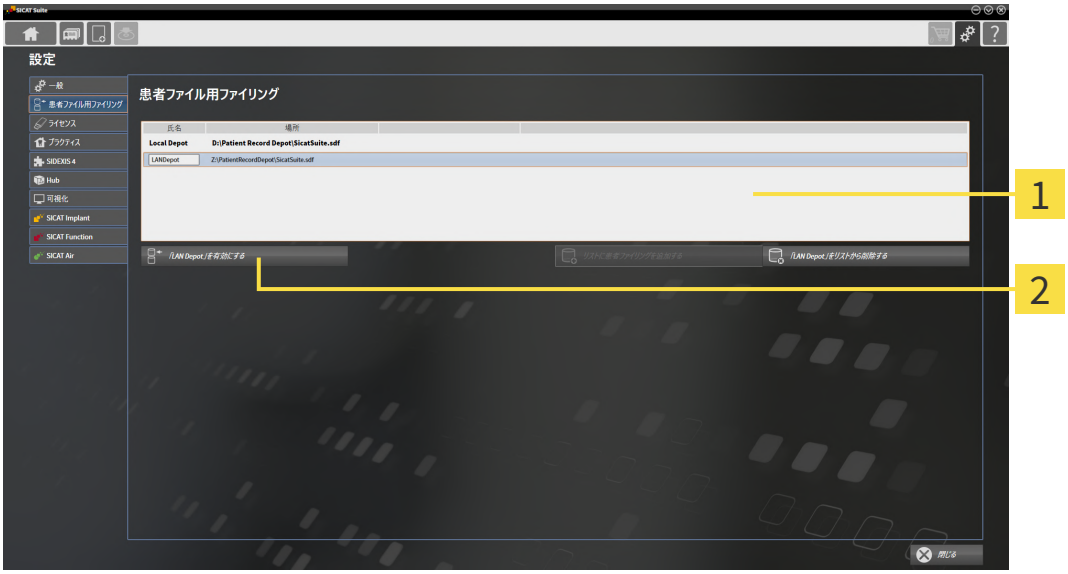
- 施設のネットワークファイルシステム上にある患者ファイリングとノートPC上の患者ファイリング間で切り替えたいとします。
- 別の患者ファイリングに匿名で保存されている患者データを、例えば、研修などの目的で公開したいとします。

別の患者ファイルフォルダを開くときは、次の手順で行います。

☑ アクティブになっている患者ファイルはありません。患者ファイルがアクティブになっている場合、SICAT Suiteによって自動的に閉じられます。

☑ アクティブにしたい患者ファイリングは、別のコンピューターのSICAT Suiteで開かれていません。

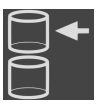
☑ **患者ファイル用ファイリング**ウインドウはすでに開いています：これに関する情報は*「患者ファイリング」ウインドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*を参照してください。



1 リスト **患者ファイル用ファイリング**

2 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル用ファイリング**ウインドウで**患者ファイル用ファイリング**のリストから希望の患者ファイリングをクリックします。



2. 選択した患者ファイリングをアクティブにするボタンをクリックします。
   ▶ 患者ファイルがアクティブになっている場合、確認メッセージが表示されます。

3. 確認メッセージにある**患者ファイリングを変更する(患者ファイルが閉じます)**ボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは選択した患者ファイリングをアクティブにします。

SICAT Suiteのスタンドアロン版では、バージョンの更新にあたって、患者カルテフォルダの更新が必要です。新規バージョンの初回起動時や、更新前の患者ファイリングを開いた場合、SICAT Suiteでは、患者カルテフォルダの更新を希望するかどうかを尋ねてきます。尋ねるメッセージを確認したら、SICAT Suiteは、患者ファイルの更新を自動で行います。**注意！ 更新後の患者ファイルは、SICAT Suiteの旧バージョンで使用することができなくなります。**

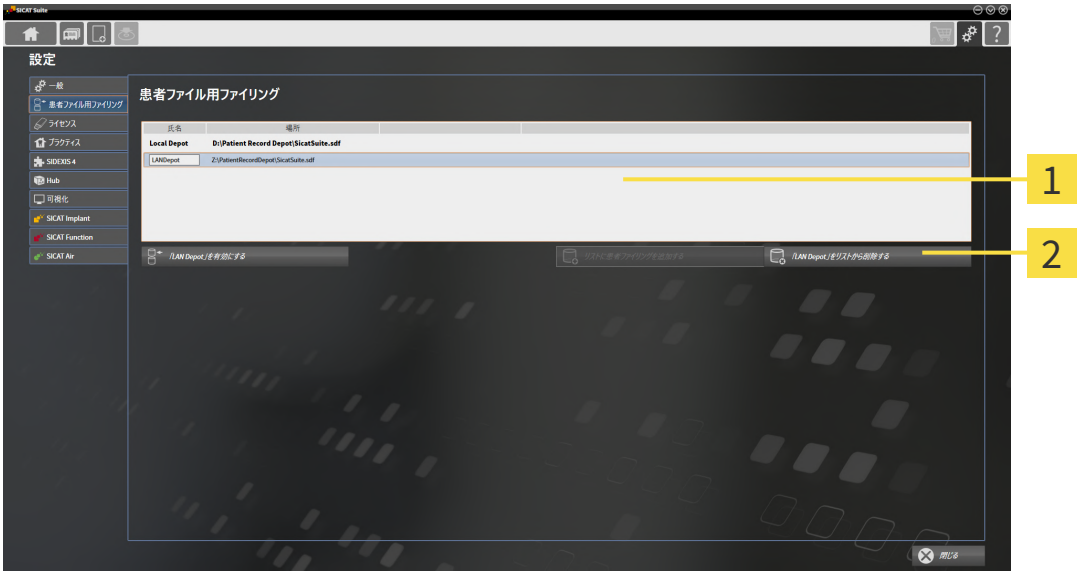
18.4 患者ファイリングを除去する

SICAT Suiteは患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去するだけです。患者ファイリングをファイルシステムから削除することはありません。**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去された既存の患者ファイリングは、改めて追加することができます。この表示に関する内容は、*患者ファイリングを追加する [▶ページ 59 - Standalone]*の節をご覧ください。

患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去するには、次のように行います。

☑ 開いている患者ファイルはありません。

☑ **患者ファイル用ファイリング** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイリング」ウインドウを開く [▶ページ 58 - Standalone]*の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル用ファイリング**

2 選択した患者ファイリングを除去するボタン

1. **患者ファイル用ファイリング**ウインドウで**患者ファイル用ファイリング**のリストから希望の患者ファイリングをクリックします。

2. 選択した患者ファイリングを除去するボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは選択した患者ファイリングを**患者ファイル用ファイリング**のリストから除去します。

19 データインポート

⚠ 注意	**不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。** 3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ 注意	**オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。** インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。

ℹ	データインポートは、ライセンスがアクティブで、患者ファイリングが作成され、アクティブになっている場合のみ実行可能です。ライセンスまたは患者ファイリングがない場合は、ビューアモードでしかデータを開くことができません。ビュアーモードに関する内容は、*データを書き込み禁止で開く [▶ページ 265 - Standalone]*の節をご覧ください。

SICAT Suiteは、以下のデータショーマットの3D X線撮影画像をインポートすることができます。

- SICAT Suite DICOMデータ
- 3D X線撮影画像（DICOM形式、DICOMに関する内容は、*対応しているDICOMフォーマット [▶ページ 67 - Standalone]*の節をご覧ください)
- SICATインプラントデータ
- SICATドリルテンプレート注文データ
- GALILEOS Wrap&Goデータ

次の二つの設定で、SICAT Suite 3D X線撮影画像を使用中の患者ファイリングにインポートする方法を規定します。

- インポート設定は、SICAT Suiteが3D X線撮影画像をインポートするか、インポートしないか、既存の3D X線撮影画像に上書きするか、コピーを作成するか規定します。
- 割り当て設定は、SICAT Suiteがインポートした3D X線撮影画像を割り当てる患者ファイルを規定します。

1件のデータセットに、SICATのアプリケーションで作成した3D治療計画スタディが複数、含まれているときは、SICAT Suiteでは、3D治療計画スタディを、それら含まれる3D X線撮影画像と併せてインポートを行います。

3D X線撮影画像のインポートに適用する設定内容

アクティブな患者ファイリングに患者ファイルが含まれている場合、3D X線撮影画像用に異なるインポート設定を選択することができます。使用可能なインポート設定は、インポートするデータのIDがアクティブな患者ファイリング内の患者ファイルのIDと一致するかどうかによって異なります。

各3D X線撮影画像に対して、それぞれインポート設定を選択することができます。

データタイプ	IDが一致する	IDが一致しない	常に使用可能
SICAT Suite DICOMデータ SICATインプラントデータ SICATドリルテンプレート注文データ	**既存に上書きする** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートし、同じIDを持つ既存のデータセットに上書きします。	**追加する** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を新規データセットとしてインポートします。	**追加しないでください** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。。
第三者のDICOMデータ Galileos Wrap&Goデータ	**さらに追加する** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を既存のデータセットのコピーとしてインポートします。	**追加する** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像を新規データセットとしてインポートします。	**追加しないでください** – SICAT Suiteは3D X線撮影画像をインポートしません。。

患者ファイル割り当て用の特性比較

SICAT Suiteはインポートするデータの様々な特性を分析します。特性の種類：

- 姓
- 名
- 誕生日
- 患者ID、社会保険番号、施設の内部患者IDなど

患者ファイル割り当て用の設定

次のリストは、SICAT Suiteが特性比較に基づいて提案するインポートオプションを示しています。

- インポートするデータの全特性がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは**既存の患者ファイルに追加する**および対応する患者ファイルを提案します。
- インポートするデータの特性の一部がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。SICAT Suiteは**新規患者ファイルを作成する**を提案します。

どちらの場合も、データを手動で別の患者ファイルに割り当てることができます。

データをインポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- *インポートするデータを選択する [▶ページ 68 - Standalone]*
- *インポートオプションの選択 [▶ページ 70 - Standalone]*
- *既存の患者ファイルにデータを割り当てる [▶ページ 72 - Standalone]*

あるいは

- *データインポートによる新しい患者ファイルの作成 [▶ページ 71 - Standalone]*

19.1 対応しているDICOMフォーマット

DICOMデータセットをインポートする場合、SICAT Suiteは次の基準を満たしているデータセットに対応しています。

- データセットのフォーマットがDICOM 3.0である。
- データセットにパラレルレイヤーしか含まれない。
- データセットが圧縮されていない、JPEG形式またはJPEG 2000形式で圧縮されている。
- データセットが次のリストの対応しているタイプのいずれかと一致する。

対応しているデータセットタイプ：

- CT画像
- デジタルX線画像
- デジタル口内X線画像
- X線3D頭蓋顔面画像
- セカンダリーキャプチャー画像（グレースケール）（モダリティCT用のみ）
- マルチフレームグレースケールワードセカンダリーキャプチャー画像（モダリティCT用のみ）

その他の基準については、DICOM適合性宣言を参照してください。この宣言書は、ご要望に応じてSICATからご提供させていただきます。お問い合わせ先がご必要のときは、裏面をご覧ください。

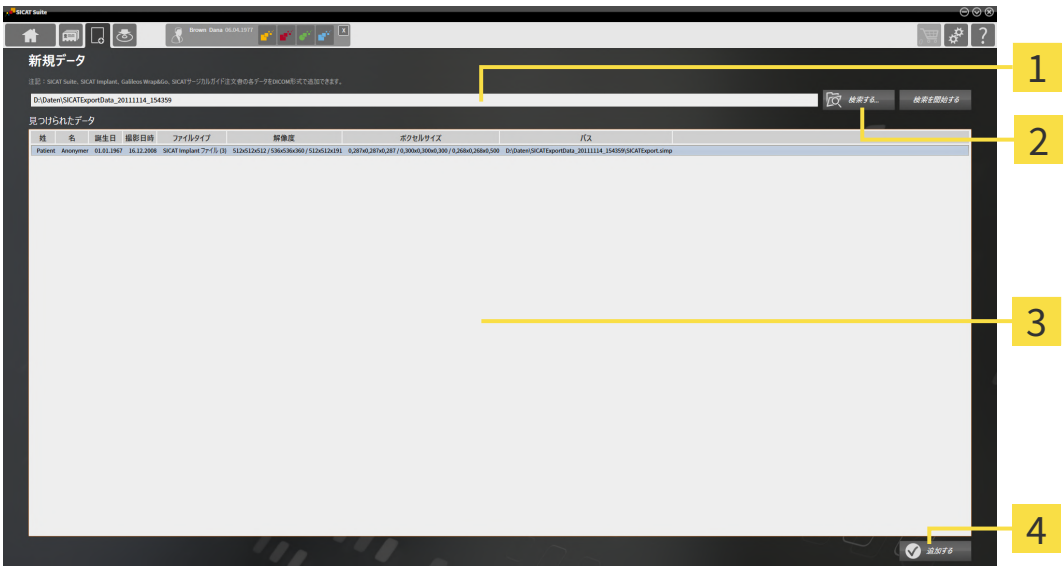
19.2 インポートするデータを選択する

⚠ 注意	**不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ 注意	**DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

アクティブな患者ファイリングのデータをインポートするには、次の手順で行います。

1. **ナビゲーションバー** で、 **新規データ**のアイコンをクリックします。
   ▶ **新規データ** のウィンドウが開きます。



1 欄 **データはどこにあるのですか？**	3 のリスト **見つけられたデータ**
2 ボタン **検索する**	4 ボタン **追加する**

2. **検索する** のボタンをクリックします。
   ▶ **ファイルまたはディレクトリを選択する** のウィンドウが開きます。

3. **ファイルまたはディレクトリを選択する**ウインドウで任意のファイルまたはフォルダを選択し、**OK**をクリックします。

► SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したものへのパスを**データはどこにあるのですか？**欄に転記します。

► SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを**見つけられたデータ**リストにファイルの内容を表示します。

► フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを**見つけられたデータ**リストに表示します。

SICAT Suiteにデータをインポートする際に、ドラッグ＆ドロップを利用することもできます。

説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する**ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？**欄に入力する場合、**検索を開始する**ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。

互換性があるにもかかわらず、SICAT Suiteが特定のファイルを検出しない場合、そのファイルへのパスが長過ぎることが原因の可能性があります。それらのファイルをファイルシステムの一つ上の階層にコピーし、改めて検索を開始してください。

以降の操作は、*インポートオプションの選択 [▶ ページ 70 - Standalone]*の節に沿って、進めてください。

19.3 インポートオプションの選択

各スタディのインポートオプションを選択するには、次の手順で行います。

1. **見つけられたデータ**リストから希望のスタディを選択し、**追加する**ボタンをクリックします。

   ▶ **追加する** のウィンドウが開きます。

1 列 **アクション**

2. **追加する**ウィンドウで**アクション**列から各スタディ用に以下のエントリを選択します。**追加しないでください**、 **さらに追加する**、 **追加する** または **既存に上書きする**。オプションに関する詳細な説明は、*データインポート [▶ページ 64 - Standalone]*の節をご覧ください。

▶ これらをインポートするかどうかについては、全てのスタディに対して個別に設定します。

以下の操作を続行します：

- *既存の患者ファイルにデータを割り当てる [▶ページ 72 - Standalone]*
- *データインポートによる新しい患者ファイルの作成 [▶ページ 71 - Standalone]*

19.4 データインポートによる新しい患者ファイルの作成

アクティブな患者ファイリングに同じ特性の組み合わせを持つ患者ファイルがない場合、データインポートによって新しい患者ファイルを作成することができます。

1 オプション **新規患者ファイルを作成する**

2 ボタン **続行する**

インポートするデータを新しい患者ファイルに割り当てるには、次の手順で行います。

- **患者リストへの割り当て**エリアで**新規患者ファイルを作成する**オプションを選択し、**続行する**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは、選択したデータの特性を持つ新しい患者ファイルを作成します。

▶ SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを新しい患者ファイルに割り当てます。

▶ **患者ファイルの概要**ウインドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイル**リスト内で強調されます。この表示に関する内容は、*患者ファイル [▶ページ 75 - Standalone]*の節をご覧ください。

19.5 既存の患者ファイルにデータを割り当てる

⚠ **注意**

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

次の条件に該当する場合、SICAT Suiteは**既存の患者ファイルに追加する**オプションを付属の患者ファイルによって自動的に選択します：インポートするデータの全特性がアクティブな患者ファイリングにある患者ファイルの特性と一致しています。

1 オプション **既存の患者ファイルに追加する**

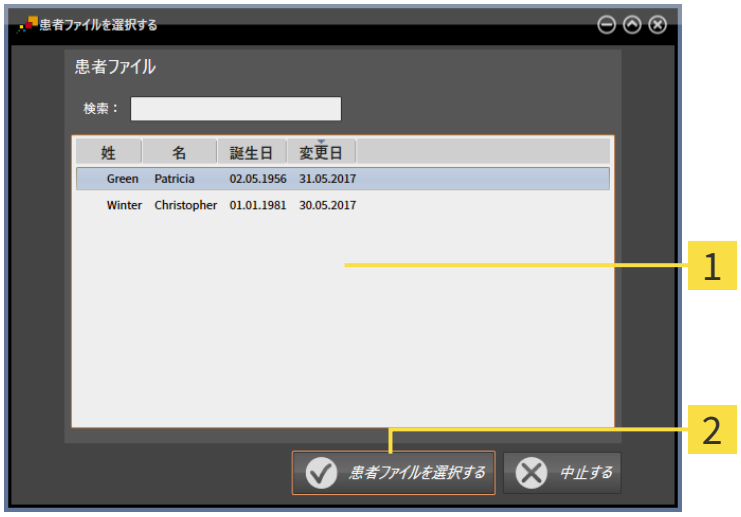
2 ボタン **患者ファイルを選択する**

インポートするデータを既存の患者ファイルに手動で割り当てるには、次の手順で行います。

☑ アクティブな患者ファイリングには、最低一つの患者ファイルが含まれます。

1. **患者リストへの割り当て**エリアで**既存の患者ファイルに追加する**オプションを選択し、**患者ファイルを選択する**ボタンをクリックします。

► **患者ファイルを選択する**ウィンドウが開き、既存の患者ファイルのリストが表示されます。



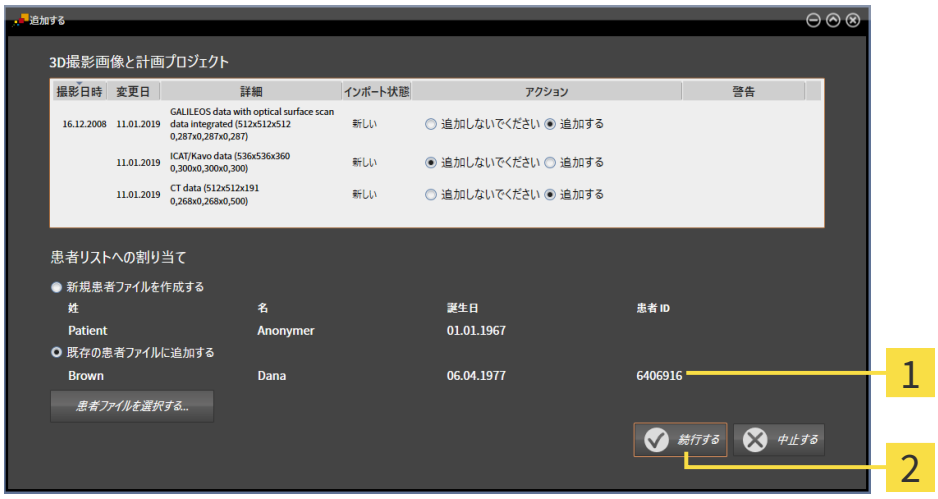
1 のリスト **患者ファイル**

2 ボタン **患者ファイルを選択する**

2. 希望する患者ファイルをクリックし、**患者ファイルを選択する**ボタンをクリックします。

► **患者ファイルを選択する**ウイドウが閉じます。

► **追加する**ウインドウに選択した患者ファイルの特性が表示されます。

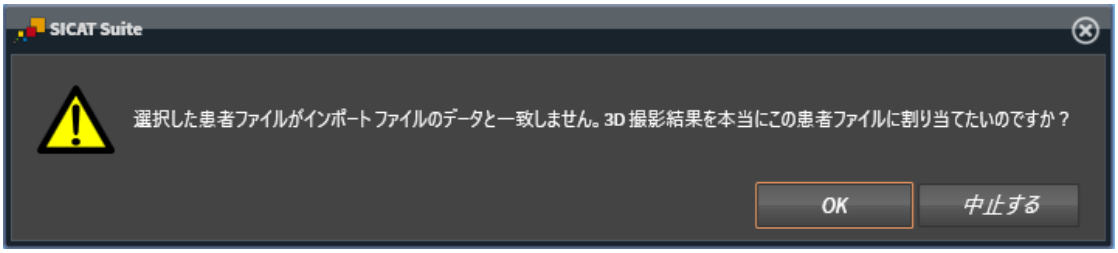


1 選択した患者ファイルの特性

2 ボタン **続行する**

3. **追加する** のウィンドウで、**続行する**のボタンをクリックします。

4. インポートするデータの特性が選択した患者ファイルの特性と一致しない場合、次の警告メッセージが表示されます。



5. それでもデータをインポートする場合、**OK**をクリックします。

► SICAT Suiteは、選択したデータをインポートし、これらを既存の患者ファイルに割り当てます。

► **患者ファイルの概要**ウインドウが開き、SICAT Suiteでインポートされた患者ファイルが**患者ファイル**リスト内で強調されます。この表示に関する内容は、*患者ファイル [▶ページ 75 - Standalone]*の節をご覧ください。

20 患者ファイル

患者ファイルには複数の3Dスタディが含まれる可能性があります。スタディは3D X線撮影画像と付属の計画プロジェクトで構成されています。さらに、患者ファイルには計画中に作成された文書が含まれる場合があります。

患者ファイルを管理するために使用できる操作：

- *「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 76 - Standalone]*
- *患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え [▶ページ 77 - Standalone]*
- *患者ファイルをアクティブにする [▶ページ 79 - Standalone]*
- *患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ページ 83 - Standalone]*
- *アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 80 - Standalone]*
- *患者ファイルの特性を変更する [▶ページ 82 - Standalone]*
- *患者ファイリングからの患者ファイルの削除 [▶ページ 89 - Standalone]*
- *患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ページ 91 - Standalone]*

さらに、患者ファイルへのデータのインポートおよび患者ファイルからのデータのエクスポートを行うことができます。

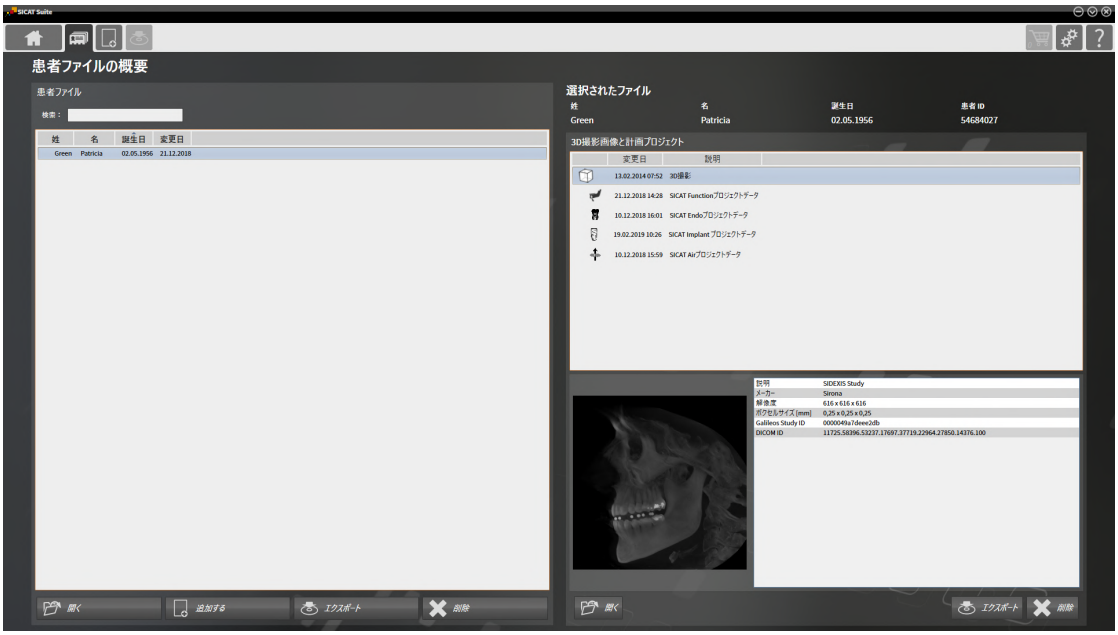
- *データインポート [▶ページ 64 - Standalone]*
- *データエクスポート [▶ページ 231 - Standalone]*

20.1 「患者ファイル概要」ウインドウを開く

患者ファイルの概要 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

- **ナビゲーションバー** で、**患者ファイル**のアイコンをクリックします。

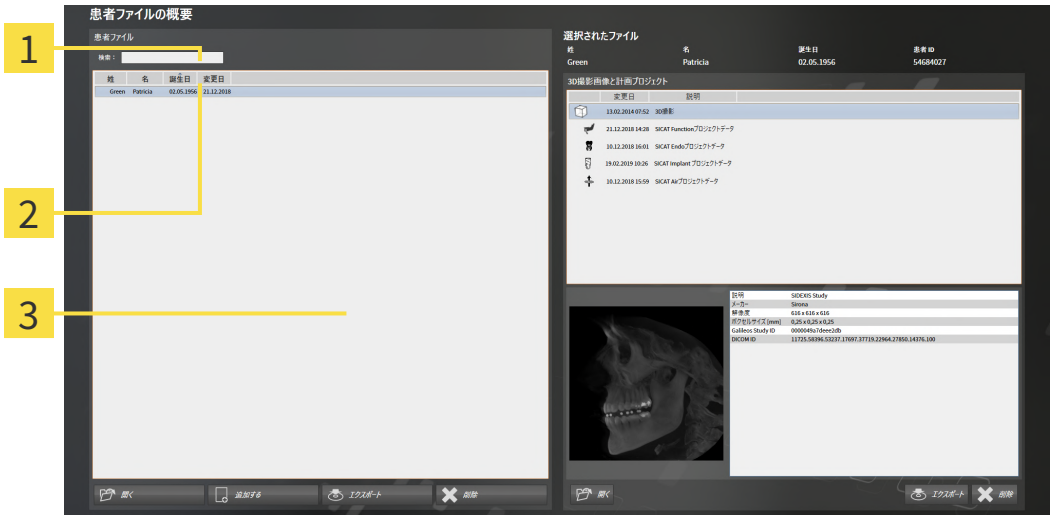
► **患者ファイルの概要** のウィンドウが開きます。



以下の操作を続行します：

- *患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え [▶ページ 77 - Standalone]*
- *患者ファイルをアクティブにする [▶ページ 79 - Standalone]*
- *患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く [▶ページ 83 - Standalone]*
- *アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 80 - Standalone]*
- *患者ファイルの特性を変更する [▶ページ 82 - Standalone]*
- *患者ファイリングからの患者ファイルの削除 [▶ページ 89 - Standalone]*
- *患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ページ 91 - Standalone]*

20.2 患者ファイリング内での患者ファイルの検索および並べ替え



1 欄 **検索：**

2 列のタイトル（特性を含む）

3 のリスト **患者ファイル**

患者ファイルの検索

SICAT Suiteは、入力した検索テキストに従って全ての患者ファイルの特性を検索します。

患者ファイルを検索するには、次のように行います。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ ページ 76 - Standalone]*の節をご覧ください。

- **検索：**欄に希望の検索テキストを入力します。

▶ **患者ファイル**リストに、入力した検索テキストが特性に含まれる全患者ファイルが表示されます。

SICAT Suiteは、入力を始めると直ちに検索を開始します。

特性に基づく患者ファイルの並べ替え

以下の特性に基づいて、患者ファイルを並べ替えることができます。

- **姓**
- **名**
- **誕生日**
- **変更日**

患者ファイルを特性に基づいて並べ替えるには、次のように行います。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 76 - Standalone]*の節をご覧ください。

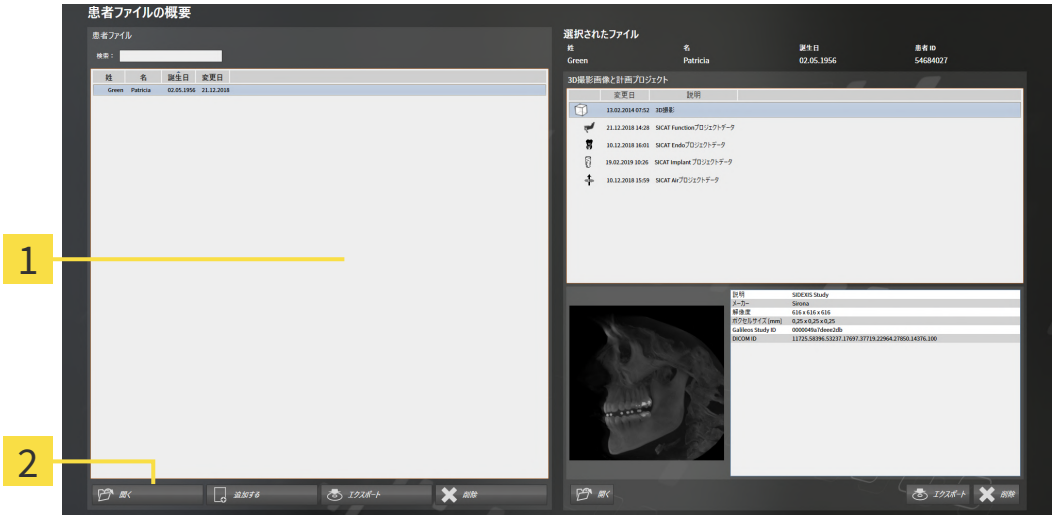
1. **患者ファイル**リストで希望の特性の列のタイトルをクリックします。
   ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイル**リストを希望の特性で順番に並べ替えます。
2. **患者ファイル**リストで希望の特性の列のタイトルをもう一度クリックします。
   ▶ SICAT Suiteは、**患者ファイル**リストを希望の特性で逆の順序に並べ替えます。

通常、患者ファイルは変更日の降順に並べ替えられています。

20.3 患者ファイルをアクティブにする

患者ファイルを使用して作業するために、これを次のようにアクティブにします。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 76 - Standalone]*の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル**

2 選択した患者ファイルをアクティブにするボタン

1. **患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。
2. 選択した患者ファイルをアクティブにするボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは選択した患者ファイルをアクティブにします。

以降の操作は、*アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 80 - Standalone]*の節に沿って、行ってください。

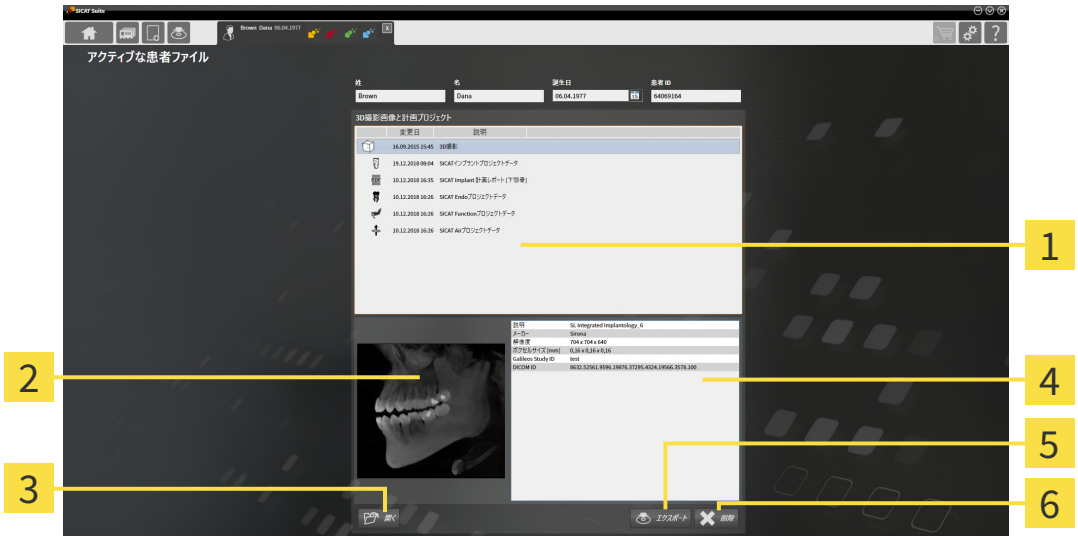
20.4 アクティブな患者ファイルを使用した作業

⚠ 注意	**削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。** 患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意	**3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。** 3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

開いた患者ファイルで作業するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 患者ファイルがすでにアクティブです。これに関する情報は*患者ファイルをアクティブにする [▶ページ 79 - Standalone]*を参照してください。



1	**3D撮影図と計画プロジェクト**のリスト
2	**概要**エリア
3	**開く**のボタン
4	**詳細**エリア
5	**エクスポート**のボタン
6	**削除**のボタン

1. **アクティブな患者ファイル**ウィンドウで**3D撮影図と計画プロジェクト**リストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトを選択します。
   ▶ **概要**エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトのプレビューが表示されます。
   ▶ **詳細**エリアに、選択した3D X線撮影画像または選択した計画プロジェクトの詳細 (DICOM メタデータなど) が表示されます。

2. SICATアプリケーションの選択した3D X線撮影画像、または付属のSICATアプリケーションの選択した計画プロジェクトを開くには、**開く**のボタンをクリックします。

3. デフォルトのPDFビューアで選択したドキュメントを開くには、まず**開く**のボタンをクリックして、暗号化されていないバージョンを保存する必要があります。

   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

4. ドキュメントを保存するディレクトリを変更してください。

5. **ファイル名**欄に名前を入力し、**保存**をクリックします。

   ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが閉じます。

   ▶ SICAT Endoはドキュメントを PDFファイルで保存します。

   ▶ SICAT Endoはドキュメントをデフォルトの PDFビューアで開きます。

6. 選択したスタディをアクティブな患者ファイルからエクスポートするには、**エクスポート**のボタンをクリックします。これに関する情報は*データエクスポート [▶ページ 231 - Standalone]*を参照してください。

7. 選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトをアクティブな患者ファイルから削除するには、**削除**のボタンをクリックします。これに関する情報は*患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除 [▶ページ 91 - Standalone]*を参照してください。

8. アクティブな患者ファイルの属性の変更手順は、*患者ファイルの特性を変更する [▶ページ 82 - Standalone]*をご覧ください。

20.5 患者ファイルの特性を変更する

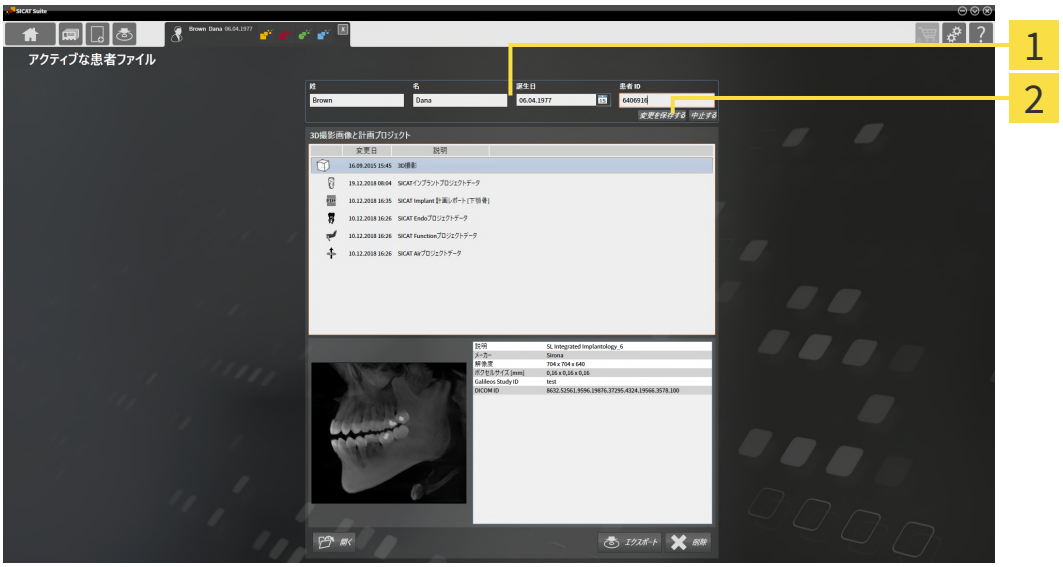
アクティブな患者ファイリング内にある各患者ファイルの特性の組み合わせは明確でなくてはなりません。

患者ファイルの以下の特性を変更することができます。

- **姓**
- **名**
- **誕生日**
- **患者 ID**

患者ファイルの特性を変更するには、次の手順で行います。

☑ 患者ファイルがすでにアクティブです。これに関する情報は*患者ファイルをアクティブにする [▶ページ 79 - Standalone]*を参照してください。



1 特性欄

2 ボタン **変更を保存する**

1. **アクティブな患者ファイル**ウインドウで特性欄に希望の値を入力します。
2. **変更を保存する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteが変更内容を保存します。

患者IDはDICOM IDと一致しません。任意の各IDを患者IDとして入力することができます（社会保険番号、施設の内部患者IDなど）。

20.6 患者ファイル概要から3D X線撮影画像または計画プロジェクトを開く

⚠ **注意**

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

⚠ **注意**

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

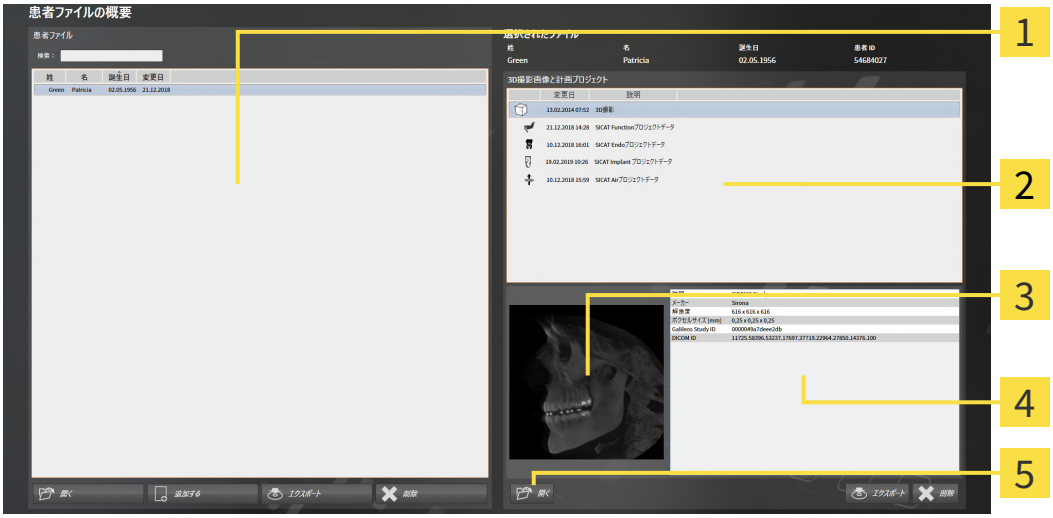
⚠ **注意**

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

3D X線撮影画像または計画プロジェクトを**患者ファイルの概要**から開くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **患者ファイルの概要**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 76 - Standalone]*を参照してください。



1 **患者ファイル**のリスト

2 **3D撮影図と計画プロジェクト**のリスト

3 **概要**エリア

4 **詳細**エリア

5 **開く**のボタン

1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。

   ▶ **選択されたファイル**エリアで**3D撮影図と計画プロジェクト**リストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが表示されます。

2. **3D撮影図と計画プロジェクト**リストから希望するデータセットまたは希望するドキュメントを選択します。

   ▶ **概要**エリアと**詳細**エリアに、選択したデータセットまたはドキュメントに関する情報が表示されます。

3. **開く**のボタンをクリックします。

▶ データセットを選択すると、これはSICATアプリケーションで開かれます。

▶ ドキュメントを選択すると、Windowsファイルエクスプローラウィンドウが開き、そのドキュメントを任意のディレクトリに保存できます。その後、デフォルトのPDFビューアでドキュメントを開くことができます。

3D X線撮影画像を、それが関係するスタディなしに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが1つのみのときは、そのSICATのアプリケーションが起動します。3D X線撮影画像を、それが関係する、複数のスタディとともに開き、かつ、ライセンスのアクティベーションを完了している、SICATのアプリケーションが複数あるときは、前回、スタディに変更を加えたアプリケーションが起動します。

20.7 SICAT SUITEでのSICAT ENDOスタディ

⚠ **注意**

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ **注意**

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ **注意**

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ **注意**

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

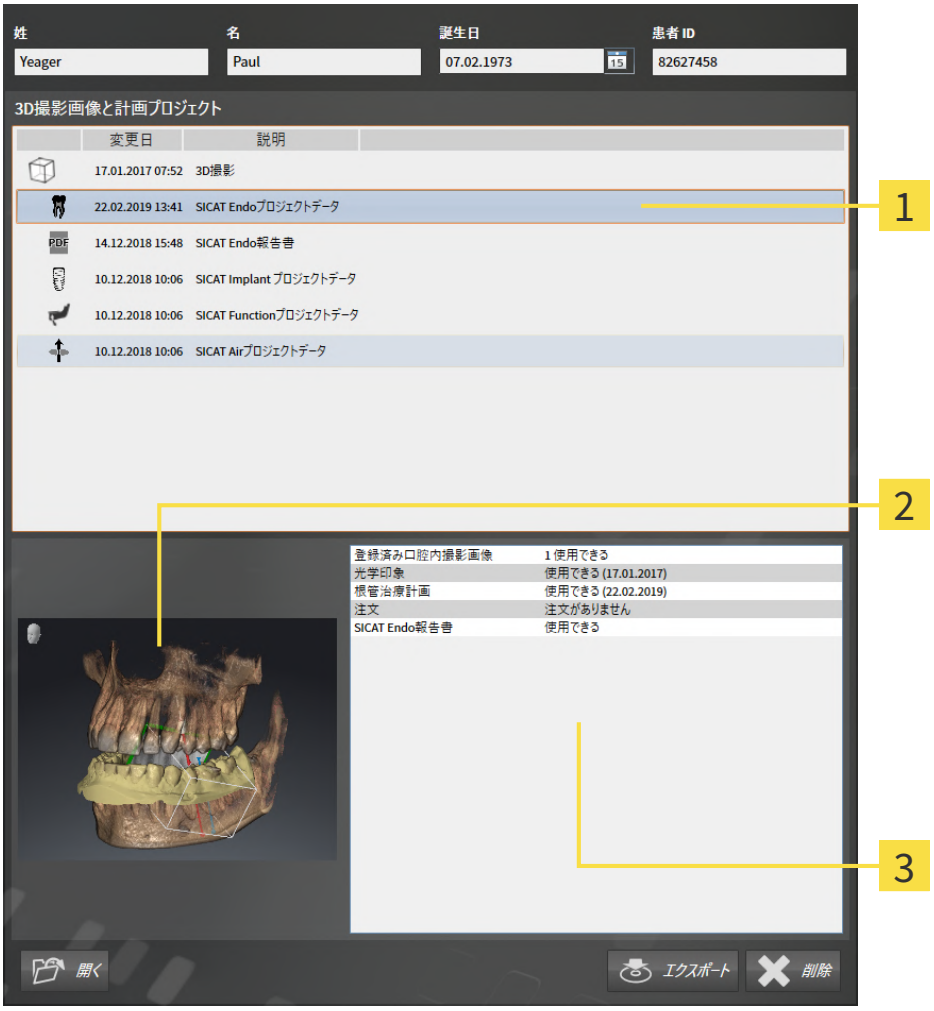
⚠ **注意**

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

以下の条件が満たされた場合、**患者ファイルの概要**は、SICAT Endoスタディの情報を表示します。

- SICAT Suiteをスタンドアロンバージョンとして使用します。
- **3D撮影図と計画プロジェクト**のエリアからSICAT Endoスタディを選択しました。

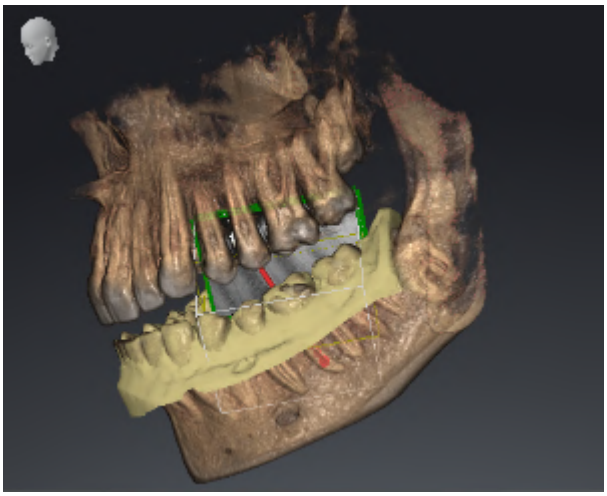


1 選択されたSICAT Endoスタディ

2 エリア **概要**

3 エリア **詳細**

概要のエリアは**3D**ビューを表示します。



詳細エリアに次の情報が表示されます：

- 利用可能な登録済み口腔内撮影画像
- 利用可能な光学印象
- 利用可能な根管治療計画
- 利用可能なステータスと日付が含む注文
- 利用可能なレポート

20.8 アクティブな患者ファイルを閉じ、それに含まれる計画プロジェクトを保存する

アクティブな患者ファイルを閉じるために、それに含まれる計画プロジェクトを保存するには、次のように行います。

- アクティブな患者ファイルのエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。

► SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じ、計画プロジェクトで実行した変更内容を保存します。

20.9 患者ファイリングからの患者ファイルの削除

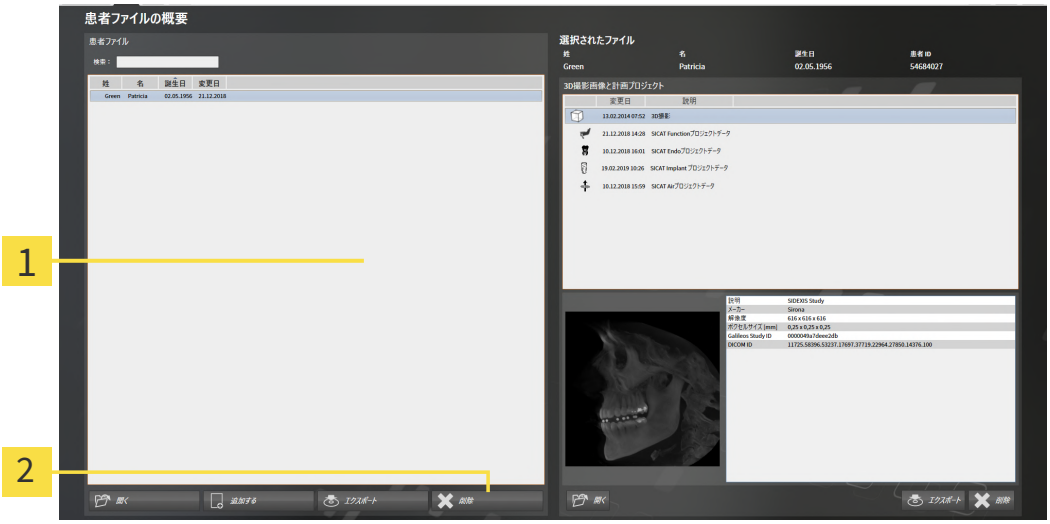
注意

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

患者ファイルおよびそれに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除するには、次の手順で行います。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 76 - Standalone]*の節をご覧ください。



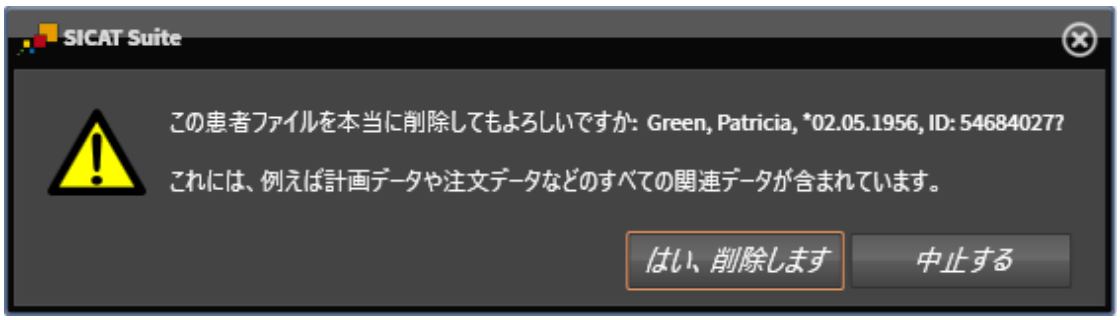
1 のリスト **患者ファイル**

2 選択した患者ファイルを削除するボタン

1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。

2. 選択した患者ファイルを削除するボタンをクリックします。

   ▶ 確認メッセージが開きます。



3. 選択したデータを削除する場合、確認メッセージの**はい、削除します** をクリックします。

► SICAT Suiteは選択した患者ファイル、それに含まれる全ての3D X線撮影画像および計画プロジェクトをアクティブな患者ファイリングから削除し、 **患者ファイル**のリストから除去します。

20.10 患者ファイルからの3D X線撮影画像または計画プロジェクトの削除

⚠ **注意**

削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

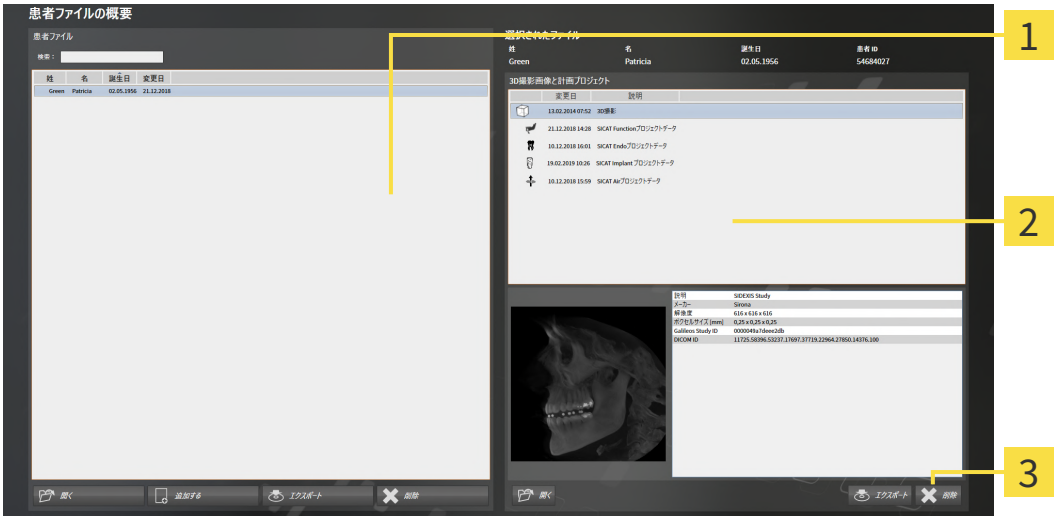
⚠ **注意**

3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

3D X線撮影画像および計画プロジェクトを患者ファイルから削除するには、次の手順で行います。

☑ **患者ファイルの概要** のウィンドウを開いておきます。この表示に関する内容は、*「患者ファイル概要」ウインドウを開く [▶ページ 76 - Standalone]*の節をご覧ください。



1 のリスト **患者ファイル**

2 のリスト **3D撮影図と計画プロジェクト**

3 ボタン **削除**

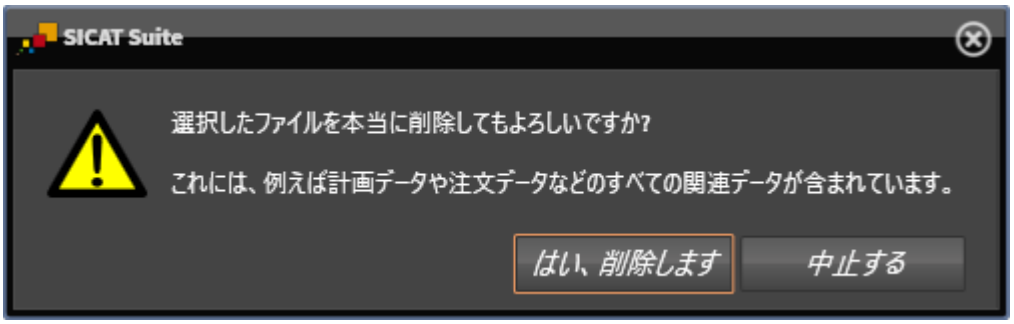
1. **患者ファイルの概要**ウィンドウで**患者ファイル**リストから希望の患者ファイルを選択します。

   ▶ **選択されたファイル**エリアで**3D撮影図と計画プロジェクト**リストに選択した患者ファイルの全ての3D X線撮影画像と計画プロジェクトが表示されます。

2. **3D撮影図と計画プロジェクト**リストから希望の3D X線撮影画像または希望の計画プロジェクトまたは希望の計画プロジェクトを選択します。

3. **削除** のボタンをクリックします。

   ▶ 確認メッセージが開きます。



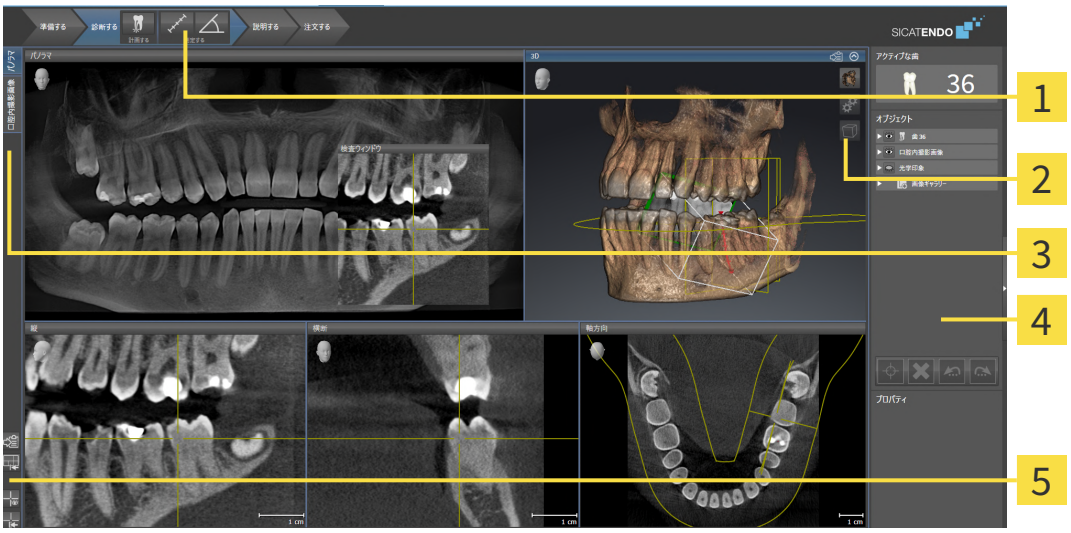
4. 選択したデータを削除する場合、確認メッセージの**はい、削除します** をクリックします。

▶ SICAT Suiteは、選択した3D X線撮影画像または計画プロジェクトを患者ファイルおよび **3D撮影図と計画プロジェクト**リストから削除します。

3D X線撮影画像または計画プロジェクトを **アクティブな患者ファイル**ウインドウで患者ファイルから削除することもできます。この表示に関する内容は、*アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 80 - Standalone]*の節をご覧ください。

21 SICAT ENDOのユーザーインターフェース

SICAT Endoのユーザーインターフェースは、以下のアイテムで構成されています。



1 **ワークフローのツールバー**

2 **画像のツールバー**

3 ワークスペースの切替用ボタン

4 **オブジェクトバー**

5 **ワークスペースのツールバー**

- **ワークフローのツールバー**は、複数のワークフロー・ステップから構成されますが、その中には、アプリケーションのワークフローで使用する主要ツールが用意されています。これには、診断オブジェクトおよび計画オブジェクトを追加およびインポートすることのできるツールが含まれます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 95 - Standalone]*をご参照ください。
- **ワークスペースエリア**は、**ワークフローのツールバー**の下側にあって、ユーザーインターフェースの一部を構成します。この部分には、SICAT Endoで開いているワークスペースを表示します。各ワークスペースに特定のビュー構造が含まれています。これに関する情報は、*ワークスペース [▶ページ 108 - Standalone]*をご参照ください。
- 有効なビューにのみ**画像のツールバー**が表示されます。付属のビューの表示を調整するツールがあります。これに関する情報は、*ビューの調整 [▶ページ 116 - Standalone]*および *3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*をご参照ください。
- **オブジェクトバー**には、診断や治療計画のそれぞれで対象とするもの(オブジェクト)を管理するための各種ツールが用意されています。これに関する情報は、*オブジェクトバー [▶ページ 98 - Standalone]*および*SICAT Endoオブジェクト [▶ページ 104 - Standalone]*をご参照ください。
- **ワークスペースのツールバー**には、各種ツールが用意されていますが、これらのツールで、ワークスペースの一般的な各種設定や、含まれる画像のすべてに対して変更を加えたり、ワークスペースの内容を記録したりすることができます。これに関する情報は、*十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 124 - Standalone]*、*ビューをリセットする [▶ペー*

*ジ 129 - Standalone], アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 113 - Standalone]および ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ページ 114 - Standalone]*をご参照ください。

21.1 ワークフローのツールバー

SICAT Endoでは、**ワークフローのツールバー**は4つのワークフローステップで構成されています：

1. **準備**
2. **診断する**
3. **説明する**
4. **注文する**

ワークフローステップの開閉

以下の各アイコンをクリックすると、ワークフロー・ステップを展開させたり畳み込んだりすることができます。

1．ワークフローステップ「準備」

ワークフロー・ステップ「**準備**」では、以下のツールが使用できます。

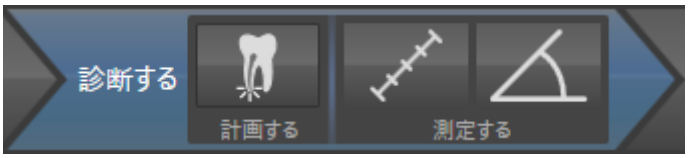
- **グレースケール値を調整する** - これに関する情報は*グレースケール値を調整する [▶ページ 141 - Standalone]*を参照してください。このツールが使用でき、また、必要になるのは、シロナ社製以外の機器で表示するボリュームに限ります。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します** - これに関する情報は、 *ボリュームの配置を調整する [▶ページ 145 - Standalone]*および*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 150 - Standalone]*をご参照ください。

- **口腔内撮影画像の管理・登録中** -これに関する情報は、 *口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 172 - Standalone]*、*口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ページ 177 - Standalone]*および*口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 179 - Standalone]*をご参照ください。

- **光学印象をインポートし記録する** - これに関する情報は、*光学印象 [▶ページ 154 - Standalone]*をご参照ください。

2．ワークフローステップ「診断」



ワークフロー・ステップ「**診断する**」では、以下のツールが使用できます。

- **EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画する** -これに関する情報は、 *歯の領域をプリアラインメントする [▶ページ 197 - Standalone]*、*EndoLinesの設定 [▶ページ 199 - Standalone]*および *ドリル穴を計画する [▶ページ 209 - Standalone]*をご参照ください。

- **距離測定を追加する(D)** - これに関する情報は、*距離測定を追加する [▶ページ 216 - Standalone]*をご参照ください。

- **角度測定を追加する(A)** - これに関する情報は、*角度測定を追加する [▶ページ 217 - Standalone]*をご参照ください。

3．ワークフローステップ「患者への説明」

ワークフロー・ステップ「**説明する**」では、以下のツールが使用できます。

- **矢印を描く** - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成 [▶ページ 222 - Standalone]*をご参照ください。

- **円を描く** - これに関する情報は、*画像とスクリーンショットの作成 [▶ページ 222 - Standalone]*をご参照ください。

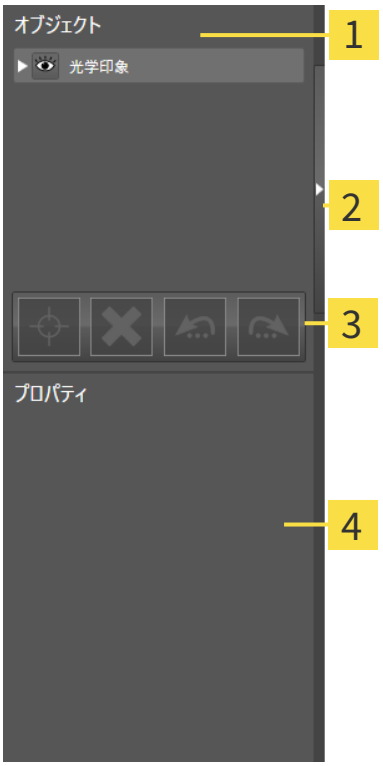
- **レポートを作成する** - これに関する情報は、ハンドアウトの準備をご参照ください。

4．ワークフロー・ステップ「注文する」

ワークフロー・ステップ「**注文する**」では、以下のツールが使用できます。

- **SICAT ENDOGUIDEを注文します** - これに関する情報は、*ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ページ 236 - Standalone]*をご参照ください。

21.2 オブジェクトバー



1 **オブジェクトブラウザ**

2 **オブジェクトバーを非表示にする**のボタンまたは**オブジェクトバーを表示する**のボタン

3 **オブジェクトツールバー**

4 **プロパティ**エリア

オブジェクトバーには、以下のアイテムが用意されています。

- **オブジェクトブラウザ**には、診断や治療計画の対象 (オブジェクト) として、現時点のスタディに追加したりインポートしたりしたものをもれなく、カテゴリ分類して列挙したリストを表示します。**オブジェクトブラウザ**は、複数のオブジェクトを自動でグループ分けします。例えば、**測定**のグループには、測定対象のオブジェクトがもれなく含まれています。オブジェクトグループを開閉する、オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにす

る、オブジェクトおよびオブジェクトグループを非表示または表示にすることができます。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 100 - Standalone]*の節をご覧ください。

- **オブジェクトツールバー**には、各種のツールが用意されていますが、これらのツールにより、オブジェクトへの合焦、オブジェクトやオブジェクトグループの削除、オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して行った操作の取り消し、再度実行などができます。これに関する情報は*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 102 - Standalone]*を参照してください。
- **プロパティ**エリアには、作業対象として選択しているオブジェクトについて、その詳細を表示します。

オブジェクトバーの視点を**オブジェクトバー**の右側の2つのボタンで変更することができます。
オブジェクトバーを非表示にするおよび**オブジェクトバーを表示する**

SICAT Endoで作業対象として選択可能なオブジェクトは、*SICAT Endoオブジェクト [▶ページ 104 - Standalone]*の節をご覧ください。

21.3 オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理

オブジェクトグループの開閉

オブジェクトグループを展開したり畳み込んだりするときは、以下の手順に沿って操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトグループが開いています。

1. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを閉じる**のアイコンをクリックします。

   ▶ オブジェクトグループの畳み込みが行われます。

2. 畳み込みたいオブジェクトグループの横にある**グループを開く**のアイコンをクリックします。

▶ オブジェクトグループが展開します。

オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする

ツールによっては、作業対象として選択しているオブジェクトやオブジェクトグループ以外では、利用できないものが、いくらかあります。

オブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にするには、次のように行います。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループが無効になっています。

- 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループをクリックします。

▶ SICAT Endo は、それまで有効であったオブジェクトまたはオブジェクトグループを無効にします。

▶ SICAT Endo は希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループを有効にします。

▶ SICAT Endo は、**オブジェクトブラウザ**と画像のそれぞれで、オブジェクトやオブジェクトグループに色を付けてハイライト表示します。

オブジェクトをクリックすることによって、2Dビューで特定のオブジェクトも有効にすることができます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトやオブジェクトグループを非表示/表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは表示されています。

1. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**表示**のアイコンか、または**一部表示**のアイコンをクリックします。

► SICAT Endoはオブジェクトまたはオブジェクトグループを非表示にします。

► SICAT Endoでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**非表示**アイコンが表示されます。

2. お好みのオブジェクトまたはオブジェクトグループの横にある**非表示**アイコンをクリックします。

► SICAT Endoはオブジェクトまたはオブジェクトグループを表示します。

► SICAT Endoでは、オブジェクトまたはオブジェクトグループの横に**表示**アイコンが表示されます。

21.4 オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理

この機能は、特定のオブジェクトタイプを除いて利用できません。

オブジェクトに焦点を合わせる

この機能は、画像内でオブジェクトを探す目的で使用してください。

あるオブジェクトに焦点を合わせるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のオブジェクトはすでにアクティブになっています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 100 - Standalone]*の節をご覧ください。

☑ オブジェクトに焦点を合わせることができます。

- **アクティブ オブジェクトを合わせる(F)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoは、ビューの焦点をアクティブなオブジェクトに移動させます。

▶ SICAT Endoには、ビュー内でアクティブなオブジェクトが表示されます。

オブジェクトへの合焦は、**オブジェクトブラウザ**からか、または、ビューで、オブジェクトをダブルクリックしても同様に可能です。ただし、**3D**画像を除きます。

オブジェクトおよびオブジェクトグループの除去

オブジェクトまたはオブジェクトグループを削除するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のオブジェクトまたはオブジェクトグループは既にアクティブにしています。オブジェクトブラウザに関する内容は、 *オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 100 - Standalone]*の節をご覧ください。

- **アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoはオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除します。

オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する

オブジェクトまたはオブジェクトグループに対して直前に行った操作を取り消して元に戻したり、再度、実行したりするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **前回のオブジェクト アクションを元に戻す（Ctrl+Z）**のアイコンをクリックします。
   ► SICAT Endoは、最後のオブジェクトアクションまたはグループアクションを元に戻します。

2. **オブジェクト/グループ アクションを再実行する（Ctrl+Y）**のアイコンをクリックします。

► SICAT Endoは、前回戻したオブジェクトアクションまたはグループアクションをもう一度実行します。

SICATアプリケーションで撮影結果を開いている間のみ、元に戻してもう一度実行することができます。

21.5 SICAT ENDOオブジェクト

SICAT Endoでは、**オブジェクトブラウザ**が、アプリケーション固有のオブジェクトグループとオブジェクトを次のようにグループに分類します。

- **口腔内撮影画像**
-
- **Endo計画オブジェクト**
  - **EndoLine**
  - **ドリル穴**
- **画像ギャラリー**
  - **画像**
  - **スクリーンショット**

口腔内撮影画像オブジェクトグループ

口腔内撮影画像のインポートおよび登録を完了させた後、SICAT Endoは、**オブジェクトブラウザ**に、**口腔内撮影画像**オブジェクトグループを表示します。**口腔内撮影画像**オブジェクトグループには、常に少なくとも1つの口腔内撮影画像が含まれています。SICAT Endo 各口腔内撮影画像の撮影日と撮影時刻を表示します。

光学印象オブジェクトグループ

少なくとも1つの光学印象をインポート・登録した後、SICAT Endoは、**光学印象**オブジェクトグループを**オブジェクトブラウザ**に表示します。**光学印象**オブジェクトグループには、次のオブジェクトが含まれている可能性があります。

- **上顎骨**
- **下顎骨**

1つのオブジェクトに焦点を当てると、SICAT Endoは、選択されたオブジェクトのすべての2Dビューに焦点を合わせます。

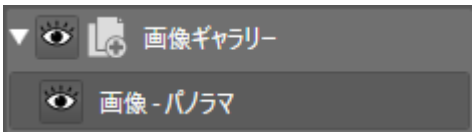
上顎骨のオブジェクトや**下顎骨**のオブジェクトを削除すると、SICAT Endoは、既存の光学印象をすべてスタディから削除します。

ENDO計画オブジェクトグループ

EndoLineとドリル穴の計画が完了した後、SICAT Endoは**Endo計画対象グループ**を **オブジェクトブラウザ**に表示します。**Endo計画オブジェクト**は、常に歯と結びづけられており、EndoLineとドリル穴の形としてのEndoLineウィザードの結果です。**Endo計画オブジェクトグループ**には、EndoLineオブジェクトおよびサブオブジェクトとしてのドリル穴が含まれています。ドリル穴は、常にEndolineと結びつけられています。ドイル穴のおかげで、歯内治療計画を立てることができます。

オブジェクトの1つまたはサブオブジェクトのいずれか1つにピントを合わせると、SICAT Endoでは、いずれの2Dビューでも、選択しているオブジェクトにピントが合います。

ギャラリーオブジェクトグループ



次の内容は、**画像ギャラリー**オブジェクトグループに適用されます。

- マウスポインタを**画像ギャラリー**オブジェクトグループの上に合わせると、SICAT Endoが歯車のアイコンを表示します。歯車のアイコンをクリックすると、SICAT Endoは**レポート作成**ウインドウを開きます。

- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、**画像ギャラリー**オブジェクトグループを削除することができます。SICAT Endo すべての関連する**画像**オブジェクトおよび**スクリーンショット**オブジェクトを削除します。

画像オブジェクト

次は、**画像**オブジェクトに適用されます：

- **画像**-オブジェクトは、**画像ギャラリー**オブジェクトグループの下部にあります。
- SICAT Endo 各2Dビュー用ワークスペースで1つの層のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像**オブジェクトを作成します。
- SICAT Endo 3Dビューのワークスペースで特定の目線と特定のズーム比のすべての描画オブジェクトをまとめ、**画像**オブジェクトを作成します。
- **画像**オブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
  - オブジェクトの作成時点
  - オブジェクトのプレビュー
- 機能**前回のオブジェクト アクションを元に戻す（Ctrl+Z）**と**オブジェクト/グループ アクションを再実行する（Ctrl+Y）**は、個々の注釈に使用することができます。
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用すれば、**画像**オブジェクトおよび含まれるすべての注釈を一度に削除できます。SICAT Endo **画像**オブジェクトを、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- **画像**オブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Endoは、含まれる最後の注釈が作成された時点に該当するビューを復元します。

スクリーンショットオブジェクト

次は、**スクリーンショット**オブジェクトに適用されます：

- **スクリーンショット**-オブジェクトは、**画像ギャラリー**オブジェクトグループの下部にあります。
- SICAT Endo **スクリーンショット**オブジェクトをスクリーンショットごとに作成します。
- **スクリーンショット**オブジェクトを作成および有効にした後、**オブジェクトブラウザ**は**プロパティ**エリアに次のことを表示します：
  - オブジェクトの作成時点
  - オブジェクトのプレビュー
- 機能**アクティブ オブジェクト/アクティブ グループを削除する(Del)**を使用し、**スクリーンショット**オブジェクトを削除することができます。SICAT Endo **スクリーンショット**オブジェクトを、**オブジェクトブラウザ**から、そして**レポート作成**ウィンドウの両方から削除します。
- **スクリーンショット**オブジェクトに焦点を合わせた場合、SICAT Endoはオブジェクトを作成した時点に該当するビューを復元します。
- 表示および非表示機能は使用できません。

22 ワークスペース

SICATのアプリケーションでは、スタディを複数のビューで表示し、ワークスペースに画像をまとめて配置します。

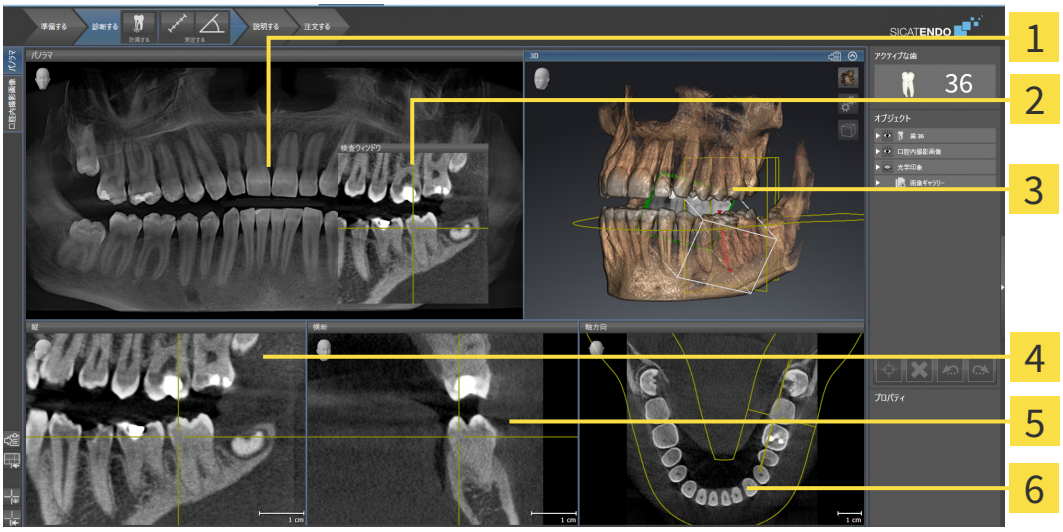
SICAT Endoには、異なる2種類のワークスペースが用意されています。

- **パノラマ**-ワークステーション- これに関する情報は、*パノラマワークスペースの概要 [▶ページ 109 - Standalone]*の節をご覧ください。
- **口腔内画像**ワークスペース - これに関する情報は、*口腔内撮影画像ワークスペースの概要 [▶ページ 111 - Standalone]*の節をご覧ください。

ワークスペースおよびそれに含まれるビュー用として、以下の操作を行うことができます。

- *ワークスペースを切り替える [▶ページ 112 - Standalone]*。
- *アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット [▶ページ 113 - Standalone]*。
- *ビューの調整 [▶ページ 116 - Standalone]*。
- **3D**ビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*を参照してください。
- アクティブなワークスペースは、その内容を記録することができます。これに関する情報は*ワークスペースのスクリーンショットを作成する [▶ページ 114 - Standalone]*を参照してください。

22.1 パノラマワークスペースの概要



1 **パノラマ**-ビュー

2 **検査ウィンドウ**

3 **3D**-ビュー

4 **縦**-ビュー

5 **横断**-ビュー

6 **軸方向**-ビュー

パノラマビュー

パノラマビューは、仮想的なオルソパントモグラフ（OPG）に相当します。これは、正射影を特定の太さのパノラマ曲線上に表示します。パノラマ曲線および太さを両顎に調整することができます。この調整に関する内容は、*パノラマエリアを調整する [▶ページ 150 - Standalone]*の節をご覧ください。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウは、**パノラマ**ビューに埋め込まれています。レイヤーをパノラマ曲線に対して平行にすることによって、**パノラマ**ビューに、3次元の画像が追加されることになります。**検査ウィンドウ**を移動、非表示、表示および最大化できます。これに関する情報は*検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 125 - Standalone]*を参照してください。

3Dビュー

3Dビューには、開いている3D治療計画スタディの3Dビューを表示します。

縦ビュー

縦ビューには、パノラマ歯列弓に対して接線をなすレイヤーを表示します。

横断ビュー

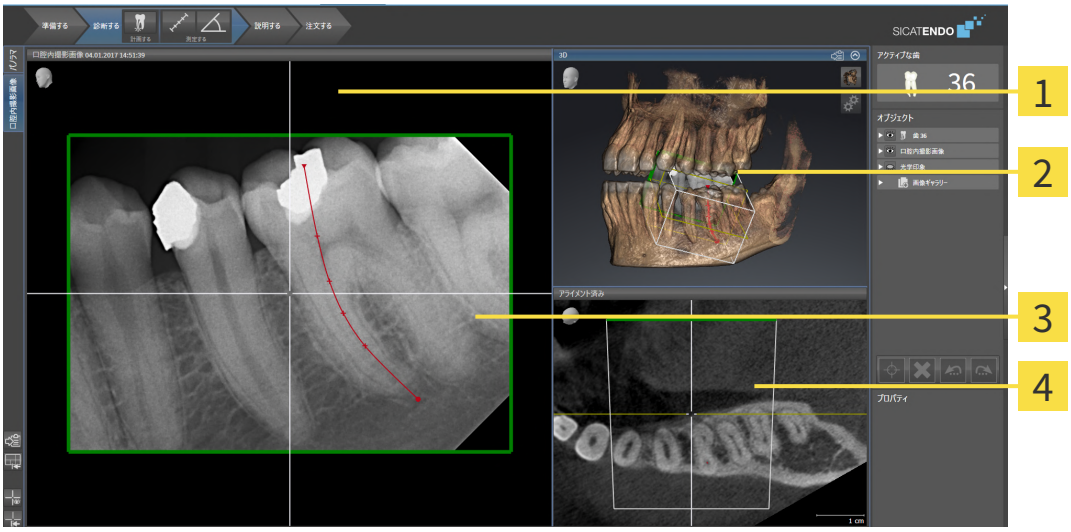
横断ビューには、パノラマ歯列弓に対して矢状断のレイヤーを表示します。

軸方向ビュー

デフォルトの**軸方向**ビューでは、上方からみたレイヤーを表示します。**軸方向**ビューでは、視線方向の切替が可能です。この切替に関する内容は、*可視化設定の変更 [▶ページ 258 - Standalone]*の節をご覧ください。

ビューの機能に関しては、*ビューの調整 [▶ページ 116 - Standalone]*および*3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*をご参照ください。

22.2 口腔内撮影画像ワークスペースの概要



1 **口腔内撮影画像**-ビュー

2 **3D**-ビュー

3 検査ウィンドウ

4 **アラインメント済み**-ビュー

口腔内撮影画像-ビュー

口腔内撮影画像ビューは、オブジェクトブラウザで選択された口腔内撮影画像を示します。

検査ウィンドウ

検査ウィンドウ は、 **口腔内撮影画像**ビューに埋め込まれています。レイヤーを口腔内撮影画像対して平行にすることによって、**口腔内撮影画像**ビューに、3Dの画像が追加されることになります。**検査ウィンドウ**は非表示にしたり、表示して登録の確認や根管の評価のために使用することができます。

3D-ビュー

3Dビューには、開いているスタディの3Dビューを表示します。

アラインメント済み-ビュー

デフォルトでは、 **アラインメント済み**ビューは、口腔内撮影画像の断面を表示しますが、これは、**口腔内撮影画像**ビューにおける十字線の位置によって定義されます。

22.3 ワークスペースを切り替える

ワークスペースを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- ワークスペースエリアの左上の隅にある任意のワークスペースタブをクリックします。

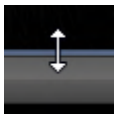
▶ 選択したワークスペースが開きます。

22.4 アクティブなワークスペースのレイアウトの調整およびリセット

アクティブなワークスペースのレイアウトを調整する

アクティブなワークスペースのレイアウトのレイアウトを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを二つ以上のビューの間を境界線上に移動させます。
   ▶ マウスポインターの形状が切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックしたら、その左ボタンを押したままにします。
3. マウスを動かします。
   ▶ 境界線の位置が変わります。
   ▶ 境界線の全側面でビューの大きさが変わります。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo では、境界線の現在位置、および、ビューの現在のサイズが、境界線のすべての側で維持されます。

アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする

アクティブなワークスペースのレイアウトをデフォルトに復元するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- **ワークスペースのツールバー** で、 **アクティブなワークスペースのレイアウトをリセットする**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo は、アクティブなワークスペースを標準のレイアウトにリセットします。これは、ソフトウェアがすべてのビューを標準サイズに表示することを意味しています。

22.5 ワークスペースのスクリーンショットを作成する

ワークスペースのスクリーンショットは、Windowsのクリップボードにコピーして、文書を作成する目的で使用することができます。

ワークスペースのスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

ワークスペースのスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ご希望のワークスペースはすでにアクティブです。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 112 - Standalone]*を参照してください。

- ワークスペースのツールバーから、**アクティブなワークスペースのスクリーンショットをクリップボードにコピーする**のアイコンをクリックします。

► SICAT Endo では、ワークスペースのスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl＋V」を使用します。

23 ビュー

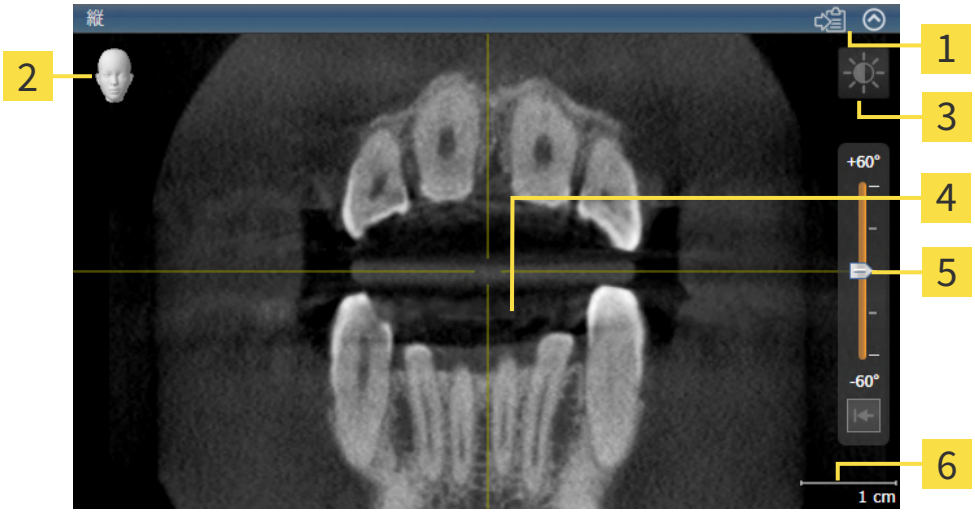
ビューはワークスペースに含まれています。ワークスペースとビューは、各種ありますが、その詳細は以下の節をご覧ください。 *ワークスペース [▶ページ 108 - Standalone]*.

ビューを調整することができます。これに関する情報は*ビューの調整 [▶ページ 116 - Standalone]* と *3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*を参照してください。

23.1 ビューの調整

ビューの調整に用いるツールによっては、アクティブな画像以外では、使用できないものが、いくらかあります。ビューを作業対象として選択する手順は、*アクティブなビューの切り替え [▶ ページ 118 - Standalone]*の節をご覧ください。

アクティブなビューに含まれる要素：



1	タイトルバー	4	十字線
2	オリエンテーションヘッド	5	傾きを調整するためのスライダー
3	画像のツールバー	6	尺度

2Dレイヤービューには十字線が表示されます。十字線は別のレイヤービューとの交差線です。SICAT Endoは全てのレイヤービューを互いに同期させます。これは、全ての十字線が3D X線データ内で同じ位置に表示されることを意味します。これにより、円弧構造をビュー超しに割り当てることができます。

3Dビューでは、フレームを表示して、2Dレイヤービューの現在位置を表示します。

ビューの調整には、次の操作が使用できます：

- *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*
- *ビューの最大化および復元 [▶ページ 119 - Standalone]*
- *2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 120 - Standalone]*
- *ビューのズームおよび切り抜きの移動 [▶ページ 122 - Standalone]*
- *レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール [▶ページ 123 - Standalone]*
- *十字線およびフレームの移動、非表示、表示 [▶ページ 124 - Standalone]*
- *検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化 [▶ページ 125 - Standalone]*
- *ビューの傾斜 [▶ページ 128 - Standalone]*
- *ビューをリセットする [▶ページ 129 - Standalone]*

3Dビューを調整することもできます。これに関する情報は*3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*を参照してください。

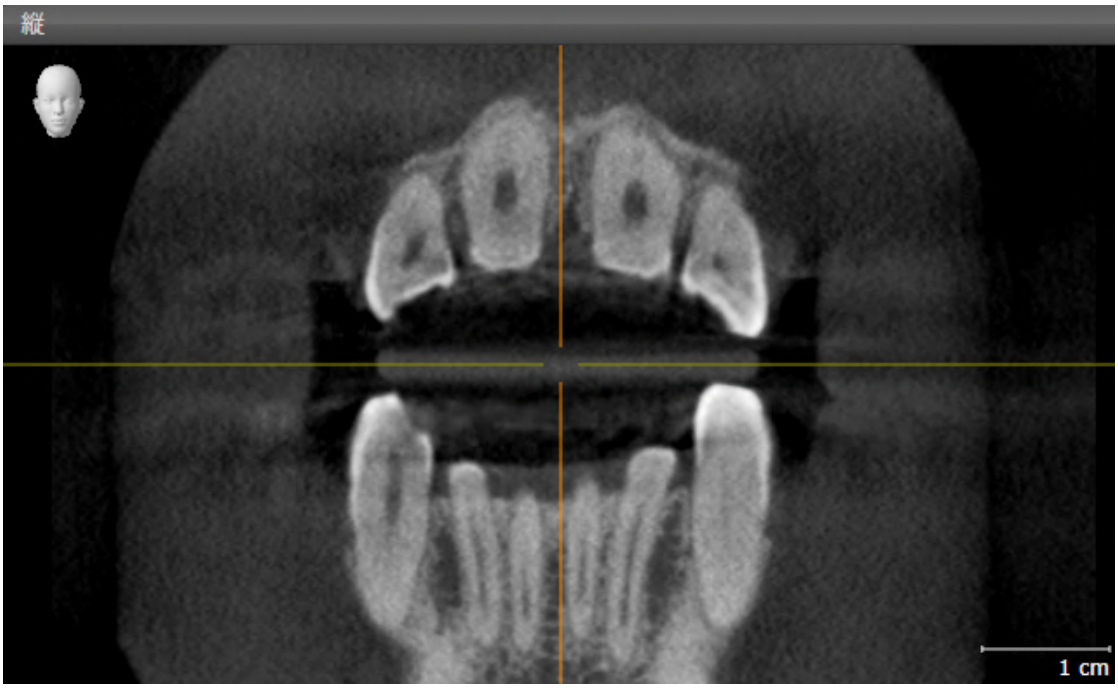
アクティブなビューの内容を記録することができます。これに関する情報は*画像のスクリーンショットを作成する [▶ページ 130 - Standalone]*を参照してください。

23.2 アクティブなビューの切り替え

画像のツールバーとタイトルバーが表示されるのは、アクティブなビューに限ります。

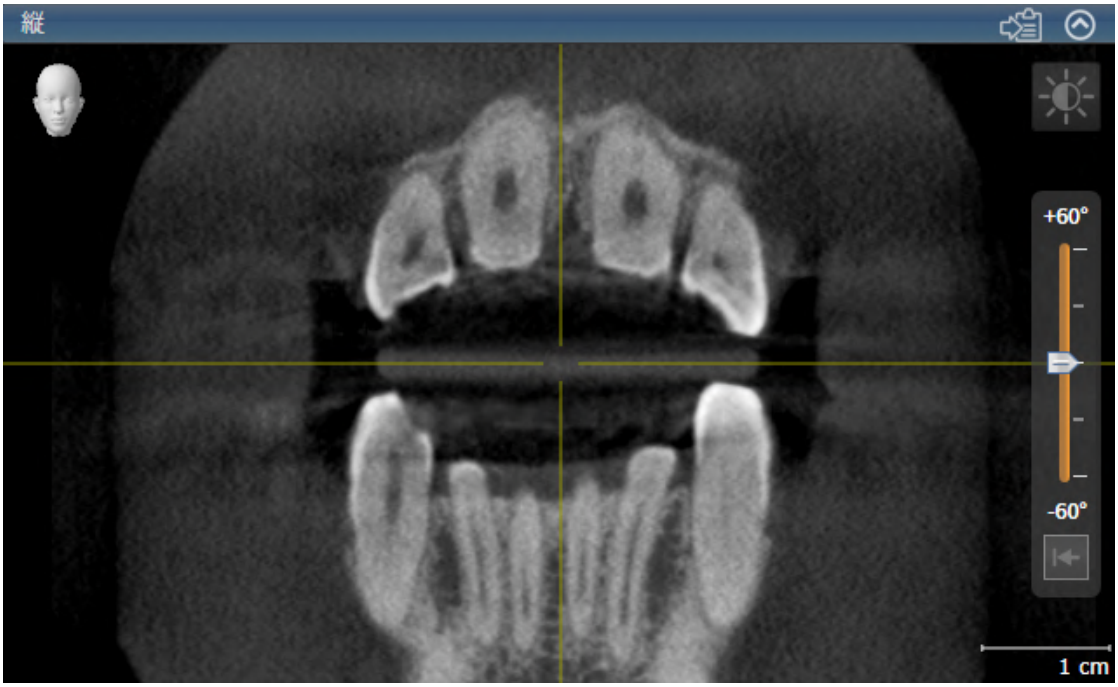
ビューをアクティブにするには、次のように行います。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。



2. 希望のビューをクリックします。

► SICAT Endoがビューを有効にします。



作業対象として選択したビューは、タイトルバーが青色になりますので、それとわかります。

23.3 ビューの最大化および復元

ビューの最大化および前回のサイズの復元は、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は以下を参照してください *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*。

☑ 希望のビューは最大化していません。

1. 希望のビューのタイトルバーにある**最大化する**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endo がビューを最大化します。

2. 最大化したビューのタイトルバーにある、**戻す**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endo では、ビューが元のサイズに戻ります。

ビューの最大化および前回のサイズの復元のために、次の代替操作を使用できます。

- ビューを最大化するために、希望のビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。
- ビューの前回のサイズを復元するために、最大化したビューのタイトルバーをダブルクリックすることができます。

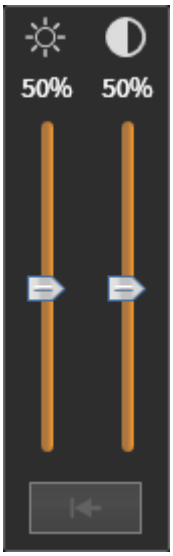
23.4 2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット

2Dビューで、明るさとコントラストを調整するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望の2Dビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*を参照してください。

1. 2Dビューの**画像のツールバー**に**輝度およびコントラストの調整**のアイコンがありますので、それにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウが開きます。



2. マウスポインタを**輝度**のスライダーに重ねます。

3. 左マウスボタンをクリックしたら、押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

   ▶ SICAT Endo では、2Dビューを**輝度**のスライダー位置に応じた明るさに調整します。

4. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Endo は2Dビューの現在の輝度を保持します。

5. マウスポインタを**コントラスト**のスライダーに重ねます。

6. 左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したままにして、マウスポインタを上下方向に移動させます。

   ▶ SICAT Endo では、2Dビューを**コントラスト**のスライダー位置に応じたコントラストに調整します。

7. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Endo は2Dビューの現在のコントラストを保持します。

8. マウスポインタを、**輝度およびコントラストの調整**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

► **輝度およびコントラストの調整** の透明なウィンドウが閉じます。

2Dビューの明るさとコントラストをデフォルトに復元するときは、**明るさとコントラストをリセットする**のアイコンをクリックしてください。

全2Dレイヤービューの輝度とコントラストは相互に関連しています。

23.5 ビューのズームおよび切り抜きの移動

ビューのズーム

ズーム機能は、ビューの内容を拡大または縮小します。

ビューをズーミングするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスホイールを前に回します。
   ▶ ビューがズームインします。
3. マウスホイールを後ろに回します。

▶ ビューがズームアウトします。

上記の手順に代えて、マウスホイールをクリックして、マウスを上下方向に移動させても、ズームインやズームアウトができます。

ビューの切り抜きを移動する

トリミング部分を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
2. マウスの右ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
   ▶ ビューの切り抜きは、マウスポインタの動きに応じて移動します。
4. マウスの右ボタンを放します。

▶ SICAT Endo では、移動後のトリミング部分がそのまま維持されます。

23.6 レイヤーによる2Dレイヤービューのスクロール

2Dレイヤービューで、レイヤーをスクロールするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタは双方向の矢印になります。
3. マウスを上下方向に移動させます。
   ▶ **横断**のレイヤーを除き、レイヤーは、平行に移動します。
   ▶ **横断**のレイヤーは、パノラマ歯列弓に沿って移動した状態が表示されます。
   ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo では、スクロールしてからのレイヤーが維持されます。

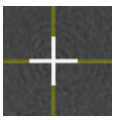
23.7 十字線およびフレームの移動、非表示、表示

十字線の移動

2Dレイヤービューで、十字線を移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. マウスポインタを希望のビューで十字線の中心に動かします。
   ▶ マウスポインタが下記の十字線に切り替わります。



2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスを動かします。
   ▶ ビューの十字線は、マウスポインタの動きに従います。
   ▶ SICAT Endo は別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。
   ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo では、十字線が移動後の位置を維持します。

十字線をすぐにマウスポインタの位置へ移動させる場合、2Dビューでダブルクリックすることができます。

十字線およびフレームの非表示/表示

十字線およびフレームを非表示/表示にするには、次のように行います。

☑ 現在、すべての字線とフレームが表示されています。

1. **ワークスペースのツールバー** で、**十字線とフレームを非表示にする**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が隠れます。
   ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューででフレームが隠れます。

2. **十字線とフレームを表示する**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endo では、すべての2Dレイヤービューで十字線が表示されます。
   ▶ SICAT Endo では、**3D**ビューでフレームが表示されます。

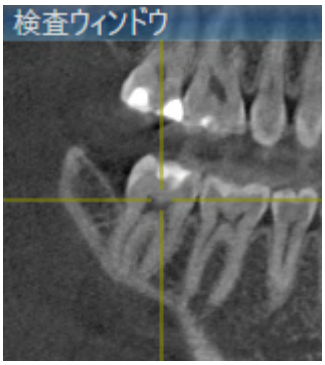
23.8 検査ウィンドウの移動、非表示、表示、および最大化

検査ウィンドウの移動

検査ウィンドウを移動させるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークスペース**パノラマ**またはワークスペース**口腔内撮影画像**は、すでに開いています。この切替に関する内容は、*アクティブなワークスペースの切り替え [▶ページ 112 - Standalone]*の節をご覧ください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さずに表示しておきます。



1. **パノラマ**ビュー、もしくは**口腔内撮影画像**ビューで、**検査ウィンドウ**のタイトルバーにマウスポインタを重ねます。

   ▶ マウスポインタは手のマークになります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

3. マウスを動かします。

   ▶ **検査ウィンドウ**は、マウスポインタの動きに追随します。

   ▶ SICAT Endoは別のビューのレイヤーおよび十字線を現在の焦点に応じて調整します。

   ▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューで、その時点の焦点でピントが合うようにフレームの調整が行われます。

4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が移動後の位置を維持します。

ペインワークスペースの検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する

シンボル**検査ウィンドウを設定する**は、同時にステータス表示とスイッチです。

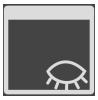
検査ウィンドウを非表示、表示、最大化するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 112 - Standalone]*を参照してください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さず表示しておきます。

1. **画像のツールバー**の**パノラマ**ビューで**検査ウィンドウを設定する**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ SICAT Endoは検査ウィンドウを設定するためのアイコンを表示します。



2. **検査ウィンドウを非表示にする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が非表示になります。

3. **検査ウィンドウを標準サイズで表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が表示されます。

4. **検査ウィンドウの最大化**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoは、検査ウィンドウを最大化します。

口腔内撮影画像ワークスペースで検査ウィンドウを非表示、および表示にする

シンボル**検査ウィンドウを設定する**は、同時にステータス表示とスイッチです。

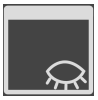
検査ウィンドウを非表示、および表示するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **口腔内撮影画像**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 112 - Standalone]*を参照してください。

☑ **検査ウィンドウ**は、隠さず表示しておきます。

1. **画像のツールバー**の**口腔内撮影画像**ビューで、**検査ウィンドウを非表示にする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が非表示になります。

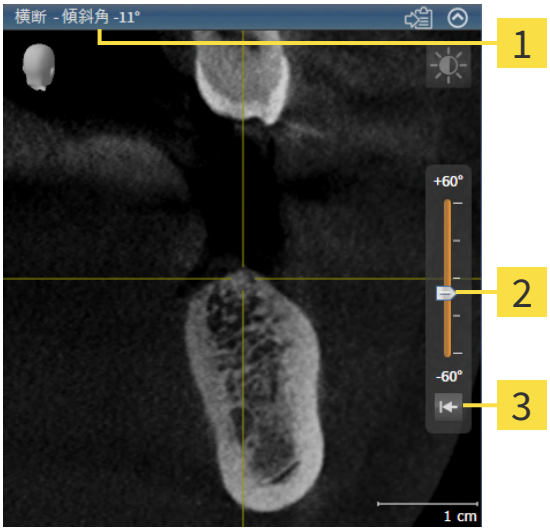


2. **画像のツールバー**の**口腔内撮影画像**ビューで、**検査ウィンドウを標準サイズで表示**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoでは、**検査ウィンドウ**が表示されます。

23.9 ビューの傾斜

パノラマワークスペースで**縦**ビュー、および**横断**を傾けることができます。これにより、特定の解剖学的構造 (歯など) または計画オブジェクトを表示するために、両方のビューで配置を最適化することができます。



1 現在設定されている傾斜

2 傾きを調整するためのスライダー

3 **傾斜をリセットする**のボタン

☑ **パノラマ**ワークスペースはすでに開いています。これに関する情報は*ワークスペースを切り替える [▶ページ 112 - Standalone]*を参照してください。

☑ **縦**ビュー、もしくは**横断**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*を参照してください。

- 傾斜を調整するには、マウスボタンを押したままスライダーを希望する傾斜まで上下に動かします。スライダーをクリックして矢印キーを**アップ**と**ダウン**することにより、傾斜を変更することもできます。

▶ SICAT Endoアクティブビューを傾斜させ、現在設定されている傾斜をアクティブビューのタイトルバーに表示します。

▶ SICAT Endoは**縦**もしくは**横断**ビュー内の十字線を更新します。

▶ SICAT Endoは**3D**ビュー内の対応するフレームを傾けます。

傾斜をリセットするのボタンをクリックすることにより、傾斜を0°に戻すことができます。

23.10 ビューをリセットする

すべてのビューをリセットするときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- **ワークスペースのツールバー**で、**ビューをリセットする**のアイコンをクリックします。

► SICAT Endoでは、すべてのビューで、ズーミング、トリミング部分の移動、スクロール、十字線の移動、**検査ウィンドウ**の移動のそれぞれがデフォルト値に復元されます。

► SICAT Endoでは、**3D**ビューで視線方向がデフォルト値に復元されます。

► SICAT Endoはビューの傾きを0°にリセットします。

23.11 画像のスクリーンショットを作成する

画像のスクリーンショットを作成し、以下の手順で出力すると、文書作成を目的として使用することができます。

- Windowsのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWINDOWSのクリップボードにコピーする

画像のスクリーンショットをWindowsのクリップボードに追加するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望のビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*を参照してください。

- ビューのタイトルバーから、**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl+C）**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endo では、画像のスクリーンショットがWindowsのクリップボードにコピーされます。

クリップボードからスクリーンショットを貼り付けることができるアプリケーションは、例えば、画像処理やワープロのソフトウェアなど多数あります。貼り付けのショートカットキーは、大半のアプリケーションで「Ctrl+V」を使用します。

24 3Dビューの調整

3Dビューでは、随時、視線方向を変更することが可能です。視線方向の変更に関する内容は、*3Dビューで視線方向を変更する [▶ページ 132 - Standalone]*の節をご覧ください。

3Dビューの構成設定を行うときは、以下の操作を行うことができます。

- *3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 134 - Standalone]*
- *3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する [▶ページ 135 - Standalone]*
- *3Dビューを回転させる [▶ページ 206 - Standalone]*
- *光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ページ 138 - Standalone]*

24.1 3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向を変更するには2つの方法があります。

- インタラクティブ方式により変更を行う
- 標準目線を選択する

インタラクティブ方式により3Dビューの目線を変更する

3Dビューの視線方向をインタラクティブ方式により変更するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. マウスポインタを**3D**ビューに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタは手のマークになります。
3. マウスを動かします。
   ▶ 目線はマウスの動きに合わせて変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューで変更後の視線方向をそのまま維持します。

標準目線を選択する

3Dビューで、デフォルトの視線方向を選択するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **3D**ビューで左上隅にある、オリエンテーションヘッドのアイコンにマウスポインタを重ねます。
   ▶ **目線**の透明なウィンドウが開きます。

   ▶ **目線**の透明なウィンドウ中央部でオリエンテーションヘッドのハイライト表示されているものがありますが、それが現時点の視線方向です。
2. オリエンテーションヘッドのアイコンのうち、デフォルトにしたい視線方向を示しているものをクリックします。

► **3D**ビューの視線方向が、選択した視線方向に切り替わります。

3. マウスポインタを、**目線**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

► **目線**の透明なウィンドウが閉じます。

3Dビューの視線方向を変更するために、**3D**ビューを回転させることもできます。これに関する情報は*3Dビューを回転する [▶ページ 206 - Standalone]*を参照してください。

24.2 3Dビューの表示タイプを切り替える

> いずれの表示タイプも、すべてのワークスペースで使用できます。

3D画像の表示タイプを切り替えるときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**画像を作業対象として選択しておきます。これに関する情報は以下を参照してください *アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**で、 **表示モードを切り替える**のアイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **表示モードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。

2. 任意の表示タイプのアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endo は希望の表示タイプをアクティブにします。

3. マウスポインタを、**表示モードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **表示モードを切り替える** の透明なウィンドウが閉じます。

24.3 3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する

アクティブな表示モードを設定するのアイコンを表示する表示タイプは、構成設定が可能なものに限られています。**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウで表示される設定内容は、 選択した表示タイプに適用されるものに限られています。

3Dビューで選択している表示タイプについて、構成設定を行うときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*を参照してください。

☑ 希望の表示タイプはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 134 - Standalone]*を参照してください。

☑ アクティブな表示タイプは設定可能です。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**の**アクティブな表示モードを設定する**アイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが開きます。

2. 希望のスライダーを動かします。

   ▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

3. 表示があれば、**詳細設定**の横にある矢印アイコンをクリックします。

   ▶ **詳細設定**エリアが開きます。

4. 使用できるチェックボックスをアクティブまたは無効にします。

   ▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューに対して、チェックボックス内のチェックマーク有無に応じた調整が行われます。

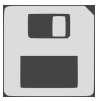
5. 希望のスライダーを動かします。

   ▶ SICAT Endoでは、**3D**ビューに対して、スライダーの位置に応じた調整が行われます。

6. マウスポインタを、**アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

► **アクティブな表示モードを設定する**の透明なウィンドウが閉じます。

現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定にリセットする**のボタンをクリックすると、変更前にプリセットしていた設定内容へ戻して復元することができます。



現在の設定内容は、**現在の表示タイプの設定をデフォルト設定として保存する**のボタンをクリックすると、プリセットの設定内容として保存できます。

24.4 3Dビューの切り抜きモードの切り替え

3Dビューの表示タイプを切り替えるには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*を参照してください。

1. **3D**ビューの**画像のツールバー**の**切り抜きモードを切り替える**アイコンにマウスポインタを重ねます。

   ▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが開きます。

2. 任意の切り抜きモードのアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoは任意の切り抜きモードを有効にします。

3. マウスポインタを、**切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウから外れた位置まで移動させます。

▶ **切り抜きモードを切り替える**の透明なウィンドウが閉じます。

24.5 光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする

光学印象は、カラーの光学印象を以前にインポートしており、カラー表示が有効になっている場合は、**3D**ビューで自動的にカラーで表示されます。

形状とジオメトリの正確な認識だけが重要な場合は、光学印象のカラー表示をモノクロ表示に切り替えることができます。

☑ **3D**ビューはすでにアクティブになっています。これに関する情報は*アクティブなビューの切り替え [▶ページ 118 - Standalone]*を参照してください。

1. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオフにする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoはカラー表示をモノクロ表示に切り替えます。

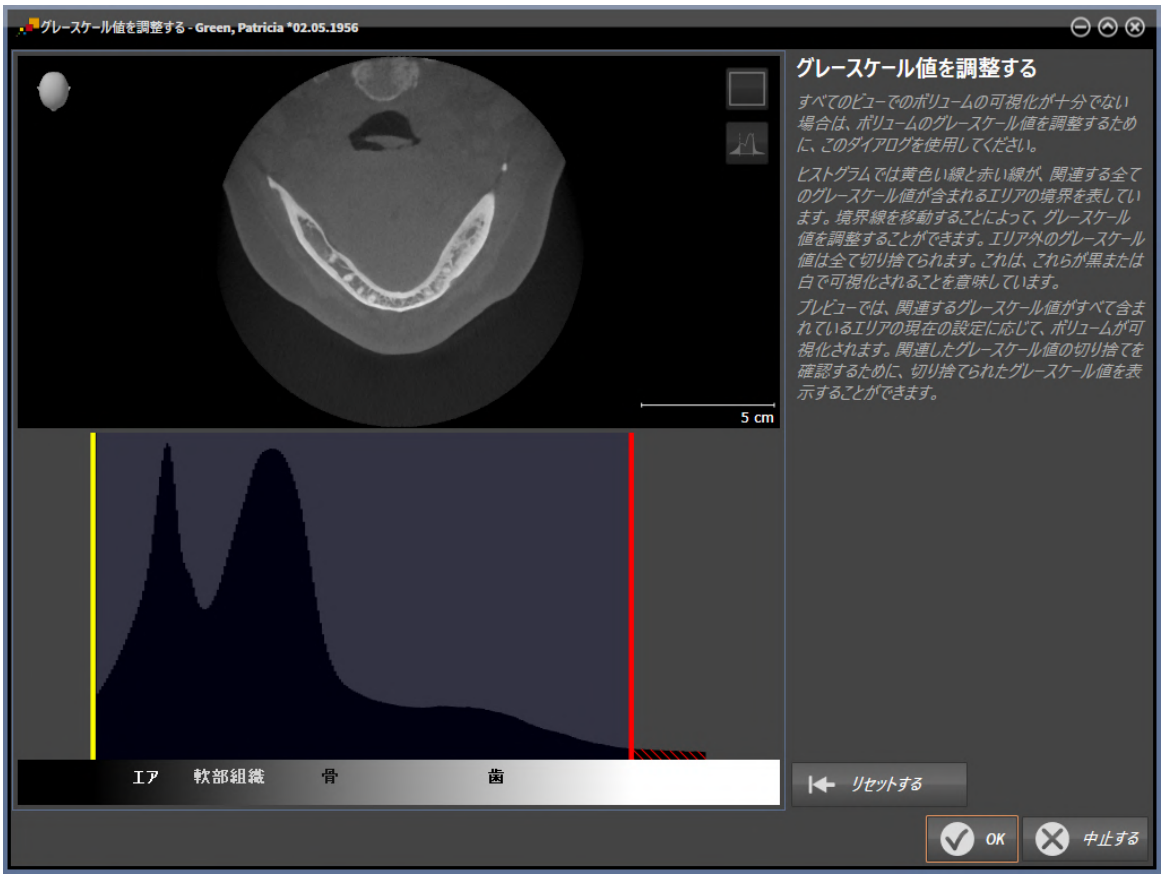
2. **画像のツールバー**で、**光学印象のカラー表示をオンにする**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoはモノクロ表示をカラー表示に切り替えます。

25 グレースケール値

グレースケール値を他社製3D X線機器によって作成されたボリューム用としてのみ調整することができます。

ボリュームの表示が不十分な場合、ボリュームのグレースケール値を**グレースケール値を調整する**ウインドウで調整することができます。



グレースケール値を調整するウインドウは二つの部分で構成されています。

- 上側は**軸方向**レイヤービューまたは**冠状**投影ビューを示しています。
- 下側は、グレースケール値の度数分布を含むヒストラムを示しています。

ヒストグラムでは黄色い線と赤い線が、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの境界を表しています。境界を移動することによって、グレースケール値を調整することができます。SICAT Endo エリア外のグレースケール値を全て切り捨てます。これは、ソフトウェアがこれらを黒または白で表示することを意味しています。

SICAT Endo ボリュームを**軸方向**レイヤービューまたは**冠状**投影ビューで、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアに応じて表示します。SICAT Endoに関連するビュー情報が隠れていないことを確認するために、ソフトウェアは切り捨てたグレースケール値を表示することができます。

軸方向レイヤービューでは、レイヤーをスクロールし、これらを個別に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

冠状投影ビューでは、全てのレイヤーを一度に切り捨てたグレースケール値でチェックすることができます。

グレースケール値の調整は、全てのビューでボリュームの表示が不十分な場合にのみ行います。これに関する情報は*グレースケール値を調整する [▶ページ 141 - Standalone]*を参照してください。

例えば、特定の解剖学的組織をハイライト表示するときは、2Dビューの明るさやコントラストを調整して、一時的に変更することができます。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 120 - Standalone]*を参照してください。

その他、**3D**ビューの表示を調整することができます。これに関する情報は*3Dビューの表示タイプを切り替える [▶ページ 134 - Standalone]*、*3Dビューのアクティブな表示タイプを設定する [▶ページ 135 - Standalone]*と*3Dビューの切り抜きモードの切り替え [▶ページ 137 - Standalone]*を参照してください。

25.1 グレースケール値を調整する

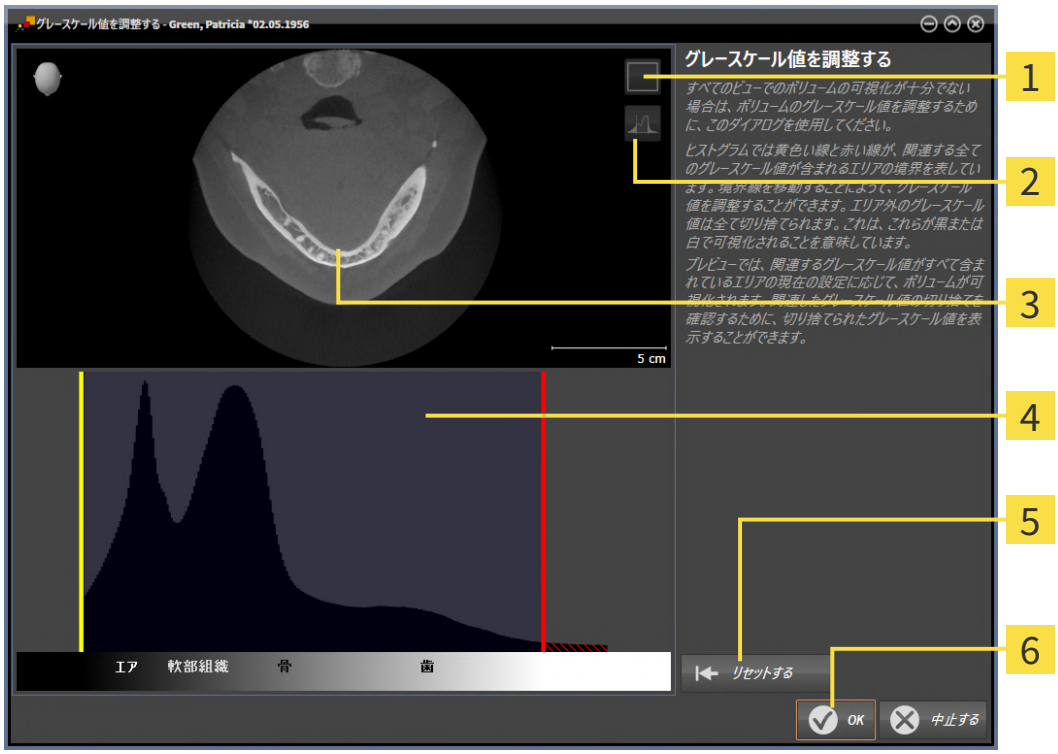
グレースケール値に関する一般的な情報は、*グレースケール値 [▶ページ 139 - Standalone]*の節をご覧ください。

ボリュームのグレースケール値を調整するには、次の手順で行います。

☑ ワークフロー・ステップの**準備する** は、展開させておきます。

1. **グレースケール値を調整する**のアイコンをクリックします。

   ▶ **グレースケール値を調整する** のウィンドウが開きます。



1 アイコン**冠状の投影モードをアクティブにする**またはアイコン **軸方向レイヤーモードをアクティブにする**

2 アイコン**切り捨てたグレースケール値を表示しない**またはアイコン **切り捨てたグレースケール値を表示する**

3 **軸方向**レイヤービューまたは**冠状**投影ビュー

4 ヒストグラム

5 ボタン **リセットする**

6 ボタン **OK**

2. 軸方向レイヤーモードがアクティブであることを確認してください。必要に応じて、**軸方向レイヤーモードをアクティブにする**のアイコンをクリックします。

3. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの下限を調整するには、黄色い線を移動させます。

▶ SICAT Endo は**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。

▶ SICAT Endo は関連する最低グレースケール値より低い全てのグレースケール値を黄色で表示します。

4. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が黄色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、黄色い線をもう一度移動させます。

5. 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアの上限を調整するには、赤色の線を移動させます。

   ▶ SICAT Endo は**軸方向**レイヤービューで全てのグレースケール値を適度に調整します。

   ▶ SICAT Endo は関連する最高グレースケール値より高い全てのグレースケール値を赤色で表示します。

6. 軸方向レイヤーをスクロールします。関連する全てのグレースケール値が赤色で表示されていないことを確認します。必要に応じて、赤色の線をもう一度移動させます。

7. **OK**をクリックします。

▶ **グレースケール値を調整する**ウインドウが閉じ、SICAT Endoが調整されたグレースケール値に応じてすべてのビューでボリュームを表示します。

記載されている手順に加え、以下の操作が**グレースケール値を調整する**ウインドウで使用できます：

- **冠状の投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックして、すべてのレイヤーを一度に判断することもできます。**軸方向レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックすることにより、**軸方向**レイヤービューを再び切り替えることができます。
- 両方の境界を一度に移動させるには、関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアをクリックして移動させます。
- 関連する全てのグレースケール値が含まれるエリアを標準設定にリセットするには、**リセットする**ボタンをクリックします。
- 切り捨てられたグレースケール値を表示したくない場合、**切り捨てたグレースケール値を表示しない**アイコンをクリックします。
- 変更内容を保存しない場合、**中止する**をクリックします。

26 ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する

ボリュームの配置の調整が必要な場合は、作業開始に3D X線ビューでこれを実行してください。ボリュームの配置を後で調整する場合は、診断または計画の一部を場合によっては繰り返す必要があります。

ボリュームの配置

すべてのビューのボリューム配置は、3本の主軸にボリュームを回して調整できます。これは、次のような場合に必要になることがあります。

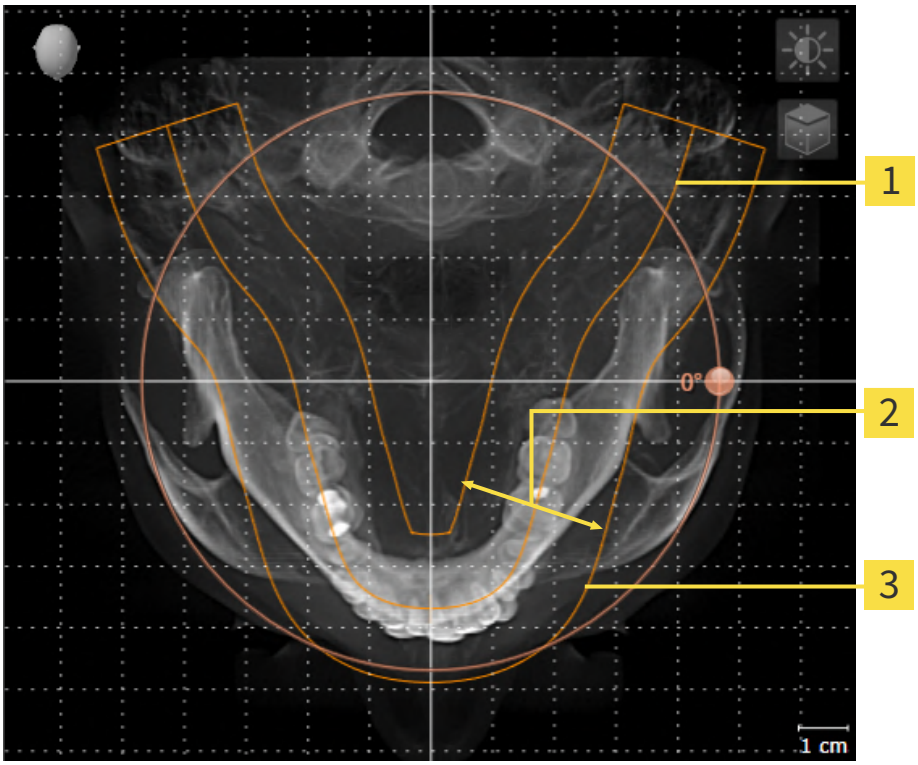
- 3D X線撮影の際に、患者の位置決めが最適ではなかった
- 軸方向レイヤーの配置がフランクフルト水平に平行または咬合平面に平行などの用途後の配置
- **パノラマ**ビューの最適化

音量調整をSICAT Endoに合わせると、SICAT Endoは現在開いている計画の設定を引き継ぎます。

ボリュームの配置を調整する手順は、*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 145 - Standalone]*の節をご覧ください。

パノラマ エリア

SICAT Endoでは、ボリュームとパノラマ エリアをベースとして計算を行い、**パノラマ**ビューを出力します。**パノラマ**ビューを最適化するには、パノラマ エリアが患者の両顎と合致するように調整を行うとよいでしょう。これは、効果的かつ効率的な診断および治療計画のために重要となります。



1 パノラマ曲線

2 厚さ

3 パノラマ エリア

パノラマ エリアは次の二つの要素によって確定されています。

- パノラマ歯列弓の形状と位置
- パノラマ エリアの幅

最適な調整結果を得るために、パノラマ エリアは、以下の2項目の条件をいずれも満たしておいてください。

- パノラマ エリアは、全ての歯と両顎が完全に含まれていなくてはなりません。
- パノラマ エリアは、できるだけ薄くしてください。

パノラマ エリアをSICAT Endoに合わせると、SICAT Endoは現在開いている計画の設定を転送します。

パノラマ エリアを調整する手順は、*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 150 - Standalone]*の節をご覧ください。

26.1 ボリュームの配置を調整する

ボリュームの配置に関する一般的な情報は*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 143 - Standalone]*に記載されています。

ボリュームの配置は、以下の手順で調整を行います。

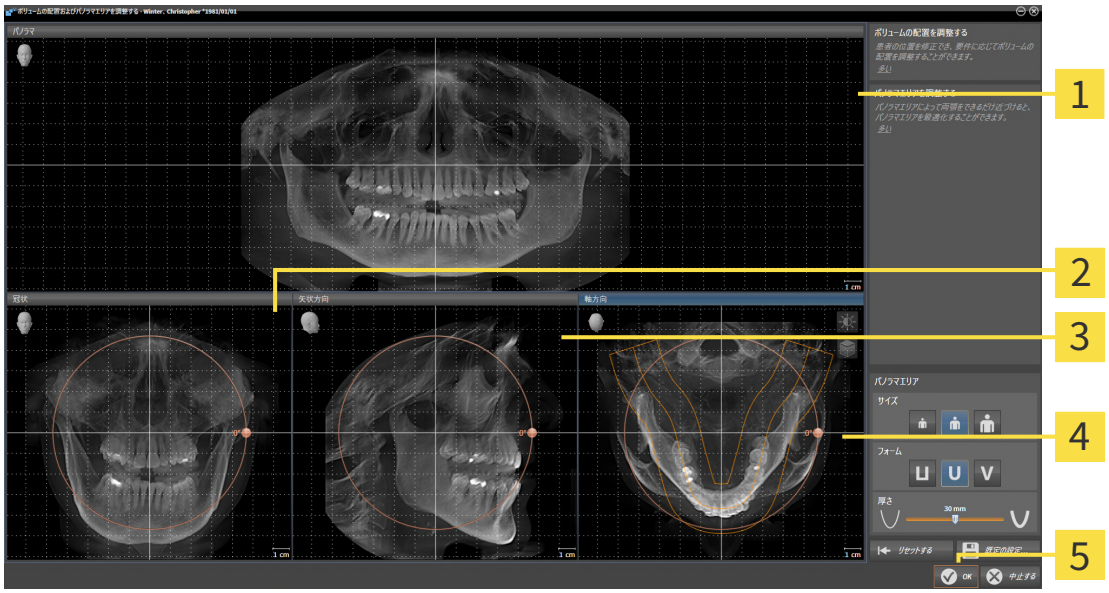
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウを開く
- **冠状**ビューでボリュームを回す
- **矢状方向**ビューでボリュームを回す
- **軸方向**ビューでボリュームを回す

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します**のアイコンをクリックします。

▶ **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウが開きます。



1 **パノラマ**ビュー

2 **冠状**ビューと**回転**スライダー

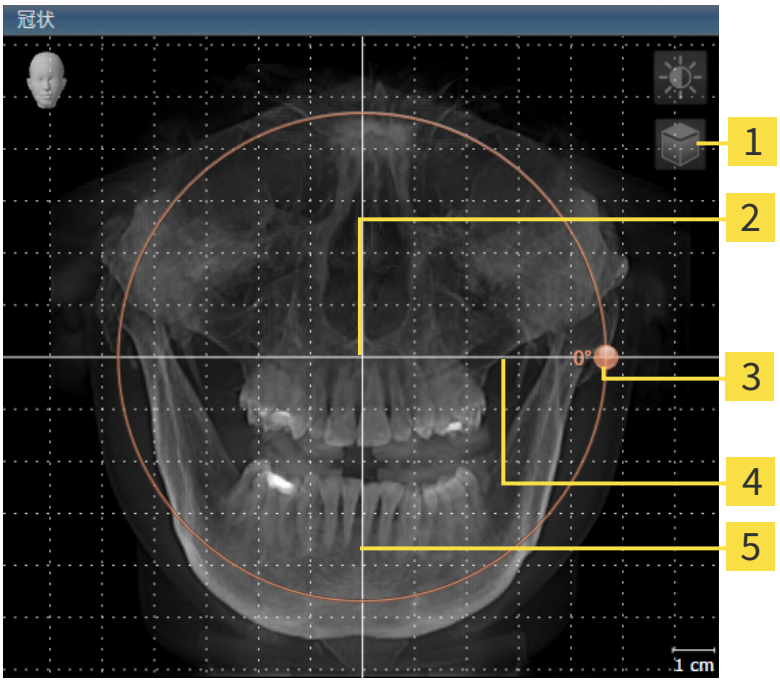
3 **矢状方向**ビューと**回転**スライダー

4 **軸方向**ビューと**回転**スライダー

5 **OK**のボタン

冠状ビューでボリュームを回す

1. **冠状**ビューを有効にします。

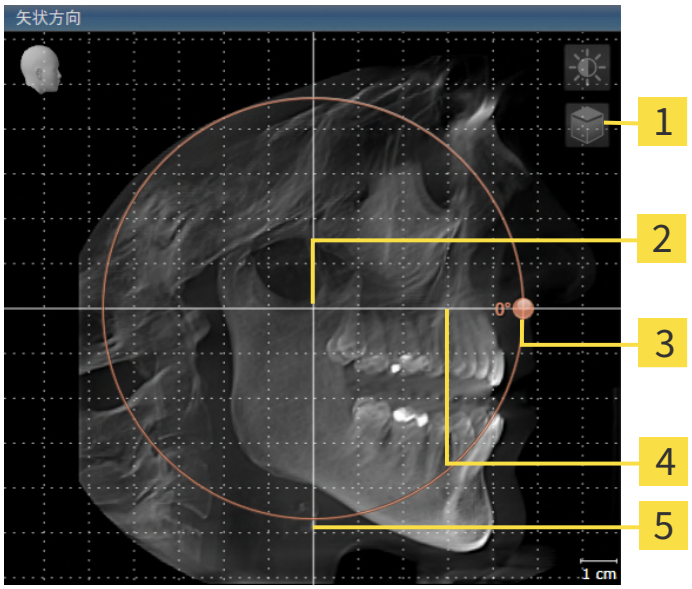


1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	水平基準線
2	回転中心	5	垂直基準線
3	**回転**スライダー		

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。
3. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。
   ▶ SICAT Endoでは、**冠状**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

矢状方向ビューでボリュームを回す

1. **矢状方向**ビューを有効にします。

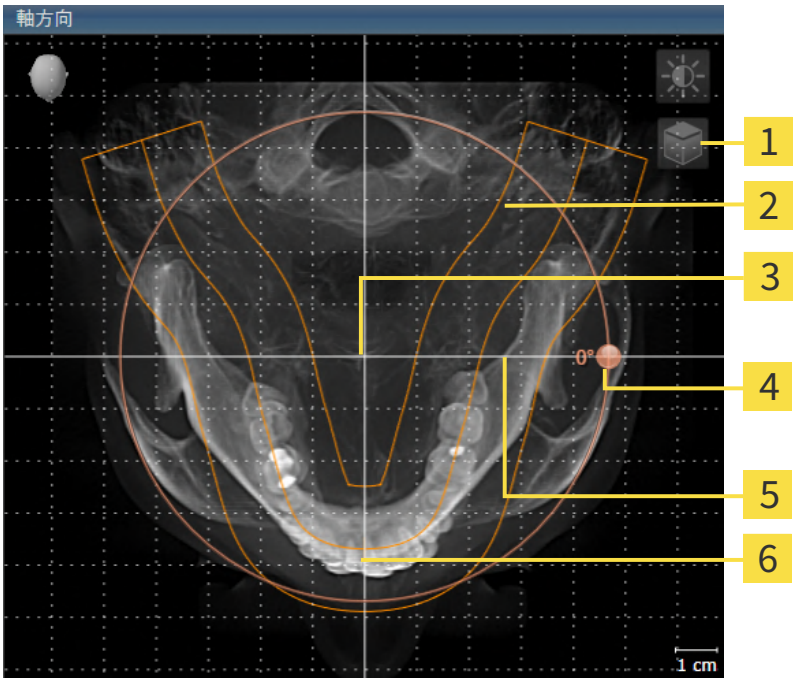


1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン
2	回転中心
3	**回転**スライダー
4	水平基準線
5	垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。
3. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。
4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
5. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。
   ▶ SICAT Endoでは、**矢状方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
6. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向**ビューを有効にします。



1	**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンまたは**投影モードをアクティブにする**アイコン	4	**回転**スライダー
2	パノラマ エリア	5	水平基準線
3	回転中心	6	垂直基準線

2. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

3. その必要があれば、パノラマ エリアの移動は、**軸方向**ビューで行います。このときは、パノラマ エリア上で左マウスボタンをクリックしたら、左マウスボタンを押したまま、マウスを移動させます。SICAT Endoでは、パノラマ エリアが移動すれば、それに応じて、回転中心、水平基準線、垂直基準線がいずれも移動します。

4. マウスポインタを**回転**スライダーに重ねます。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

6. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**スライダーを移動させます。

   ▶ SICAT Endoでは、**軸方向**ビューで立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。

7. 希望するボリュームの回転がなされた場合はマウスの左ボタンを放します。パノラマ エリア、水平基準線、垂直基準線、格子線は、位置や方向の確認に利用します。

8. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

   ▶ ボリュームの配置を調整すると、それがSICAT Endoに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Endoで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。

9. それでもなお、ボリュームの配置の調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。

▶ SICAT Endoは調整されたボリュームの配置を保存し、配置に応じてボリュームをすべてのビューで表示します。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 120 - Standalone]*を参照してください。
- ビューでズーミングすることができます。SICAT Endoは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマ エリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

26.2 パノラマ エリアを調整する

パノラマ エリアに関する一般的な情報は、*ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する [▶ページ 143 - Standalone]*の節をご覧ください。

パノラマ エリアの調整は、以下の手順で調整を行います。

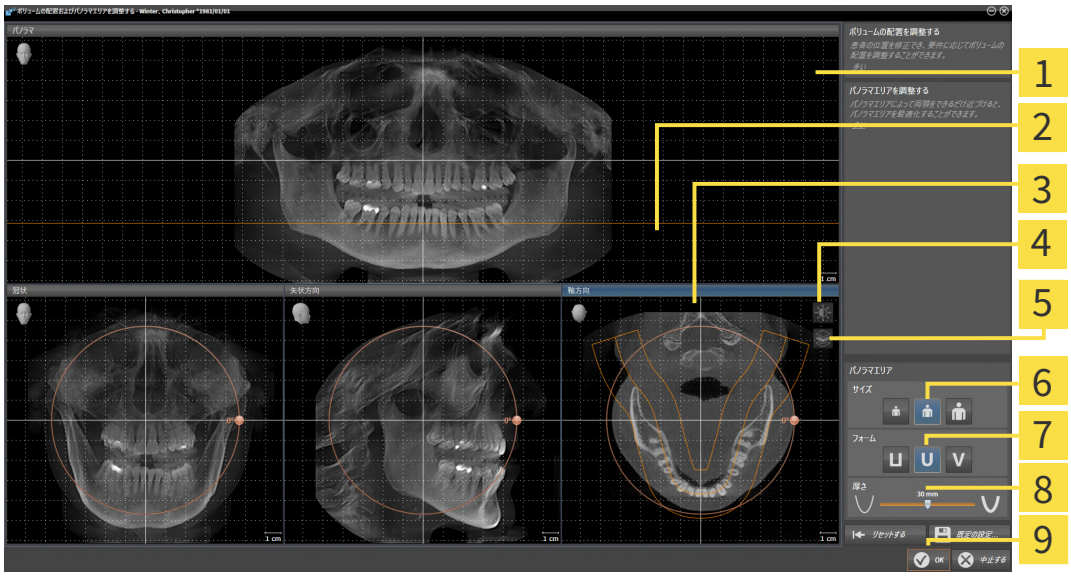
- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウを開く
- **軸方向**ビューのレイヤー位置を調整する
- パノラマ エリアを移動する
- **軸方向**ビューでボリュームを回す
- **サイズ**、**フォーム**および**厚さ**のパノラマ エリアを調整する

「ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する」のウィンドウを開く

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

- **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整します**のアイコンをクリックします。

▶ **ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウが開きます。



1 **パノラマ**ビュー

2 軸方向基準線

3 **軸方向**ビューと**回転**スライダー

4 **輝度およびコントラストの調整**アイコン

5 **投影モードをアクティブにする**アイコンまたは**レイヤーモードをアクティブにする**アイコン

6 **サイズ**のボタン

7 **フォーム**のボタン

8 **厚さ**スライダー

9 **OK**のボタン

軸方向ビューのレイヤー位置を調整する

1. **軸方向**ビューで、レイヤーモードが選択されていることを確認します。投影モードが有効になっている場合は、**レイヤーモードをアクティブにする**アイコンをクリックします。
2. **パノラマ**ビューで、軸方向基準線にマウスポインタを重ねます。軸方向基準線は、**軸方向**ビューの現在のレイヤー位置を示しています。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
4. マウスを上下方向に移動させます。
   ▶ **軸方向**ビューのレイヤーは、**パノラマ**ビューで、水平断面の基準線がある位置に合わせて、調整が行われます。
5. 軸方向基準線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ **軸方向**ビューでは、調整後のレイヤーが表示されて維持されます。

パノラマ エリアを移動する

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタをパノラマ エリアに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
3. マウスを動かします。
   ▶ SICAT Endo では、マウスポインタの位置に合わせて、パノラマ エリアの調整が行われます。
4. パノラマ エリアの中央の曲線が下顎骨/歯の根に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ パノラマ エリアは現在位置を保持します。

軸方向ビューでボリュームを回す

1. **軸方向**ビューで、マウスポインタを**回転**調整つまみに重ねます。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. 円形に沿って、お好みの方向へ**回転**調節つまみを移動させます。
   ▶ SICAT Endo では、**軸方向**ビューで、回転調整つまみに合わせて、立体画像が回転中心を中心に円を描いて回転しますが、他のビューでも、それに同期して回転が行われます。
4. 下顎骨/歯の根がパノラマ エリアの中央の曲線に来たら、マウスの左ボタンから指を放します。

パノラマ エリアのサイズ、フォームおよび厚さを調整する

1. 投影モードがアクティブであることを確認してください。レイヤーモードが有効になっている場合は、**投影モードをアクティブにする**アイコンをクリックしてください。

2. パノラマ エリアの**サイズ**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**サイズ**のボタンをクリックします。

3. パノラマ エリアの**フォーム**は、患者の下顎骨と合致が最も良好なものを選択します。このときは、そのサイズに該当する、**フォーム**のボタンをクリックします。

4. パノラマ エリアの**厚さ**を選択は、**厚さ**のスライダー位置を移動させて行います。パノラマ エリアに全ての歯と両顎が完全に含まれていることを確認します。厚さは、できるだけ薄くしてください。

5. 調整した後の内容を保存するときは、**OK**をクリックします。

   ▶ パノラマ エリアを調整すると、それがSICAT Endoに現在あるオブジェクトに影響する場合は、SICAT Endoで、通知ウィンドウが開き、影響の詳細に関してお知らせします。

6. それでもなお、パノラマ エリアの調整を行いたいときは、通知ウィンドウに**調整する**のボタンがありますので、それをクリックします。

▶ SICAT Endoでは、ボリュームの配置とパノラマ エリアについて、いずれも調整した後のものが保存され、 **パノラマ**ビューは、その調整後のデータにより表示されます。

説明のある手順に加えて、**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**のウィンドウでは、以下の各操作が可能です。

- 2Dビューでは、明るさやコントラストを調整できます。このときは、希望のビューを有効にし、**輝度およびコントラストの調整**のアイコンをクリックしてください。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 120 - Standalone]*を参照してください。
- ビューでズーミングすることができます。SICAT Endoは、**冠状**ビュー、および**矢状方向**ビューの間でズームを同期します。
- **デフォルト設定を保存する**のボタンをクリックして、立体画像の現時点の方向や現時点のパノラマ エリアを、プリセットの設定内容として保存します。
- ボリュームの向きとパノラマ エリアを最後に保存したプリセットにリセットするには、**リセットする**のボタンをクリックします。
- 調整した後の内容を保存する必要がないときは、**中止する**をクリックしてください。

27 光学印象

同じ患者について、SICAT Endoは3D X線撮影画像と光学印象の対応が相互にとれていれば、その両者を重ね合わせることが (記録することが) できます。表示の重ね合わせは、計画および実施のための追加情報を提供します。これにより、光学印象に基づいて治療を実施することができます。

光学印象を使用するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. 以下のインポートルートによる光学印象のインポート。
   - *Hubから光学印象をダウンロードする [▶ページ 156 - Standalone]*
   - *ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 160 - Standalone]*
   - *SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する [▶ページ 163 - Standalone]*
2. 3D X線データによる光学印象の記録 (重ね合わせ)。 *光学印象の記録と確認 [▶ページ 165 - Standalone]*

> SICATアプリケーションからの光学印象を再利用する場合、記録は必要ありません。

SICAT Endoは、次の光学印象用ファイル形式に対応しています。

- SIXD上顎または下顎の光学印象を含むデータセット (少なくとも顎弓の75%)。SIXDフォーマットをサポートするCERECシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- SSI上顎または下顎の光学印象を含むデータセット (少なくとも顎弓の75%)。SIXDフォーマットをサポート**していない**CERECシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。
- STL上顎、**または**下顎の光学印象を含むデータセット* (少なくとも顎弓の75%)。STLフォーマットをサポートする他のCAD/CAMシステムを使用している場合は、このフォーマットを使用してください。

*STLデータセットには、有効になっている**SICAT Suite STLインポート**ライセンスが必要です。さらに、インポートするための追加の手順に従う必要があります。これに関する情報は*STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ 162 - Standalone]*を参照してください。

次のアクションは光学印象に使用することができます。

- 光学印象を有効化、非表示、および表示する。*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 100 - Standalone]*
- 光学印象に焦点を合わせて削除する。*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 102 - Standalone]*
- カラーの光学印象の表示を設定する。*光学印象のカラー表示をオフ、およびオンにする [▶ページ 138 - Standalone]*

27.1 光学印象をインポートする

⚠ **注意**

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。

⚠ **注意**

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。

⚠ **注意**

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。

⚠ **注意**

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

27.1.1 HUBから光学印象をダウンロードする

光学印象をHubからSIXDフォーマットでダウンロードし、SICAT Endoにインポートできます。

☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報は*Hubの使用を有効または無効にする [▶ ページ 256 - Standalone]*を参照してください。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ ページ 42 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

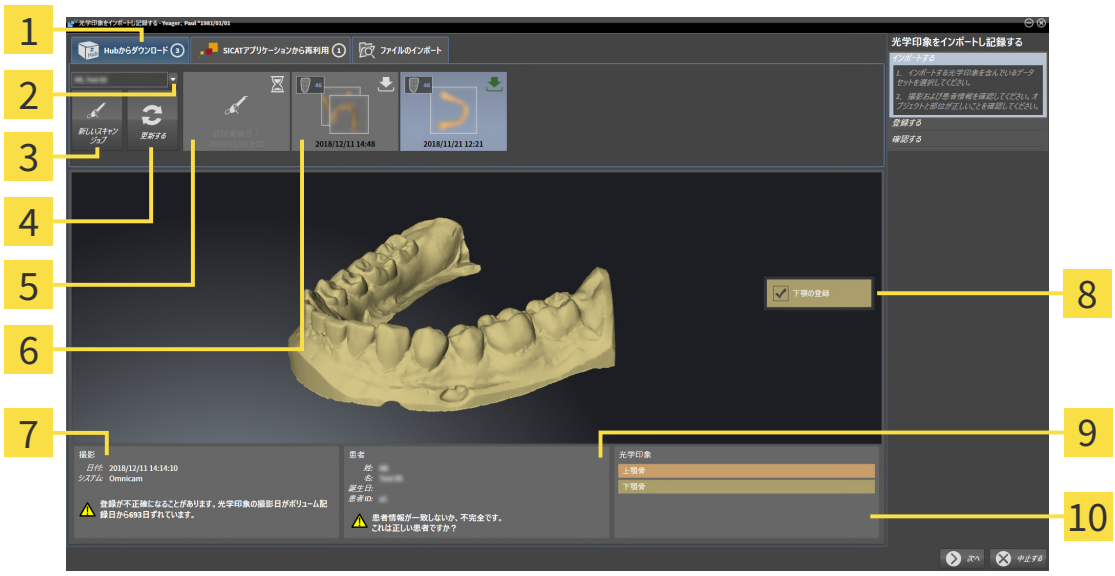
1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoは、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を**インポートする**ステップで開きます。

2. **Hubからダウンロード**のタブをクリックします。

3. 患者1名を選択してください。

▶ SICAT Endo保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。



1	**Hubからダウンロード**タブ	6	ステータス付きの使用できる光学印象。 は、まだダウンロードされていません は、ダウンロード済みです
2	**患者選択**のボタン	7	撮影図情報
3	**新しいスキャンジョブ**のボタン	8	記録の選択
4	**更新する**のボタン	9	患者情報
5	ステータス付きのスキャンジョブ。 は保留中 は、まだダウンロードされていません	10	**光学印象**エリア

4. 希望する光学印象をクリックしてください。
   ▶ SICAT Endoは、印象がまだダウンロードされていない場合は、光学印象をダウンロードします。印象がダウンロードされると、 SICAT Endoは印象を**3D**ビューで表示します。
   ▶ 上顎または下顎は、記録のために事前に選択されています。
5. 記録の選択を確認してください。
6. 撮影画像情報と患者情報が一致するか確認してください。
7. 正しい顎が**光学印象**エリアで表示されるか確認します。
8. **次へ**をクリックします。

▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Endoが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。

9. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。

   ▶ **登録する**ステップが光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 165 - Standalone]*セクションの手順に従ってください。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

- 希望する光学印象が表示されない場合は、**更新する**のボタンをクリックして概要を更新できます。また、Hubに光学印象を記録するジョブを送ることができます。これに関する情報は*光学印象のスキャンジョブを作成する [▶ページ 159 - Standalone]*を参照してください。
- デフォルトでは、Hubへの接続は切断されています。接続の設定に関する情報は、*Hubの使用を有効または無効にする [▶ページ 256 - Standalone]*を参照してください。
- Hubを使用するための適切なライセンスを有効にしていれば、Hubを使用できます。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 42 - Standalone]*を参照してください。

27.1.1.1 光学印象のスキャンジョブを作成する

Hubに光学印象をスキャンするジョブを送ることができます。

☑ Hubへの接続が確立されました。これに関する情報は*Hubの使用を有効または無効にする [▶ ページ 256 - Standalone]*を参照してください。

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ ページ 42 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、すでに開いています。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **Hubからダウンロード**のタブをクリックします。
3. 患者1名を選択してください。
   ▶ SICAT Endo保留中のスキャンジョブと使用できる光学印象を表示します。

4. **新しいスキャンジョブ**のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは、**新しいスキャンジョブ**ウィンドウを表示します。スキャンジョブの情報を指定できます。
5. 医師を選択します。
6. **スキャン領域を決定します。**上顎および/または下顎のボックスを有効にします。
7. 必要に応じて、例えば、スキャンの指示といった追加情報を入力してください。
8. スキャンジョブをHubに送信するには、**スキャンジョブの作成**をクリックし、照会を**OK**で確定します。

▶ SICAT Endoはスキャンジョブを Hubに送信し、保留中のスキャンジョブを**Hubからダウンロード**タブに アイコンで表示します。

▶ CERECでスキャンジョブを編集し、CERECで光学印象を記録できます。

27.1.2 ファイルから光学印象をインポートする

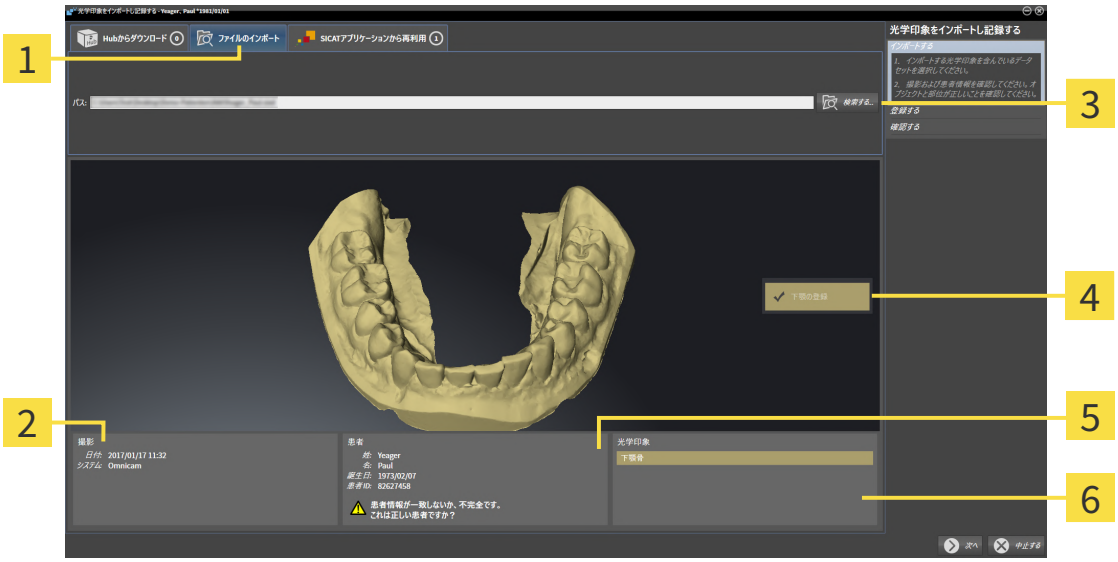
光学印象付きの1つ以上のファイルをインポートできます。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。

   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。

2. **ファイルのインポート**のタブをクリックします。



1	**ファイルのインポート**タブ	4	記録の選択
2	撮影図情報	5	患者情報
3	**検索する**のボタン	6	**光学印象**エリア

3. **検索する**のボタンをクリックします。

4. **ファイルを光学印象で開く**ウィンドウで、光学印象を含む任意のファイルに切り替え、ファイルを選択し、**開く**をクリックします。

   ▶ SICAT Endoは、選択したファイルを開きます。

5. **STLファイルで顎の割り当てと向きを指定します。**上顎または下顎の光学印象付きのSTLファイルを選択すると、顎の割り当てと向きを調整できることにより、SICAT Endoがウィンドウを1つ開きます。*STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順 [▶ページ 162 - Standalone]*の手順に従ってください。続いて、次のステップに進んでください。

   ▶ 上顎または下顎は、記録のために事前に選択されています。

6. 記録の選択を確認してください。

7. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。

8. 顎を**光学印象**エリアで確認します。

9. **次へ**をクリックします。

   ▶ 3D X線撮影画像内と光学印象内の患者データが一致しない場合、SICAT Endoが**異なる患者情報**ウィンドウを開きます。

10. 患者情報を比較してください。異なる患者情報にも関わらず光学印象が現在の患者に合わせて調整されていることを確認したら**はい**ボタンをクリックしてください。

    ▶ **登録する**ステップが光学印象用に開きます。*光学印象の記録と確認 [▶ページ 165 - Standalone]*セクションの手順に従ってください。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

27.1.2.1 STLフォーマットの光学印象の場合の追加手順

STLファイルに光学印象の位置と向きに関する情報は含まれていません。そのため、位置と向きを必要に応じて調整する必要があります。

☑ **SICAT Suite STL Import**ライセンスは既に有効化済みです。

1. STL形式のファイルから光学印象を開きます。これに関する情報は*ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 160 - Standalone]*を参照してください。

   ▶ ウィンドウ**STL Import-Assistent**が開きます。

1 顎の選択

3 内側と外側の交換

2 向きの変更

2. **顎**エリアで光学印象が**上顎骨**か**下顎骨**のいずれを含んでいるか、対応するアイコンをクリックして選択してください。

3. 大まかな事前配置のために、**方向**エリアで矢印アイコンまたは回転アイコンをクリックすることで、必要に応じて光学印象の向きを変更してください。

4. **パラメータ**エリアで光学印象表示をクリックすることで、光学印象の内側と外側を必要に応じて交換してください。

5. **OK**のボタンをクリックします。

6. 必要に応じて二つ目のSTLファイルに同様の手順を行ってください。SICAT Endoは、2つ目のSTFファイルをそれぞれ異なる顎に割り当てます。

   ▶ SICAT Endoは、インポートした光学印象を**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能に表示します。

7. 光学印象のインポートに進みます。これに関する情報は*ファイルから光学印象をインポートする [▶ページ 160 - Standalone]*を参照してください。

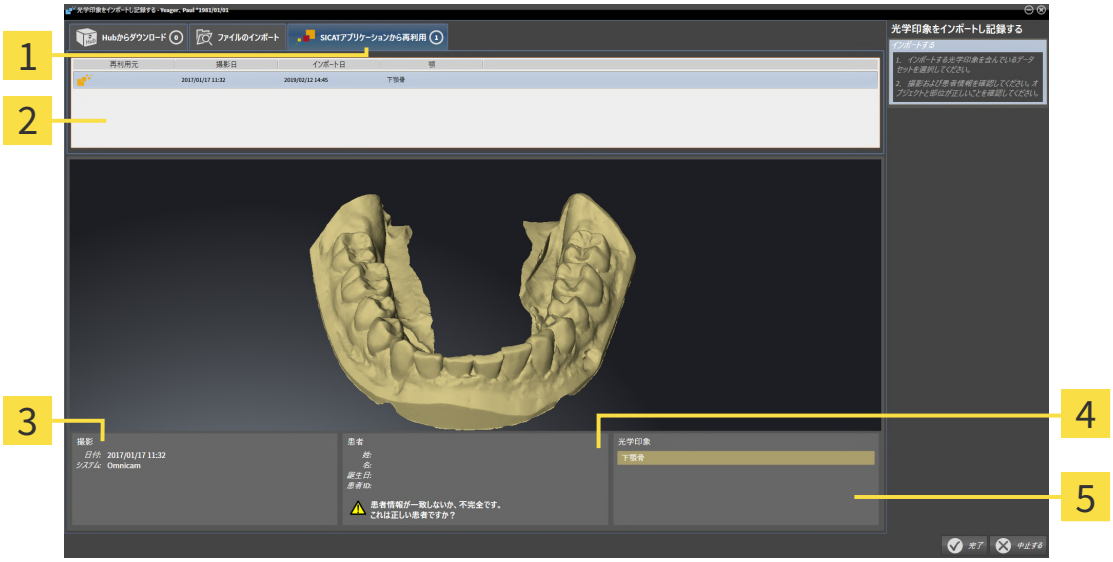
27.1.3 SICATアプリケーションからの光学印象を再使用する

SICATアプリケーションから光学印象を再利用することができます。

☑ 開いているスタディのために、SICAT Endoでまだ使用していない、適合する光学印象をSICATアプリケーションにすでにインポートしました。

☑ ワークフロー ステップの**準備する**は、展開させておきます。

1. **光学印象をインポートし記録する**のアイコンをクリックします。
   ▶ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**インポートする**ステップで開きます。
2. **SICATアプリケーションから再利用**のタブをクリックします。
3. 上のエリアにある再利用したい光学印象のラインをクリックします。
   ▶ SICAT Endoに選択した光学印象が表示されます。



1 **SICATアプリケーションから再利用**タブ
2 再利用可能な光学印象の一覧
3 撮影図情報
4 患者情報
5 **光学印象**エリア

4. 撮影画像情報と患者情報を確認してください。
5. 顎を**光学印象**エリアで確認します。
6. **完了**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Endoは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。

▶ SICAT Endoは選択した光学印象を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

▶ SICAT Endoは選択した光学印象を表示します。

これにより、3D X線撮影画像と光学印象が互いに適合しているかどうか確認することができ、**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能が患者データを常時表示し、**匿名にする**設定を無視します。

27.2 光学印象の記録と確認

⚠ **注意**

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

⚠ **注意**

過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ **注意**

互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

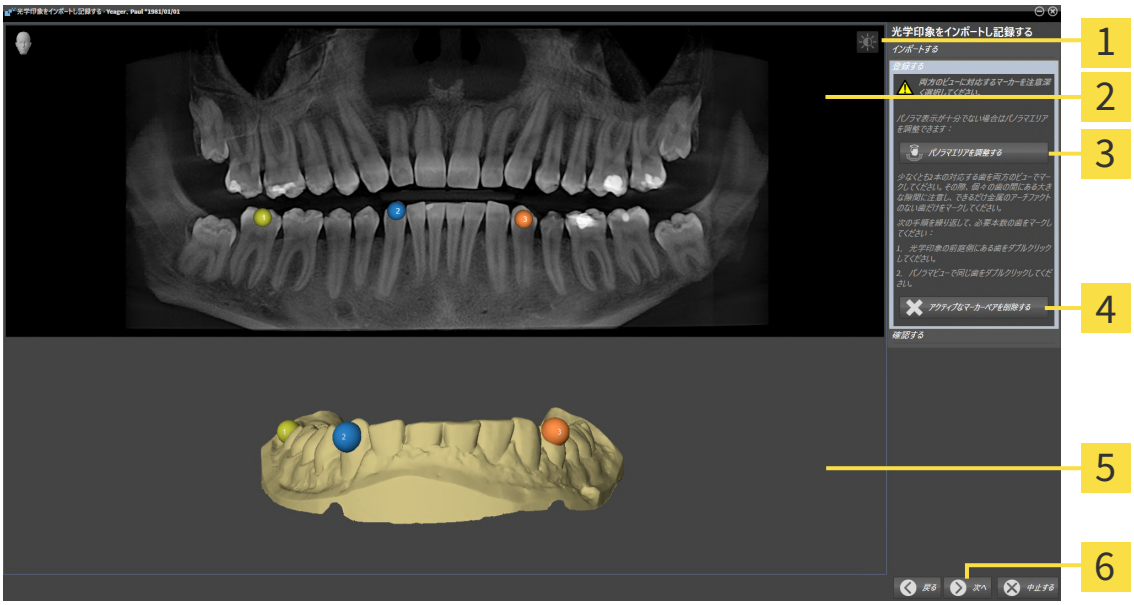
光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

光学印象がX線データに正確に配置されているか検査するには、**検査ウィンドウ**を使用することができます。**検査ウィンドウ**を移動し、**検査ウィンドウ**でレイヤーをスクロールすることができます。

カラー光学印象は**インポートする**ステップで、3Dプレビューに自動的にカラーで表示されます。**登録する**ステップ、および**確認する**ステップでは、カラーの光学印象はモノクロで表示され、形状とジオメトリをより正確に確認できます。

光学印象を記録および確認するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能は**登録する**ステップで開いています。



1 **輝度およびコントラストの調整**アイコン	4 **アクティブなマーカーペアを削除する**のボタン
2 **パノラマ**ビュー	5 **3D**ビューは、最初の光学印象を表示します
3 **パノラマ エリアを調整する**のボタン	6 **次へ**のボタン

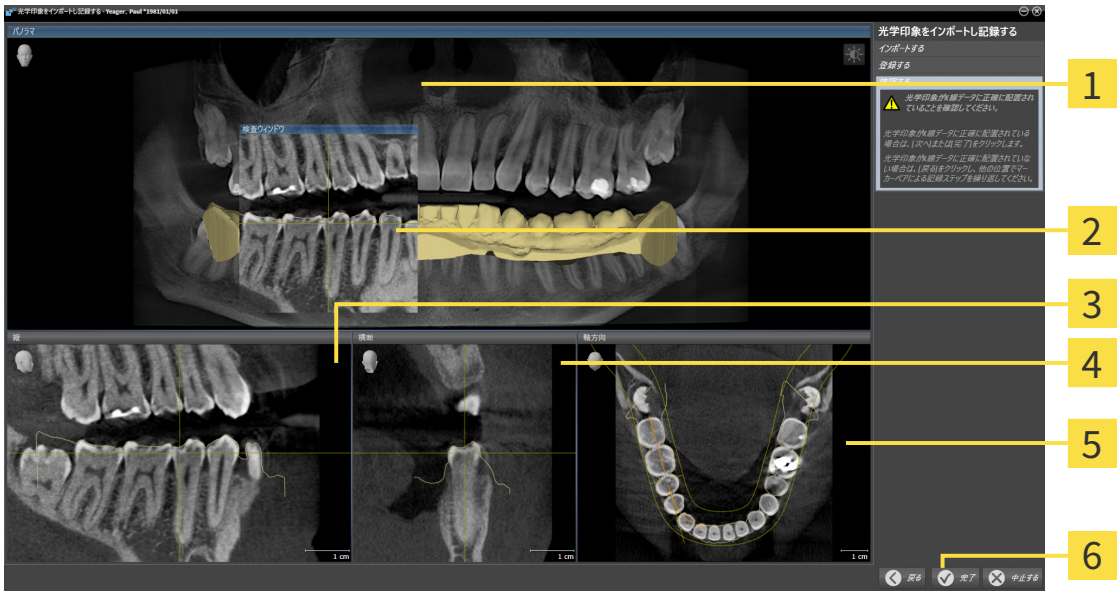
1. **パノラマ**ビューと**3D**ビューの光学印象の前庭側の両方で、同じ歯をダブルクリックします。その際、個々の歯の間にある大きな間隔に注意し、金属アーチファクトのない歯だけをマークしてください。両方のビューで一致する歯が**2本**以上識別表示されるまで、この手順を繰り返します。

   ▶ 両方のビューにある様々な色と番号のマークは、光学印象の割り当てられた歯を示しています。

2. **次へ**をクリックします。

   ▶ SICAT Endoは、X線データによる光学印象の記録を計算します。

▶ **確認する**のステップが開きます。



1 **パノラマ**ビュー	4 **横断**ビュー
2 **検査ウィンドウ**	5 **軸方向**ビュー
3 **縦**ビュー	6 **完了**のボタン

3. 光学印象がX線データに正確に配置されているか2Dビューを確認してください。レイヤーを**各レイヤービュー**でスクロールし、表示されている輪郭をチェックしてください。
4. 光学印象がX線データに正確に配置されていない場合、**戻る**のボタンをクリックし、別の位置にあるマーカーのペアで**登録する**の手順を繰り返します。
5. 光学印象がX線データに正確に配置されている場合は、**完了**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Endoは**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能を閉じます。

▶ SICAT Endoは選択した光学印象を**オブジェクトブラウザ**に追加します。

▶ SICAT Endoに記録されている光学印象が表示されます。

記載されている手順に加え、以下の操作が**光学印象をインポートし記録する**アシスタント機能で使用できます。

- **輝度およびコントラストの調整**アイコンをクリックして、2Dビューの輝度およびコントラストを調整することができます。これに関する情報は*2Dビューの輝度およびコントラストの調整およびリセット [▶ページ 120 - Standalone]*を参照してください。
- パノラマ エリアは、**パノラマ エリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 150 - Standalone]*を参照してください。
- **登録する**で特定のマーカーペアを削除する場合、両方のビューでペアのマーカーをマウスクリックで選択し、**アクティブなマーカーペアを削除する**のボタンをクリックします。
- 光学印象のインポートおよび記録を中断する場合、**中止する**をクリックします。

28 口腔内撮影画像

⚠ 注意

医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違った診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。

⚠ 注意

口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。

⚠ 注意

患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合には、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。

⚠ 注意

口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ 注意

口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。

⚠ 注意

口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像に対して向きが間違った口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。

⚠ **注意**

歯の番号の割り当てが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

SICAT Endoを診断の準備および治療計画に口腔内撮影画像を使用することができます。口腔内撮影画像は、 **X線撮影マネージャ**ウィンドウにおいてインポートおよび管理を行うことができます。

口腔内撮影画像を SICAT Endoで使用するには、次の操作が必要となります。

- 口腔内撮影画像を含むDICOMファイルのインポート
- 歯の番号の口腔内撮影画像への割り当て
- 口腔内撮影画像の登録

SICAT Endo 口腔内撮影画像の次のファイル形式をサポートします。

- シングルフレームファイルであるDICOMデータ

互換性のある撮影システムの一覧は、*互換性のある口腔内撮影用センサー [▶ページ 171 - Standalone]*をご参照ください。

口腔内撮影には次の操作が利用できます。

- *口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 172 - Standalone]*
- *口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ページ 177 - Standalone]*
- *口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 179 - Standalone]*

28.1 互換性のある口腔内撮影用センサー

SICAT Endo 以下の口腔内撮影用センサーをサポートしています。

- XIOS XG Supreme、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS XG Select、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- XIOS Plus、製造元:Sirona Dental Systems GmbH、ドイツ
- Schick 33、製造元:Sirona Dental Inc.、米国
- Schick Elite、製造元:Sirona Dental Inc.、米国

28.2 口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます

口腔内撮影画像に関する一般的な情報は、*口腔内撮影画像 [▶ページ 169 - Standalone]*をご参照ください。

以下の手順で、口腔内撮影画像をインポートし、1本または複数の歯を割り当てます。

☑ ワークフロー・ステップの**準備**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 95 - Standalone]*をご参照ください。

☑ 口腔内撮影画像は、SICAT Endoにまだありません。口腔内撮影画像は1回のみインポートすることができます。

☑ 口腔内撮影画像は、シングルフレームフォーマットのDICOMファイルとして利用できます。

☑ 口腔内撮影画像は、互換性のある口腔内撮影装置を使用して作成されました。これに関する情報は、*互換性のある口腔内撮影用センサー [▶ページ 171 - Standalone]*をご参照ください。

1. **口腔内撮影画像の管理・登録中**のアイコンをクリックしてください。

   ▶ **X線撮影マネージャ** のウィンドウが開きます。

2. **検索する**のボタンをクリックしてください。

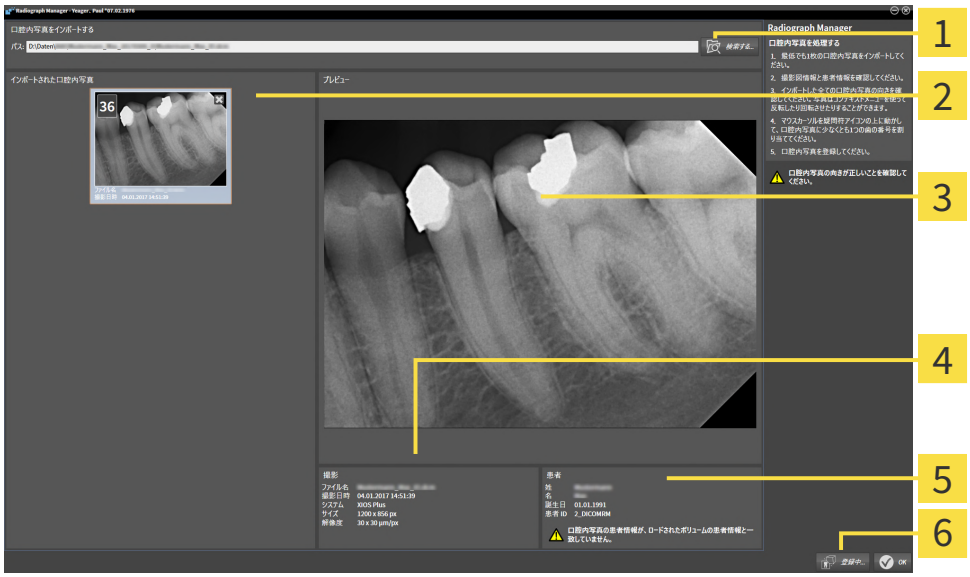
   ▶ **口腔内撮影画像を開く** のウィンドウが開きます。

3. **口腔内撮影画像を開く**ウィンドウの希望する口腔内撮影画像に移動し、ファイルを1つ以上選択してください。**Ctrl**キーを押しながら複数のファイルを続けて選択することで、複数のファイルを同時にインポートすることができます。

4. **開く**をクリックします。

   ▶ **口腔内撮影画像を開く**ウイドウが閉じます。

▶ SICAT Endo はインポートされた口腔内撮影画像を示します。



1 ボタン **検索する**

2 エリア **インポートされた口腔内撮影画像**

3 エリア **プレビュー**

4 **患者情報**

5 **撮影図情報**

6 ボタン **登録中**

5. インポートされた口腔内撮影画像を選択するには、画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo は**プレビュー**のエリアに選択された画像を表示します。

6. 患者に関する情報と、撮影画像に関する情報を確認してください。撮影画像と患者が一致しており、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の撮影日が90日以上離れていないことを確認してください。

7. 口腔内撮影画像が実際の歯の配置に対し正しい向きになっていることを確認してください。

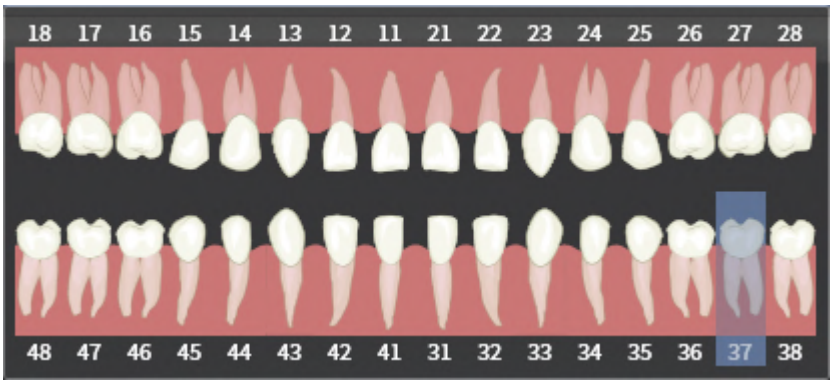
8. インポートされた口腔内撮影画像が、実際の歯の配置に対し正しくアラインメントされていない場合は、撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**エリアを右クリックし、コンテキストメニューから**左右反転**、**垂直に反転させる**、**反時計回りに回転する**もしくは**時計回りに回転する**のうちいずれかの項目を選択してください。

   ▶ SICAT Endo は撮影画像を水平または垂直方向に反転します。

   ▶ SICAT Endo は撮影画像を左または右に90度のステップで回転します。

9. 撮影画像のクエスチョンマークにマウスポインタを重ねます。

► **歯の番号** のウィンドウが開きます。



10. 実際の歯の配置に対し正しい歯の番号に続けてクリックすることにより、撮影画像を最大4つの歯の番号に割り当ててください。

11. **歯の番号**ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの外側にマウスポインタを合わせてください。

► SICAT Endo は**歯の番号**ウインドウを閉じます。

► SICAT Endo は口腔内撮影画像に関連した歯の番号を表示します。

► SICAT Endo X線撮影マネージャを閉じるときに変更内容を保存します。

コンテキストメニュー上の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアでは、次の機能を呼び出すことができます。

- **左右反転**
- **垂直に反転させる**
- **反時計回りに回転する**
- **時計回りに回転する**
- **歯の番号**
- **登録中**
- **削除する**

インポートされた口腔内撮影画像を**インポートされた口腔内撮影画像**エリアから削除するには、次の方法があります。

- 撮影画像で**計画プロジェクトから口腔内撮影画像を削除する**のアイコンをクリックしてください。
- 撮影画像上でマウスの右ボタンをクリックし、コンテキストメニューで**削除する**の項目を選択してください。
- **インポートされた口腔内撮影画像**エリア内で撮影画像をマーキングし、**Del**ボタンを押してください。

インポートされた口腔内撮影画像を登録するには、次のセクションの手順に従ってください。

- *登録ウィザード [▶ページ 176 - Standalone]*

29 登録ウィザード

登録ウィザードは、口腔内撮影画像の登録に必要な機能を提供します。

登録ウィザードを使用するには、口腔内撮影画像がすでにインポートされており、歯の番号が割り当てられている必要があります。これに関する情報は、*口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 172 - Standalone]*をご参照ください。

登録ウィザードでの作業を開始する前に、登録したい口腔内撮影画像を選択する必要があります。

登録ウィザードでは、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にプリアラインメントできます。**3D投影**ビューでは、SICAT Endoが口腔内撮影画像を自動的に登録する前に、アラインメントの微調整を行えます。

登録ウィザードは、次のステップで構成されます。

- *口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う [▶ページ 177 - Standalone]*
- *口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 179 - Standalone]*

パノラマビューにおけるプリポジショニングだけでは不十分な場合は、ステップ**口腔内撮影画像を登録する**において、アライメントを**横断**ビューまたは**軸方向**ビューでも調整することができます。これに関する情報は、*横方向および軸方向のプリアライメントを調整する [▶ページ 182 - Standalone]*をご参照ください。

口腔内撮影画像内に、登録の際に問題が発生する可能性があるエリアが含まれている場合には、ステップ**口腔内撮影画像を登録する**において、これらのエリアをマスクで着色することにより、登録の対象から除外することができます。これに関する情報は、*エリアをマスキングする [▶ページ 185 - Standalone]*をご参照ください。

29.1 口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う

登録ウィザードに関する一般的な情報は、*登録ウィザード [▶ページ 176 - Standalone]*をご参照ください。

ステップ**口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う**においては、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上にアラインメントして、3D X線撮影画像と口腔内撮影画像の間に可能な限り最適なオーバーレイを実現します。

☑ ワークフロー・ステップの**準備**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 95 - Standalone]*をご参照ください。

☑ 少なくとも1つの口腔内撮影画像をインポートされ、少なくとも1つの歯の番号が割り当てられています。これに関する情報は、*口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 172 - Standalone]*をご参照ください。

1. **口腔内撮影画像の管理・登録中**のアイコンをクリックしてください。

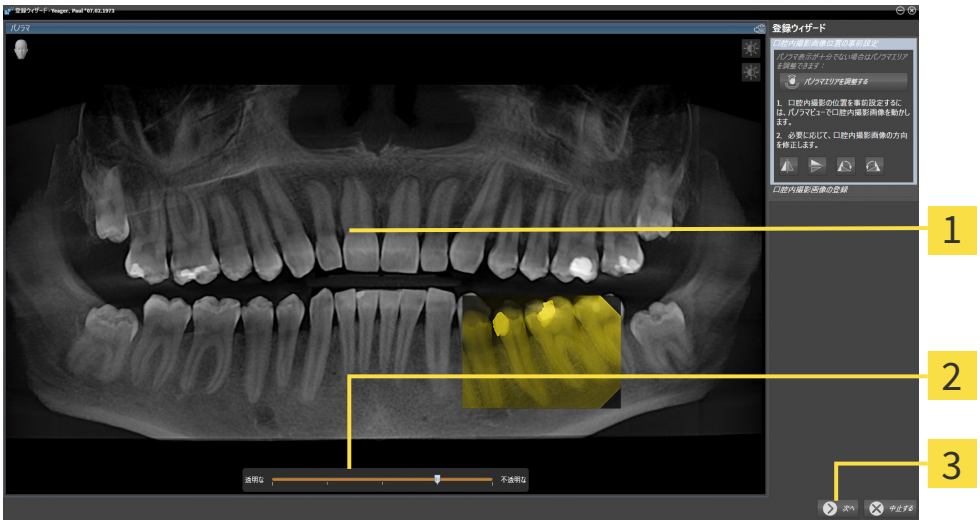
   ▶ **X線撮影マネージャ** のウィンドウが開きます。

2. 口腔内撮影画像を登録のために選択するには、撮影画像の上に左マウスボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo は撮影画像をマークします。

3. **登録中**のボタンをクリックしてください。

   ▶ **口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う**のステップが開きます。



1 ウインドウ **パノラマ**

2 **透明度**スライダー

3 ボタン **次へ**

   ▶ SICAT Endo **パノラマ**ウィンドウにおいて、口腔内撮影画像をパノラマ曲線上に表示します。

4. 口腔内撮影画像を移動させるには、撮影画像にマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

6. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。
7. マウスの左ボタンを放してください。
   ▶ SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の向きを**口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う**エリアにおいて、**左右反転**ボタン、**垂直に反転させる**ボタン、**時計回りに回転する**ボタン、もしくは**反時計回りに回転する**ボタンで調整することができます。
9. 登録の次のステップに移動するには、**次へ**ボタンをクリックしてください。

▶ **口腔内撮影画像を登録する**のステップが開きます。

口腔内撮影画像の登録を開始するための他の方法としては、次の手順に従うことができます。

- 口腔内撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをダブルクリックしてください。
- 口腔内撮影画像の**インポートされた口腔内撮影画像**のエリアをマーキングし、**Enterキー**を押してください。
- **インポートされた口腔内撮影画像**のエリアで口腔内撮影画像をマウスの右ボタンでクリックし、コンテキストメニューから**登録中**の項目を選択してください。

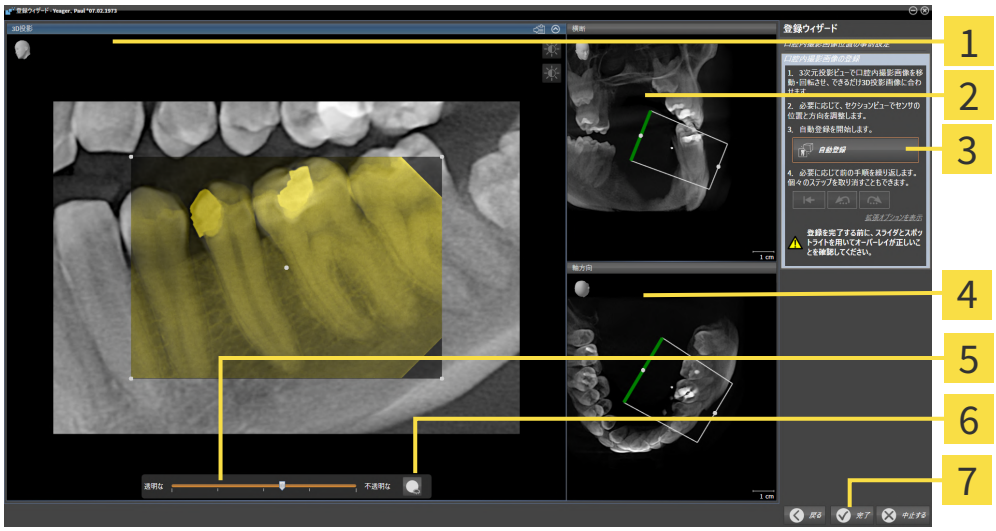
口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。

*口腔内撮影画像を登録する [▶ ページ 179 - Standalone]*を継続してください。

29.2 口腔内撮影画像を登録する

登録ウィザードに関する一般的な情報は、*登録ウィザード [▶ページ 176 - Standalone]*をご参照ください。

口腔内撮影画像を登録するステップにおいては、自動登録を実行する前に、口腔内撮影画像の初期位置の微調整を行うことができます。



1 **3D投影**-ビュー

2 **横断**-ビュー

3 ボタン **自動記録**

4 **軸方向**-ビュー

5 **透明度**スライダー

6 ボタン **スポットライト**

7 ボタン **完了**

口腔内撮影画像のオーバーレイを**3D投影**ビューで調整するには、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. **3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを口腔内撮影画像に合わせてください。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. 希望する位置に口腔内撮影画像を移動します。
4. マウスの左ボタンを放してください。
   ▶ SICAT Endo は口腔内撮影画像の現在の回転位置を維持します。
   ▶ SICAT Endo **横断**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。
5. 口腔内撮影画像を回転させるには、**3D投影**ビューにおいて、マウスポインタを撮影画像の角の確認箇所のいずれかに合わせてください。
   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

6. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
7. 口腔内撮影画像を希望する方向に回してください。
8. マウスの左ボタンを放してください。

► SICAT Endo 撮影画像の現在の位置を維持します。

► SICAT Endo **横断**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

スポットライトをオンそしてオフにする

口腔内撮影画像と3D投影との正しいオーバーレイを確認するには、**3D投影**ビューにおいて、スポットライトを表示させることができます。

1. **スポットライト**ボタンをクリックしてください。
2. マウスポインタをの口腔内撮影画像に合わせてください。
   ► SICAT Endo はスポットライトを示します。
3. 口腔内撮影画像の確認したい箇所にマウスポインタを移動してください。
4. 確認したいすべての箇所でこの手順を繰り返してください。

5. スポットライトを非表示にするには、再度**スポットライト**ボタンをクリックしてください。

► SICAT Endo はスポットライトを非表示にします。

横方向または軸方向のアライメントを調整する

もし**3D投影**ビューにおける口腔内撮影画像のアラインメントだけでは不十分な場合は、さらに**横断**ビュー、または**軸方向**ビューにおいてアラインメントを行うことができます。これに関する情報は、*横方向および軸方向のプリアライメントを調整する [▶ページ 182 - Standalone]*をご参照ください。

口腔内撮影画像のエリアをマスクします

もし口腔内撮影画像の特定のエリアを自動登録から除外したい場合は、そのエリアを着色によりマスクをかけることができます。SICAT Endo 自動登録の際にこれらのマスク領域を考慮に入れません。これに関する情報は、*エリアをマスキングする [▶ページ 185 - Standalone]*をご参照ください。

自動登録を行う

- 自動登録を実行するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**自動記録**ボタンをクリックしてください。

► SICAT Endo 口腔内撮影画像の3D X線撮影画像との登録を行います。

► SICAT Endo は登録ウィザードを閉じます。

► SICAT Endo は登録の結果を**X線撮影マネージャ**ウィンドウに表示します。

登録を確認します

1. **3D投影**ビュー、 **横断**ビューおよび**軸方向**ビューを使用して登録結果を確認してください。
2. 結果に満足できない場合は、マウスで口腔内撮影画像をドラッグアンドドロップで移動することで、口腔内撮影画像の位置を調整することができます。
3. 登録を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

► **登録ウィザード**が閉じます。

► **X線撮影マネージャ** のウィンドウが開きます。

► SICAT Endo 口腔内撮影画像を登録済みとして、**インポートされた口腔内撮影画像(X線撮影マネージャ**内)エリアに表示します。

口腔内撮影画像とパノラマの正しいオーバーレイを確認するためには、**透明度**スライダーで画像の透明度を調整することができます。

直前に行われた調整を取り消すには、**最後のステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。実施されたすべての調整をリセットするには、**すべてのステップを取り消す**ボタンをクリックしてください。

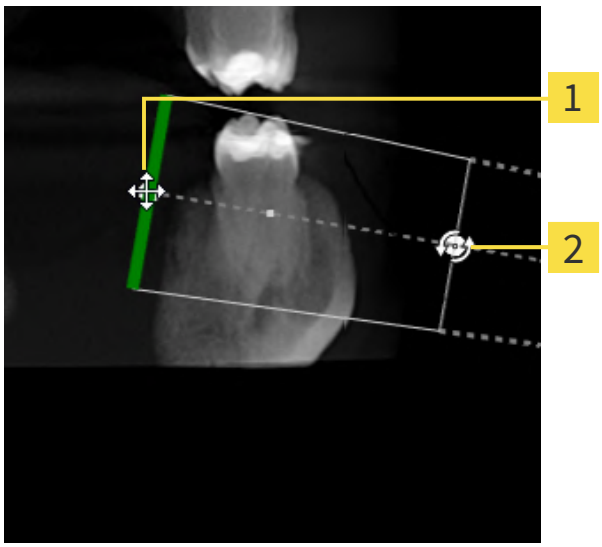
29.3 横方向および軸方向のプリアライメントを調整する

口腔内撮影画像の3D投影とのオーバーレイの調整に関する一般的な情報は、*口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 179 - Standalone]*をご参照ください。

たとえ**3D投影**ビューにおいて口腔内撮影画像を実際の歯の配置に対して正しくアラインメントできる場合でも、特定の撮影画像においては、SICAT Endoは、口腔内撮影画像を3D放射線撮影画像と自動登録できない可能性があります。

この場合には、口腔内撮影画像の位置を**横断**ビューまたは**軸方向**ビューで調整してください。

アラインメントを横方向ビューで移動させる



1 確認箇所 1

2 確認箇所 2

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 **1**に合わせてください。

   ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

3. アラインメントを希望する方向に移動させてください。

4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アラインメントを横方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 **2**に合わせてください。

   ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

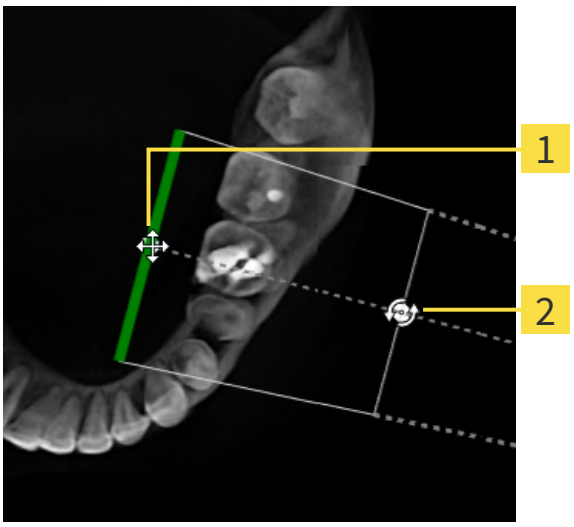
3. アラインメントを希望する方向に回転させてください。

4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**軸方向**を必要に応じて調整します。

アラインメントを軸方向ビューで移動させる



1 確認箇所 **1**

2 確認箇所 **2**

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを移動させるのは、マウスポインタを**横断**ビューで確認箇所 **1**に合わせてください。

   ▶ マウスポインタは4つの矢印が付いた十字に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

3. アラインメントを希望する方向に移動させてください。

4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

アラインメントを軸方向ビューで回転させる

1. 撮影装置および3D X線撮影のセンサを回転させるには、マウスポインタを**軸方向**ビューで確認箇所 **2**に合わせてください。

   ▶ マウスポインタは、回転する2つの矢印を持つ円に変わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

3. アラインメントを希望する方向に回転させてください。

4. マウスの左ボタンを放してください。

▶ SICAT Endo 現在のアラインメントを維持します。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューおよび**横断**を必要に応じて調整します。

29.4 エリアをマスキングする

口腔内撮影画像には、自動登録の際に問題を引き起こす可能性のあるエリアが含まれていることがあります。例えば、

- 金属物体
- 反対側の顎の歯
- 撮影画像の一部でない口腔内撮影画像の周辺部

自動登録の際の問題を回避するために、それらのエリアにマスクをかけることができます。SICAT Endo マスキングされたすべてのエリアを自動登録の際に除外します。

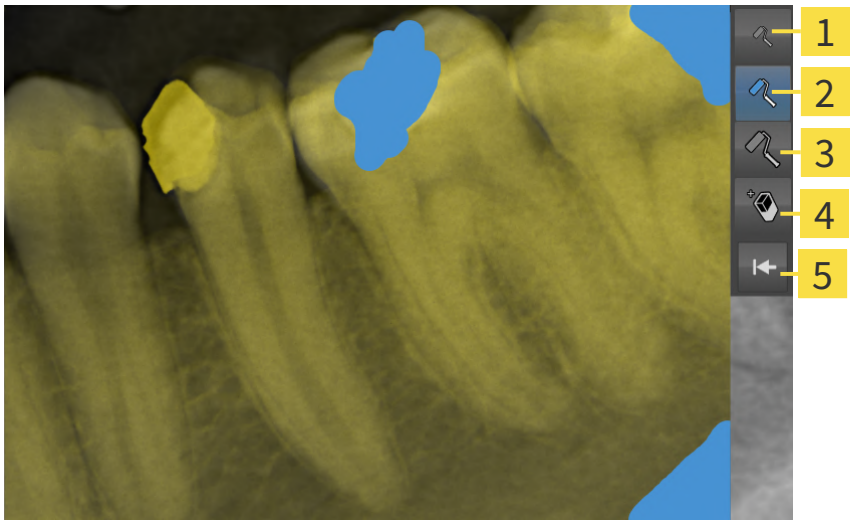
口腔内撮影画像の個々のエリアにマスキングをするには、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. **口腔内撮影画像を登録する**のエリアで、**詳細オプションを表示する**のボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo **マスクを編集する**ボタンを表示します。

2. **マスクを編集する**のボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像の右端にマスクツールバーを表示します。



1 ボタン **小サイズのブラシを使用する**

2 ボタン **中サイズのブラシを使用する**

3 ボタン **大サイズのブラシを使用する**

4 ボタン **消しゴムを使います**

5 ボタン **マスクをリセットする**

3. エリアを着色するには、**小サイズのブラシを使用する**ボタン、**中サイズのブラシを使用する**ボタン、または**大サイズのブラシを使用する**ボタンをクリックしてください。

   ▶ マウスポインタは円形に変わります。

4. 口腔内撮影画像の着色したいエリアにマウスポインタを合わせてください。

5. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
6. 着色したいエリアにマウスポインタを移動してください。
7. マウスの左ボタンを放してください。
   ▶ SICAT Endo マーキングされたエリアを青で表示します。
8. 必要に応じて、口腔内撮影画像の他の領域にマスクをかけるために、この手順を繰り返します。
9. 青でマーキングされたエリアを削除するには、**消しゴムを使います**ボタンをクリックしてください。
   ▶ マウスポインタは消しゴムに変わります。
10. 削除したい、青でマーキングされたエリアをマウスの左ボタンでクリックしてください。
    ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像からマーキングされたエリアを削除します。
11. 行われたすべてのマーキングを削除するには、**マスクをリセットする**ボタンをクリックしてください。
    ▶ SICAT Endo 口腔内撮影画像から青でマーキングされたエリアを削除します。
12. 行われた変更を適用するには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアで、**編集を完了する**ボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo **3D投影**ビューのマスキングされたエリアを表示します。

▶ SICAT Endo マスキングされたエリアを自動登録の際に除外します。

マスクを編集するボタンを再び非表示にするには、**口腔内撮影画像を登録する**エリアの**詳細オプションを非表示にする**ボタンをクリックしてください。

30 ENDOLINEウィザード

EndoLineウィザードは、診断と治療計画のための機能を提供します。

EndoLineウィザードを使用する前に、次の作業をオプションとして実行できます。

- *口腔内撮影画像をインポートし、歯を割り当てます [▶ページ 172 - Standalone]*。
- *口腔内撮影画像を登録する [▶ページ 179 - Standalone]*
- *治療計画のための歯を選択する [▶ページ 196 - Standalone]*

EndoLineウィザードでは、交差線を用いて治療を行いたいエリアを指定することができます。このエリアには、EndoLinesを根管に配置することができます。

EndoLinesは、治療する根管のマーキングおよび歯根尖部を見つけるために使用できる測定線です。EndoLinesは、ドリル穴の計画と配置のための基礎として役立ちます。

EndoLinesを表示するために、 SICAT Endoは様々なビューを使用します。これに関する情報は、*EndoLineウィザードの中のビュー [▶ページ 188 - Standalone]*をご参照ください。

SICAT Endo 計画の際に作成されるすべてのオブジェクトを選択された歯に割り当てます。これらのオブジェクトは、EndoLineまたはドリル穴である場合があります。これらのオブジェクトは、**パノラマ**ワークスペースと**口腔内撮影画像**ワークスペースに表示し、 **オブジェクトブラウザ**で管理・加工することができます。

作成されたオブジェクトを表示するには、SICAT Endoにおいて、ワークスペースにおいて様々なビューおよびビューのコンパイルが利用できます。これに関する情報は、*ワークスペース [▶ページ 108 - Standalone]*をご参照ください。

EndoLineウィザードは、次のステップで構成されます。

- *歯の領域をプリアラインメントする [▶ページ 197 - Standalone]*
- *EndoLinesの設定 [▶ページ 199 - Standalone]*
- *ドリル穴を計画する [▶ページ 209 - Standalone]*

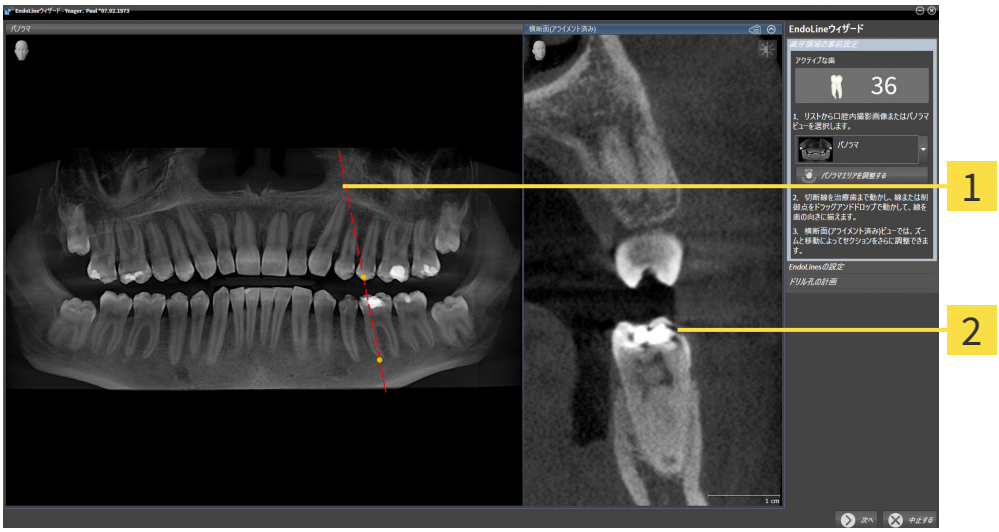
30.1 ENDOLINEウィザードの中のビュー

EndoLineウィザードには、ステップごとに様々なビューをご利用いただけます。

ビューの調整に関する一般的な情報については、*ビューの調整 [▶ページ 116 - Standalone]*および*3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*の節をご覧ください。

「歯牙領域の事前設定」手順

歯の領域をプリアラインメントするの手順では以下のビューが利用可能です。



1 **パノラマ**ビュー、または**口腔内撮影画像**ビュー

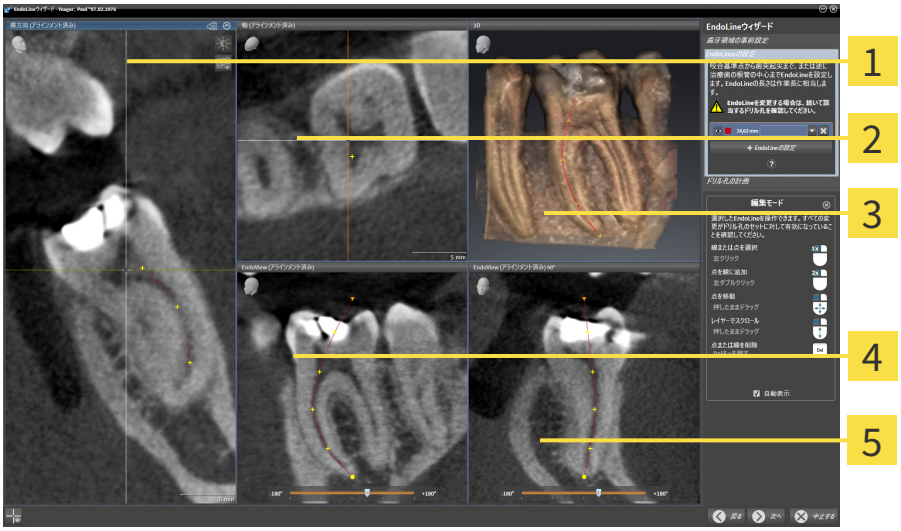
2 **横断 (アラインメント済み)**ビュー

パノラマビュー、または**口腔内撮影画像**ビューでは、治療する根管のビューをカットラインを使って事前設定することができます。**口腔内撮影画像**ビューは、アクティブな歯の少なくとも1つの口腔内撮影画像を記録した場合にのみ表示されます。アクティブな歯の選択については、*治療計画のための歯を選択する [▶ページ 196 - Standalone]*を参照してください。

横断 (アラインメント済み)ビューでは、**パノラマ**ビュー、または**口腔内撮影画像**ビューでマークされた歯が側面から、および設定したカットラインに合わせて表示されます。

「ENDOLINESの設定」手順

EndoLinesをセットするの手順では以下のビューが利用可能です。



1 **横断 (アラインメント済み)**ビュー

2 **軸方向(アラインメント済み)**ビュー

3 **3D**ビュー

4 **EndoView (アラインメント済み)**ビュー

5 **EndoView (アラインメント済み) 90°**ビュー

ビュー **横断 (アラインメント済み)**ビューは**EndoLinesをセットする**の手順で、**横断 (アラインメント済み)**ビューの**歯の領域をプリアラインメントする**の手順に対応します。**歯の領域をプリアラインメントする**の手順でマークされた歯の外側から内側へ斜めに表示し、設定したカットラインに合わせます。

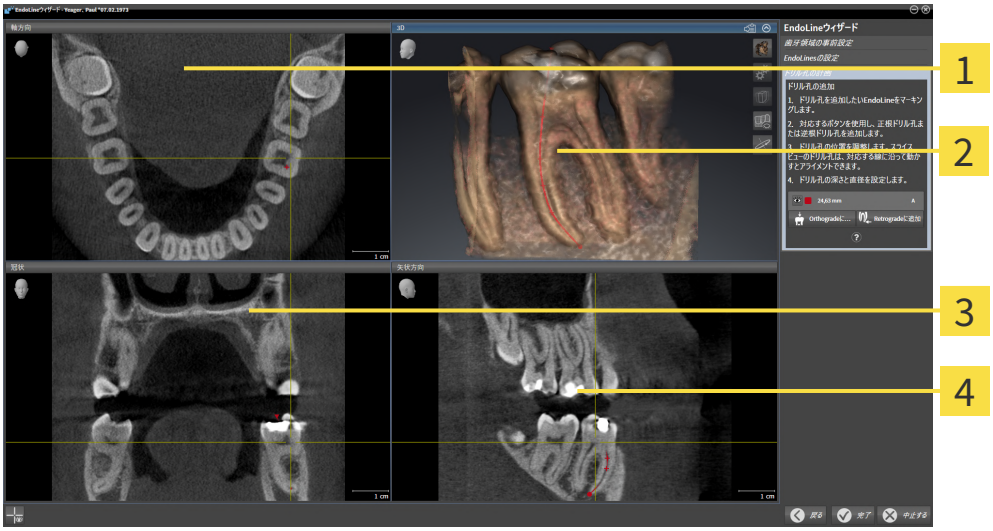
軸方向(アラインメント済み)ビューは、**歯の領域をプリアラインメントする** の手順でマークされた歯を表示し、上から設定したカットラインに合わせます。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。**3D**の調整に関する情報は、*3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*を参照してください。

EndoView (アラインメント済み)は、EndoLineに配置されたビューで、選択されたEndoLineを2D面に投影して表示します。**EndoView (アラインメント済み) 90°**では**EndoView (アラインメント済み)**は90度回転しています。2つのビューは、すでにEndoLineが設定されている場合にのみ表示されます。EndoViewに関する情報は、*EndoView [▶ページ 193 - Standalone]*の節をご覧ください。

「ドリル孔を計画する」の手順

ドリル穴を計画するの手順では以下のビューが利用可能です。



1 **軸方向**ビュー

2 3Dビュー

3 **冠状**ビュー

4 **矢状方向**ビュー

軸方向ビューは、上からのEndoLine表示します。

3Dビューは、3D X線撮影画像のEndoLineを表示します。**3D**の調整に関する情報は、*3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*を参照してください。

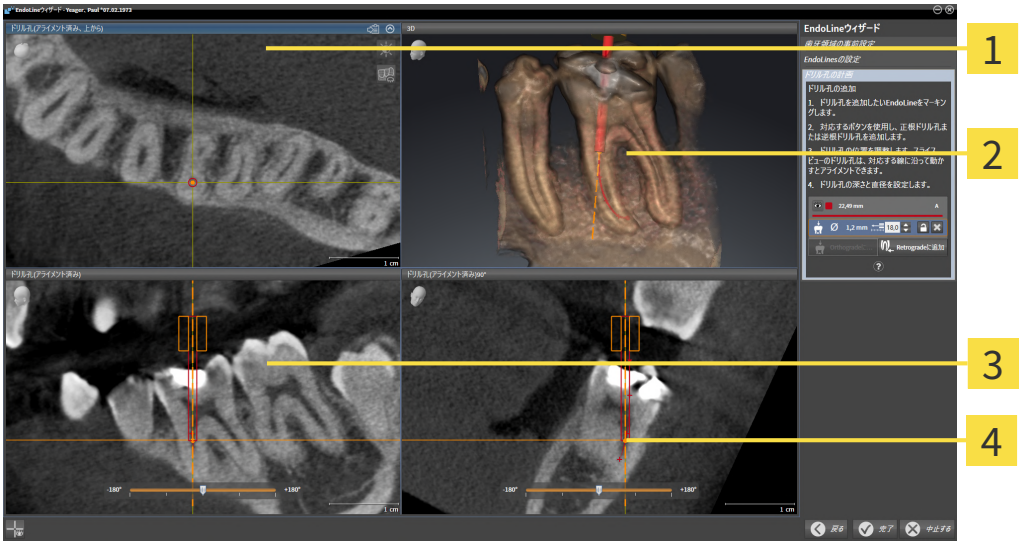
冠状ビューは、前方からのEndoLineを表示します。

矢状方向ビューは、右からのEndoLineを表示します。

まだドリル穴が計画されていない場合、SICAT Endoは、ステップ**ドリル穴を計画する**が開かれる際、EndoLineウィザードにおいて、 **軸方向**ビュー、**3D**ビュー、**冠状**ビューおよび**矢状方向**ビューを表示します。

根管ドリル孔を計画する際のビュー

根管ドリル孔を計画するときは、以下のビューが利用可能です。



1 **ドリル穴 (アラインメント済み、上から)**ビュー

2 **3D**ビュー

3 **ドリル穴 (アラインメント済み)**ビュー

4 **ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビュー

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineに配置されたドリル孔を上から見た図です。

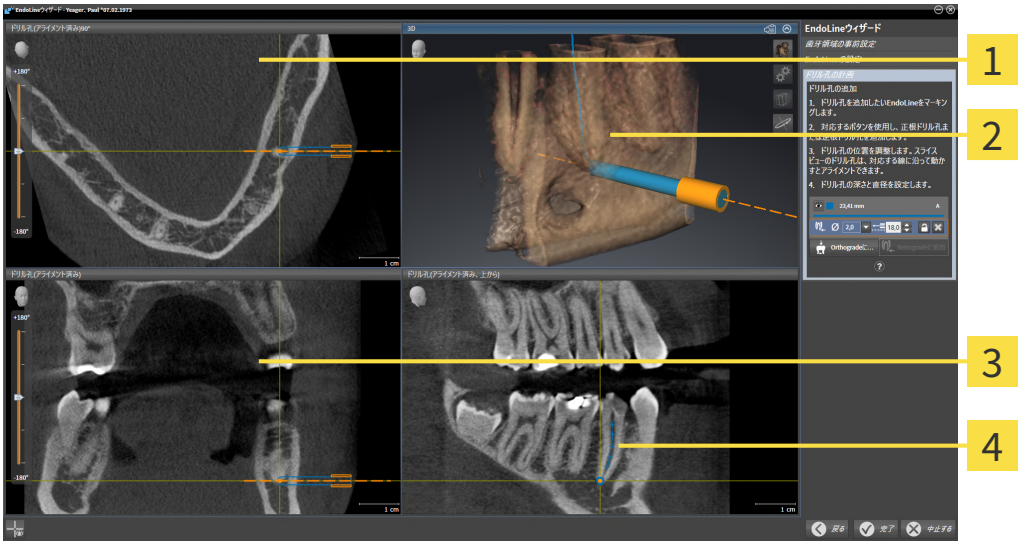
3Dビューは、3D X線撮影画像に記録されたドリル孔を表示します。**3D**の調整に関する情報は、*3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*を参照してください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、正面からEndoLineに配置されたドリル孔を表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineに配置されたドリル孔を側面から表示します。

逆根管ドリル孔を計画する際のビュー

逆根管ドリル孔を計画するときは、以下のビューが利用可能です。



1 **ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビュー

2 **3D**ビュー

3 **ドリル穴 (アラインメント済み)**ビュー

4 **ドリル穴 (アラインメント済み、上から)**ビュー

ドリル穴 (アラインメント済み) 90°ビューは、EndoLineに配置されたドリル孔を側面から表示します。

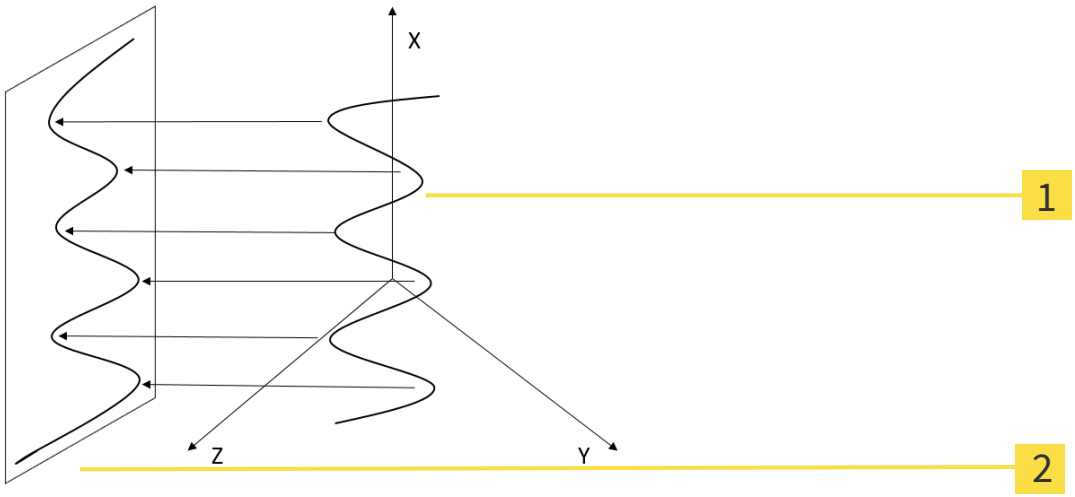
3Dビューは、3D X線撮影画像に記録されたドリル孔を表示します。**3D**の調整に関する情報は、*3Dビューの調整 [▶ページ 131 - Standalone]*を参照してください。

ドリル穴 (アラインメント済み)ビューは、正面からEndoLineに配置されたドリル孔を表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)ビューは、EndoLineに配置されたドリル孔を上から見た図です。

30.1.1 ENDOVIEW

SICAT EndoのEndoViewは、ソフトウェアが3D撮影の湾曲したEndoLineを2D面に投影して表示することで、患者における歯の複雑な構造をビジュアル化します。この技術は、Curved Planar Reformation(曲面多断面再構成、CPR)と呼ばれています。これにより、湾曲した構造を展開して表示することが可能となります。



1 3D撮影画像

2 2D面

EndoLineを2D面に表示することで、実際の歯の構造を詳細に確認することができ、異常を容易に識別することができます。同時に、EndoViewは、診断の精度を向上し、患者固有の治療計画の作成を容易にします。

30.1.2 ENDOVIEWを回転する

EndoViewに関する一般的な情報は、*EndoView [▶ページ 193 - Standalone]*をご参照ください。

EndoView (アラインメント済み)ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューでは、画像の一部を回転させるためにスライダを使用することができます。

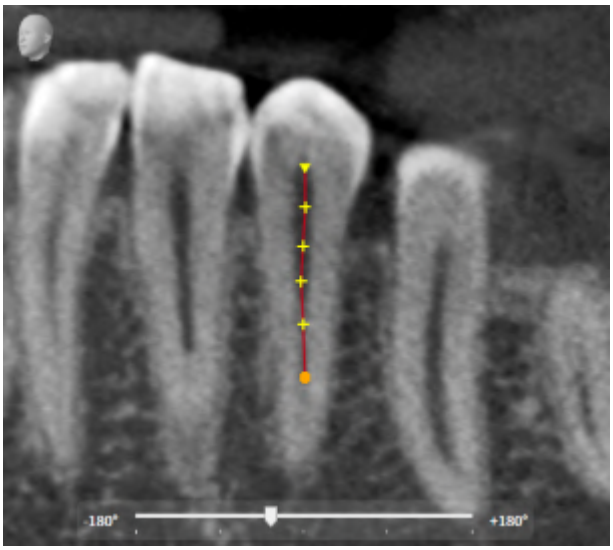
☑ **EndoLinesをセットする**手順はすでに開いています。これに関する情報は、*EndoLinesの設定 [▶ページ 199 - Standalone]*をご参照ください。

☑ 少なくとも1つのEndoLineが設定されています。

☑ EndoLineが選択されました。

1. 希望するビューをクリックして、**EndoView (アラインメント済み)**ビュー**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを有効にしてください。

   ▶ SICAT Endo はビューを有効にします。



2. マウスポインタをのスライダーに合わせてください。
3. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
4. 希望する位置にスライダーを移動させます。
5. マウスのボタンを放してください。

▶ SICAT Endo は画像の一部を回転させます。

▶ SICAT Endo **EndoView (アラインメント済み)**ビューおよび**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューを調整します。

それに代わる方法として、**EndoView (アラインメント済み)**または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の任意の箇所をクリックすることで画像の一部を回転させることができます。マウスの左ボタン押し続け、画像の一部を希望する方向へ回転させます。

スライダーの範囲は、-180度から+180度の範囲で、90度ステップに分割されています。スライダーを使用して、ビューの回転角度を調整することができます。

30.2 治療計画のための歯を選択する

EndoLinesおよびドリル穴を計画するためには、治療を行う歯を選択する必要があります。

☑ **口腔内撮影画像**ワークスペースまたは**パノラマ**ワークスペースを開きました。これに関する情報は、*ワークスペース [▶ページ 108 - Standalone]*をご参照ください。

1. **オブジェクトバー**において**有効な歯**のエリアにマウスポインタを合わせてください。
   ▶ **歯の番号** のウィンドウが開きます。

2. 治療したい歯にマウスポインタを移動してください。
   ▶ SICAT Endo 歯の番号を強調表示します。
3. ハイライトされた歯を選択するには、マウスの左ボタンで歯をクリックしてください。
   ▶ SICAT Endo 歯を青でマーキングします。
   ▶ SICAT Endo **オブジェクトバー**の**有効な歯**において歯の番号を表示します。
4. **歯の番号**ウィンドウを閉じるには、マウスポインタを**有効な歯**のエリアの外へ移動させてください。

▶ SICAT Endo は**歯の番号**ウインドウを閉じます。

30.3 歯の領域をプリアラインメントする

EndoLineアシスタント機能に関する一般的な情報は、*EndoLineウィザード [▶ページ 187 - Standalone]*の節をご覧ください。

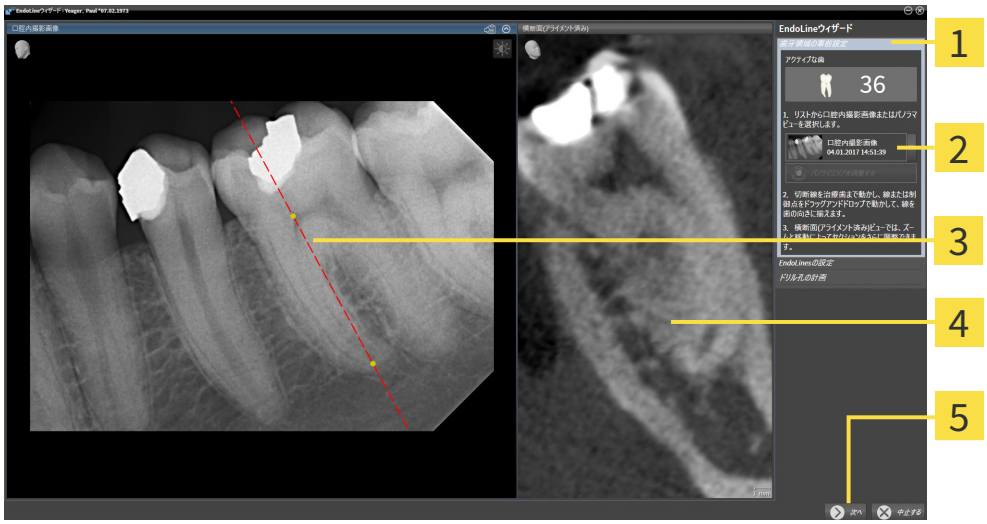
歯の領域をプリアラインメントするの手順で治療したい歯と根を見やすくするために、カットラインを使ってビューを調整します。

☑ **口腔内撮影画像**ワークスペースまたは**パノラマ**ワークスペースで**歯の番号**のスキーマで**オブジェクトバー**において治療したい歯を選択しました。これに関する情報は*治療計画のための歯を選択する [▶ページ 196 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**診断する**は、すでに開いています。これに関する情報は*ワークフローのツールバー [▶ページ 95 - Standalone]*を参照してください。

1. **EndoLineおよびドリル穴を利用して歯根治療を計画する**のアイコンをクリックします。

   ▶ **歯の領域をプリアラインメントする**のステップが開きます。



1 **歯の領域をプリアラインメントする**エリア

2 **パノラマ**ビュー付きのリスト、および口腔内撮影画像

3 **パノラマ**ビュー、または**口腔内撮影画像**ビュー

4 **横断 (アラインメント済み)**ビュー

5 **次へ**のボタン

2. **歯の領域をプリアラインメントする**エリアでリストから口腔内撮影画像またはパノラマを選択します。

   ▶ SICAT Endoに2つの黄色のコントロールポイントがあるカットラインが**口腔内撮影画像**ビュー、または**パノラマ**ビューで表示されます。

3. カットラインを移動するには、マウスポインタをカットラインに合わせます。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

5. カットラインを希望する位置に移動します。

6. マウスの左ボタンを放します。

   ▶ SICAT Endoは現在のカットライン位置を保持します。

   ▶ SICAT Endoは、 **横断 (アラインメント済み)**ビューを変更したカットラインの位置に応じて調整します。

7. カットラインを回転させるには、2つの黄色いコントロールポイントのうちの1つにマウスポインタを置きます。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。

9. カットラインを希望する方向に回転させます。

10. マウスの左ボタンを放します。

    ▶ SICAT Endoは現在のカットラインの回転を保持します。

    ▶ SICAT Endoは、 **横断 (アラインメント済み)**ビューを変更したカットラインの位置に応じて調整します。

11. **次へ**をクリックします。

▶ SICAT Endoにビューの調整が転送されます。

▶ **EndoLinesをセットする**のステップが開きます。

*EndoLinesの設定 [▶ページ 199 - Standalone]*で続行してください。

プリアラインメントのために、口腔内撮影画像と**パノラマ**ビューの間から選択するためには、選択された歯に少なくとも1つの口腔内撮影画像を登録されている必要があります。

パノラマ エリアは、**パノラマ エリアを調整する**アイコンをクリックして調整することができます。これに関する情報は、*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 150 - Standalone]*をご参照ください。

30.4 ENDOLINESの設定

> ⚠ **注意**
>
> **測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。**
>
> 3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

気道比較に関する一般的な情報は、*EndoLineウィザード [▶ページ 187 - Standalone]*の節をご覧ください。

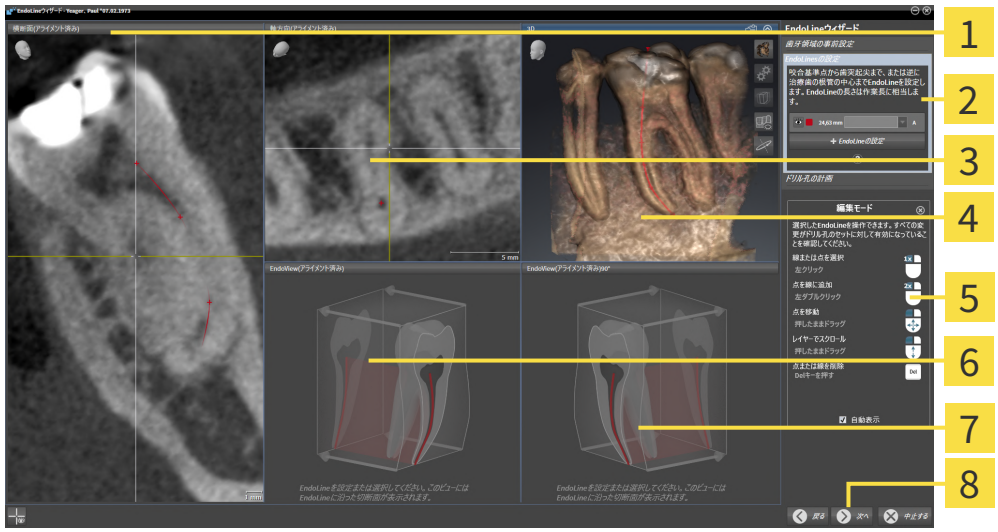
EndoLinesをセットするの手順において、配置されたビューでEndoLinesを使用して治療したい根管をマークすることができます。

SICAT EndoはEndoLineを挿入する際に、エントリポイントとエンドポイントを識別表示し、エントリポイントを三角形およびエンドポイントを円でマークします。

点の順序は、以前に選択した歯の番号と患者の顎の歯の位置によって異なります。上顎では、エントリーポイントはエンドポイントより下にあり、下顎ではエントリーポイントはエンドポイントより上にあります。

☑ **歯の領域をプリアラインメントする**の手順を完了しました。これに関する情報は*歯の領域をプリアラインメントする [▶ページ 197 - Standalone]*を参照してください。

☑ **EndoLinesをセットする**の手順はすでに開いています。



1	**横断 (アラインメント済み)**ビュー	5	インフォグラフィック
2	**EndoLinesをセットする**エリア	6	**EndoView (アラインメント済み)**
3	**軸方向(アラインメント済み)**ビュー	7	**EndoView (アラインメント済み) 90°**
4	**3D**ビュー	8	**次へ**のボタン

1. **EndoLinesをセットする**エリアで、**EndoLineをセットする**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは**横断 (アラインメント済み)**ビュー、および**軸方向(アラインメント済み)**ビューをハイライトで表示します。

▶ マウスポインタの形が切り替わります。

2. **横断 (アラインメント済み)**ビュー、または**軸方向(アラインメント済み)**ビューにマウスポインタを合わせます。

3. 頂点またはエントリポイントをマウスの左ボタンでクリックします。

   ▶ SICAT Endoはコントロールポイントを設定します。

4. 根管に沿った他の場所をマウスの左ボタンでクリックして、根の輪郭をマークするために、さらなるコントロールポイントを追加します。

5. 根管のマーキングを完了するには、頂点またはエントリーポイントをダブルクリックします。

   ▶ SICAT Endoはコントロールポイントを設定します。

   ▶ SICAT Endoはすべてのコントロールポイントとそのポイント間の接続をEndoLineの形式で表示します。

   ▶ SICAT Endoは**EndoView (アラインメント済み)**ビュー、および**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューをEndoLineに配置します。

6. 必要に応じて、他の根管をマークするには手順を繰り返してください。

7. **EndoView (アラインメント済み)**ビュー、または**EndoView (アラインメント済み) 90°**ビューで設定されたEndoLinesを確認してください。

8. **次へ**をクリックします。

▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。

*ドリル穴を計画する [▶ページ 209 - Standalone]*で続行してください。

EndoLineの説明と位置の色とテキストを編集できます。これに関する情報は*色とテキストを調整する [▶ページ 202 - Standalone]*を参照してください。

コントロールポイントを移動、追加、削除することでEndoLineを編集できます。これに関する情報は*確認箇所を追加、移動および削除する [▶ページ 203 - Standalone]*を参照してください。

3Dビューで回転モードを使用することができます。これに関する情報は*3Dビューを回転する [▶ページ 206 - Standalone]*を参照してください。

3Dビューでインポートおよび記録された光学印象を表示することができます。これに関する情報は*光学印象を表示する [▶ページ 207 - Standalone]*を参照してください。

横断 (アラインメント済み)ビュー、および**軸方向(アラインメント済み)**ビューで**十字線を表示**ボタン、および**十字線を表示しない**ボタンで十字線を表示、および非表示にできます。

EndoLineを挿入するときには、さまざまな機能のマウスボタンを使用できます。これに関する情報は*マウスボタンを使用する [▶ページ 208 - Standalone]*を参照してください。

EndoLineを選択するには、アラインメントされたビューにおいてマウスの左ボタンでラインをクリックするか、または**EndoLinesをセットする**のエリアでの選択を行います。

EndoLineを削除するには、**EndoLinesをセットする**エリアでEndoLineをマーキングし、選択されたEndoLineの行の端にある**EndoLineを削除する**ボタンをクリックしてください。

EndoView (アラインメント済み)または**EndoView (アラインメント済み) 90°**の表示を調整するには、これらのビューのスライダーを使用してください スライダーを用いて、ビューを左または右に任意の角度で回転することができます。

30.5 色とテキストを調整する

色を調整する

EndoLineの色を変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの行にある**色を変更する**ボタンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Endo EndoLineの色を変更します。
2. 色が希望の色と一致しない場合は、SICAT Endoが希望の色になるまで、**色を変更する**ボタンを引き続きクリックしてください。

▶ SICAT Endo EndoLineの新しい色を表示します。

説明または位置情報のテキストを調整する

EndLineの説明または位置情報のテキストを変更するには、次の手順に従って行ってください。

1. EndoLineの説明を入力するには、Endolineの行の**説明/位置**フィールドをクリックしてください。
   ▶ マウスポインタは、入力位置で点滅します。
2. 希望するEndoLineの説明を入力してください。
   ▶ SICAT Endo 説明を表示します。

3. EndoLineの位置情報テキストを選択するには、Endolineの行において**説明/位置**フィールドの矢印アイコンをクリックしてください。
   ▶ SICAT Endo 位置情報の一覧を表示します。
4. リストの中で希望する位置情報をクリックしてください。
   ▶ SICAT Endo **説明/位置**フィールドに位置情報を表示します。
5. 変更を適用し、**説明/位置**フィールドを閉じるには、**説明/位置**フィールドの外側をマウスの左ボタンでクリックしてください。

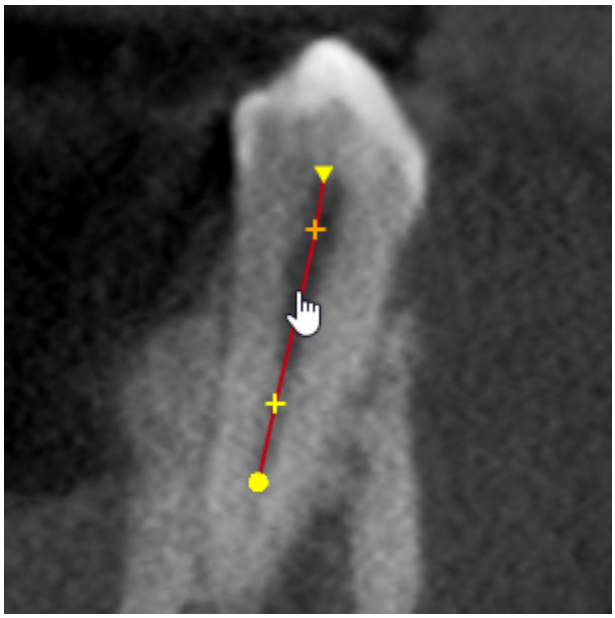
▶ SICAT Endo 新しい説明または位置情報を表示します。

30.6 確認箇所を追加、移動および削除する

ENDOLINEに確認箇所を追加する

EndoLineに確認箇所を追加するには、次の手順に従って行ってください。

1. 確認箇所を追加したいEndoLineの位置にマウスポインタを合わせてください。



► マウスポインタの形が切り替わります。

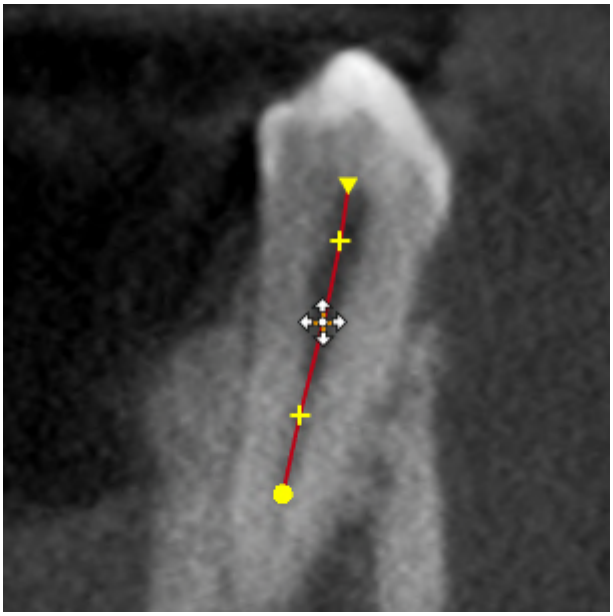
2. そこ位置をダブルクリックしてください。

► SICAT Endo 十字の形で確認箇所を追加します。

ENDOLINEを確認箇所を移動する

EndoLineの確認箇所を移動するには、次の手順に従って行ってください。

1. 移動したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。



▶ マウスポインタの形が切り替わります。

2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。
3. マウスを動かします。
   ▶ 確認箇所はマウスポインタの動きを追従します。
   ▶ SICAT Endo 確認箇所の新し位置に応じてEndoLineを調整します。
4. マウスの左ボタンを放してください。

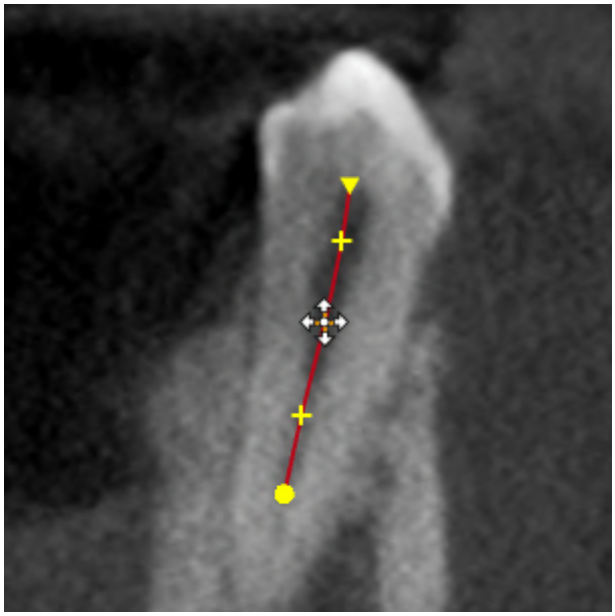
▶ SICAT Endo 確認箇所の現在位置を維持します。

▶ SICAT Endo EndoLineの新しい経路を表示します。

ENDOLINEから確認箇所を削除する

EndoLineから確認箇所を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. 削除したいEndoLineの確認箇所にマウスポインタを合わせてください。



► マウスポインタの形が切り替わります。

2. マウスの左ボタンで確認箇所をクリックしてください。

► SICAT Endo 確認箇所をマーキングします。

3. **Del**ボタンを押します。

► SICAT Endo 確認箇所を削除します。

► SICAT Endo EndoLineを必要に応じて調整します。

最後から2番目の確認箇所を削除すると、EndoLineが完全に削除されますのでご注意ください。

30.7 3Dビューを回転する

3Dビューを回転する機能によって、EndoLineウィザードにおいて3D X線撮影画像の回転モードをオンまたはオフにすることができます。回転モードがオンになっている場合は、SICAT Endoは、3D X線撮影画像を時計回りに回転します。

回転モードを使用するときは、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **3D**ビューはすでに有効になっています。これに関する情報は*ビュー [▶ページ 115 - Standalone]*を参照してください。

1. **3Dビューを回転する**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは選択したセクションの垂直軸を中心に3D X線撮影画像を回転させます。
2. 回転モードを終了するには、もう一度**3Dビューを回転する**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Endoは3D X線撮影画像の回転を終了します。

3Dビューの任意の箇所をクリックして、回転モードを終了させることもできます。

30.8 光学印象を表示する

光学印象に関する一般的な情報は、*光学印象 [▶ページ 154 - Standalone]*の節をご覧ください。

光学印象をすでにインポートして記録している場合は、EndoLineアシスタント機能のビューで光学印象をを表示および非表示にすることができます。

光学印象を表示または非表示にするには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ 希望するビューはすでに有効になっています。これに関する情報は*ビュー [▶ページ 115 - Standalone]*を参照してください。

☑ 1つ以上の光学印象がすでにインポートされ、記録されています。これに関する情報は*光学印象 [▶ページ 154 - Standalone]*を参照してください。

1. 光学印象を表示するには、**オブジェクトを表示する**のボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endoは光学的印象を表示します。

   ▶ SICAT Endoは3D X線撮影画像の表示を更新します。

2. 光学印象を非表示にするには、**オブジェクトを非表示にする**のボタンをクリックしてください。

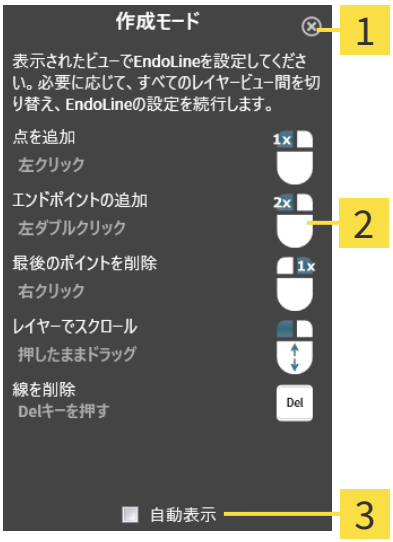
▶ SICAT Endoは光学的印象を非表示にします。

▶ SICAT Endoは3D X線撮影画像の表示を更新します。

光学印象をまだインポート・登録していない場合は、SICAT Endoは、**オブジェクトを表示する**ボタンを**3D**ビューに表示しません。

30.9 マウスボタンを使用する

SICAT EndoはEndoLineを設定するときにマウスボタンを使用する方法を説明する概要を表示します。



1 **閉じる**のボタン

2 図

2 **自動表示**のチェックボックス

マウスボタンに関連付けられているアクションは編集モードによって異なります。

SICAT Endoは以下の編集モードを区別します。

- 作成モード
- 編集モード

編集モードに応じて、さまざまなアクションが使用できます。使用できるアクションは概要に表示され、図で視覚化されます。

ヘルプを表示のボタンで概要を表示させることができます。

概要をドラッグアンドドロップで別の位置に移動することができます。

概要を閉じるには、**閉じる**のボタンをクリックしてください。

自動表示チェックボックスを有効にすると、EndoLineの設定または編集時に概要が自動的に表示されます。

30.10 ドリル穴を計画する

> ⚠ **注意**
>
> **ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。**
>
> 計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

EndoLineウィザードに関する一般情報は、*EndoLineウィザード [▶ページ 187 - Standalone]* をご参照ください。

ステップ**ドリル穴を計画する**では、オーソグレードおよびレトログレードドリル穴をEndoLineに追加・編集することができます。Pro EndoLineには、オーソグレードおよびレトログレードドリル穴をそれぞれ追加することができます。ドリル穴には、常にそれに対応するEndoLineと同じ色が付けられています。

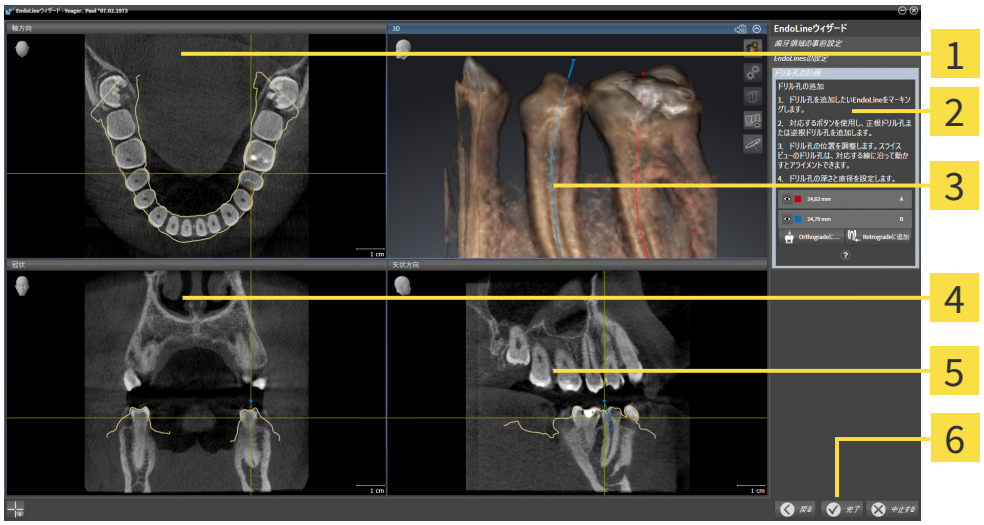
ステップ「ドリル穴を計画する」を開く

☑ ステップ**EndoLinesをセットする**が完了しました。これに関する情報は、*EndoLinesの設定 [▶ページ 199 - Standalone]*をご参照ください。

☑ ステップ**EndoLinesをセットする**は開いています。

- ステップ **EndoLinesをセットする** で、**次へ**ボタンをクリックしてください。

▶ **ドリル穴を計画する**のステップが開きます。



1 **軸方向**-ビュー

2 エリア **ドリル穴を追加する**

3 **3D**-ビュー

4 **冠状**-ビュー

5 **矢状方向**-ビュー

6 ボタン **完了**

オーソグレードドリル穴を計画する

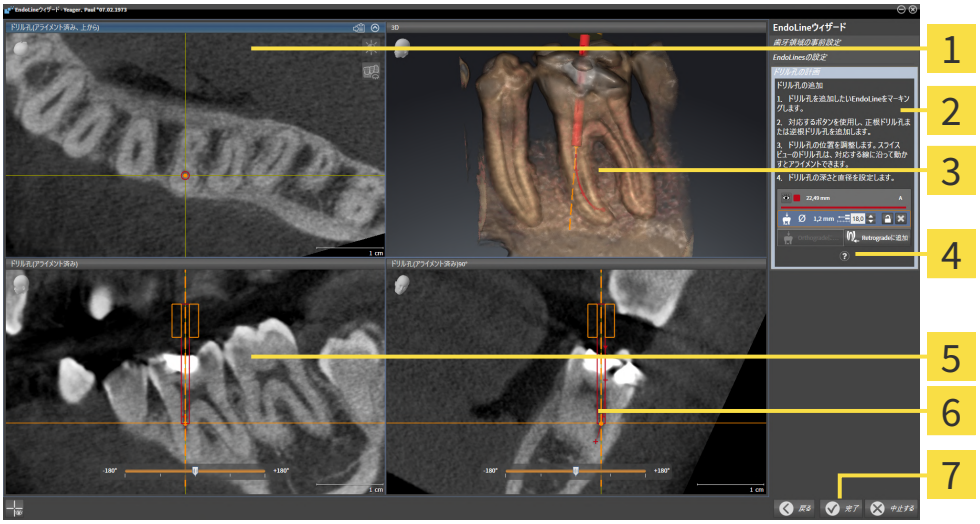
1. **ドリル穴を追加する**エリアにおいて、オーソグレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。

   ▶ SICAT Endo EndoLineをマーキングします。

2. **オーソグレードを追加する**のボタンをクリックしてください。

   ▶ SICAT Endo マーキングされたEndoLineにオーソグレードドリル穴を追加します。

   ▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



1	ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み、上から)**	5	ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み)**
2	エリア **ドリル穴を追加する**	6	ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**
3	**3D**-ビュー	7	ボタン **完了**
4	インフォグラフィック		

3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。

6. マウスの左ボタンを放してください。

   ▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。

   ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。

7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLineに合わせてください。

   ► マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLineとドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

    ► SICAT Endo EndoLineとドリル穴の現在の回転位置を維持します。

    ► SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。

11. 必要に応じて、フィールド**深さ [mm]**の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

    ► SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。

12. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

► EndoLineウィザードが閉じます。

► **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

► SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)、**ドリル穴 (アラインメント済み)**および**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューで**十字線を表示**のボタン、および**十字線を表示しない**のボタンで十字線を表示および非表示できます。

レトログレードドリル穴を計画する

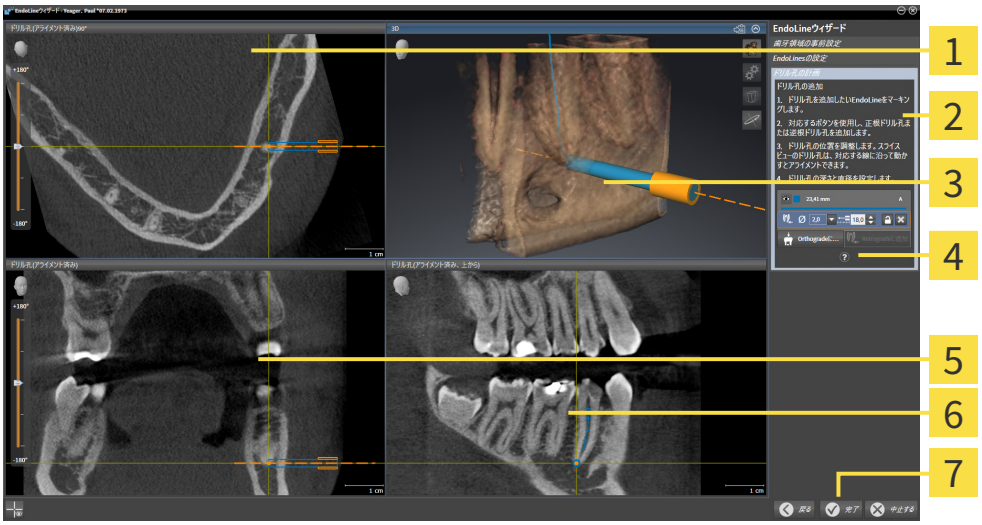
1. **ドリル穴を追加する**エリアにおいて、レトログレードドリル穴を追加したいEndoLineを選択してください。

   ► SICAT Endo EndoLineをマーキングします。

2. **レトログレードを追加する**のボタンをクリックしてください。

   ► SICAT Endo マーキングされたEndoLineにレトログレードドリル穴を追加します。

▶ SICAT Endo 次のようにビューを調整します。



1 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**

2 エリア **ドリル穴を追加する**

3 3D-ビュー

4 インフォグラフィック

5 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み)**

6 ビュー **ドリル穴 (アラインメント済み、上から)**

7 ボタン **完了**

3. EndLineに沿ったドリル穴の位置を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴に合わせてください。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

4. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

5. 希望する位置にドリル穴を移動させてください。

6. マウスの左ボタンを放してください。

   ▶ SICAT Endo ドリル穴の現在位置を維持します。

   ▶ SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。

7. ドリル穴の回転を調整するには、**ドリル穴 (アラインメント済み)**ビューまたは**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューにおいて、マウスポインタをドリル穴以外で EndoLineに合わせてください。

   ▶ マウスポインタの形が切り替わります。

8. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けてください。

9. EndoLineとドリル穴を希望する方向に回してください。

10. マウスの左ボタンを放してください。

► SICAT Endo EndoLineとドリル穴の現在の回転位置を維持します。

► SICAT Endo ドリルチャンネルの変更された位置の他のビューを調整します。

11. 必要に応じて、フィールド**深さ [mm]**の後ろの矢印キーをクリックし、ドリルスリーブの位置を調整することができます。

► SICAT Endo ドリルスリーブの新しい深さを示します。

12. 必要に応じて、**直径 [mm]**フィールドの後ろの矢印アイコンをクリックし、レトログレードドリル穴の直径を調整することができます。

► SICAT Endo 利用可能な直径の一覧を表示します。

13. 希望する直径をクリックしてください。

► SICAT Endo ドリル穴の新しい直径を表示します。

14. ドリル穴の計画を完了するには、**完了**ボタンをクリックしてください。

► EndoLineウィザードが閉じます。

► **口腔内撮影画像**ワークスペースが開きます。

► SICAT Endo 計画されたドリル穴を表示します。

ドリル穴 (アラインメント済み、上から)、**ドリル穴 (アラインメント済み)**および**ドリル穴 (アラインメント済み) 90°**ビューで**十字線を表示**のボタン、および**十字線を表示しない**のボタンで十字線を表示および非表示できます。

ドリル穴をロックする

ドリル穴を変更から保護するために、この機能を使用してください。

ドリル穴をロックするには、次の手順に従って行ってください。

☑ ドリル穴はすでにマーキングされています。

- **オブジェクトをロックする**のアイコンをクリックしてください。

► SICAT Endo 加工のためにドリル穴をロックします。

► SICAT Endo 対応するEndoLineをロックします。

ドリル穴のロックを解除する

ドリル穴のロックを解除するには、次の手順に従って行ってください。

☑ ドリル穴はロックされています。

☑ ドリル穴はすでに有効になっています。

- **オブジェクトのロックを解除する**のアイコンをクリックしてください。

► SICAT Endo ドリル穴のロックを解除します。

► SICAT Endo 対応するEndoLineのロックを解除します。

ドリル穴を削除する

ドリル穴を削除するには、次の手順に従って行ってください。

1. **ドリル穴を追加する**エリアで、削除したいドリル穴を含むEndo計画オブジェクトをクリックしてください。

   ► SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。

2. Endo計画オブジェクトにおいて削除したいドリル穴をクリックしてください。

   ► SICAT Endo ドリル穴をマーキングします。

3. **ドリル穴を削除する**ボタンの行の端部をクリックしてください。

► SICAT Endo ドリル穴を削除します。

ドリル穴の編集がロックされている場合には、対応するEndoLineの編集もできません。EndoLineを編集するためには、対応するドリル穴のロックを解除する必要があります。

31 距離/角度測定

SICAT Endoには2種類の測定タイプがあります：

- 距離測定

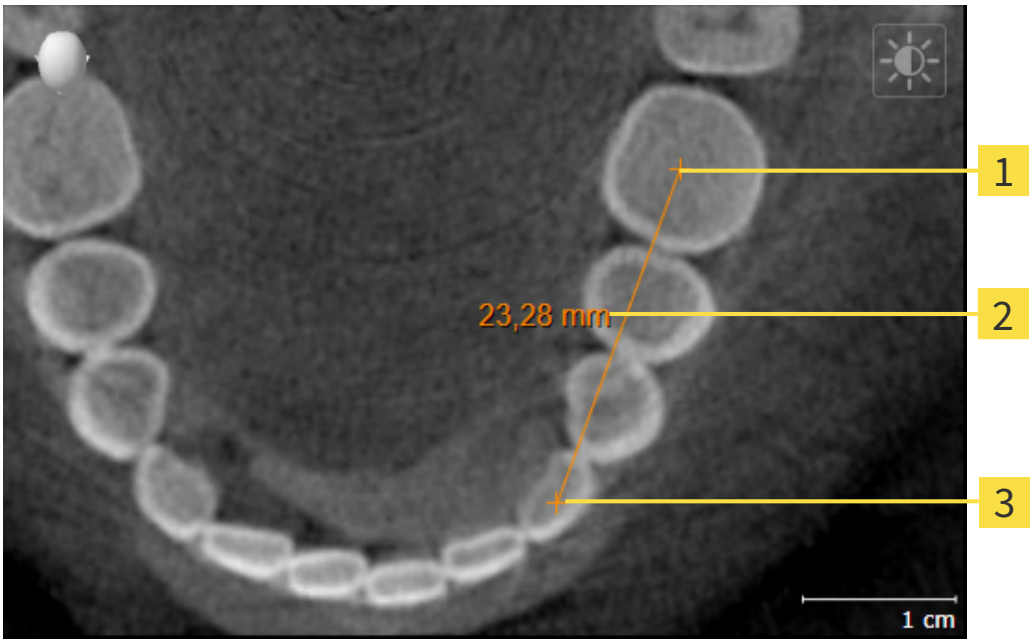
- 角度測定

測定を追加するツールは、**ワークフローのツールバー**の**診断する**に記載されています。すべての2Dレイヤービューに測定を追加することができます。測定を追加する度に、SICAT Endoはその測定を**測定**のグループ**オブジェクトブラウザ**にも追加します。

測定に使用できる操作：

- *距離測定を追加する [▶ページ 216 - Standalone]*
- *角度測定を追加する [▶ページ 217 - Standalone]*
- *測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する [▶ページ 219 - Standalone]*
- 測定のアクティベーション、非表示および表示に関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 100 - Standalone]*をご覧ください。
- 測定に焦点を当てる、測定を削除する、測定操作を元に戻して再度実行する手順に関する情報は、*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 102 - Standalone]*の節をご覧ください。

31.1 距離測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 終点

距離測定を追加するには、次の手順で行います。

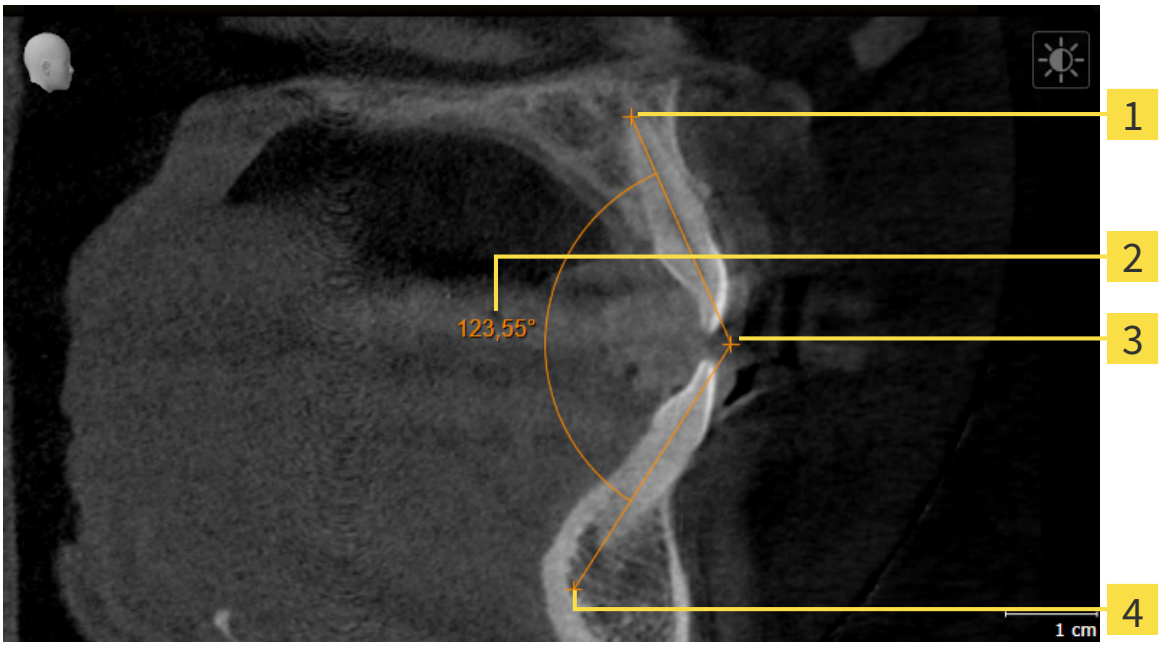
☑ ワークフロー・ステップの**診断する** は、展開させておきます。

1. ワークフローステップ **診断する** で **距離測定を追加する(D)** アイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endo 新しい距離測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 距離測定の始点をクリックします。
   ▶ SICAT Endo は小さい十字で始点を表します。
   ▶ SICAT Endo は始点とマウスポインタ間に距離線を表示します。
   ▶ SICAT Endo 距離線の中央および **オブジェクトブラウザ**に始点とマウスポインタ間の現在の距離を表示します。
4. マウスポインタを距離測定の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

▶ SICAT Endo は小さい十字で終点を表します。

測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

31.2 角度測定を追加する



1 始点

2 測定値

3 頂点

4 終点

角度測定を追加するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークフロー ステップの**診断する**は、すでに開いています。

1. ワークフローステップ**診断する**で**角度測定を追加する(A)**アイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは新しい角度測定を**オブジェクトブラウザ**に追加します。
2. マウスポインタを希望の2Dレイヤビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
3. 角度測定の始点をクリックします。
   ▶ SICAT Endoは小さい十字で始点を表します。
   ▶ SICAT Endoは、角度測定の1本目の辺を始点からマウスポインタまでの線で表します。
4. マウスポインタを角度測定の頂点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoは小さい十字で頂点を表します。
   ▶ SICAT Endoは、角度測定の2本目の辺を頂点からマウスポインタまでの線で表します。
   ▶ SICAT Endoは角度測定の2本の辺の間および**オブジェクトブラウザ**に現在の角度を表示します。

5. マウスポインタを2本目の辺の終点に移動させ、マウスの左ボタンをクリックします。

► SICAT Endoは小さい十字で終点を表します。

測定の追加は、**ESC**を押すことによっていつでも中断することができます。

31.3 測定、個々の測定ポイント、測定値を移動する

測定を移動する

測定を移動させるには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 100 - Standalone]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 102 - Standalone]*を参照してください。

1. マウスポインタを測定の線上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタを任意の測定位置に動かします。
   ▶ 測定はマウスポインタの動きに従います。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントを保持します。

個々の測定ポイントを移動する

個々の測定ポイントを移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 100 - Standalone]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 102 - Standalone]*を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定ポイント上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定ポイントの位置に動かします。
   ▶ 測定ポイントはマウスポインタの動きに従います。
   ▶ マウスを動かすと、測定値は変化します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo は現在の測定ポイントの位置を保持します。

測定値を移動する

測定値を移動するには、次の手順で行います。

☑ SICAT Endo はすでに希望の測定をいずれかの2Dレイヤービューに表示しています。これに関する情報は*オブジェクトブラウザを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 100 - Standalone]* と *オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 102 - Standalone]*を参照してください。

1. マウスポインタを希望の測定値上に動かします。
   ▶ マウスポインタは十字になります。
2. マウスの左ボタンをクリックし、そのまま押し続けます。
3. マウスポインタをご希望の測定値の位置に動かします。
   ▶ 測定値はマウスポインタの動きに従います。
   ▶ SICAT Endo は、測定値と付属の測定間に点線を表示します。
4. マウスの左ボタンを放します。

▶ SICAT Endo は現在の測定値の位置を保持します。

1回の測定の値を移動すると、SICAT Endoはその値を1つの絶対位置に設定します。その数値の位置を、そのときの測定ツールに対する相対位置に戻すときは、その数値をダブルクリックします。

32 患者教化

⚠ **注意**

診断目的のためのレポートの使用は、間違った診断および治療になるおそれがあります。

医療画像の認証と治療計画のためのソフトウェア ユーザーインターフェイスの医療画像には、表示機能のみ使用してください。

患者対応の表示で患者に診断について教化し、治療の効果を明確にすることができます。患者教化は二つのステップで実行されます。

1. SICAT Endo内のあなたのクリニックで
2. レポートによる患者情報を通じて

レポートの内容は説明の間にディスプレイでまとめることができます。

ソースは描画オブジェクトからなる画像とスクリーンショットです。

患者はレポートで論じた結果をよく理解することができ、他の人員にも伝えることができます。

レポートの作成は次の手順で構成されています。

- *画像とスクリーンショットの作成 [▶ページ 222 - Standalone]*
- *レポートを準備する [▶ページ 225 - Standalone]*
- *レポートを作成する [▶ページ 229 - Standalone]*

32.1 画像とスクリーンショットの作成

患者教化に関する一般的な情報は患者教化の節をご覧ください。

画像とスクリーンショットの管理に関する一般的な情報は*SICAT Endoオブジェクト [▶ページ 104 - Standalone]*に記載されています。

描画ツールは2種類あります。

- **矢印を描く**
- **円を描く**

矢印を描く

矢印を描くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ すでにボリュームを要件に応じて調整済みです。これに関する情報は*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 145 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**説明する**は、すでに開いています。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 矢印の先端の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
4. マウスを動かします。
   ▶ SICAT Endoはビューに矢印を表示します。
   ▶ これ以後、矢印終点はマウスポインタの位置に一致します。
5. マウスポインタを希望する矢印終点位置に移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ SICAT Endoはビューに完成した矢印を表示します。
   ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
   ▶ 画像は**レポート作成**ウィンドウにあります。
6. **矢印を描く**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoは矢印の描画モードを終了します。

円を描く

円を描くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ すでにボリュームをフランクフルト水平などの要件に応じて調整済みです。これに関する情報は*ボリュームの配置を調整する [▶ページ 145 - Standalone]*を参照してください。

☑ ワークフロー ステップの**説明する**は、すでに開いています。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ**説明する**で**円を描く**アイコンをクリックします。
2. マウスポインタを希望のビュー上に動かします。
   ▶ マウスポインタはペンになります。
3. 円の中心の希望する位置をクリックし、マウスの左ボタンをそのまま押し続けます。
4. マウスを動かします。
   ▶ SICAT Endoはビューに円を表示します。
   ▶ これ以後、円の半径は中心とマウスポインタの位置間の距離に一致します。
5. マウスポインタを希望する半径に到達するまで移動し、マウスの左ボタンから指を放します。
   ▶ SICAT Endoはビューに完成した円を表示します。
   ▶ まだ存在しない場合は、SICAT Endoは**画像**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成します。
   ▶ 画像は**レポート作成**ウィンドウにあります。
6. **円を描く**のアイコンをクリックします。

▶ SICAT Endoは円の描画モードを終了します。

描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**が有効な間は、複数の描画オブジェクトを続けて作成することができます。描画ツールの使用を中断するには、希望のビューの外位置をクリックまたは**ESC**ボタンを押します。

描画ツールの設定

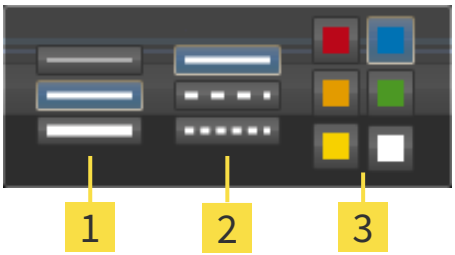
描画ツール**矢印を描く**または描画ツール**円を描く**を個別に設定することができます。設定の変更は、その後作成した描画オブジェクトにのみ該当します。

描画ツールを設定するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ ワークフロー ステップの**説明する**は、すでに開いています。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

1. ワークフローステップ**説明する**で**矢印を描く**アイコンの隣、もしくは**円を描く**アイコン、それに属する**描画ツールの設定**アイコンをクリックします。

► **描画ツールの設定**の透明なウィンドウが開きます。



1 **線の太さ**のアイコン

2 **線の種類**のアイコン

3 **線の色**のアイコン

2. 描画ツールの**線の太さ**、**線の種類**および**線の色**を設定するには、希望するアイコンをクリックしてください。
3. **描画ツールの設定**の透明なウィンドウ外側の任意の点をクリックします。

► SICAT Endoは**描画ツールの設定**の透明なウィンドウを閉じます。

► SICAT Endoは設定をユーザープロファイルに保存します。

► SICAT Endoは、新規設定を今作成した描画オブジェクトに適用します。

スクリーンショットを「レポート作成」ウィンドウに追加します

それぞれのビューに**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl+C）**アイコンが含まれている場合、各ビューのスクリーンショットを各ワークスペースやウィンドウに作成することができます。

スクリーンショットをレポートに追加するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. ビューのスクリーンショットを作成するには希望するビューの**画像のツールバー**内で**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl+C）**アイコンをクリックしてください。
2. ワークスペース全体のスクリーンショットを作成するには**ワークスペースのツールバー**内で**スクリーンショットをクリップボードにコピーする（Ctrl+C）**アイコンをクリックしてください。

► SICAT Endoは**スクリーンショット**オブジェクトに必要な構造を**オブジェクトブラウザ**に作成し、オブジェクトを有効にします。

► スクリーンショットは**レポート作成**ウィンドウにあります。

► SICAT Endoはスクリーンショットをクリップボードにコピーします。

*レポートを準備する [▶ページ 225 - Standalone]*で続行してください。

32.2 レポートを準備する

患者教化に関する一般的な情報は*患者教化 [▶ページ 221 - Standalone]*の節をご覧ください。

レポートの準備するために使用できる操作は以下の通りです。

- **レポート作成**のウィンドウを開く
- レポート設定の変更
- 要素を準備する

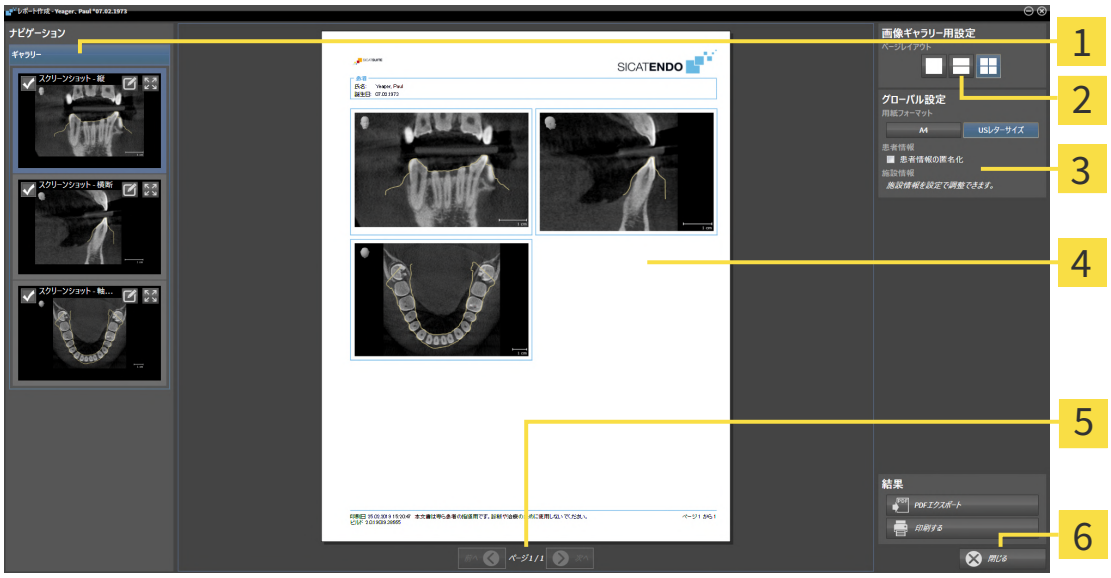
「レポート作成」のウィンドウを開く

☑ 少なくとも、**画像**オブジェクトまたは**スクリーンショット**オブジェクトを作成しました。

☑ ワークフロー ステップの**説明する**は、すでに開いています。これに関する情報はワークフローのツールバーを参照してください。

- **レポートを作成する**のアイコンをクリックします。

▶ **レポート作成**のウィンドウが開きます。



1	**ギャラリー**エリア	4	プレビュー
2	画像配置用ボタン	5	ページナビゲーション
3	**グローバル設定**エリア	6	**閉じる**のボタン

レポート設定の変更

☑ **レポート作成**のウィンドウはすでに開いています。

1. **画像ギャラリー用設定**エリアで希望する画像配置用のアイコンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoが選択した設定に対応する画像を表示します。

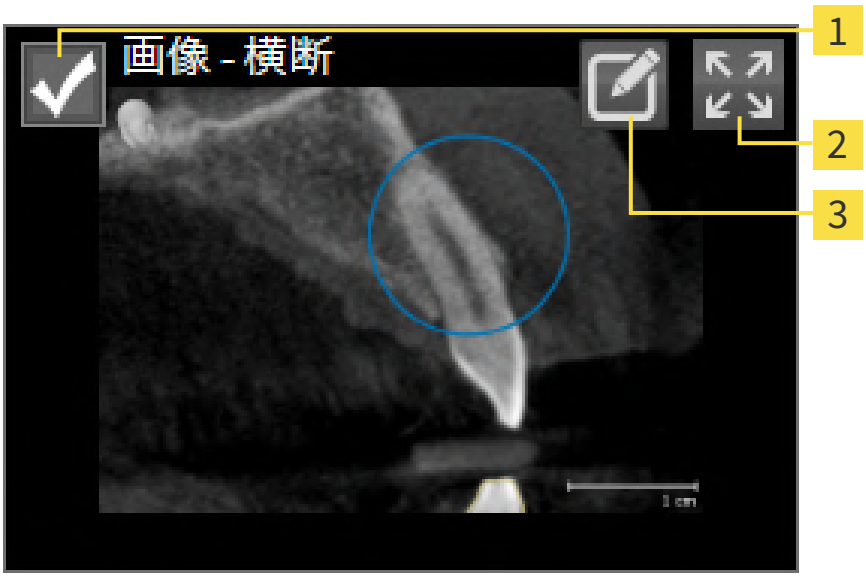
2. **グローバル設定**エリアで希望の用紙サイズのボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Endoが選択した設定に対応して用紙サイズを変更します。
3. **患者情報の匿名化**のチェックボックスを有効または無効にします。
   ▶ SICAT Endoが、選択した設定に応じて実際の患者情報または匿名化された患者情報をレポート上に表示します。

レポートのための要素を準備する

レポート作成ウインドウは**画像**オブジェクトからスクリーンショット、**スクリーンショット**オブジェクトからスクリーンショットを表示します。これに関する情報は*画像とスクリーンショットの作成 [▶ページ 222 - Standalone]*を参照してください。

レポート用の要素の準備は以下の手順に沿って、操作を行ってください。

☑ **レポート作成**のウィンドウはすでに開いています。



1 非表示および再表示用のチェックボックス

2 **それぞれのページに画像を表示**アイコン

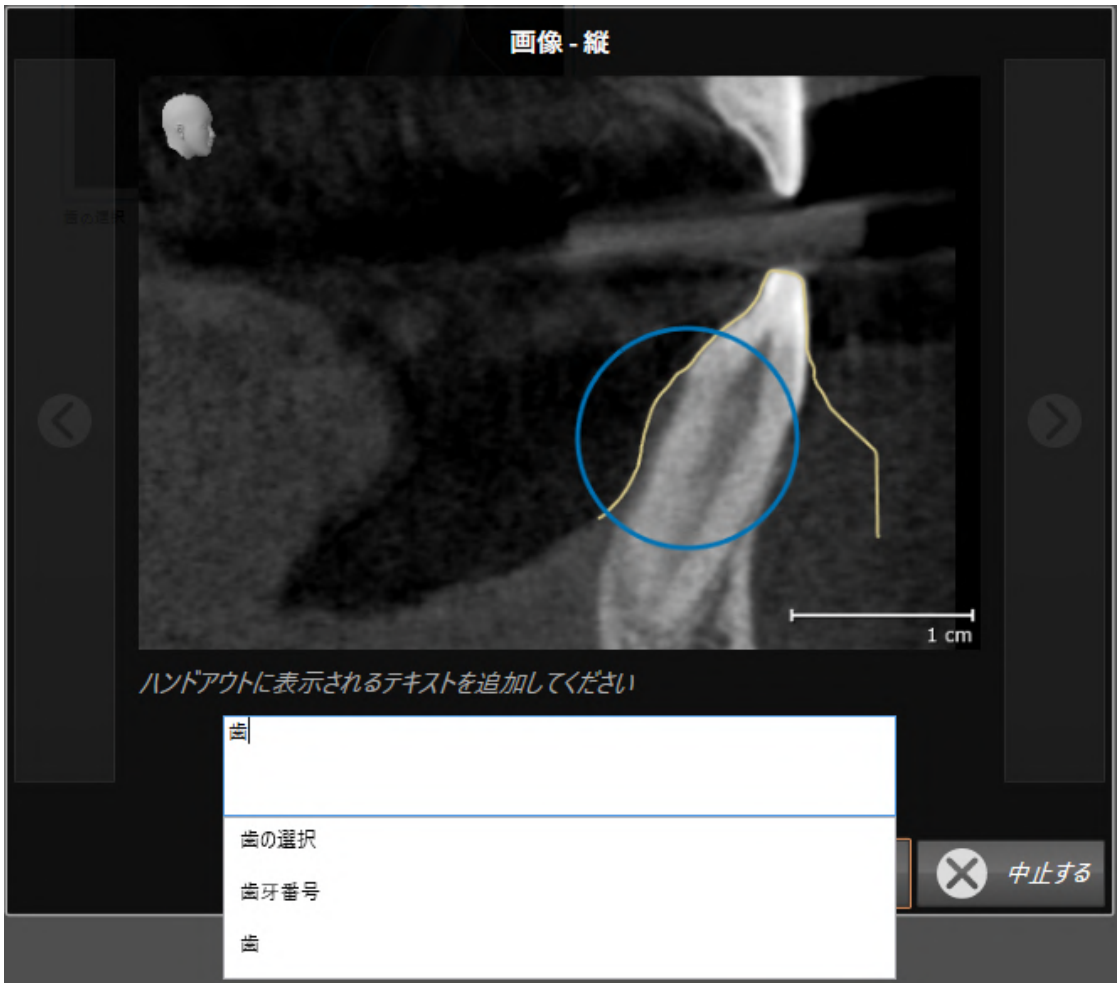
3 **画像記述を編集する**アイコン

1. レポート内の要素を非表示にしたい場合は、要素のチェックボックスを無効にします。
   ▶ SICAT Endoがレポート内の要素を非表示にします。

2. SICAT Endoで画像を個別に片側に表示したい場合は**それぞれのページに画像を表示**アイコンをクリックしてください。

3. 要素に説明を追加したい場合は、要素の**画像記述を編集する**アイコンをクリックしてください。

▶ SICAT Endoは要素の拡大バージョンとテキスト入力欄を表示します。



4. テキスト入力欄にテキストを入力してください。

   ▶ 既存のテキストブロックテキストの一部を入力した場合、SICAT Endoはテキストブロックのリストを表示します。

5. 希望のテキストブロックをクリックします。

   ▶ SICAT Endoがテキストブロックをテキスト入力欄に追加します。

6. 希望したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、新しいテキストを入力してください。

7. **OK**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Endoがテキストをスクリーンショットの説明として保存します。

   ▶ 入力したテキストがテキストブロックとして存在しない場合は、SICAT Endoが説明を新しいテキストブロックとしてユーザープロファイルに保存します。

8. レポートの要素の順序を変更したい場合は、ドラッグ＆ドロップで調整してください。

マウスポインタをテキストブロック上に動かすと、SICAT Endoが**テキストブロックをリストから削除する**アイコンを表示します。**テキストブロックをリストから削除する**アイコンをクリックすると、SICAT Endoがテキストブロックをユーザープロファイルから削除します。

次のアイテムボタンと**直前のアイテム**ボタンをクリックすることにより、要素の拡大バージョンを示しているウインドウで要素間の切り替えができます。

オブジェクトブラウザで要素をレポートから完全に削除することができます。これに関する情報は*オブジェクトツールバーを使用したオブジェクトの管理 [▶ページ 102 - Standalone]*を参照してください。

*レポートを作成する [▶ページ 229 - Standalone]*で続行してください。

SICAT Endo は医療所ロゴおよび情報テキストを一般設定から引き継ぎます。この表示に関する内容は、*歯科医院情報の使用 [▶ページ 255 - Standalone]*の節をご覧ください。

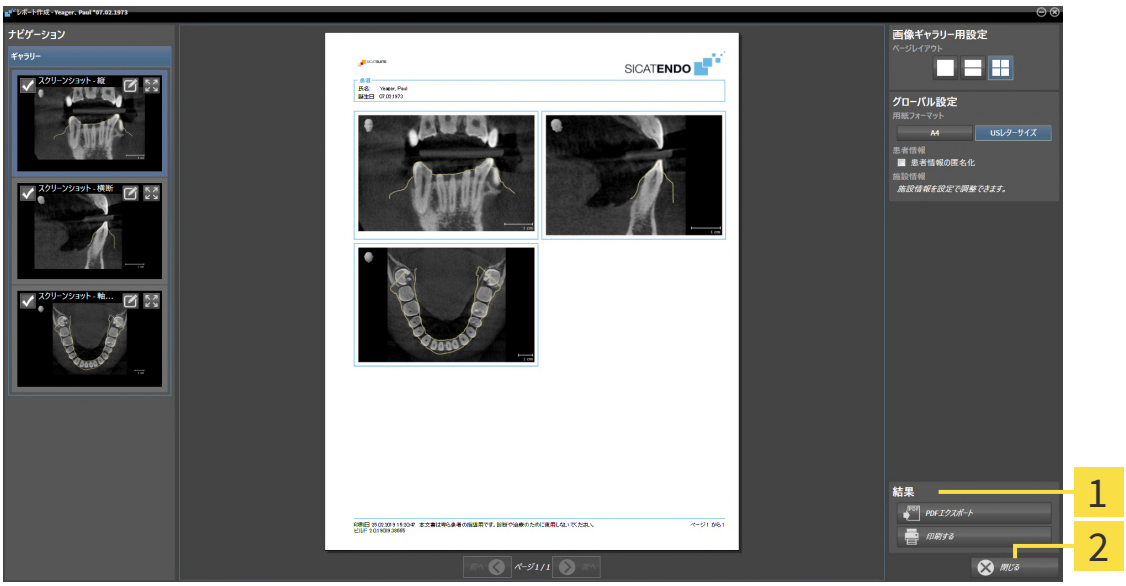
32.3 レポートを作成する

レポートを作成するために使用できる操作：

- レポートをPDFファイルで保存する
- レポートを印刷

レポートをPDFファイルで保存する

☑ **レポート作成**ウィンドウはすでに開いています。



1 **出力**コーナー

2 **閉じる**のボタン

1. **出力**のエリアで、**PDFエクスポート**のボタンをクリックします。
   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。
2. レポートを保存するディレクトリを変更してください。
3. **ファイル名**欄に名前を入力し、**保存**をクリックします。

▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが閉じます。

▶ SICAT Endoはレポートを PDFファイルで保存します。

SICAT EndoはPDFファイルも暗号化して患者ファイルに保存します。

レポートを印刷

適切な品質のレポートには特定の要件を満たしたプリンターが必要です。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 9 - Standalone]*を参照してください。

☑ **レポート作成**のウィンドウはすでに開いています。

1. **印刷する**のボタンをクリックします。
   ▶ **印刷する**のウィンドウが開きます。
2. 希望するプリンターを選択し、必要とあればプリンター設定を調整してください。
3. **印刷する**をクリックします。

▶ SICAT Endoはプリンターにレポートを送信します。

33 データエクスポート

データをエクスポートすることができます。

現在開いている患者ファイルのスタディをエクスポートすることができます。

SICAT Suiteは以下のデータをエクスポートすることができます。

- 患者ファイル（DICOM）
- 3Dスタディ
- 文書

エクスポートしたデータには次の要素が含まれています。

データタイプ	エクスポートフォーマット
3D撮影画像	DICOM
3Dスタディ	SICAT所有者
文書	PDF

SICAT Suiteでは、3D X線撮影画像とスタディのエクスポートにあたって、ZIP形式の圧縮ファイルか、または、DICOMディレクトリのいずれかを利用します。必要な場合、SICAT Suiteは患者ファイルをエクスポートのために匿名化することができます。

文書をエクスポートするには、**3D撮影図と計画プロジェクト**エリアの文書を選択し、**エクスポート**ボタンをクリックします。その後、Windows ファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポート先のディレクトリを選択することができます。

データをエクスポートするには、次の操作を規定の手順で実行します。

- **データを共有する**ウインドウを開く。これに関する情報は*「データの転送」ウィンドウを開く [▶ページ 232 - Standalone]*を参照してください。
- 希望のデータをエクスポートします。これに関する情報は*データのエクスポート [▶ページ 233 - Standalone]*を参照してください。

33.1 「データの転送」ウィンドウを開く

データをエクスポートするにはまず**データを共有する**ウィンドウを開く必要があります。

SICAT Suiteのスタンドアロンバージョンで **データを共有する**ウインドウを開くには、次の操作のうちいずれかを実行します：

- 患者ファイルが有効になっている場合、**ナビゲーションバー**で**データを共有する**アイコンをクリックします。

► **データを共有する** のウィンドウが開きます。

- **SICAT Suiteホーム** のウィンドウで、**データを共有する**のボタンをクリックします。

► **データを共有する** のウィンドウが開きます。

- **アクティブな患者ファイル**ウインドウで3D X線撮影図、スタディまたは計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**ボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、選択したデータに関する**データを共有する**ウインドウが開きます。

- **患者ファイルの概要**ウインドウで患者ファイルを選択し、選択した患者ファイルを転送するボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、**データを共有する**ウインドウが開きます。患者ファイルの全ての3D X線撮影図と計画プロジェクトをエクスポートするために選択します。

- **患者ファイルの概要**ウインドウで3D X線撮影図または計画プロジェクトを選択し、**データを共有する**ボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは患者ファイルを有効にし、**データを共有する**ウインドウが開きます。

SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルの選択した3D X線撮影画像と計画プロジェクトのみエクスポートします。

*データのエクスポート [▶ページ 233 - Standalone]*で続行してください。

33.2 データのエクスポート

スタディをエクスポートするには、次の手順で行います。

☑ **データを共有する**ウインドウはすでに開いています：これに関する情報は*「データの転送」ウィンドウを開く [▶ページ 232 - Standalone]*を参照してください。

1	チェックボックス **匿名にする**
2	患者ファイルの特性
3	3Dスタディのリスト
4	欄 **目的のパスを選択してください。**
5	ボタン **データを共有する**
6	チェックボックス **結果をZipファイルにする**

1. 希望する場合、**データを共有する**ウインドウで**匿名にする**のチェックボックスにチェックを入れます。

   ▶ エクスポートした患者ファイルの特性は、**姓**（**患者**）、**名**（**匿名**）、**1月1日**（**誕生日**が誕生年月）に変わります。患者ファイリング内の患者ファイルの特性は変更されません。

2. 希望の患者の任意の3Dスタディが選択されていることを確認してください。

3. **検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ **フォルダを検索する** のウィンドウが開きます。

4. **フォルダを検索する**ウインドウでエクスポート先フォルダを選択し、**OK**をクリックします。

   ▶ **フォルダを検索する**ウインドウが閉じ、SICAT Suiteが任意のフォルダへのパスを**目的のパスを選択してください。**欄に転記します。

5. **結果をZipファイルにする**のチェックボックスをアクティブまたは無効にします。

6. **データを共有する**のボタンをクリックします。

► SICAT Suiteは選択したスタディをZIP形式の圧縮ファイルか、または、選択したフォルダにエクスポートします。

ZIP形式の圧縮ファイルとフォルダの両者いずれにおいても、それぞれで保存されるのは、DICOM形式の3D X線撮影画像、および、ファイル形式がプロプライエタリ・フォーマットの治療計画データです。3D X線撮影画像は、すべてのDICOMビューワで確認できますが、治療計画データは、SICATの各種アプリケーションのうち、そのデータが関係するものを使用します。

34 注文プロセス

希望の製品を注文するには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

- SICAT Endoで、サージカルガイドのための希望する計画データをショッピングカートに入れます。これに関する情報は*ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる [▶ページ 236 - Standalone]*を参照してください。
- ショッピングカートを確認し、注文を開始します。これに関する情報は*カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 241 - Standalone]*を参照してください。
- 注文は、SICAT Suiteが作動しているコンピューターで直接終了するか、インターネットに接続されている別のコンピューターで終了します。これに関する情報は*インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ページ 242 - Standalone]*もしくは*インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ページ 246 - Standalone]*を参照してください。

様々な患者、3D X線撮影図およびアプリケーションに属する注文をショッピングカートに追加することができます。ショッピングカートの内容は、SICAT Suite終了時も保持されます。

34.1 ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる

⚠ 注意	**注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。** 注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。

⚠ 注意	**注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。** 1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。 2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

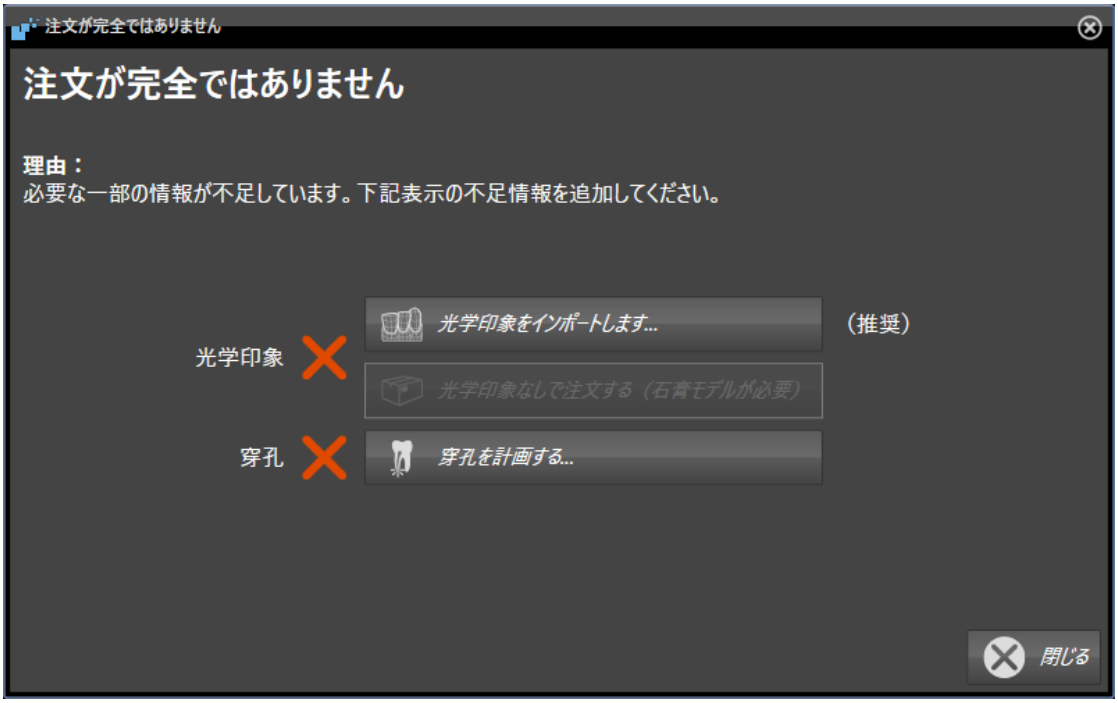
注文プロセスに関する一般的な情報は、*注文プロセス [▶ページ 235 - Standalone]*をご参照ください。

SICAT Endoで注文プロセスの最初のステップとして、**SICATアクセスガイド**ドリルテンプレートをショッピングカートに入れてください。**SICATアクセスガイド**をショッピングカートに入れるためには、特定の条件を満たす必要があります。すべての条件をまだ満たしてない場合は、SICAT Endoを参照してください。

充足されていない前提条件があるとき

☑ ワークフロー・ステップ**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 95 - Standalone]*をご参照ください。

1. **SICAT ENDOGUIDEを注文します**のアイコンをクリックしてください。
   ▶ **注文が完全ではありません** のウィンドウが開きます。



2. 光学印象をまだ登録していない場合は、**光学印象をインポートします**ボタンをクリックし、3D X線撮影画像に合う適切な光学印象をインポートしてください。これに関する情報は、*光学印象 [▶ページ 154 - Standalone]*をご参照ください。

3. ドリル穴をまだ計画していない場合は、**ドリル穴を計画する**ボタンをクリックし、ドリル穴を設定してください。これに関する情報は、*ドリル穴を計画する [▶ページ 209 - Standalone]*をご参照ください。

場合によっては、光学印象をインポートする前にボリュームの配置およびパノラマ曲線を調整する必要があります。**ボリュームの配置およびパノラマ エリアを調整する**ウィンドウを**光学印象をインポートし記録する**ウィンドウからステップ **登録する**で直接呼び出すことができます。直接呼び出すにはボタン**パノラマ エリアを調整する**をクリックします。これに関する情報は*パノラマ エリアを調整する [▶ページ 150 - Standalone]*を参照してください。

光学印象の代わりにギブスをSICATに送信したい場合は、**注文が完全ではありませんウインドウの光学印象なしで注文する（石膏モデルが必要）**ボタンをクリックし、ドリルテンプレートを光学印象なしでショッピングカートに入れることができます。その後、ステップ**ドリルテンプレートを注文する**は情報**この注文には光学印象は含まれていません。該当する石膏モデルをSICATまでお送りください。**のを示します。

前提条件がすべて充足されているとき

☑ 少なくとも1つの光学印象をすでにインポート済みです。

☑ EndoLinesをすでに設定済みです。

☑ ドリル穴をすでに設定済みです。

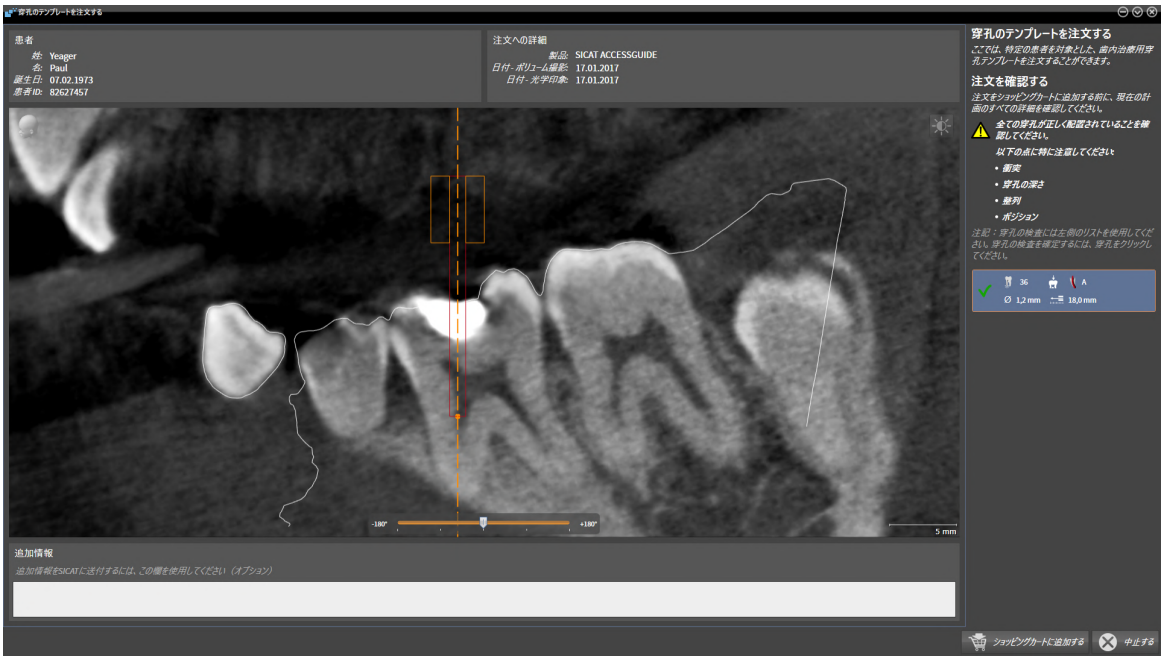
☑ ワークフロー・ステップの**注文する**は、展開させておきます。これに関する情報は、*ワークフローのツールバー [▶ページ 95 - Standalone]*をご参照ください。

- **SICAT ENDOGUIDEを注文します**のアイコンをクリックしてください。

► **ドリルテンプレートを注文する** のウィンドウが開きます。

ウインドウで注文を確認してください ドリルテンプレートを注文する

☑ **ドリルテンプレートを注文する**ウインドウはすでに開いています：



1. 患者情報と撮影図情報が正しいかどうか**患者**エリアと**注文への詳細**エリアを確認してください。
2. すべてのドリル穴が正しく配置されていることを確認してください。
3. ドリル穴のテストを確認するには、**注文を確認する**エリアで対応するEndo計画オブジェクトをマーキングしてください。
   ▶ SICAT Endo Endo計画オブジェクトをマーキングします。
4. チェックマークを入れてください。
   ▶ SICAT Endo 緑色のチェックマークを表示します。
5. 注文に含まれているすべてのドリル穴で手順を繰り返してください。
6. 希望する場合、**追加情報**欄にSICATの追加情報を入力します。

7. **ショッピングカートに追加する**のボタンをクリックしてください。

▶ SICAT Endo **SICATアクセスガイド**のための希望する治療計画データをSICAT Suiteのショッピングカートに入れます。

▶ **ドリルテンプレートを注文する**ウイドウが閉じます。

▶ SICAT Endo SICAT Suiteのショッピングカートを開きます。

すべての計画されたドリル穴を点検し、各ドリル穴の点検を確認した場合、注文品をショッピングカートに入れることができます。

ドリル穴の点検においてエラーが見つかったにもかかわらず、既にチェックマークで点検を確認してしまった場合には、**中止する**ボタンをクリックし、その後、再び注文品点検のためのステップを実行してください。

注文がショッピングカート内にある間は、計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きすることはできません。これは、注文を終了するか削除した場合において初めて可能です。計画の光学印象、EndoLineおよびドリル穴を上書きまたは削除した場合は、同じドリルテンプレートを再度注文することはできません。

中止するをクリックすると、注文をキャンセルできます。

*カートをチェックして、注文プロセスを完了する [▶ページ 241 - Standalone]*を継続してください。

34.2 カートを開く

カートアイコンでは、カート内にあるアイテムの数量を示しています。

☑ カートには、製品を1個以上、入れておきます。

- ショッピングカートをまだ開いていない場合、**ナビゲーションバー**の**カート**のボタンをクリックします。

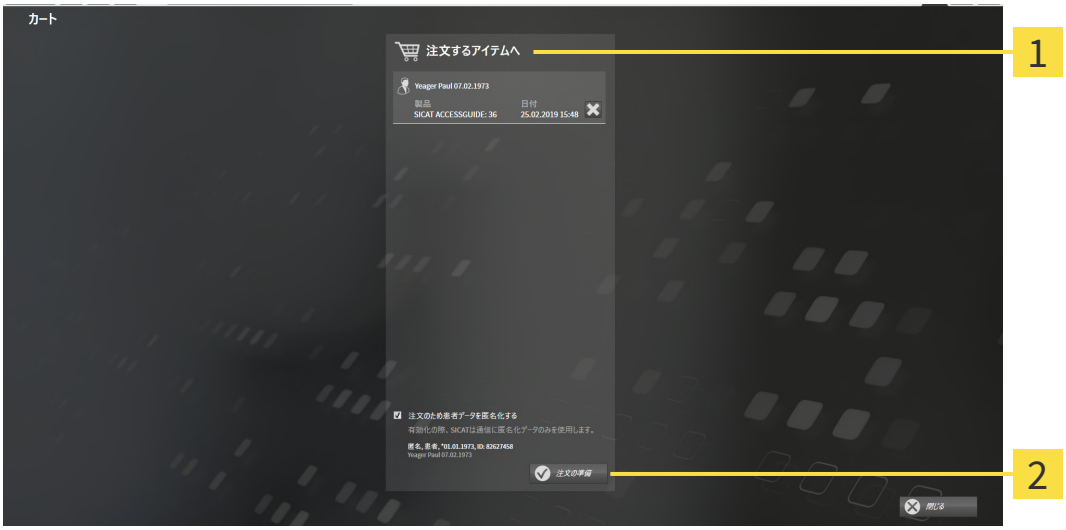
► **カート**のウィンドウが開きます。

以下の操作で、処理を続けてください。

- *カートをチェックして、注文プロセスを完了する [► ページ 241 - Standalone]*

34.3 カートをチェックして、注文プロセスを完了する

☑ **カート**のウィンドウはすでに開いています。これに関する情報は*カートを開く [▶ページ 240 - Standalone]*を参照してください。



1 **注文するアイテムへ**のリスト

2 **注文の準備**のボタン

1. **カート**ウィンドウで、希望の製品が含まれてるか確認します。
2. **注文のため患者データを匿名化する**のチェックボックスを有効または無効にします。
3. **注文の準備**のボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteは注文状況を**準備中**にし、さらに、SICAT WebConnector経由で、SICATサーバーに接続します。

▶ インターネットに接続して注文した場合、注文の変更はSICATポータルでのみ可能です。

以下の操作を続行します：

- *インターネット接続を使用した注文の終了 [▶ページ 242 - Standalone]*
- *インターネット接続を使用しない注文の終了 [▶ページ 246 - Standalone]*

34.4 インターネット接続を使用した注文の終了

Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならないときがあります。

☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されています。

☑ チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**は有効になっています。これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 251 - Standalone]*を参照してください。

☑ SICATポータルは自動的にブラウザで開かれました。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
   ▶ 注文一覧が開き、含まれている製品および価格が患者毎にグループ分けして表示されます。
2. *SICATポータルでの注文手順 [▶ページ 243 - Standalone]*の指示に従ってください。

▶ SICAT Suiteはアップロード用の注文データを準備します。

▶ 準備が完了すると、SICAT WebConnectorは注文データを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

▶ ショッピングカートの注文状況が**アップロードする**に変わります。

SICAT Suiteでは、アップロードが完了するまで、注文内容の表示を続けます。複数のコンピュータで、同じ患者ファイルフォルダーを開いているときは、注文をアップロードしているのが別のコンピュータであっても、すべてのコンピュータで、その注文内容が表示されます。注文内容のアップロードを開始したコンピュータであれば、そのコンピュータで、注文プロセスを一時停止する、再開する、キャンセルするの各操作を行うことができます。

アップロード中にWindowsをログオフすると、SICAT WebConnectorはアップロードを一時停止します。ソフトウェアは再度ログオン後に、自動的にアップロードを続行します。

34.5 SICATポータルでの注文手順

SICAT Suiteで注文プロセスを実行して完了したら、お手元の標準ブラウザでSICAT Portalのページが開きます。SICAT Portalでは、ご自分の注文内容をカスタマイズして、製作依頼先にする、有資格の歯科技工所を選択し、製品の価格を確認できます。

SICAT Portalで注文プロセスを実行するには、次の手順で行います。

1. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。
2. 希望の製品が含まれてるか確認します。
3. 必要に応じて、患者および付属の全製品を注文一覧から除去してください。注文を完了すると、SICAT Suiteでは、SICAT Portalで実施した変更内容が適用されます。
4. 請求書送付先と配送先住所が正しいか確認してください。正しくない場合修正してください。
5. 希望の配達方法を選択してください。
6. 一般条件を承認し、注文を提出してください。

患者を選択し、患者の削除のボタンをクリックすることにより、患者および全ての付属スプリントをSICATポータルから除去することができます。その後、ショッピングカートでは再び製品の構成にフルアクセスすることができます。

34.6 SICAT WEBCONNECTOR

SICAT WebConnectorはSICATサーバーとの通信用に特定のポートを必要とします。これに関する情報は*システム要件 [▶ページ 9 - Standalone]*を参照してください。

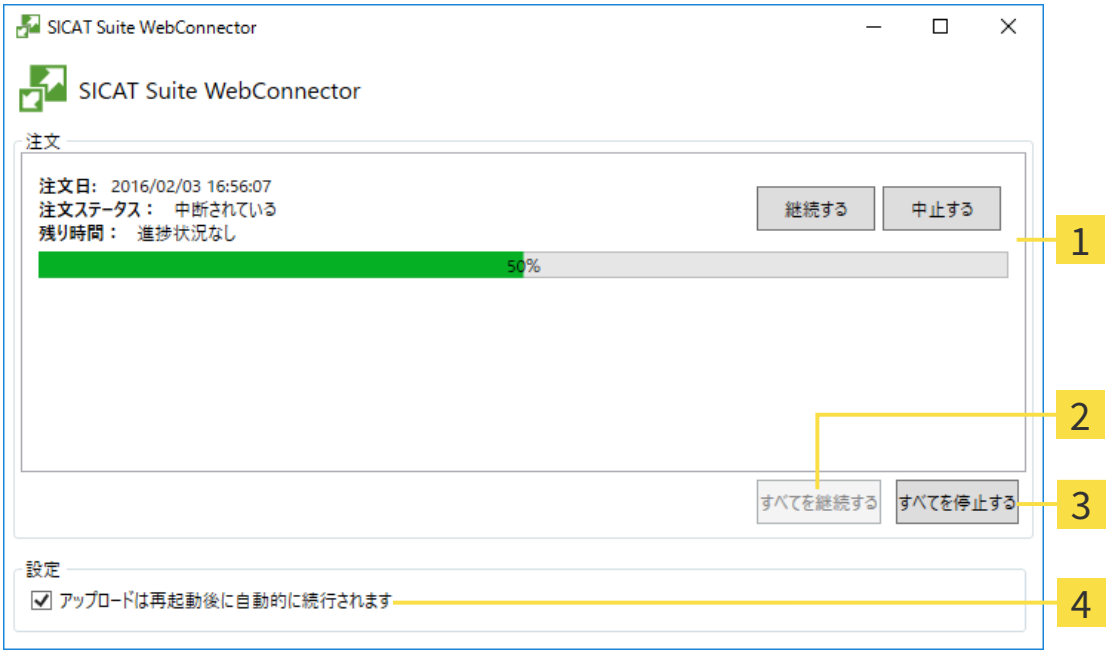
Windowsのバージョンによっては、注文プロセスを行うために、標準的なWebブラウザに設定しなければならないときがあります。

SICAT Suiteを実行させているコンピュータがインターネットに接続できるときは、SICAT Suiteで、ご自分の注文内容がバックグラウンドで暗号化され、WebConnector経由で送信されます。SICAT Endo 直接、カートから送信のステータスを表示しますので、SICAT WebConnectoを一時停止させることがあります。SICAT WebConnectorが送信を再開するのは、SICAT Suiteを閉じて終了させた後になります。ご希望に沿ってアップロードが行われないことがありますが、そのときは、SICAT WebConnectorのユーザーインターフェースを開いてください。

「SICAT SUITE WEBCONNECTOR」のウィンドウを開く

- タスクバーの通知ウィンドウで、**SICAT Suite WebConnector**アイコンをクリックします。

▶ **SICAT Suite WebConnector** のウィンドウが開きます。



1 リスト **注文**

2 ボタン **すべて再開する**

3 ボタン **すべて停止する**

4 チェックボックス **再起動後にアップロードを自動で再開する**

注文 のリストには、処理待機中の注文内容が表示されます。

アップロードの中断および続行

アップロードの処理は、中断させることができます。この操作は、例えば、お使いのインターネット接続で負荷が過大なときに役立ちます。設定内容で制御する対象は、SICAT WebConnectorでのアップロード処理に限定されています。Webブラウザを利用するアップロード処理は、この操作の影響を受けません。

☑ **SICAT Suite WebConnector**ウインドウはすでに開いています：

1. **すべて停止する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを中断します。

2. **すべて再開する**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT WebConnectorでは、すべての注文について、アップロードを再開します。

再起動後の自動アップロード再開をオフにする

Windowsを再起動しても、SICAT WebConnectorでアップロードが自動で再開することがないようにすることができます。

☑ **SICAT Suite WebConnector**ウインドウはすでに開いています：

- **再起動後にアップロードを自動で再開する**のチェックボックスで、チェックマークを外します。

▶ お手元のコンピュータを再起動させても、SICAT WebConnectorでは、ご自分の注文のアップロードが自動で再開することは、なくなります。

34.7 インターネット接続を使用しない注文の終了

SICAT Suiteを起動しているコンピューターにSICATサーバーとの接続が確立できない場合、SICAT Suiteが**SICAT Suite - SICAT サーバーに接続できない**ウィンドウを開きます。ウィンドウは問題に対する以下の原因を表示します。

- **インターネット接続が利用できません。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。**
- **SICATポータルにアクセスできません。**
- **「SICATWebConnector」サービスがインストールされていません。**
- **「SICATWebConnector」サービスが起動していません。**
- **未知のエラーが発生しました。SICAT WebConnectorはSICATサーバーへの接続を確立できません。**

この章ではインターネット接続が使用できない場合のみを対象にスクリーンショットを示しています。

その原因の下で可能な問題を解決できる手順を発見します。

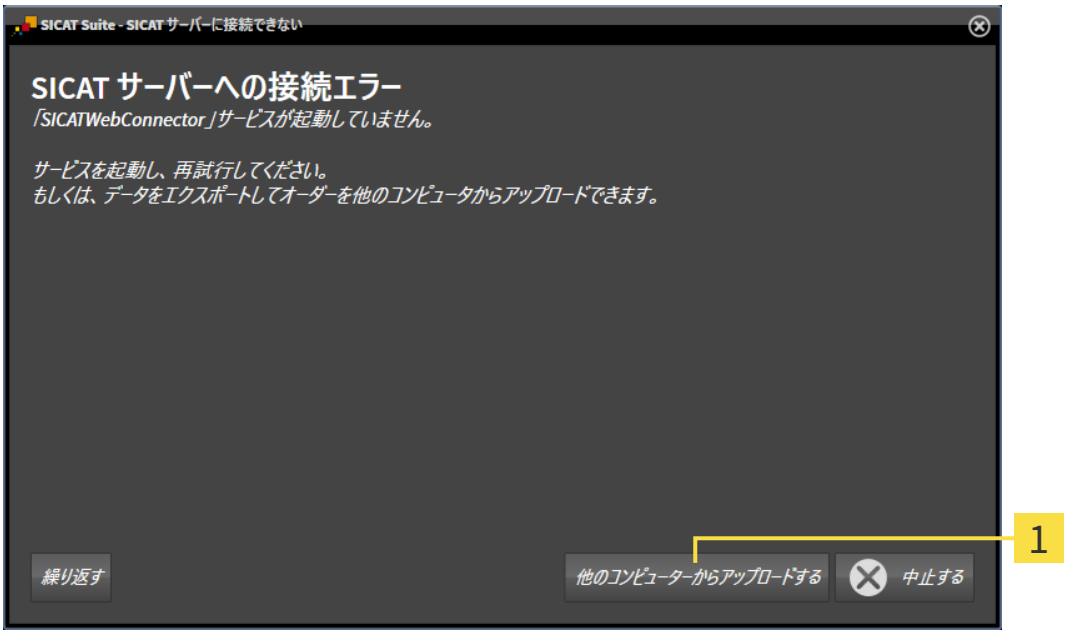
一般タブの設定で、チェックボックス**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**を無効にした場合は、**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウが直接開きます。

トラブルシューティングの代わりとして、またはインターネットへのアクセスを無効にしている場合は、インターネットに接続されている別のコンピュータのWebブラウザから注文をアップロードできます。ウェブブラウザによる注文に対して、SICAT Suiteは一度に全ての製品をショッピングカートにエクスポートし、患者毎に一つのサブフォルダを作成します。各サブフォルダには注文情報付のXMLファイルと製造に必要なデータが付いているZIPアーカイブがあります。SICATポータルではXMLファイルとZIPアーカイブを連続してアップロードすることができます。この送信は、暗号化して行われます。

インターネット接続を利用しない注文プロセスを完了するには、次の手順で行います。

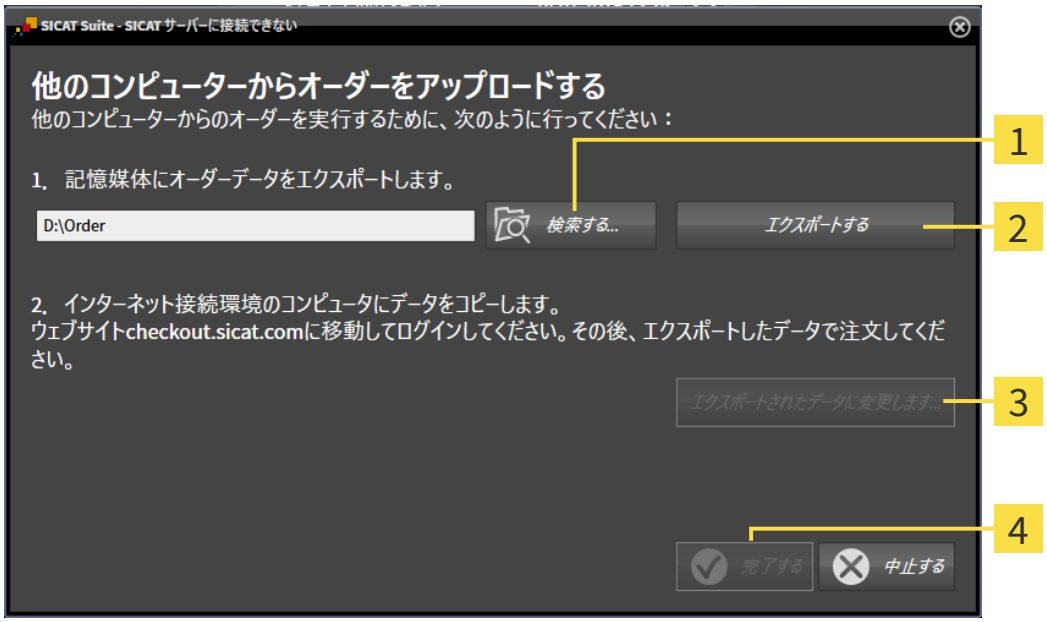
☑ SICAT Suiteが作動しているコンピューターは、インターネットに接続されていません。

☑ ウインドウに表示されるメッセージ：**SICAT サーバーへの接続エラー**



1 **他のコンピューターからアップロードする**のボタン

1. **他のコンピューターからアップロードする**のボタンをクリックします。
   ▶ **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**のウィンドウが開きます。



1 **検索する**のボタン

2 **エクスポートする**のボタン

3 **エクスポートされたデータに変更します**のボタン

4 **完了する**のボタン

2. **検索する**のボタンをクリックします。
   ▶ Windowsエクスプローラのウィンドウが開きます。

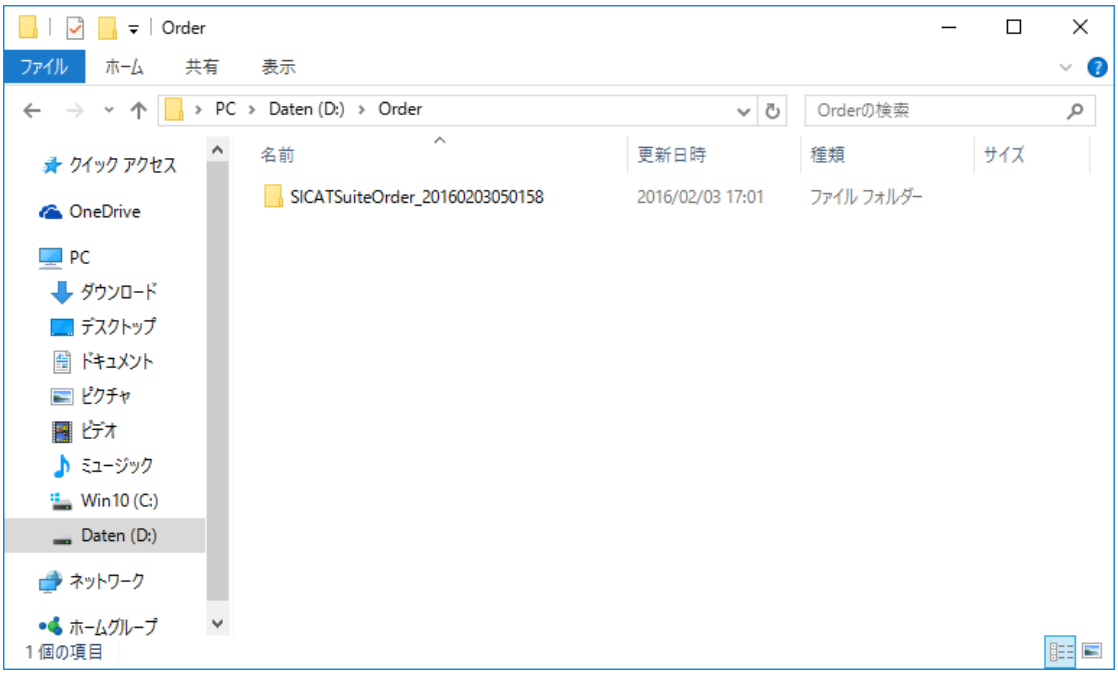
3. 既存のディレクトリを選択するか、新しいディレクトリを作成して、**OK**をクリックします。ディレクトリのパス名は、字数を160字以下にしておく必要がありますので、ご注意ください。

4. **エクスポートする**のボタンをクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは、ショッピングカートの内容の注文に必要な全データを指定のフォルダにエクスポートします。この時、SICAT Suiteは患者毎に一つのサブフォルダを作成します。

5. **エクスポートされたデータに変更します**のボタンをクリックします。

   ▶ Windowsファイルエクスプローラーウインドウが開き、エクスポートしたデータのあるディレクトリが表示されます：



6. USBスティックなどの補助ツールを使用して、インターネットに接続しているコンピューターに希望のスプリントのデータが含まれるフォルダをコピーします。

7. **他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウの**完了する**をクリックします。

   ▶ SICAT Suiteは**他のコンピューターからオーダーをアップロードする**ウィンドウを閉じます。

   ▶ SICAT Suiteは、注文に含まれる全ての製品をショッピングカートから除去します。

8. インターネットに接続されたコンピューター上でウェブブラウザを開き、インターネットページhttp://www.sicat.deを開きます。

9. SICATポータルへのリンクをクリックします。

   ▶ SICATポータルが開きます。

10. SICATのポータルページが開かないときは、ご自分のユーザー名とパスワードを使用して、SICATのポータルページへログインします。

11. 注文をアップロードするためのリンクをクリックします。

12. インターネットに接続したコンピューターで希望の注文を選択します。これは、ファイル名が**SICATSuiteOrder**で始まるXMLファイルです。

    ▶ 注文一覧が開き、含まれている患者、付属の製品および価格が表示されます。

13. *SICATポータルでの注文手順 [▶ページ 243 - Standalone]*の指示に従ってください。

14. 製品の治療計画データをアップロードするためのリンクがありますので、それをクリックします。

15. インターネットに接続したコンピューターで適切な製品データを選択します。これは、以前アップロードしてXMLファイルと同じフォルダ内にあり、ファイル名が**SICATSuiteExport**で始まるZipアーカイブです。

▶ 注文を実行した場合、ブラウザは製品データが含まれるアーカイブを暗号化された接続経由でSICATサーバーに転送します。

SICAT Suiteは、エクスポートしたデータを自動的に削除しません。注文プロセスが完了したら、セキュリティ上の理由により、エクスポートしたデータを手動で削除する必要があります。

35 設定

設定ウインドウで一般設定を変更または閲覧することができます。**設定**アイコンをクリックすると、**設定**ウインドウの左側のページにあるオプションバーに次のタブが表示されます。

- **一般** - これに関する情報は*一般設定の使用 [▶ページ 251 - Standalone]*を参照してください。
- **患者ファイル用ファイリング** - 患者ファイルの保存場所を指定できます。これに関する情報は*患者ファイリング [▶ページ 55 - Standalone]*を参照してください。
- **ライセンス** - これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 42 - Standalone]*を参照してください。
- **プラクティス** - クリニックのロゴおよび情報テキストを表示または変更します (例えば、プリントアウトして使用するため)。これに関する情報は*歯科医院情報の使用 [▶ページ 255 - Standalone]*を参照してください。
- **SIDEXIS 4** - が該当するのは、SIDEXIS 4がシステムにインストールされている場合のみです。
- **Hub** - Hubの使用を有効または無効にします。これに関する情報は*Hubの使用を有効または無効にする [▶ページ 256 - Standalone]*を参照してください。
- **可視化** – ビジュアル化に関連する、一般的な設定内容を変更します。これに関する情報は*可視化設定の変更 [▶ページ 258 - Standalone]*を参照してください。

設定を変更した場合、SICAT Endoが変更をすぐに反映し、お客様のユーザープロフィールに設定を保存します。

35.1 一般設定の使用

一般的な設定内容を開くには、以下の手順に沿って、操作を行ってください。

1. **ナビゲーションバー** で、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **一般**タブをクリックします。
   ▶ **一般** のウィンドウが開きます。

1 **一般**のタブ

2 **局所設定**エリア

3 **患者**エリア

4 **ツール**エリア

5 **ディレクトリ**エリア

6 **注文**エリア

以下の設定を変更することができます。

- **局所設定**エリアでは、**言語**リストからユーザーインターフェースの言語を変更することができます。
- **局所設定**エリアでは、**歯式**で現在の歯型図を変更できます。
- **患者**エリアでは、**患者情報を匿名で表示する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。チェックボックスが選択されている場合、SICAT Suiteでは患者ファイルの属性は**ナビゲーションバー**に**患者**は**姓**、**匿名**は**名**、および**誕生日**では**01.01.**と誕生年で表示されます。**SICAT Suiteホーム**ウィンドウで、SICAT Suiteは**最後の患者ファイル**リストを表示しません。
- **ディレクトリ**エリアでは、**テンポラリ エクスポート ディレクトリ**欄にSICAT Suiteが注文データを保存するフォルダを指定することができます。このフォルダには、フルアクセスできなくてはなりません。
- **注文**エリアでは、**注文のためにインターネットへのアクセスを許可する**のチェックボックスのステータスを変更または閲覧できます。このボックスがチェックされていると、SICAT Suiteはインターネットに接続して注文します。

一般設定の表示または変更の他に、SMPTEテスト画像を開いて、モニターをキャリブレーションすることもできます。

- **ツール**、**モニターキャリブレーション**で**SMPTE テストパターンを表示する**のボタンをクリックして、モニターをキャリブレーションします。これに関する情報はSMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーションを参照してください。

対応している歯型図はFDIとADAです。

35.2 SMPTEテスト画像によるモニターのキャリブレーション

注意

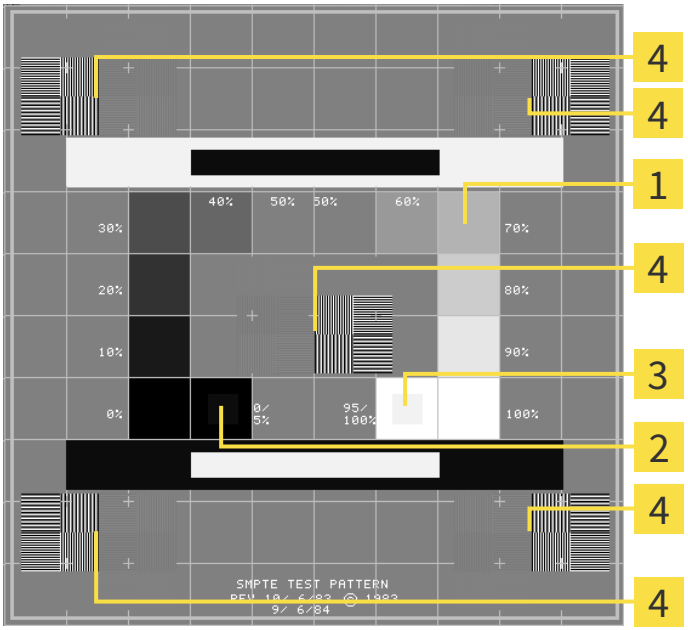
環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

4個のメインプロパティが、SICATアプリケーションのデータを表示させるモニターの特性を決定します。

- 輝度
- コントラスト
- 空間分解能（直線性）
- ひずみ（エイリアシング）

SMPTEテスト画像は参照画像であり、モニターのプロパティをチェックする際に使用します。



1 グレースケールスクエア

2 0%スクエア

3 100%スクエア

4 高コントラストのバーパターンが含まれるスクエア

輝度およびコントラストの点検

SMPTEテスト画像の中央では、一連のスクエアが黒（輝度0%）～白（輝度100%）のグレースケールを示しています。

- 0%スクエアには、0% ～ 5%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。
- 100%スクエアには、95% ～ 100%間の輝度の違いを示す小さ方のスクエアが含まれます。

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

☑ SMPTEテスト画像はすでに開いています。

- 0%スクエアおよび100%スクエアで、内側のスクエアと外側のスクエア間に視覚的違いが見えるか点検してください。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

多くのモニターは、100%スクエア内の輝度の相違のみ表示され、0%スクエア内には表示されません。0%スクエア内の様々な輝度レベルの相違を改善するために、アンビエントライトを減らすことができます。

空間分解能およびひずみの点検

SMPTEテスト画像の角および中央では、6個のスクエアに高コントラストのバーパターンが表示されます。空間分解能およびひずみについては、様々な幅の、黒と白で切り替わる、垂直の線で区別できる必要があります。

- 幅が広い～狭い（6ピクセル、4ピクセル、2ピクセル）
- 水平および垂直

モニターを点検または設定するには、次のように行います。

- 高コントラストのバーパターンが表示される6個のスクエアで、全ての線が区別できるかどうか点検します。必要に応じて、モニターの設定を変更してください。

SMPTEテスト画像を閉じる

SMPTEテスト画像を閉じるには、次の手順で行います。

- **ESC**ボタンを押します。

▶ SMPTEテスト画像が閉じます。

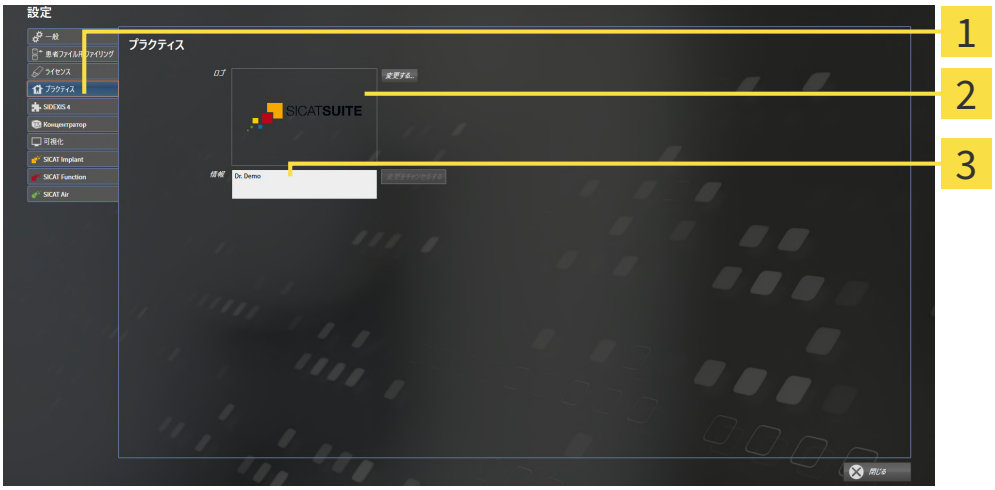
35.3 歯科医院情報の使用

SICAT Suiteの各種アプリケーションでは、このページで表示する説明文を利用して、印刷物やPDFファイルをカスタマイズします。

歯科クリニックの説明文を開くには、次の手順で行います。

1. **ナビゲーションバー** で、 **設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **プラクティス**タブをクリックします。
   ▶ **プラクティス** のウィンドウが開きます。



1 **プラクティス**のタブ

2 **ロゴ**エリア

3 **情報**エリア

以下の設定を変更することができます。

- **ロゴ**エリアでは、歯科医院のロゴを設定することができます。**変更する**ボタンで歯科医院のロゴを選択することができます。SICAT Suiteは指定のファイルをSICAT Suiteユーザーディレクトリにコピーします。
- **情報**エリアでは、歯科医院を識別するテキスト（名前、住所など）を入力することができます。**Enter**ボタンを押して、行数を最大5行まで増やすことができます。**変更をキャンセルする**ボタンをクリックして、情報テキストの変更を元に戻すことができます。

35.4 HUBの使用を有効または無効にする

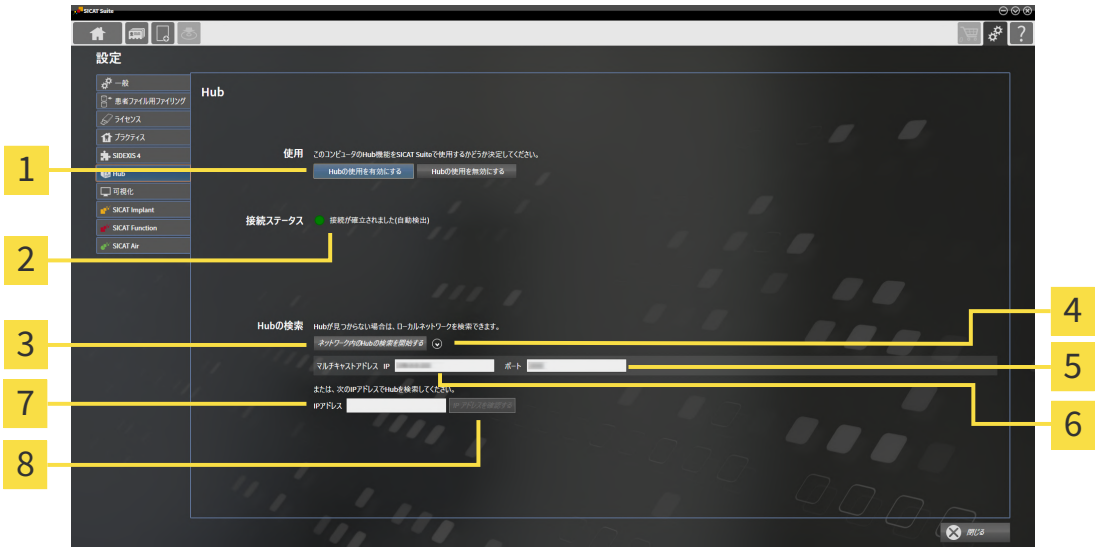
設定ではHubの使用を有効または無効にして接続設定を確認します。デフォルトでは、Hubの使用は無効になっています。

HUBの使用を有効にする

☑ Hubを使用するためのライセンスが有効になります。これに関する情報は*ライセンス [▶ページ 42 - Standalone]*を参照してください。

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定**のウィンドウが開きます。

2. **Hub**のタブをクリックします。
   ▶ **Hub**ウィンドウが開きます。



1	**Hubの使用を有効にする**および**Hubの使用を無効にする**	5	**ポート**入力欄
2	**接続状況**	6	**マルチキャストアドレス**入力欄 IP
3	**ネットワーク内のHubの検索を開始する**のボタン	7	**IPアドレス**入力欄
4	表示および非表示する	8	**IP アドレスを確認する**のボタン

3. **Hubの使用を有効にする**のボタンをクリックします。
   ▶ SICAT SuiteはHubへの接続を試みます。
   ▶ **接続状況**の他に緑色のアイコンが表示されている場合、SICAT SuiteはHubへの接続を確立できています。
   ▶ **接続状況**の他に赤いアイコンが表示されている場合、SICAT SuiteはHubへの接続を確立できませんでした。

4. SICAT SuiteがHubに接続できなかった場合は、ここに表示されているものとは別のマルチキャストアドレスがHubに設定されているかどうかを確認してください。
ネットワーク内のHubの検索を開始するのボタンの横にあるのアイコンをクリックします。
- **マルチキャストアドレス**フィールドにHubに設定されているマルチキャストアドレスを入力します。デフォルトでは、マルチキャストアドレスは239.0.0.222です。
- **ポート**フィールドにHubに設定されているポートを入力します。デフォルトでは、ポートは2222です。
-**ネットワーク内のHubの検索を開始する**のボタンをクリックします。SICAT SuiteがHubを見つけると、緑色のアイコンが表示され、そのHubを使用できるようになります。

5. SICAT Suiteがマルチキャストアドレス経由でHubに接続できなかった場合は、HubのIPアドレスを直接入力して接続してみてください。
- **IPアドレス**フィールドにHubのIPアドレスを入力して**IP アドレスを確認する**ボタンをクリックします。SICAT Suiteが指定のIPアドレスでHubを見つけた場合は、そのHubを使用できます。

6. SICAT SuiteがHubのマルチキャストアドレスまたはIPアドレスを介してHubに接続できなかった場合は、Hubのサポートに連絡してください。

HUBの使用を無効にする

1. **ナビゲーションバー**で、**設定**のアイコンをクリックします。

2. **設定**ウィンドウで**Hub**をクリックします。
► **Hub**ウィンドウが開きます。

3. **Hubの使用を無効にする**のボタンをクリックします。
► SICAT SuiteはHubの使用を無効にします。

35.5 可視化設定の変更

⚠ **注意**	**表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。** SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ **注意**	**環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。** 1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。 2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

可視化設定は、すべてのSICATアプリケーションのボリューム、診断オブジェクト、計画オブジェクトの可視化を決定します。

可視化 ウィンドウを開くには、次の手順で行います。

1. **設定**のアイコンをクリックします。
   ▶ **設定** のウィンドウが開きます。

2. **可視化**タブをクリックします。
   ▶ **可視化** のウィンドウが開きます。

1 タブ **可視化**

2 エリア **画質**

3 エリア **他のビューの更新**

4 エリア **線の太さ**

5 エリア **目線**

設定：

- **レイヤーの画質を向上させます。** - ソフトウェアが隣接するレイヤーを検知することにより、レイヤーの表示品質を改善します。高効率なコンピューターに限り、この設定をアクティブにしてください。
- **他のビューの更新** - 遅延更新は、別のレイヤーの遅延更新を犠牲にして作業に使用しているビューのインタラクティブ性を向上させます。遅延更新は、コンピューターにインタラクティブ性の不具合が確認された場合のみアクティブにします。
- **線の太さ** - 線の太さを変更します。太めの線は、プロジェクターでのプレゼンテーションに使用します。
- **目線** – **軸方向**レイヤービューと**矢状方向**レイヤービューの目線を切り替えます。

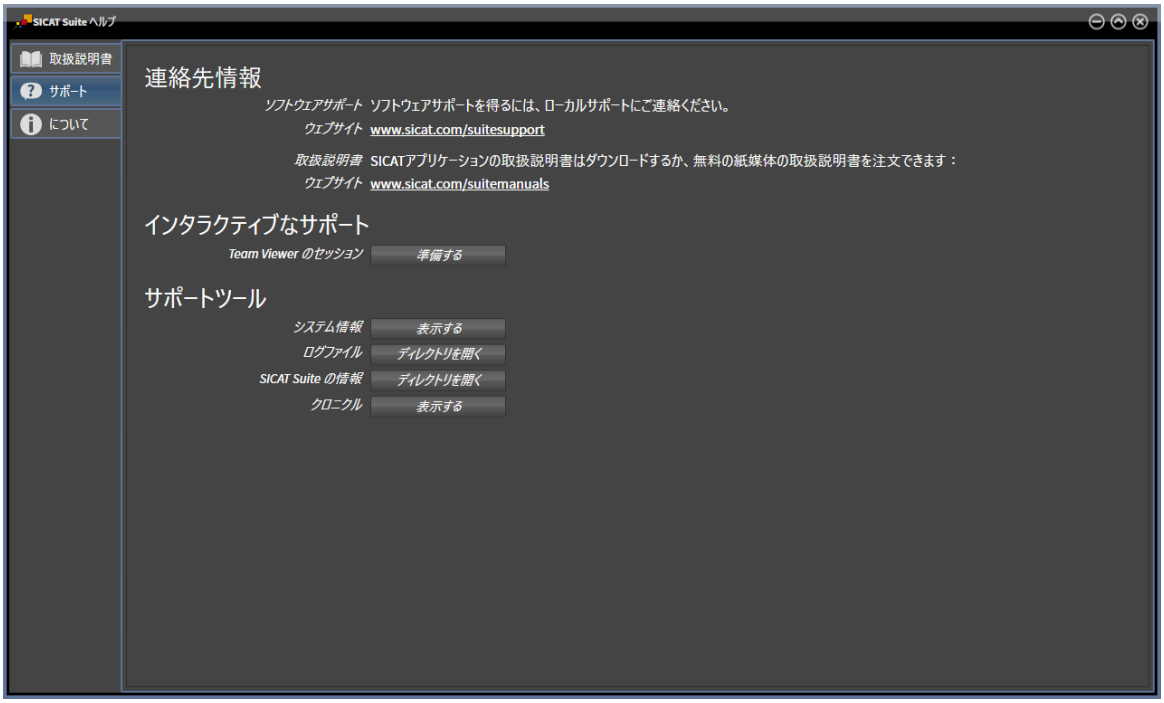
36 サポート

SICATでご利用いただけるサポート態勢を以下に挙げます。

- PDFドキュメント
- 連絡先情報
- SICAT SuiteやSICATの各種アプリケーションで、インストール済みのものに関するご案内

以下の操作で、処理を続けてください。

- *サポート態勢のページを開く [▶ページ 261 - Standalone]*



36.1 サポート態勢のページを開く

サポートウィンドウは、**サポート**のアイコンを**ナビゲーションバー**でクリック、またはF1のボタンを押すことによって開くことができます。

SICAT Suite**サポート**ウィンドウは次のタブで構成されます。

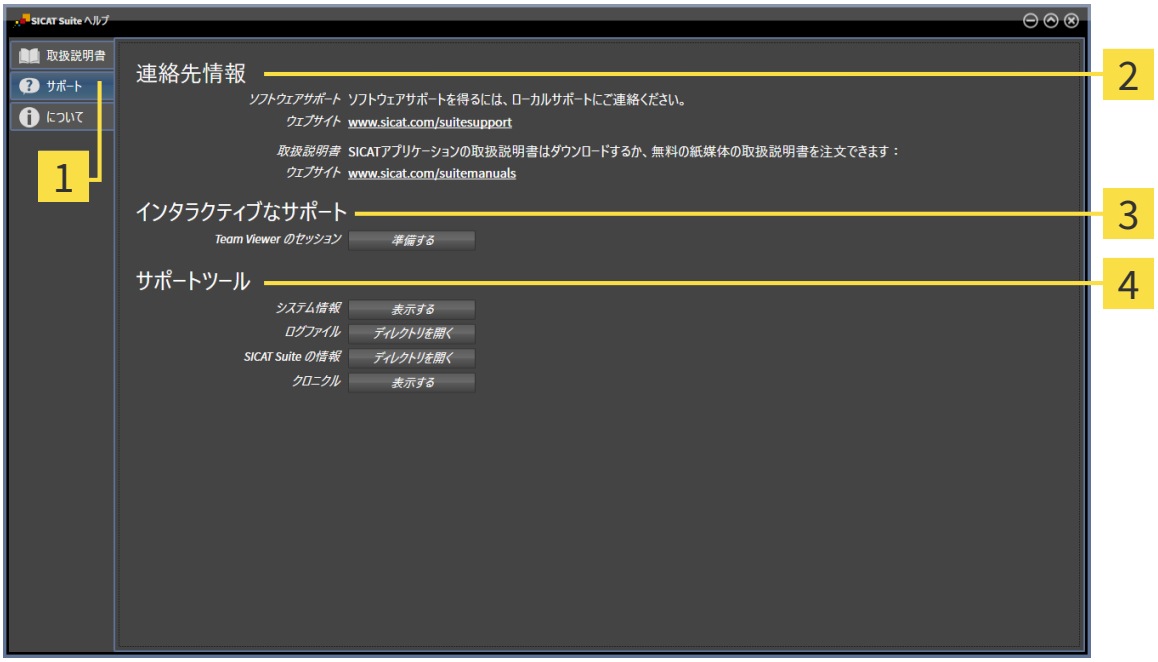
- **取扱説明書** - これに関する情報は*取扱説明書を開く [▶ページ 41 - Standalone]*を参照してください。

- **サポート** - これに関する情報は*連絡先情報およびサポートツール [▶ページ 262 - Standalone]*を参照してください。

- **メニューアイテム：** - これに関する情報はインフォメーションを参照してください。

36.2 連絡先情報およびサポートツール

サポートウインドウには、SICATサポートの補助をうけられるように、関連する全ての情報およびツールが含まれています。



1 タブ **サポート**

2 エリア **連絡先情報**

3 エリア **インタラクティブなサポート**

4 エリア **サポートツール**

各種の取扱説明書を入手するときのお問い合わせ先は、**連絡先情報**エリアをご覧ください。

次のツールは**インタラクティブなサポート**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**Team Viewer のセッション**エリアで、**準備する**のボタンをクリックすると、TeamViewerセッションが開きます。

TeamViewerは、マウス/キーボードのコマンドを遠隔操作し、コンピューターの画面に表示されている内容をインターネット接続経由で転送することのできるソフトウェアです。TeamViewerは、明確な承認がある場合のみ接続を確立します。その際、SICATサポートにTeamViewer IDとパスワードを通知します。これにより、SICATサポートは現地で直接補助できるようになります。

次のツールは**サポートツール**エリアで使用することができます。

- SICAT Endo では、**システム情報**エリアで、**表示する**ボタンをクリックすると、OSのシステムに関する情報が開きます。
- SICAT Endoでは、**ログファイル**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、Windowsエクスプローラのウィンドウで、SICAT Suiteのログディレクトリが開きます。
- SICAT Endo では、**SICAT Suite の情報**エリアで、**ディレクトリを開く**ボタンをクリックすると、現時点でのインストール状況に関する情報をテキストファイルとしてエクスポートします。
- **SICAT Suite の情報**エリアでボタン**通知を表示する**をクリックするとSICAT Endoが通知ウィンドウを表示します。

36.3 インフォメーション

メニューアイテム：タブでは、複数のタブにSICAT Suiteおよびインストールされている全SICATアプリケーション経由で情報が表示されます。

37 データを書き込み禁止で開く

データを書き込み禁止で開くことができます。

スタンドアロンバージョンで変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるデータタイプは、患者ファイリングのライセンスステータスの有無によって異なります。

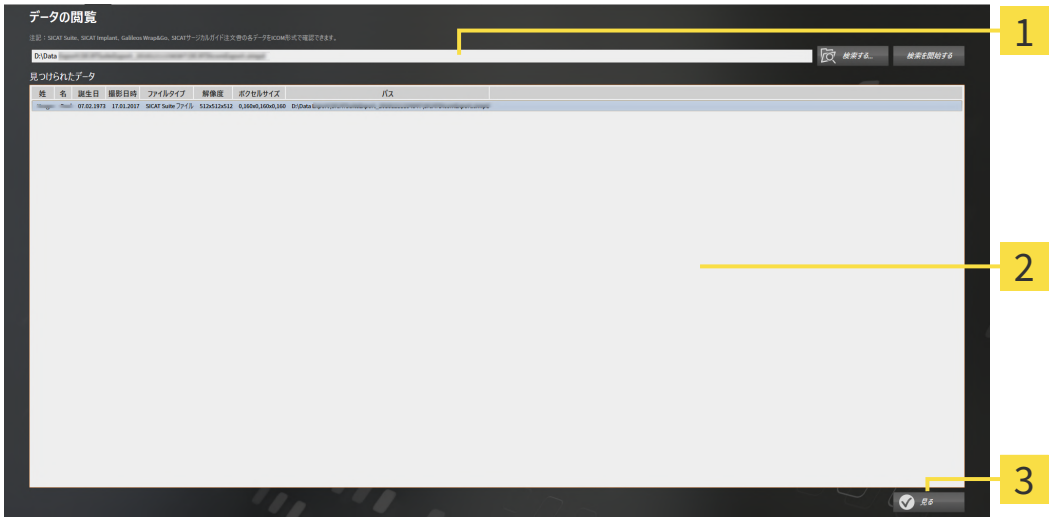
SICAT ENDOライセンスの種類	患者ファイリングはアクティブですか？	変更せずに参照することはできますか？
なし	無関係	無
ビューア	無関係	SICATデータ用
フルバージョン	無	有
フルバージョン	有	無

SICAT Endoのフルバージョンライセンスを有効化済みでアクティブな患者ファイリングがない場合は、DICOMデータは表示のみ可能です。

データを変更を加えることなく、保存せずに閲覧ができるようにするには、次のように行います。

1. **ナビゲーションバー** で、 **データの閲覧**のアイコンをクリックします。

   ▶ **データの閲覧** のウィンドウが開きます。



1 欄 **データはどこにあるのですか？**

2 リスト **見つけられたデータ**

3 ボタン **見る**

2. **検索する**のボタンをクリックします。

   ▶ **ファイルまたはディレクトリを選択する** のウィンドウが開きます。

3. **ファイルまたはディレクトリを選択する**ウインドウで、閲覧したいファイルまたはフォルダとファイルを選択し、**OK**をクリックします。
   ▶ SICAT Suiteは**ファイルまたはディレクトリを選択する**のウィンドウが閉じ、ファイルかフォルダで選択したものへのパスを**データはどこにあるのですか？**欄に転記します。
   ▶ SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを**見つけられたデータ**リストにファイルの内容を表示します。
   ▶ フォルダを選択した場合、SICAT Suiteはそのフォルダおよび全てのサブフォルダを検索します。SICAT Suiteは、検索したフォルダのいずれかに含まれている互換性のあるファイルを**見つけられたデータ**リストに表示します。
4. **見つけられたデータ**リストから希望の3D X線撮影図または計画プロジェクトを選択し、**データの閲覧**ボタンをクリックします。
   ▶ SICAT Suiteは、3D X線撮影図と計画プロジェクトが含まれる一時的な患者ファイルを作成し、これを有効にします。
5. *アクティブな患者ファイルを使用した作業 [▶ページ 80 - Standalone]*で続行してください。

データを選択するために、互換性のあるファイルやフォルダを**データはどこにあるのですか？**欄にドラッグ＆ドロップすることができます。

説明されている手順を利用する場合、検索は自動で開始します。検索は、**検索を停止する**ボタンをクリックして中断することができます。ファイルまたはフォルダへのパスを手動で**データはどこにあるのですか？**欄に入力する場合、**検索を開始する**ボタンをクリックします。フォルダの内容が変わった、または誤って検索を終了した場合、検索を新たに開始するには、これが役に立つこともあります。

38 SICAT ENDOを閉じる

SICAT Endoを閉じるには、次の手順に従って行ってください。

X

- アクティブな患者ファイルのエリアで**閉じる**ボタンをクリックします。

▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを保存します。

▶ SICAT Suiteはすべてのアプリケーションを閉じます。

▶ SICAT Suiteはアクティブな患者ファイルを閉じます。

39 SICAT SUITEを閉じる

- SICAT Suiteの右上の隅にある**閉じる**ボタンをクリックします。

► SICAT Suiteがフルバージョンで作動し、編集権限があり、スタディを開いている場合、全ての計画プロジェクトを保存します。

► SICAT Suiteが閉じます。

40 ショートカットキー

マウスポインタを特定の機能上に動かすと、SICAT Endoは機能の名称に加えて括弧内にショートカットキーを表示します。

次のショートカットキーはすべてのSICATアプリケーションで使用できます。

ショートカットキー	説明
A	角度測定を追加する
D	距離測定を追加する
F	アクティブなオブジェクトに焦点を合わせる
Ctrl + C	アクティブなビューの内容をクリップボードにコピーする
Ctrl + Z	前回のオブジェクト アクションを元に戻す
Ctrl + Y	前回戻したオブジェクト アクションをもう一度実行する
Del	アクティブなオブジェクトまたはオブジェクトグループを削除する
ESC	現在の操作を中断する（測定の追加など）
F1	有効なSICATアプリケーションで取扱説明書が開いている場合、**サポート**ウィンドウが開きます。

41 SICAT SUITEのアンインストール

SICAT Suiteアンインストールプログラムは、コンピューターに有効なライセンスを保持します。そのため、SICAT Suiteインストールプログラムはアンインストール前に、ライセンスを自動的に削除しないように警告します。SICAT Suiteを特定のコンピューターで使用するのをやめる場合、アンインストールする前にライセンスを無効にしてください。これに関する情報は*ワークステーションライセンスをライセンスプールへ返却する [▶ページ 50 - Standalone]*に記載されています。

アンインストールプログラムは、SICAT WebConnectorを自動的に閉じてしまうため、SICAT Suiteをアンインストールする前に、SICAT WebConnectorがすべての注文を完全にアップロードしているかを確認してください。SICAT WebConnectorに関する内容は、*SICAT WebConnector [▶ページ 244 - Standalone]*の節をご覧ください。

SICAT Suiteをアンインストールするには、次のように行います。

☑ SICAT WebConnector はすべての注文を正常にアップロードしました。

1. Windows**コントロールパネル**で**プログラムおよび機能**をクリックします。
   ▶ **プログラムおよび機能** のウィンドウが開きます。
2. リストから、SICAT Suiteのバージョンが含まれる**SICAT Suite**を選択します。
3. **アンインストール**のボタンをクリックします。

▶ アンインストールプログラムが起動し、**進捗状況**ウインドウが開きます。

▶ アンインストールが終了すると、**確認**ウインドウが開きます。

4. **終了する**のボタンをクリックします。

► SICAT Suiteアンインストールプログラムが閉じます。

	SICAT Suiteアンインストールプログラムを開くために、SICAT-Suiteインストールプログラムを SICAT Suiteがすでにインストールされているコンピューター上で起動することができます。

	SICAT Suiteアンインストールプログラムは、SICAT Suiteと一緒にインストールされたいくつかの前提ソフトウェアのアンインストールプログラムを呼び出します。別のアプリケーションが引き続き前提ソフトウェアを必要としている場合、これらは保持されます。

42 安全に関する注意事項

3D X線撮影画像

⚠ **注意**

不適切なX線機器を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、医療機器として承認されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ **注意**

不適切な3D X線撮影画像は、結果として、誤診や誤った処置を招くことになりかねません。

3D X線撮影画像を表示したら、画質、精度、方向が正しいことを必ず確認してください。

⚠ **注意**

DICOMに適合していないX線機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

利用する3D X線撮影画像は、DICOM規格に適合することが証明されているX線撮影装置で撮影したものに限定してください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像以外のデータを、測定に基づく治療計画のための情報源として使用すると、誤った診断および治療結果につながるおそれがあります。

測定機能を使用する場合には、診断と計画には3D X線撮影画像使用してください。

口腔内撮影画像

⚠ **注意**

口腔内撮影画像の登録に不適切な3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. アーチファクトをほんの少しまたは全く含まない3D X線撮影画像のみを使用してください。
2. 解像度が十分に高い3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ **注意**

患者および3D X線撮影画像が一致しない、または撮影時期が3D X線撮影画像の撮影時期が離れている口腔内撮影画像を使用した場合には、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像の患者と3D X線画像画像の患者が一致しており、その撮影時期が3D X線撮影時期と離れていないことを確認してください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像に対して向きが間違った口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

1. 登録された口腔内撮影画像が3D X線撮影画像に対して正しく配置されているか確認してください。
2. 必要に応じて、口腔内撮影画像を回し、正しく配置させてください。

⚠ **注意**

3D X線撮影画像と一致しない口腔内撮影画像を使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

口腔内撮影画像が3D X線撮影画像が正しく登録されていることを確認してください。

⚠ **注意**

医療用製品として承認されていない口腔内撮影用デバイスは、間違った診断と治療結果につながるおそれがあります。

医療用製品として承認されている口腔内撮影用デバイスのみを使用するようにしてください。

⚠ **注意**

口腔内撮影画像の完全性または品質が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

インポートされた口腔内撮影画像の完全性と品質を確認してください。

⚠ **注意**

口腔内撮影画像や3D X線撮影画像の品質が不十分な場合は、口腔内撮影画像の登録のためのメカニズムが失敗する可能性があります。

必ず正しい登録が可能な口腔内撮影画像と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ **注意**

口腔内撮影画像の品質および精度が十分でない場合、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および精度の口腔内撮影画像を使用してください。

⚠ **注意**

口腔内撮影画像の位置または向きが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

登録後に、3D X線撮影画像の歯に対して口腔内撮影画像の位置と向きが正しくなっていることを確認してください。

表示条件

⚠ **注意**

表示品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

SICATアプリケーションを使用する前に、表示品質が十分であるか確認してください（例えば、SMPTEテストビューで）。

⚠ **注意**

環境の表示条件が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

1. 環境条件が十分な表示品質を可能にする場合のみ、計画を実行してください。例えば、照明が十分であるか確認してください。
2. SMPTEテスト画像を使用して、表示品質が十分か確認してください。

データ管理

⚠ **注意**

患者名や3D X線撮影画像の突き合わせでミスがあると、結果として、患者を撮影した画像の取り違えを招くことになりかねません。

3D X線撮影ビューで、インポートしようとしているものや、すでにSICATのアプリケーションに読込済みのものがあれば、突き合わせる先の患者名が正しいこと、突き合わせる撮影画像に関する情報が正しいことをいずれもチェックしてください。

⚠ **注意**

オリジナルデータを削除すると、データを消失するおそれがあります。

インポートした後にオリジナルデータを削除しないでください。

⚠ **注意**

患者ファイリングのデータバックアップシステムが故障すると、患者データが完全に消失するおそれがあります。

定期的に全ての患者ファイリングのデータバックアップを取ってください。

⚠ **注意**

患者ファイルを削除すると、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルも全て削除されます。

患者ファイルの削除は、それに含まれる3D X線撮影画像、計画プロジェクトまたはPDFファイルが全て再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意

削除した患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトは元に戻すことができません。

患者ファイル、撮影結果、3D X線撮影画像、計画プロジェクトの削除は、これらのデータが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像を削除すると、それに依存する計画プロジェクトも全て削除されます。

3D X線撮影画像の削除は、それに依存する全計画プロジェクトが再び必要となることはないことが確実な場合のみ行ってください。

オペレーターの資格

⚠ 注意

資格のない者が本ソフトウェアを使用すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

ソフトウェアの使用は、必ず専門の知識のある有資格者が行ってください。

安全性

⚠ 注意

情報システムにあるセキュリティの脆弱性は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

1. 情報処理のシステム環境において、セキュリティ上の脅威を発見し、それらを回避するために、組織内部で指針を定めて周知するよう、徹底してください。
2. 最新のウィルススキャナをインストールし、ウィルススキャンを実行してください。
3. ウィルススキャナの定義ファイルを定期的に更新してください。

⚠ 注意

ワークステーションへの不正なアクセスは、患者データの秘密情報およびインテグリティに関するリスクにつながるおそれがあります。

ワークステーションへのアクセスは資格のある人に限定してください。

⚠
注意

サイバーセキュリティの問題は、患者データへの不正なアクセスにつながり、患者データのセキュリティまたはインテグリティに関するリスクの原因になるおそれがあります。

お手元のSICATアプリケーションにおいて、サイバーセキュリティにかかわるトラブルの疑いがあるときは、直ちにテクニカルサポートまで、ご連絡ください。

ソフトウェアインストール

⚠
注意

ソフトウェアに改変を加えると、結果として、このソフトウェアが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. ソフトウェアのインストールに変更を加えないでください。
2. ソフトウェアのインストールディレクトリにあるコンポーネントを削除または変更しないでください。

⚠
注意

インストールメディアが損傷すると、インストールに失敗する可能性があります。

インストールメディアは慎重に取り扱い、適切に保管してください。

⚠
注意

お手元のシステムがシステム要件を満たしていない場合は、結果として、このソフトウェアが起動しなくなったり、または正常に機能しない可能性があります。

ソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが最小ソフトウェア/ハードウェア要件を満たしているか確認してください。

⚠
注意

不十分な承認は、ソフトウェアインストールまたはソフトウェアアップデートが失敗する原因になる場合があります。

ソフトウェアをインストールまたはアップデートする場合、使用するシステムに十分な承認があることを確認してください。

⚠ 注意

OSに改変を加えると、結果として、SICATアプリケーションが起動しなかったり、または正常に機能しない可能性があります。

1. SICATアプリケーションを起動する前に、必ずお手元のコンピュータのオペレーションシステムが前回SICATアプリケーションを使用してからアップデートやセキュリティアップデートをインストールしたかを確認してください。
2. お手元のコンピュータのオペレーションシステムに更新プログラムまたは背級レティアップデートがインストールされている場合、取扱説明書に記載されている必要手順でSICATアプリケーションのチェックを実行してください。
3. SICATアプリケーションの動作が取扱説明書に記載されている動作と異なる場合、ソフトウェアをそれ以上使用せず、直ちにSICATサポートまでお問い合わせください。

注文

⚠ 注意

注文に誤ったデータがあると、誤った注文となる可能性があります。

注文をするときには、注文のための正しいデータの選択と転送を確認してください。

⚠ 注意

注文を誤ると誤った治療の原因となるおそれがあります。

1. 注文を送信する前にご注文内容をご確認ください。
2. 注文の適切な治療計画を確認してください。

光学印象

⚠ 注意

3D X線撮影画像以外のデータを唯一の情報源として使用すると、結果として、診断や治療を誤ることになりかねません。

1. 診断や治療計画の立案にあたって利用する情報源としては、3D X線撮影画像を優先させてください。
2. 光学印象データなどの他のデータは、補助的な情報源としてのみ利用してください。

⚠ 注意

不適切な光学印象用機器を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず医療機器として承認されている機器の光学印象データを使用してください。

⚠ 注意

3D X線撮影画像の患者と日付が一致しない光学印象データを使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

患者データの患者と日付が、表示された3D X線撮影画像の患者および日付と一致していることを確認してください。

⚠ 注意

光学印象データのインテグリティまたは品質が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

インポートした光学印象データのインテグリティと品質を確認してください。

⚠ 注意

光学印象データの品質および正確性が十分でない場合、間違った診断および治療になるおそれがあります。

必ず目的とする診断および治療のために十分な品質および正確性の光学印象データを利用してください。

⚠ 注意

過度なアーチファクト、不十分な解像度、または記録のための点の欠如は、光学印象の記録に失敗する原因になるおそれがあります。例：3D X線撮影画像の過度なアーチファクトは、モーション/メタルアーチファクトです。

必ず精確な記録を可能にする光学印象と3D X線撮影画像のみを使用してください。

⚠ 注意

互いに一致しない光学印象の記録プロセスでマークを選択すると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

光学印象データを記録する場合、3D X線撮影画像と光学印象に一致するマーキングで慎重に選択します。

⚠ 注意

間違って記録された光学印象データおよび3D X線撮影画像を使用すると、間違った診断および治療になるおそれがあります。

記録された光学印象が3D X線撮影画像に対して正確に配置されているか確認してください。

ネットワーク

⚠ 注意

SICATアプリケーションデータを信頼できないネットワークファイルシステムに保存すると、データの損失につながるおそれがあります。

ネットワーク管理者と共に、SICATアプリケーションデータを希望のネットワークファイルシステムに保存できるようにしてください。

⚠ 注意

SICAT Suiteおよび付属のSICATアプリケーションを他の機器と一つのコンピューターネットワークまたはメモリーネットワーク内で供用すると、患者、ユーザー、その他の人に未知の危険が及ぶおそれがあります。

ネットワークに関連する危険を特定、分析、判断するため、各組織内で規則を作成してください。

⚠ 注意

ネットワーク環境を変更すると、新しい危険につながるおそれがあります。例えば、ネットワーク構成の変更、追加機器またはコンポーネントのネットワークへの接続、機器またはコンポーネントのネットワークからの分離、ネットワーク機器またはコンポーネントのアップデートまたはアップグレードなどです。

ネットワークを変更する度に、新たなネットワークリスク分析を実施してください。

歯式

⚠ 注意

歯の番号の割り当てが間違っていると、間違った診断および治療につながるおそれがあります。

選択された歯の番号と実際の歯の番号が一致していることを確認してください。

ドリル深さ

⚠ 注意

ドリル深さが間違っていると、間違った治療につながるおそれがあります。

計画されたドリル深さと、選択されたドリルが対応していることを確認してください。

計画オブジェクト

⚠ 注意

測定と計画オブジェクトの表示に3Dビューを使用すると、間違った診断と治療につながるおそれがあります。

3Dビューは方向合わせおよび追加の情報源としてのみ使用してください。

43 精度

次の表はすべてのSICATアプリケーションの精度を示しています。

距離測定の精度	< 100 µm
角度測定の精度	< 1度
表示精度	< 20 µm

用語集

3D X線撮影画像

3D X線撮影画像とは容積測定タイプのX線画像のことです。

ADA

American Dental Association（米国歯科医師会）

CPR

3D X線撮影画像からの2D画像再構成を行うCurved Planar Reformation (曲面多断面再構成)は、複雑な構造を簡略化して表示する際に使用されます。

EndoLine

EndoLineは、治療を行う根管のマーキング、そして根尖位置の特定に利用される多機能測定線です。

FDI

Fédération Dentaire Internationale（国際歯科連盟）

Hub

サーバーとして機能し、ローカルネットワーク上の異なるデバイス間でデータを交換できるようにする外付けストレージ。

SICATポータル

SICATポータルは、SICATにスプリントを注文することのできるインターネットページです。

SIXD

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

SMPTE

Society of Motion Picture and Television Engineers（映画テレビ技術者協会）

SSI

光学印象を交換するためのファイルフォーマット。

STL

Surface Tessellation Language、メッシュデータを交換するための標準ファイルフォーマット（例えば、光学印象を含む）。

アプリケーション

SICATの各種アプリケーションは、いずれもSICAT Suiteに付属するプログラムです。

スポットライト

口腔内撮影画像の登録における、円形の口腔内撮影画像の登録に口腔内撮影画像および3D投影のオーバーレイを検証するための円形に強調された画像の一部。

ドリル穴

ソフトウェアでビジュアルに表現され、編集することができる、EndoLineをの基礎として計画されたドリル経路。

ナビゲーションバー

SICAT Suiteの上部にあるナビゲーションバーには、SICAT Suiteの最も重要なアイコンが含まれます。患者ファイルがアクティブになっている場合、ナビゲーションバーを使用して患者ファイルと各種アプリケーション間で切り替えることができます。

フレーム

3Dビューでは、フレームに2Dレイヤービューの位置が表示されます。

患者ファイリング

患者ファイリングには患者ファイルが含まれています。SICAT Suiteは患者ファイリングをローカルファイルシステムまたはネットワークファイルシステム上のフォルダ内に保存します。

患者ファイル

患者ファイルには、特定の患者に属するすべての3D撮影画像および計画プロジェクトが含まれます。SICAT Suiteは、患者ファイルを患者ファイリングに保存します。

計画プロジェクト

計画プロジェクトは、SICATアプリケーションの3D X線撮影画像をベースにした計画データで構成されます。

光学印象

光学印象は、歯、印象材または石膏モデルの3D表面撮影の結果です。

口腔内撮影画像

口腔内撮影画像は、個々の歯の2D X線撮影画像で、口の外側にあるX線源の歯の背後にある歯科用フィルムによって撮影され、詳細の高い正確性がその特徴です。

撮影結果

3D治療計画スタディは、3D X線撮影画像と、それに関係する治療計画プロジェクトとで構成されます。

十字線

十字線は別のレイヤービューとの交差線です。

通知ウィンドウ

通知ウィンドウとは、完了した手順に関するメッセージを、モニター画面の右下端に表示するものをいいます。

索引

アイコン

ビュー 115
　トリミング部分を移動させる 122
　EndoView 193
　十字線、フレーム 124
　輝度およびコントラスト 120
　最大化と復元 119
　スクリーンショットの作成 130
　スクロール 123
　ズーミング 122
　リセットする 129
アプリケーションを切り替える 40
ワークスペース
　調整する 113
　口腔内撮影画像 111
　パノラマ 110
　スクリーンショットの作成 114
　リセットする 113
ユーザーインターフェース
　SICAT Endo 93
　SICAT Suite 36
　SICAT Suite Homeウィンドウ 38
エリアをマスキングする 185
このバージョンの特徴 28
注文
　再起動後の自動アップロード 245
　ドリルテンプレートをショッピングカートに入れる 236
　アップロードの中断および続行 245
　SICATポータル 243
用途 7
ドリル穴を計画する 209
ドリル穴
　ロックを解除する 209
　削除 209
　ロックする 209
データを書き込み禁止で開く 265
データエクスポート 231
　データのエクスポート 233
　「データの転送」ウィンドウを開く 232
データインポート 64
　データを選択する 68
　インポート関係の設定内容 70
　新規患者ファイルに帰属させる 71
　既存の患者ファイルに追加する 72
アンインストール 270
設定
　可視化設定の変更 258
EndoLine
　色とテキストを調整する 202
　確認箇所を追加する 203
　確認箇所を削除する 203
　確認箇所を移動する 203
　編集する 199
EndoLineウィザード 187
　ドリル穴を計画する 209
　ドリル穴 187
　EndoLine 187
　EndoView 193
　歯を選択する 196
EndoLinesの設定 199
　マウスボタンを使う 199
EndoLineウィザード
　EndoLinesの設定 199
　ビュー 188
　歯牙領域の事前設定 197
EndoView 193
　回転 194
　調整する 199
Firewallの設定
　WebConnector 10
グレースケール値 139
　調整する 141
Hub
　使用を有効または無効にする 256
インポートする
　口腔内撮影画像 172
適応症 7
インストール
　アンインストール 270
口腔内撮影画像を登録する 179
　エリアをマスキングする 185
　プリアライメントを調整する 182
口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う 177
口腔内撮影画像ワークスペース
　一般的なお知らせ 111
口腔内撮影画像 170

インポートする 172
互換性のある口腔内撮影用センサー 171
歯を割り当てる 172
歯の番号 172
口腔内撮影画像
登録する 179
登録ウィザード 176
プリポジショニング 177
互換性のある口腔内撮影用センサー 171
測定
距離測定を追加する 216
測定点を移動する 219
測定値を移動する 220
概要 215
移動 219
モニターキャリブレーション 253
オブジェクト
SICAT Endoオブジェクト 104
患者ファイリング 56
「患者ファイリング」ウインドウを開く 58
別の患者ファイリングをアクティブにする 61
削除する 63
追加する 59
患者ファイル 75
3D X線撮影画像および計画プロジェクトを削除する 91
開く 79
属性を変更する 82
「患者ファイル概要」ウインドウを開く 76
削除 89
並び替え分類を行う 77
検索 77
登録ウィザード 176
エリアをマスキングする 185
口腔内撮影画像を登録する 179
口腔内撮影画像のプリポジショニングを行う 177
閉じる 268
スクリーンショット
ビューで作成する 130
ワークスペースを使って作成する 114
SICAT Endo
ユーザーインターフェース 93
SICAT Endoを閉じる 267
SICAT Endoスタディ
スタンドアロン版 86
SICATポータル 243
SICAT Suite
ユーザーインターフェース 36
閉じる 268
インストールする 19
開始する 35
更新する 27
修理する 27
SICAT Suite Homeウィンドウ 38
SICAT Suiteの概要 17
SICAT WebConnector 244
安全に関する情報 12
危険レベル 13
オペレーターの資格 14
SMPTEテストパターン 253
スタンドアロン版
SICAT Endoスタディ 86
STLインポート 162
サポート 260
連絡先情報 262
ツール 262
切替
アプリケーション 40
バージョン
相違点 28
WebConnector
Firewallの設定 10
ワークフローのツールバー 95
歯を選択する 196
横長ビュー
傾斜 128
開始する
SICAT Suite 35
患者ファイル
開いた患者ファイルを使用した作業 80
患者ファイル概要から開く 83
患者教化 221
傾斜
ビュー 128
検査ウィンドウ
パノラマワークスペースで 109
口腔内撮影画像ワークスペースで非表示、および表示する 127
最大化する 126
非表示/表示 126
言語 17
光学印象
CERECのスキャンジョブをHubに送信する 159
Hubからダウンロードする 156

STLインポート 162
インポートルート 154
インポート形式 154
カラー表示する 138
ファイルからインポート 160
概要 154
記録と確認 165
計画および実施の基礎として 154
他のSICATアプリケーションから再使用する 163
更新
SICAT Suite 27
更新する
SICAT Suite 27
最初のステップ 32
最大化する
検査ウィンドウ 126
削除する
オブジェクト 102
歯牙領域の事前設定 197
取扱説明書
開く 41
記号、スタイル 15
取扱説明書の概要 16
修理する
SICAT Suite 27
縦長ビュー
傾斜 128
切替
光学印象のカラー表示 138
接続設定
WebConnector 10
設定
クリニック情報を表示または変更する 255
一般的な設定内容を確認する、変更する 251
概要 250
測定
角度測定を追加する 217
注文
カートをチェックする 241
データを別のコンピュータから送信する 246
バックグランドでのデータ送信 242
ワークフローの概要 235
調整する
パノラマ エリア 150
ボリュームの配置 145
非表示
オブジェクト 101
検査ウィンドウ 126
口腔内撮影画像ワークスペースの検査ウィンドウ 127
表示
オブジェクト 101
検査ウィンドウ 126
口腔内撮影画像ワークスペースの検査ウィンドウ 127
変更
パノラマ エリア 150
ボリュームの配置 145
無効にする
Hubの使用 256
有効にする
Hubの使用 256
容量
配置する 145

数字

3D X線データ
配置する 145
3Dビュー
表示モードを切り替える 134
3Dビュー 131
光学印象のカラー表示を切り替える 138
構成設定を行う 135
視線方向を変更する 132
切り抜きモードを切り替える 137

い

インストール
SICAT Suite 19
システム要件 9
インストールする
SICAT Suite 19
システム要件 9

お

オブジェクト
オブジェクトアクションを元に戻し、もう一度実行する 102
オブジェクトおよびオブジェクトグループの表示/非表示 101
オブジェクトおよびオブジェクトグループをアクティブにする 100
オブジェクトグループの開閉 100

オブジェクトツールバー 102
オブジェクトバー 98
削除する 102
焦点を合わせる 102

か

カート
開く 240

さ

サポート
サポートウィンドウを開く 261
ヘルプを開く 41
製品情報 264

し

システムの必要条件 9
システム要件 9
ソフトウェア要件 10
ハードウェア要件 9
ショートカットキー 269

す

スクリーンショット
レポート用に作成 224

そ

ソフトウェアインストール
SICAT Suite 19

は

バウチャーコードを使用する 54
パノラマ エリア 144
調整する 150
ハンドアウト用の画像やスクリーンショット
円を描く 222
描画ツールの設定 223
矢印を描く 222

ひ

ビュー
EndoLineウィザード 188
画像のツールバー 116
傾斜 128
検査ウィンドウの移動 125
検査ウィンドウを非表示、表示、および最大化する 126
口腔内撮影画像ワークスペースの検査ウィンドウを非表示、および表示する 127
切替 118

ほ

ボリュームの配置 143
調整する 145

ら

ライセンス 42
バウチャーコードを使用する 54
ライセンスプールに返却する 50
自動アクティベート 46
手動でアクティブ化する 48
表示する 45

れ

レポート
スクリーンショットの作成 224
作成する 229
準備する 225
レポート用の画像やスクリーンショット
スクリーンショットの作成 224

わ

ワークスペース 108
切り替える 112
ワークフロー 32

記号の説明

アイコン

注意！添付書類を参照してください。

取扱説明書を参照してください。

メーカー

バッチコード

TÜVRheinland LGA Products GmbH、Tillystrasse 2、90431ニュルンベルクの届出機関番号を含むCEマーキング

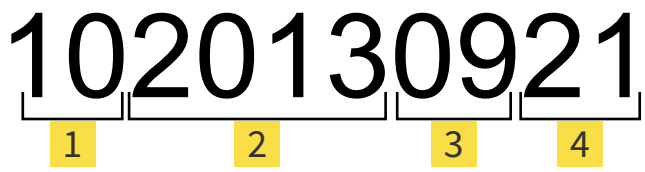
ソフトウェアのバッチコード

ソフトウェアに表示されるソフトウェアのバッチコード。これに関する情報は*インフォメーション [▶ページ 264 - Standalone]*を参照してください。

V2.0

SICATインストール媒体のバッチコード

SICATインストール媒体に印刷されたSICATインストール媒体のバッチコード (入手可能な場合)



1 ABフォーマットでの製造バージョン (10はV1.0を表します)

2 インストール媒体の製造年

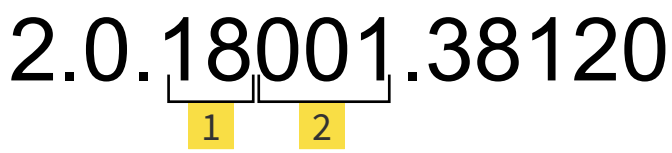
3 インストール媒体の製造月

4 インストール媒体の製造日

生産データ

ソフトウェアの製造日は、ソフトウェアに表示されているビルド番号から読み取ることができます。これに関する情報は*インフォメーション [▶ページ 264 - Standalone]*を参照してください。

ビルド番号の例：



1 ソフトウェアの製造年 (18は2018年を表します)

2 ソフトウェアの製造日 (001は1月を表します)

SICATインストール媒体の製造年は、SICATインストール媒体のバッチコードから読み取ることができます。

状態: 2019-06-12

お問い合わせ先

メーカー

SICAT GMBH & CO. KG

BRUNNENALLEE 6

53177 BONN、ドイツ

WWW.SICAT.COM

CE 0197

商品番号： 6616036
改訂番号： 127773
文書ID： DA80IFU004

世界各地のサポート

WWW.SICAT.COM/SUITESUPPORT

© 2019 SICAT GmbH & Co. KG

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書につきましては、翻訳を含め、全部または一部の別を問わず、複写をお断りいたします。ただし、SICAT社が書面により承諾している場合を除きます。

本取扱説明書に記載されている情報は発行当時のものであり、予告なしに変更される場合があります。

© 2019 Dentsply Sirona

全ての権利は当社に帰属します。この取扱説明書のいくつかのスクリーンショットはDentsply Sironaソフトウェア Sidexis 4のユーザーインターフェースの一部を示しています。

言及または表示されたすべての製品、ブランド、およびロゴはそれらの各所有者に帰属します。

SICAT